

和泉市
人権問題に関する市民アンケート調査
調査結果報告書

平成 29 年 3 月

和 泉 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査設計.....	1
	(1) 調査期間.....	1
	(2) 調査方法.....	1
	(3) 調査対象.....	1
3	調査票の配布・回収状況.....	1
4	調査結果の信頼性.....	2
II	調査結果	3
1	回答者属性.....	3
2	差別や人権問題に対する考え方について.....	5
3	人権問題に対する行政の取組について.....	43
4	住まいのことや就職、結婚についての意識や考え方について.....	65
5	同和問題について.....	73
6	様々な人権課題について.....	91
7	身の周りの人権侵害について.....	132
III	調査結果のまとめ	149
1	回答者属性.....	149
2	差別や人権問題に対する考え方について.....	149
3	住まいのことや就職、結婚についての意識や考え方について.....	150
4	身の周りの人権侵害について.....	150
5	同和問題について.....	150
6	新たな人権課題について.....	151
7	様々な人権課題について.....	151
8	人権問題に対する行政の取組について.....	152
IV	使用した調査票	153

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 18 年度に実施した「和泉市人権問題に関する市民アンケート調査」の結果に基づき、人権教育・啓発等を行ってきたところであるが、その後 10 年が経過する中で、同和問題をはじめ、女性、障がい者、子ども、外国人、高齢者などの人権問題全般について、和泉市民がどのような意識や意見を持っているのかを明らかにし、今後の人権行政を進めていく上においての参考資料とすることを目的とする。

2 調査設計

(1) 調査期間

平成 28 年 8 月 30 日から 9 月 12 日までの 2 週間

(2) 調査方法

郵送配布・郵送回収。調査期間中に、はがきによる礼状兼依頼状の配布 1 回。

(3) 調査対象

平成 28 年 8 月 1 日現在、本市の住民基本台帳に登録されている満 16 歳以上の市民から無作為に抽出した男女 2,000 人。

3 調査票の配布・回収状況

調査票配布件数	不達件数	実配布件数	回収数 (回収率)	有効回答数 (有効回答率)
2,000 件	5 件	1,995 件	907 件 (45.5%)	904 件 (45.3%)

4 調査結果の信頼性

今回の調査は標本調査であるため、調査結果（標本測定値）から母集団における意識・意見を推定することができる。

ただ、今回の調査は標本調査であるため、標本（調査対象）を抽出する上で生じる標本誤差を考慮した上で調査結果を分析し、また母集団における意識・意見を推定する必要がある。

世論調査では、信頼度 95% [同じ調査を標本（調査対象）を変えて実施した場合、100 回中 95 回までは同様の回答結果が得られると考えてもよい] の水準を求めるのが一般的とされている。これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差の近似値は、以下の数式で求められる。

$$\varepsilon = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差

1.96 : 信頼度 95%の時の信頼係数

N : 母集団数（本調査では 156,738 人）

n : 標本数（回収数。本調査では 904 人）

P : 標本測定値（50%）

上記の数式に必要な数値をあてはめて計算すると、「 ε （標本誤差）=3.3」（小数第 2 位四捨五入）という数値が得られる。

このことから、今回と同じ調査を同じ母集団（本市の住民基本台帳に登録されている満 16 歳以上の市民）の中から調査対象を変えて 100 回行った場合、95 回までは今回の調査で得られた結果の「 $\pm 3.3\%$ 」の範囲内の結果が得られると考えても間違いはないと言える。

※報告書で使用されている調査

平成 18 年度調査：和泉市人権問題に関する市民アンケート調査（平成 18 年）

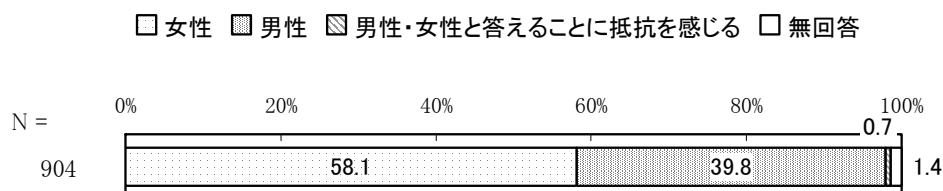
大阪府調査：人権問題に関する府民意識調査（平成 27 年）

II 調査結果

1 回答者属性

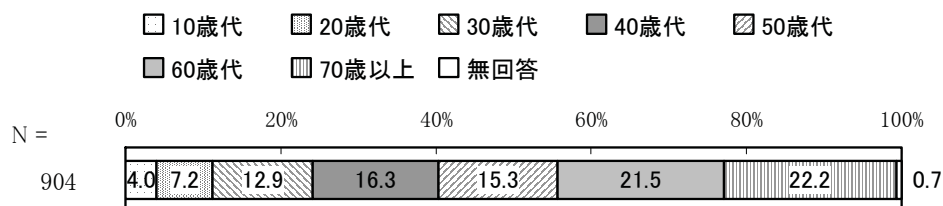
問1 あなたの性別はどちらですか。【あてはまるもの1つに○】

「女性」の割合が58.1%と最も高く、次いで「男性」の割合が39.8%となっています。



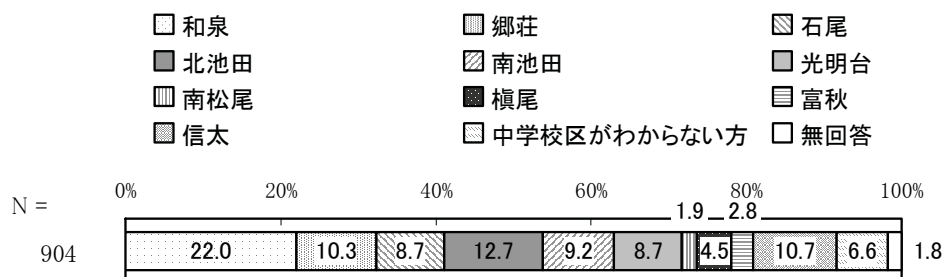
問2 あなたは何歳ですか。【あてはまるもの1つに○】

「70歳以上」の割合が22.2%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が21.5%、「40歳代」の割合が16.3%となっています。



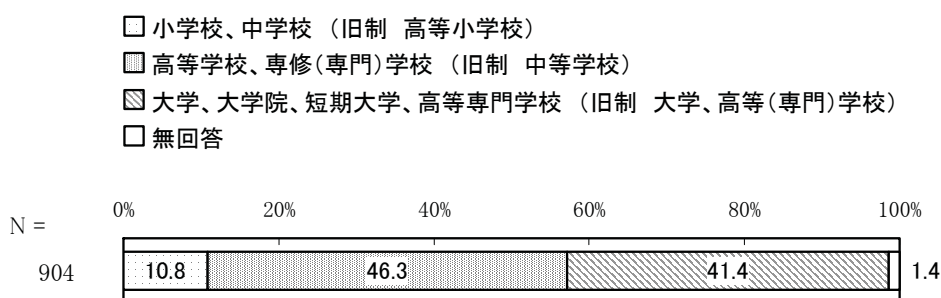
問3 あなたがお住まいの地域（中学校区）はどこですか。中学校区がわからない方は、町名をお書きください。【あてはまるもの1つに○】

「和泉」の割合が22.0%と最も高く、次いで「北池田」の割合が12.7%、「信太」の割合が10.7%となっています。



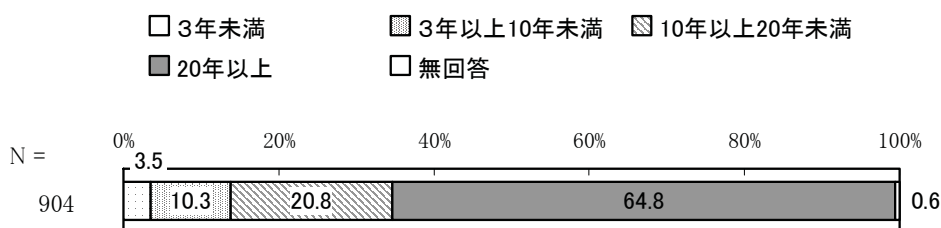
問4 あなたが最後に通われた（中途退学を含む）学校、または、現在通学している学校はどれですか。【あてはまるもの1つに○】

「高等学校、専修（専門）学校（旧制 中等学校）」の割合が46.3%と最も高く、次いで「大学、大学院、短期大学、高等専門学校（旧制 大学、高等（専門）学校）」の割合が41.4%、「小学校、中学校（旧制 高等小学校）」の割合が10.8%となっています。



問5 あなたは、和泉市内に通算で何年間お住まいですか。【あてはまるもの1つに○】

「20年以上」の割合が64.8%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が20.8%、「3年以上10年未満」の割合が10.3%となっています。

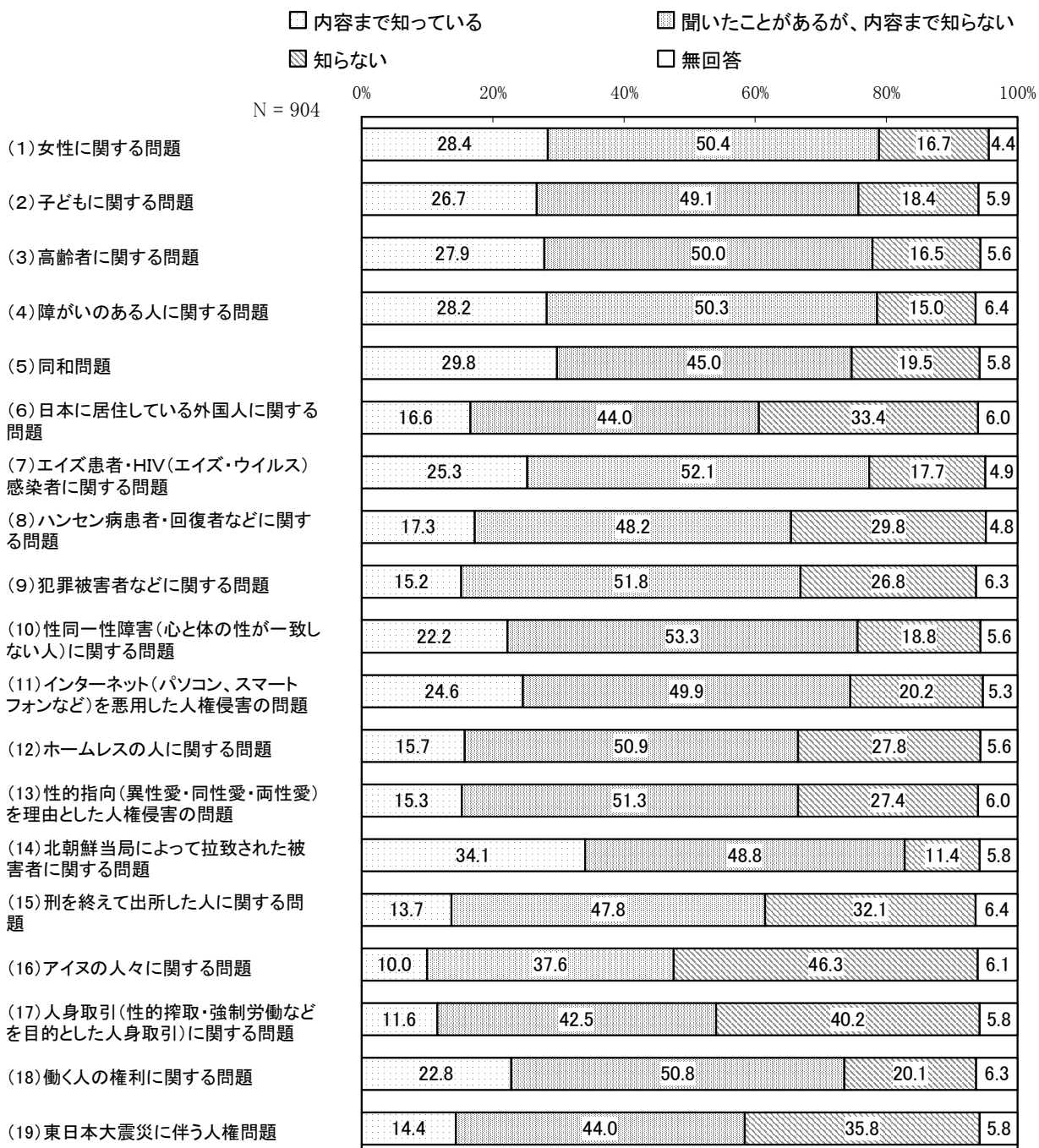


2 差別や人権問題に対する考え方について

問6 日本の社会には、人権にかかわるさまざまな問題があります。それぞれの問題の内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。【あてはまるもの1つに○】

【認知度】

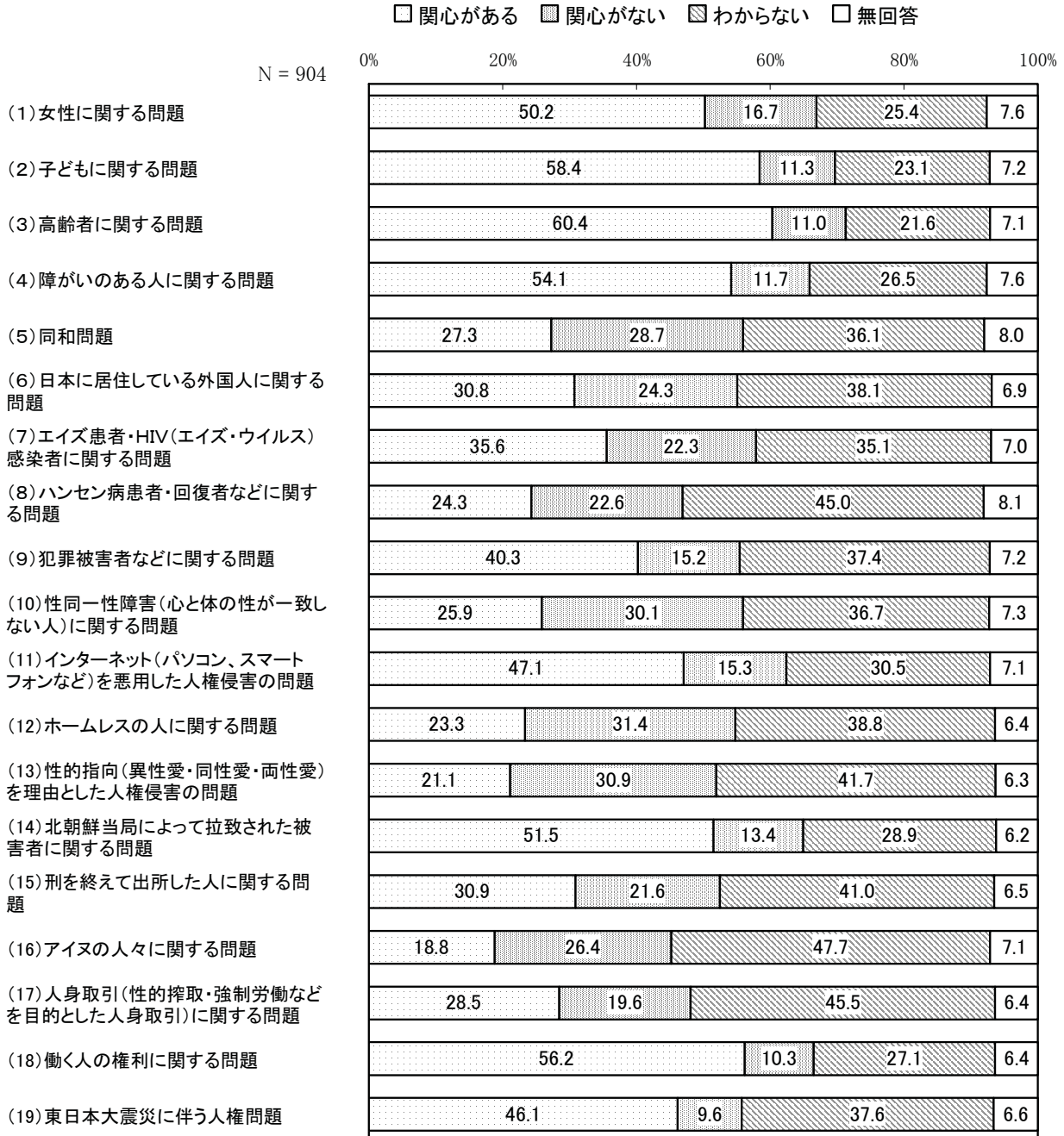
「内容まで知っている」の割合が「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」で最も高く、次いで「(5) 同和問題」、「(1) 女性に関する問題」となっています。また、「知らない」の割合が「(16) アイヌの人々に関する問題」で最も高く、次いで「(17) 人身取引（性的搾取・強制労働などを目的とした人身取引）に関する問題」、「(19) 東日本大震災に伴う人権問題」となっています。



※ (10)「性同一性障害」(13)「性的指向」については、認知度を問うためにここでは区別して使用していますが、問27では総称して「性的マイノリティ(少数者)」と表現しています。

【関心度】

「関心がある」の割合が「(3) 高齢者に関する問題」で最も高く、次いで「(2) 子どもに関する問題」、「(18) 働く人の権利に関する問題」となっています。また、「関心がない」の割合が「(12) ホームレスの人に関する問題」で最も高く、次いで「(13) 性的指向（異性愛・同性愛・両性愛）を理由とした人権侵害の問題」、「(10) 性同一性障害（心と体の性が一致しない人）に関する問題」となっています。



【ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価】

19項目の質問項目について、「認知度」と「関心度」を3つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化しました。

■ 認知度・関心度の得点化の手順 ■

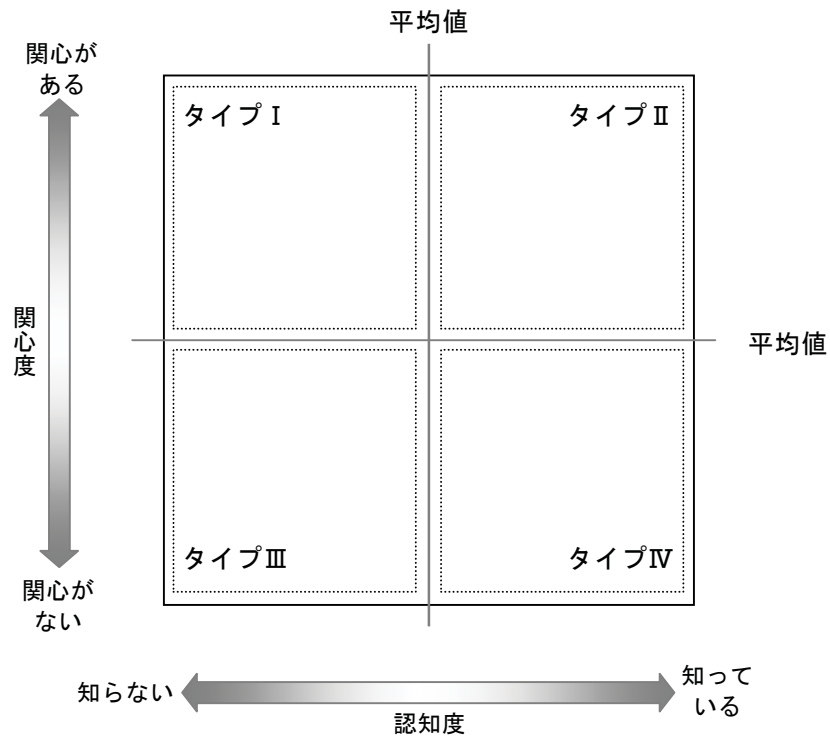
認知度		得点		関心度		得点
内容まで知っている	→	1点		関心がある	→	1点
聞いたことがあるが、内容まで知らない	→	0点		わからない	→	0点
知らない	→	△1点		関心がない	→	△1点

■ 得点の算出式 ■

$$\frac{(1点) \times \text{「内容まで知っている(関心がある)」の回答数} + (0点) \times \text{「聞いたことがあるが、内容まで知らない(わからない)」の回答数} + (\Delta 1点) \times \text{「知らない(関心がない)」の回答数}}{\text{無回答を除いた設問の回答総数}}$$

例えば、仮に全員が「内容まで知っている」を選んだ場合、その重要度の得点は 1.00 点になります。得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

各項目の認知度・関心度得点の関係について、認知度と関心度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、認知度・関心度得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の事業の方向性について分析しました。

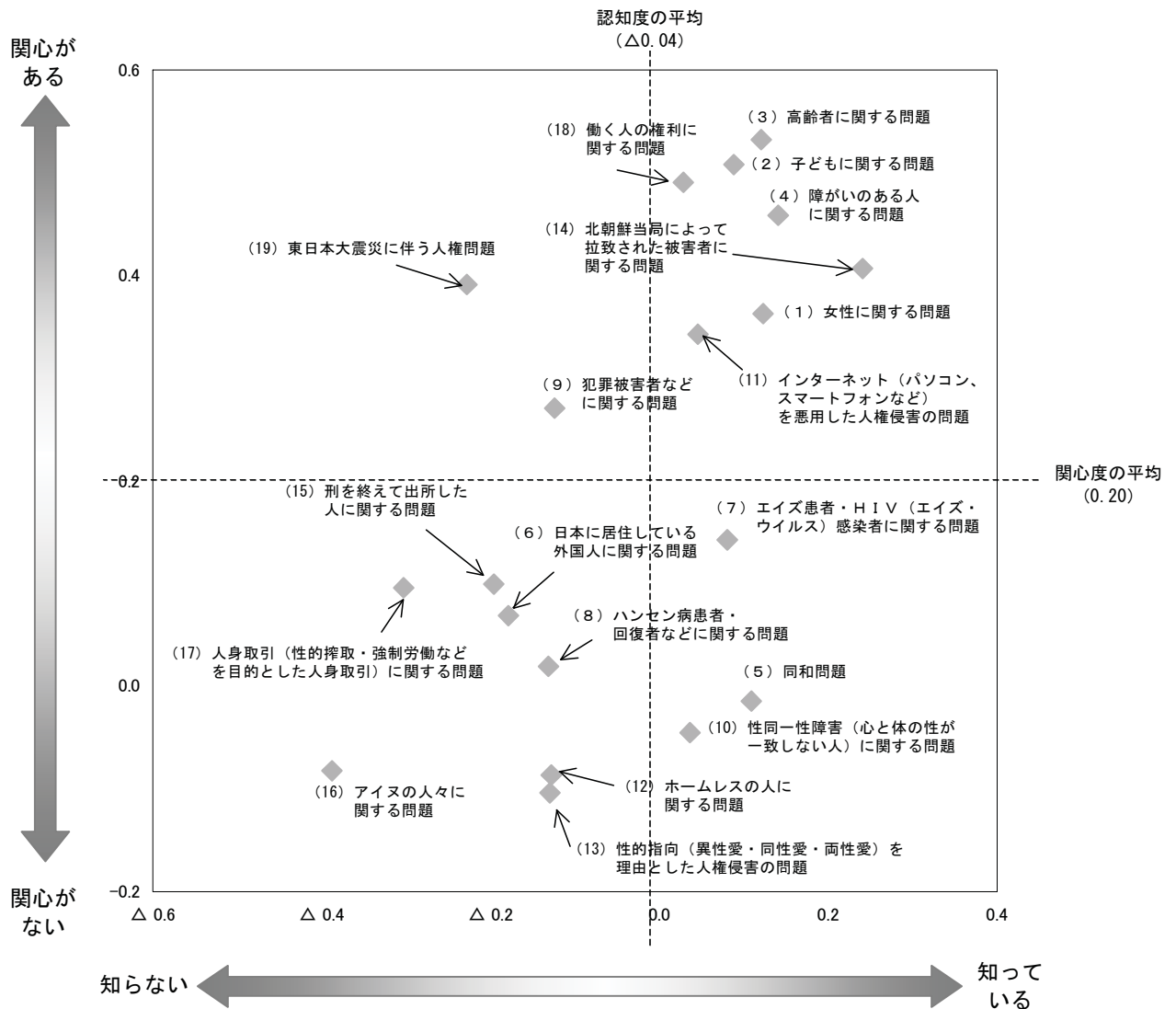


- ◆タイプⅠ 認知度は低いが、関心度は高い
- ◆タイプⅡ 認知度は高く、関心度も高い
- ◆タイプⅢ 認知度は低く、関心度も低い
- ◆タイプⅣ 認知度は高いが、関心度は低い

認知度については、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」が 0.24 ポイントと最も高く、次いで、「(4) 障がいのある人に関する問題」、「(1) 女性に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(3) 高齢者に関する問題」が 0.53 ポイントと最も高く、次いで、「(2) 子どもに関する問題」、「(18) 働く人の権利に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 9 問題が△（マイナス）となっています。

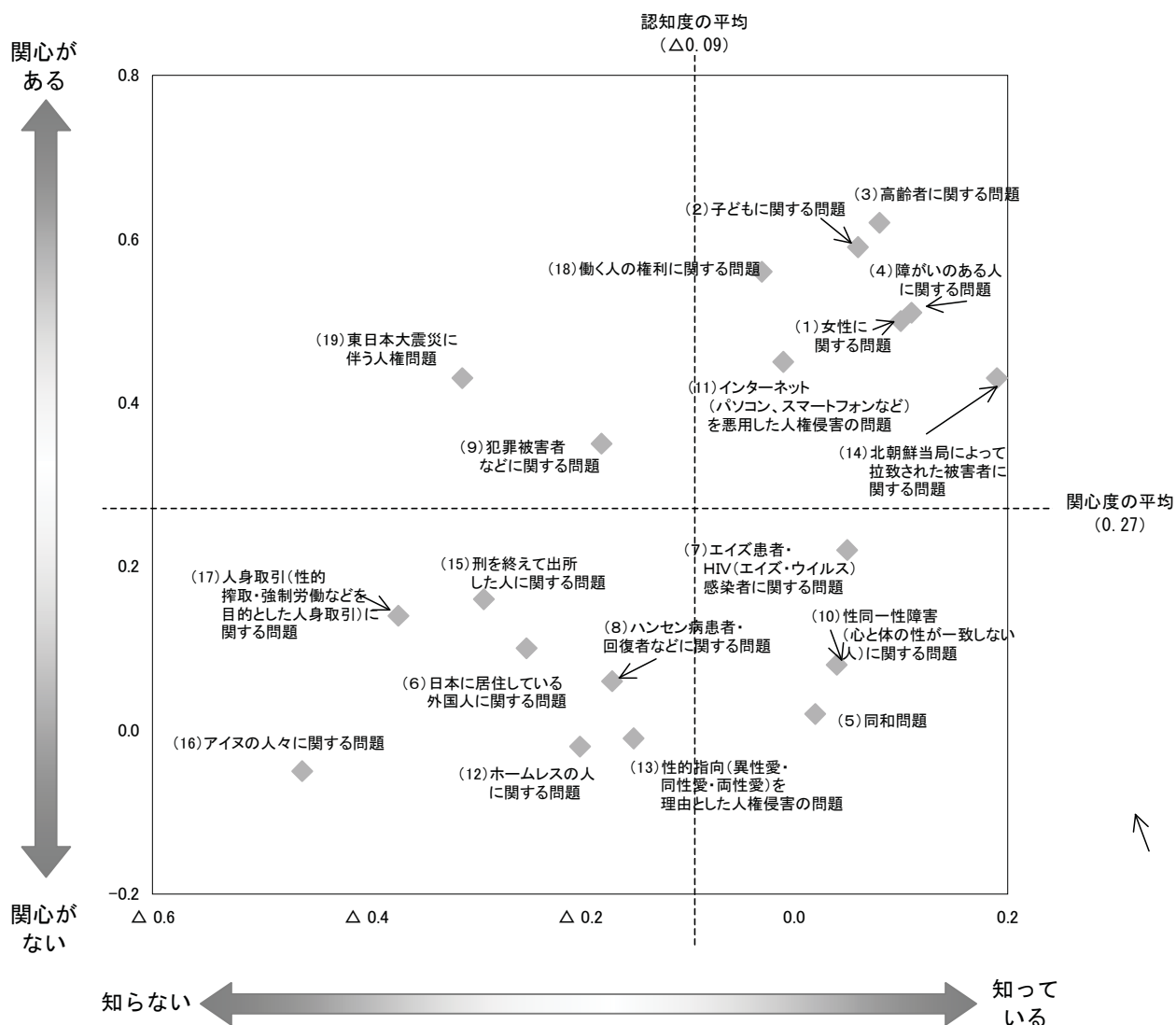


【女性】

認知度については、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」が 0.19 ポイントと最も高く、次いで、「(4) 障がいのある人に関する問題」、「(1) 女性に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(3) 高齢者に関する問題」が 0.62 ポイントと最も高く、次いで、「(2) 子どもに関する問題」、「(18) 働く人の権利に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 11 問題が△（マイナス）となっています。

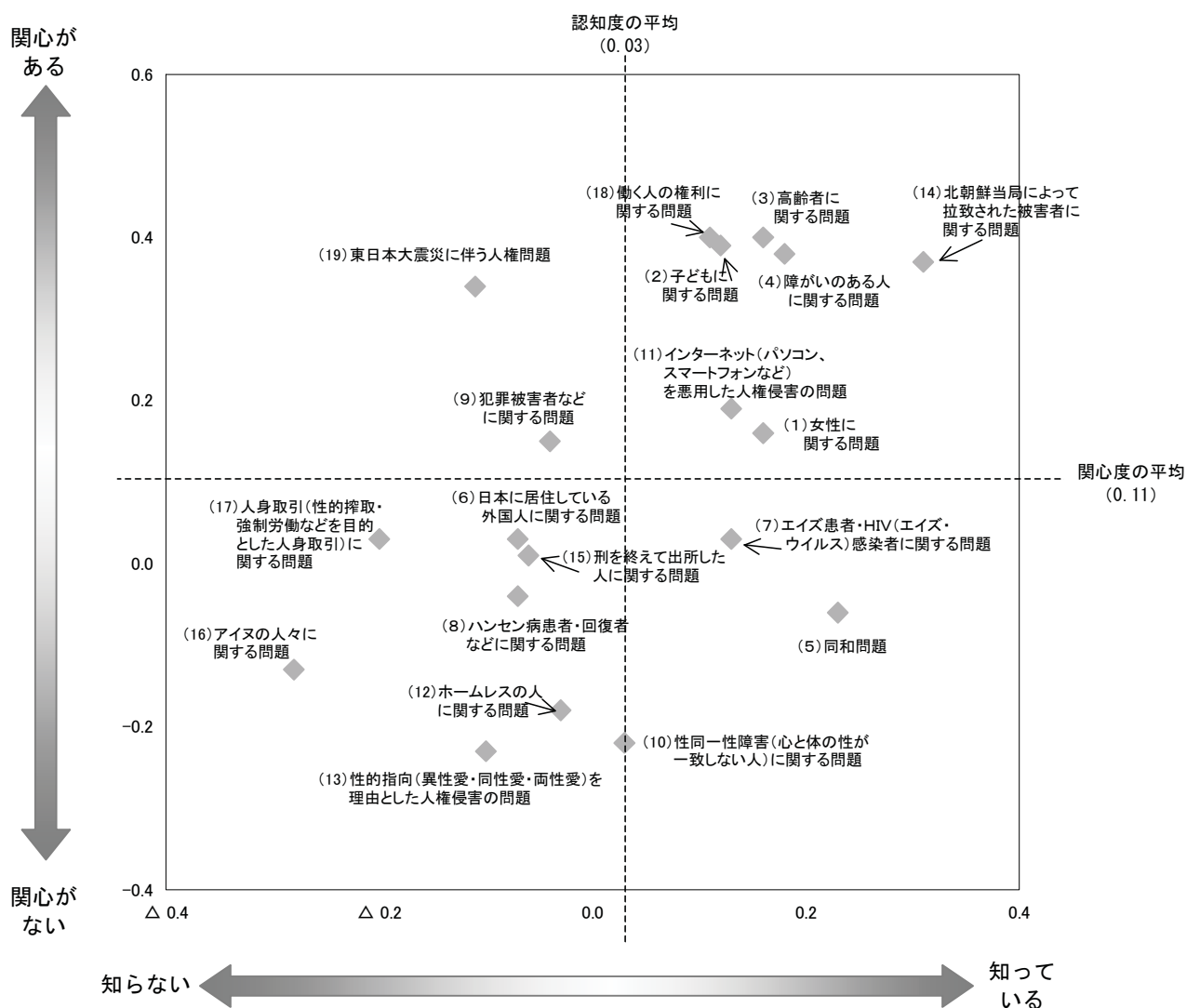


【男 性】

認知度については、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」が 0.31 ポイントと最も高く、次いで、「(5) 同和問題」、「(4) 障がいのある人に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(3) 高齢者に関する問題」「(18) 働く人の権利に関する問題」が 0.40 ポイントと最も高く、次いで、「(2) 子どもに関する問題」、「(4) 障がいのある人に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 9 問題が△（マイナス）となっています。

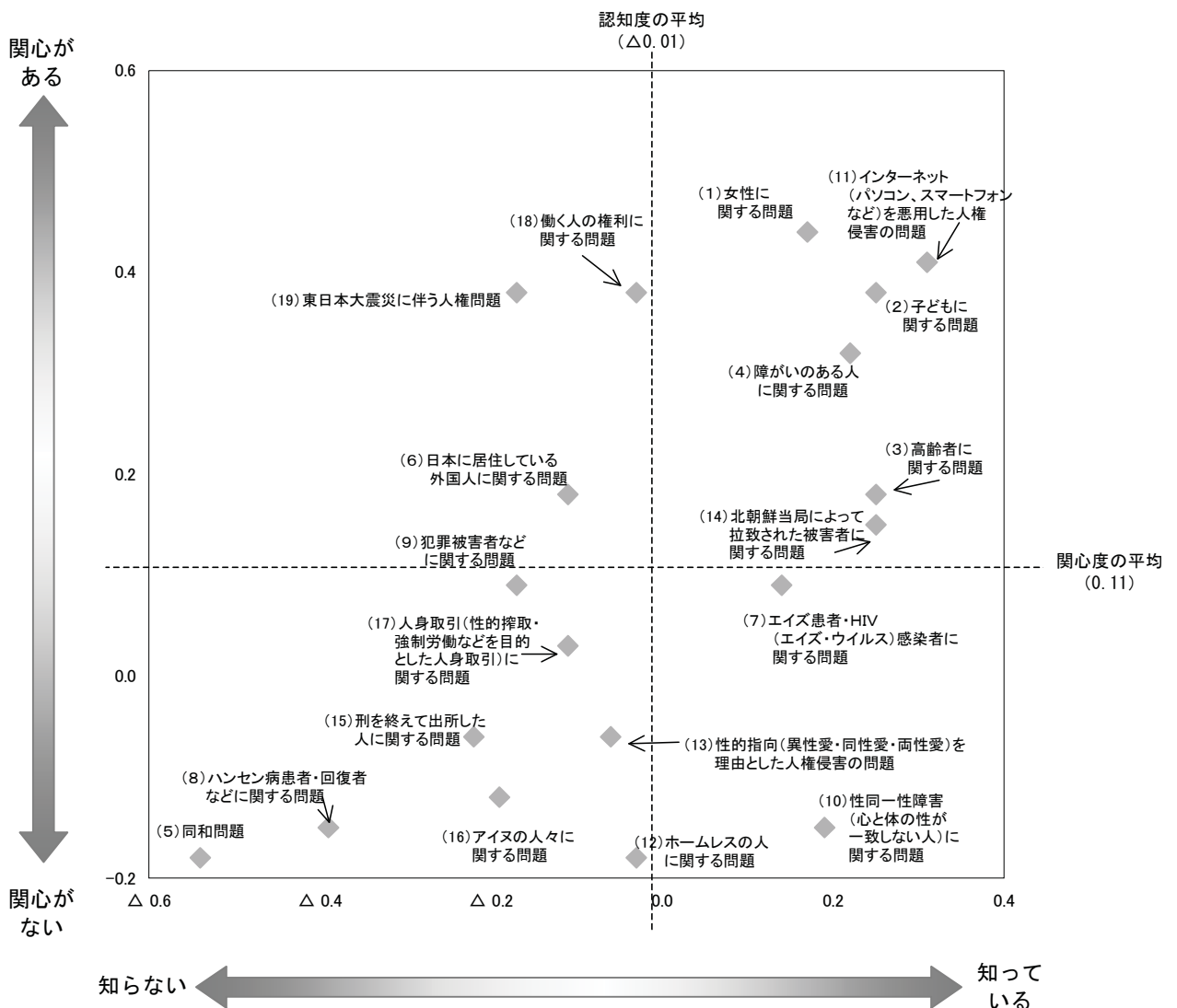


【10 歳代】

認知度については、「(11) インターネット（パソコン、スマートフォンなど）を悪用した人権侵害の問題」が 0.31 ポイントと最も高く、次いで、「(2) 子どもに関する問題」、「(3) 高齢者に関する問題」「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(1) 女性に関する問題」が 0.44 ポイントと最も高く、次いで、「(11) インターネット（パソコン、スマートフォンなど）を悪用した人権侵害の問題」、「(2) 子どもに関する問題」「(18) 働く人の権利に関する問題」「(19) 東日本大震災に伴う人権問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 10 問題が△（マイナス）となっています。

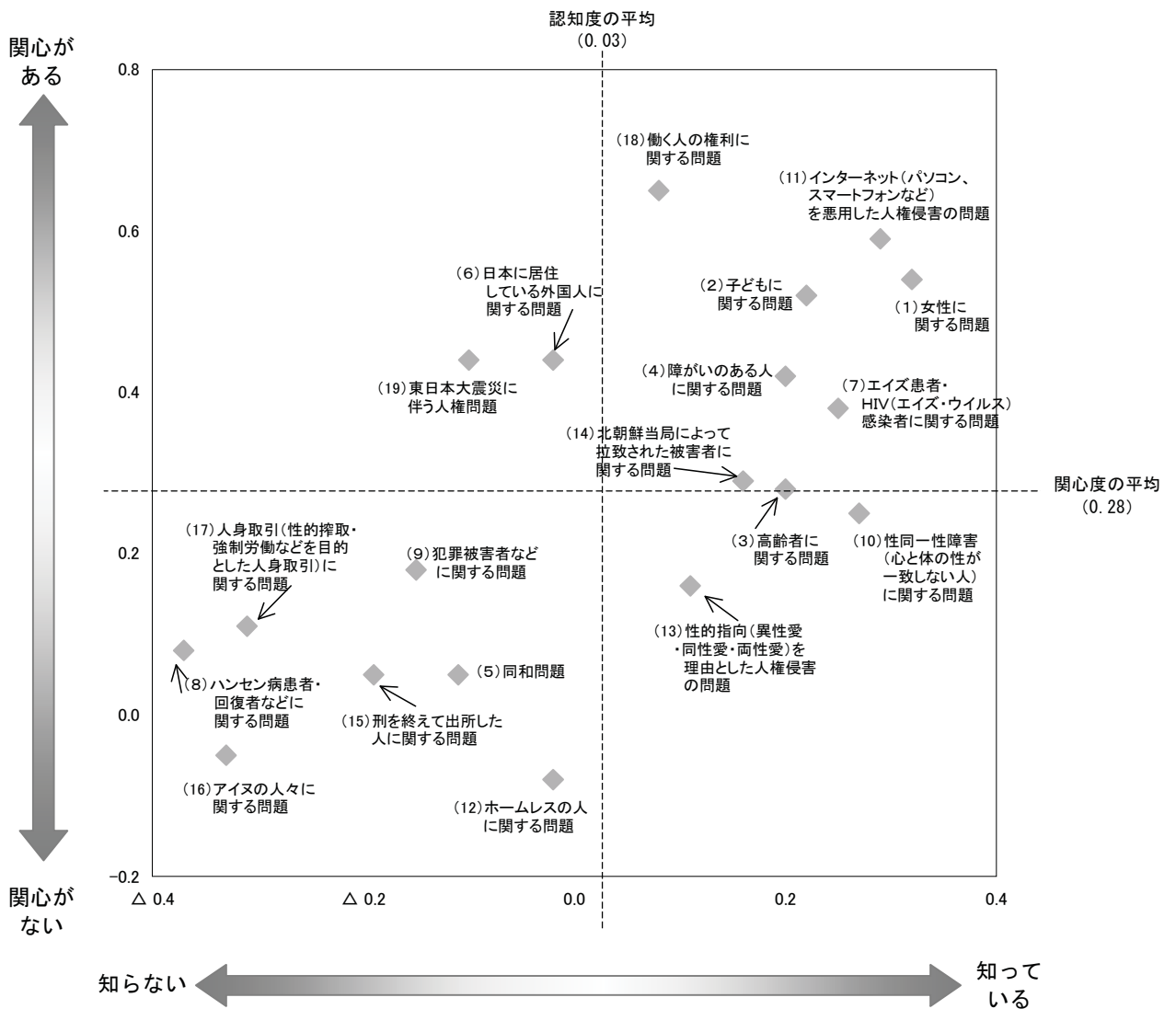


【20 歳代】

認知度については、「(1) 女性に関する問題」が 0.32 ポイントと最も高く、次いで、「(11) インターネット（パソコン、スマートフォンなど）を悪用した人権侵害の問題」、「(10) 性同一性障害（心と体の性が一致しない人）に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(18) 働く人の権利に関する問題」が 0.65 ポイントと最も高く、次いで、「(11) インターネット（パソコン、スマートフォンなど）を悪用した人権侵害の問題」、「(1) 女性に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 9 問題が△（マイナス）となっています。

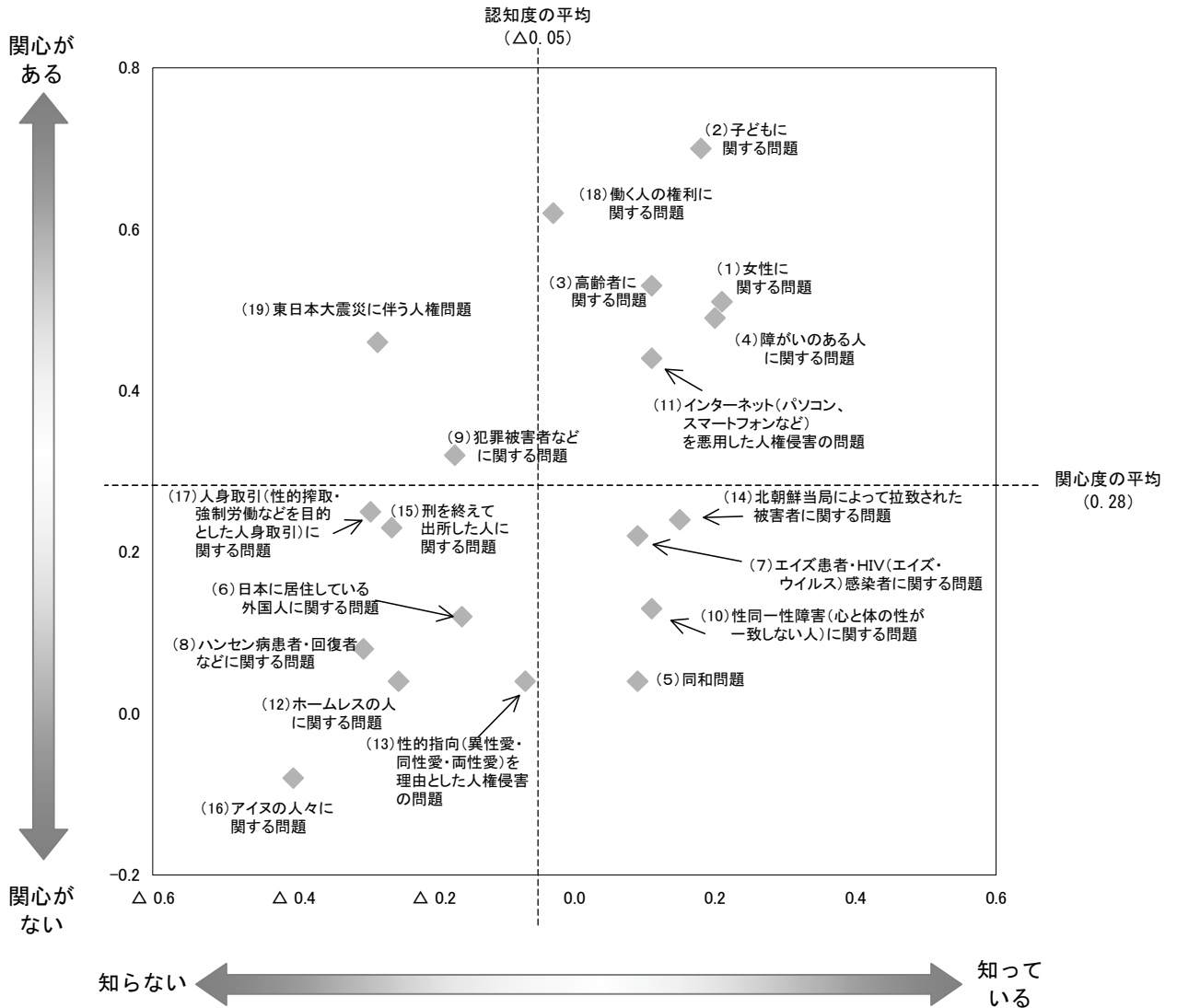


【30 歳代】

認知度については、「(1) 女性に関する問題」が 0.21 ポイントと最も高く、次いで、「(4) 障がいのある人に関する問題」、「(2) 子どもに関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(2) 子どもに関する問題」が 0.70 ポイントと最も高く、次いで、「(18) 働く人の権利に関する問題」、「(3) 高齢者に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 10 問題が△（マイナス）となっています。

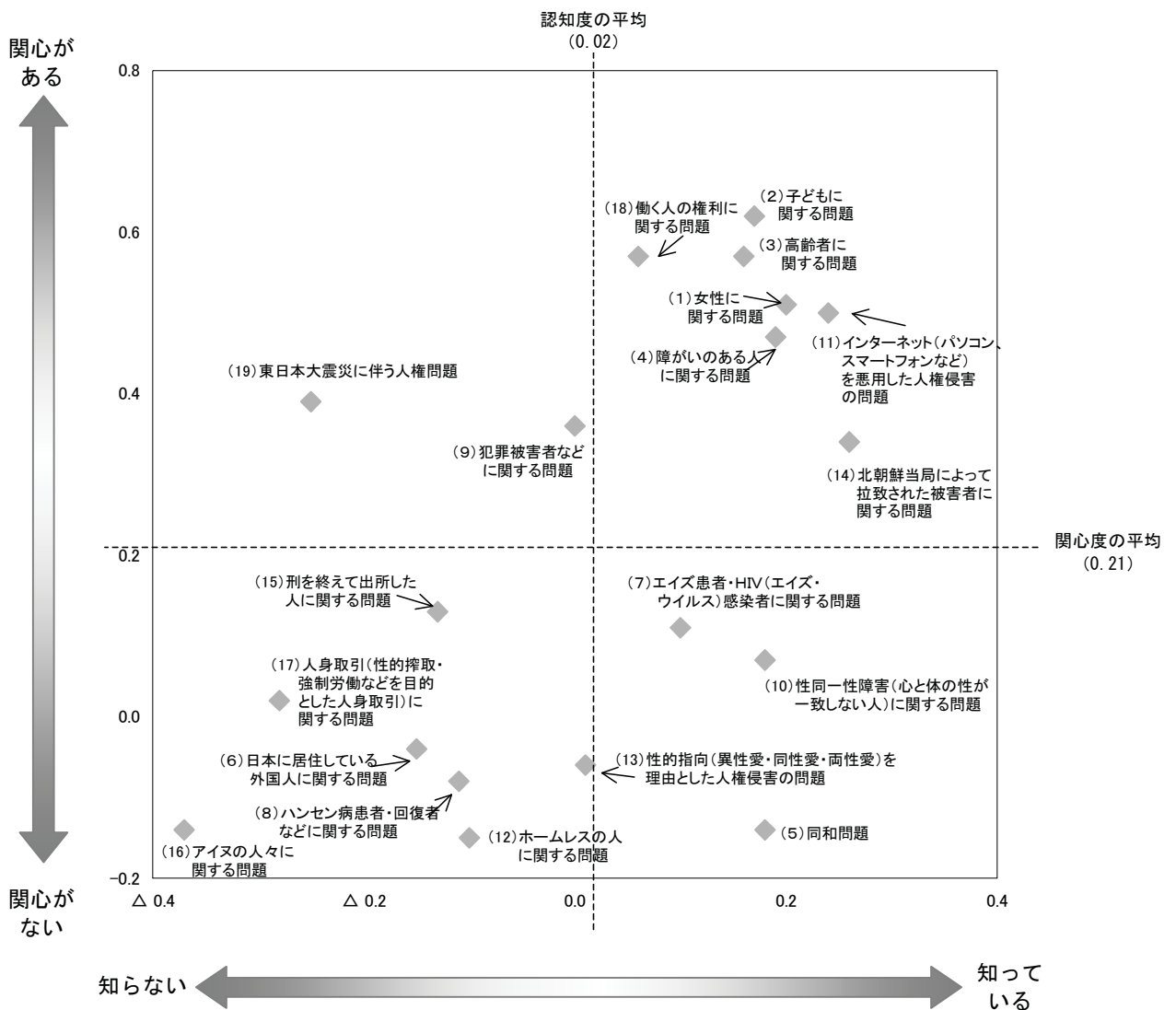


【40 歳代】

認知度については、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」が 0.26 ポイントと最も高く、次いで、「(11) インターネット（パソコン、スマートフォンなど）を悪用した人権侵害の問題」、「(1) 女性に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(2) 子どもに関する問題」が 0.62 ポイントと最も高く、次いで、「(3) 高齢者に関する問題」、「(18) 働く人の権利に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 7 問題が△（マイナス）となっています。

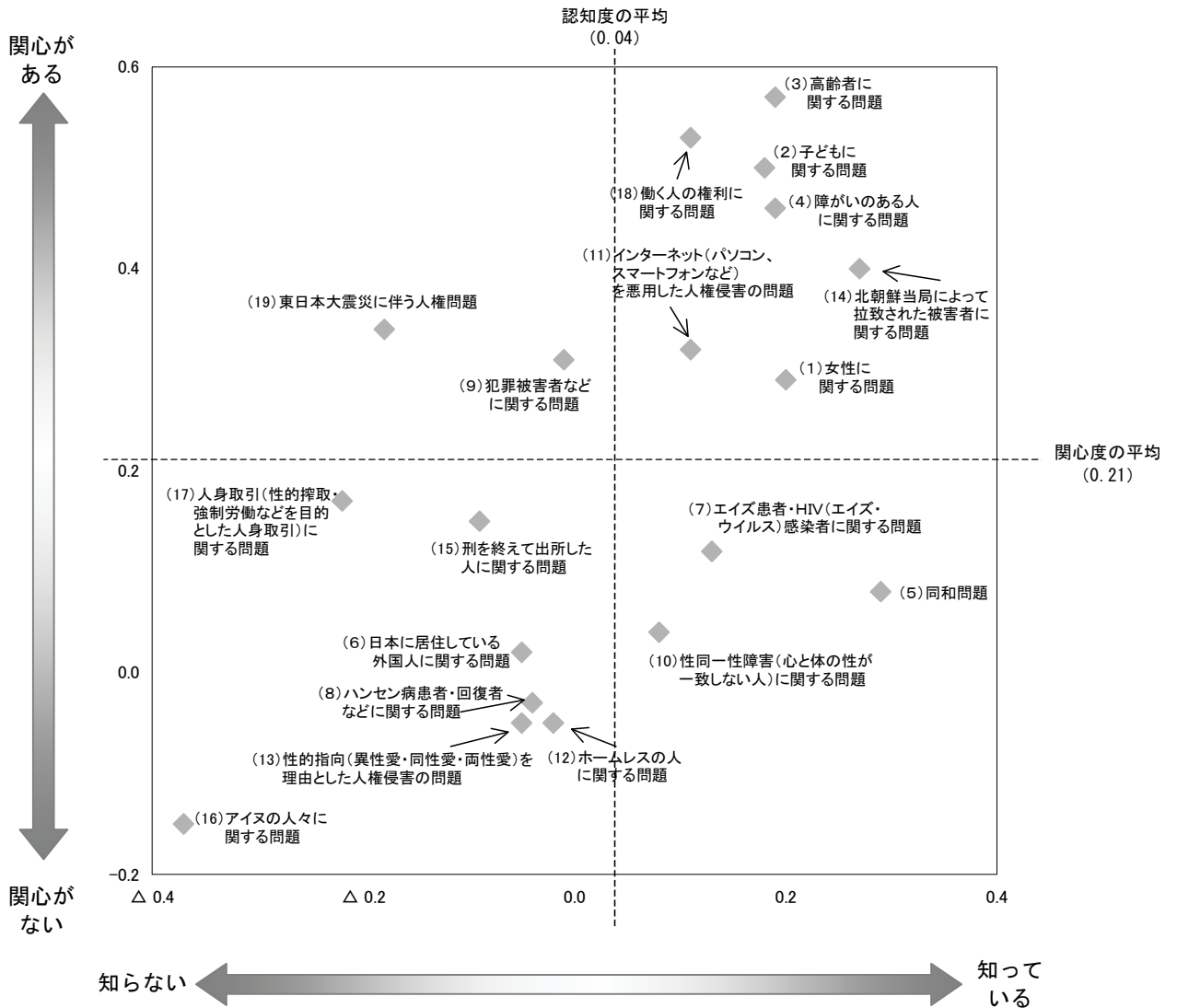


【50 歳代】

認知度については、「(5) 同和問題」が 0.29 ポイントと最も高く、次いで、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」、「(1) 女性に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(3) 高齢者に関する問題」が 0.57 ポイントと最も高く、次いで、「(18) 働く人の権利に関する問題」、「(2) 子どもに関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 9 問題が△（マイナス）となっています。

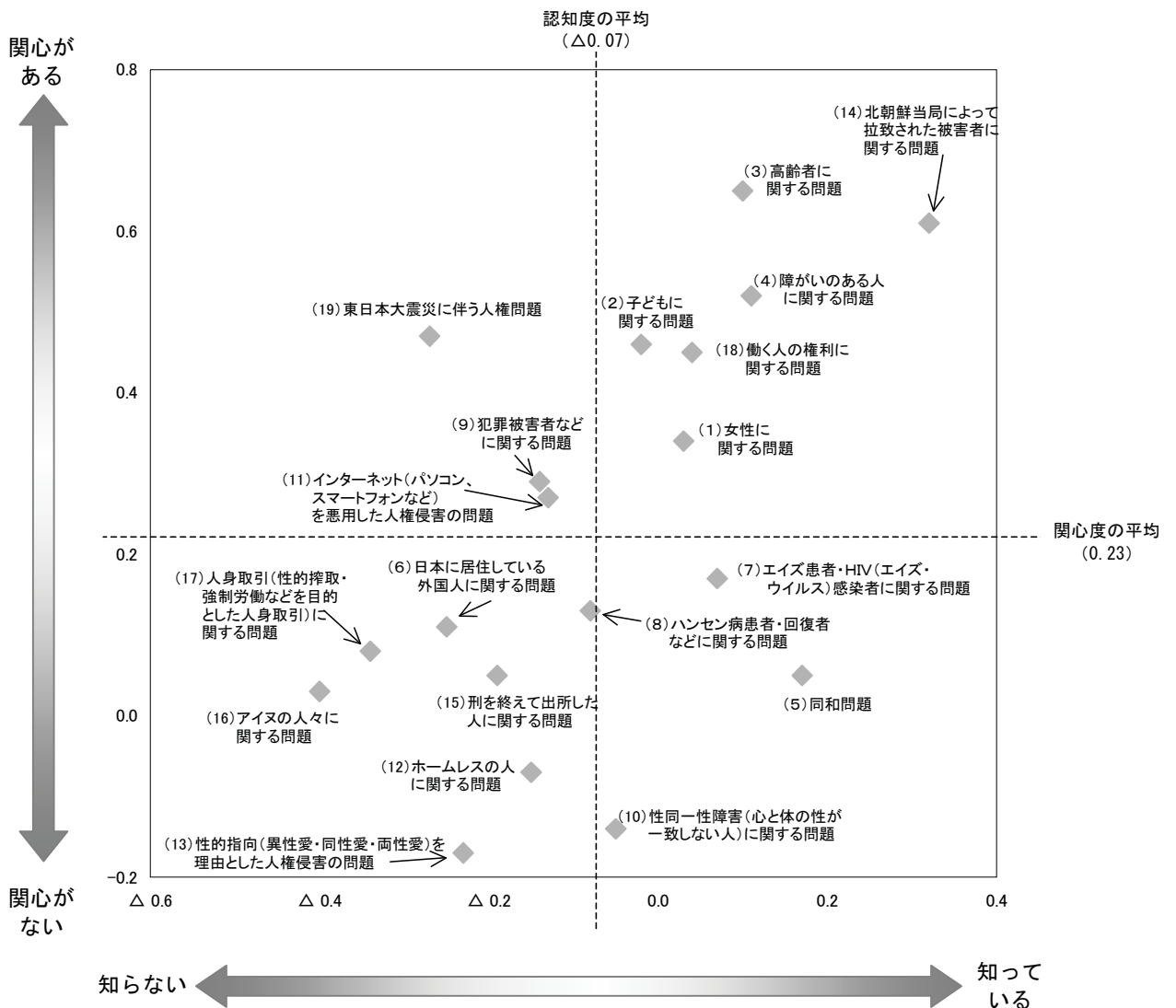


【60 歳代】

認知度については、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」が 0.32 ポイントと最も高く、次いで、「(5) 同和問題」、「(4) 障がいのある人に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(3) 高齢者に関する問題」が 0.65 ポイントと最も高く、次いで、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」、「(4) 障がいのある人に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 12 問題が△（マイナス）となっています。

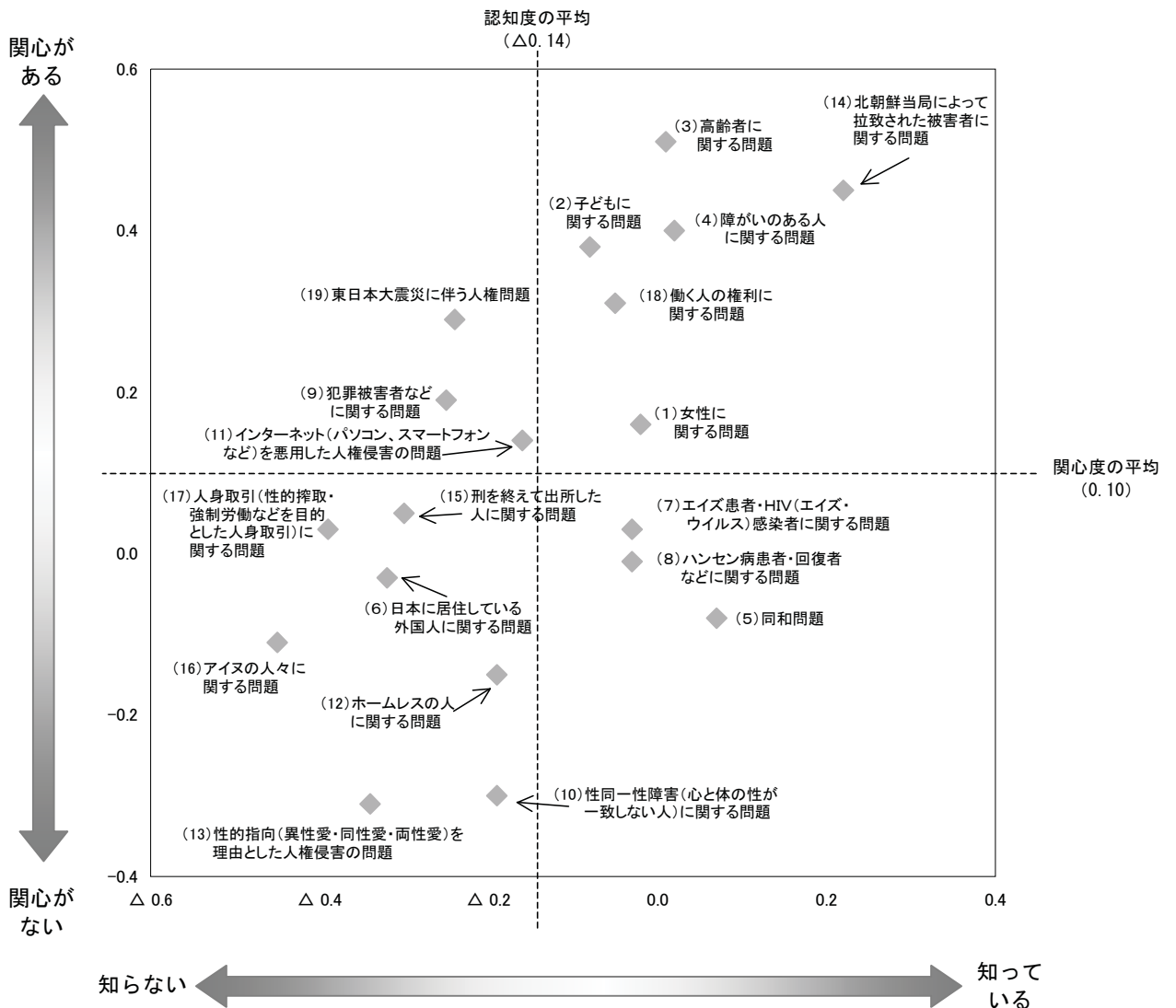


【70 歳以上】

認知度については、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」が 0.22 ポイントと最も高く、次いで、「(5) 同和問題」、「(4) 障がいのある人に関する問題」が高くなっています。

関心度については、「(3) 高齢者に関する問題」が 0.51 ポイントと最も高く、次いで、「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」、「(4) 障がいのある人に関する問題」が高くなっています。

また、認知度では、19 問題中 15 問題が△（マイナス）となっています。



【性別、年齢別集計表】

		(1)女性に関する問題					(2)子どもに関する問題				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	134	281	86	24	525	129	263	98	35
		100.0	25.5	53.5	16.4	4.6	100.0	24.6	50.1	18.7	6.7
	男性	360	117	171	62	10	360	107	176	65	12
		100.0	32.5	47.5	17.2	2.8	100.0	29.7	48.9	18.1	3.3
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	3	2	-	1	6	3	2	-	1
		100.0	50.0	33.3	-	16.7	100.0	50.0	33.3	-	16.7
年齢別	10歳代	36	12	18	6	-	36	13	19	4	-
		100.0	33.3	50.0	16.7	-	100.0	36.1	52.8	11.1	-
	20歳代	65	27	29	7	2	65	24	30	10	1
		100.0	41.5	44.6	10.8	3.1	100.0	36.9	46.2	15.4	1.5
	30歳代	117	40	59	16	2	117	38	60	17	2
		100.0	34.2	50.4	13.7	1.7	100.0	32.5	51.3	14.5	1.7
	40歳代	147	46	82	17	2	147	44	79	20	4
		100.0	31.3	55.8	11.6	1.4	100.0	29.9	53.7	13.6	2.7
	50歳代	138	48	66	21	3	138	45	69	21	3
		100.0	34.8	47.8	15.2	2.2	100.0	32.6	50.0	15.2	2.2
	60歳代	194	44	105	38	7	194	41	98	44	11
		100.0	22.7	54.1	19.6	3.6	100.0	21.1	50.5	22.7	5.7
	70歳以上	201	40	96	44	21	201	36	87	49	29
		100.0	19.9	47.8	21.9	10.4	100.0	17.9	43.3	24.4	14.4
		全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女性	525	299	58	124	44	525	325	40	120	40
		100.0	57.0	11.0	23.6	8.4	100.0	61.9	7.6	22.9	7.6
	男性	360	147	93	101	19	360	194	62	86	18
		100.0	40.8	25.8	28.1	5.3	100.0	53.9	17.2	23.9	5.0
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	4	-	2	-	6	6	-	-	-
		100.0	66.7	-	33.3	-	100.0	100.0	-	-	-
年齢別	10歳代	36	20	5	9	2	36	19	6	9	2
		100.0	55.6	13.9	25.0	5.6	100.0	52.8	16.7	25.0	5.6
	20歳代	65	42	8	13	2	65	40	8	14	3
		100.0	64.6	12.3	20.0	3.1	100.0	61.5	12.3	21.5	4.6
	30歳代	117	73	15	25	4	117	88	8	18	3
		100.0	62.4	12.8	21.4	3.4	100.0	75.2	6.8	15.4	2.6
	40歳代	147	89	18	33	7	147	102	15	24	6
		100.0	60.5	12.2	22.4	4.8	100.0	69.4	10.2	16.3	4.1
	50歳代	138	66	28	38	6	138	84	18	30	6
		100.0	47.8	20.3	27.5	4.3	100.0	60.9	13.0	21.7	4.3
	60歳代	194	94	32	58	10	194	109	24	53	8
		100.0	48.5	16.5	29.9	5.2	100.0	56.2	12.4	27.3	4.1
	70歳以上	201	70	44	53	34	201	85	22	61	33
		100.0	34.8	21.9	26.4	16.9	100.0	42.3	10.9	30.3	16.4

		(3) 高齢者に関する問題					(4) 障がいのある人に関する問題				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	129	273	88	35	525	134	274	79	38
		100.0	24.6	52.0	16.8	6.7	100.0	25.5	52.2	15.0	7.2
	男性	360	117	173	60	10	360	117	173	56	14
		100.0	32.5	48.1	16.7	2.8	100.0	32.5	48.1	15.6	3.9
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	3	2	-	1	6	2	3	-	1
		100.0	50.0	33.3	-	16.7	100.0	33.3	50.0	-	16.7
年齢別	10歳代	36	14	17	5	-	36	14	16	6	-
		100.0	38.9	47.2	13.9	-	100.0	38.9	44.4	16.7	-
	20歳代	65	21	35	8	1	65	19	39	6	1
		100.0	32.3	53.8	12.3	1.5	100.0	29.2	60.0	9.2	1.5
	30歳代	117	32	64	19	2	117	36	66	13	2
		100.0	27.4	54.7	16.2	1.7	100.0	30.8	56.4	11.1	1.7
	40歳代	147	40	84	17	6	147	48	70	22	7
		100.0	27.2	57.1	11.6	4.1	100.0	32.7	47.6	15.0	4.8
	50歳代	138	48	66	22	2	138	49	64	23	2
		100.0	34.8	47.8	15.9	1.4	100.0	35.5	46.4	16.7	1.4
	60歳代	194	55	91	37	11	194	48	110	28	8
		100.0	28.4	46.9	19.1	5.7	100.0	24.7	56.7	14.4	4.1
	70歳以上	201	42	92	41	26	201	41	87	38	35
		100.0	20.9	45.8	20.4	12.9	100.0	20.4	43.3	18.9	17.4
		全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女性	525	335	35	113	42	525	291	43	151	40
		100.0	63.8	6.7	21.5	8.0	100.0	55.4	8.2	28.8	7.6
	男性	360	202	64	79	15	360	190	63	85	22
		100.0	56.1	17.8	21.9	4.2	100.0	52.8	17.5	23.6	6.1
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	4	-	2	-	6	4	-	2	-
		100.0	66.7	-	33.3	-	100.0	66.7	-	33.3	-
年齢別	10歳代	36	16	10	8	2	36	17	6	11	2
		100.0	44.4	27.8	22.2	5.6	100.0	47.2	16.7	30.6	5.6
	20歳代	65	30	13	17	5	65	35	9	18	3
		100.0	46.2	20.0	26.2	7.7	100.0	53.8	13.8	27.7	4.6
	30歳代	117	74	14	26	3	117	67	12	33	5
		100.0	63.2	12.0	22.2	2.6	100.0	57.3	10.3	28.2	4.3
	40歳代	147	95	15	31	6	147	83	18	38	8
		100.0	64.6	10.2	21.1	4.1	100.0	56.5	12.2	25.9	5.4
	50歳代	138	88	14	28	8	138	78	18	35	7
		100.0	63.8	10.1	20.3	5.8	100.0	56.5	13.0	25.4	5.1
	60歳代	194	131	10	44	9	194	114	16	57	7
		100.0	67.5	5.2	22.7	4.6	100.0	58.8	8.2	29.4	3.6
	70歳以上	201	111	22	41	27	201	94	26	48	33
		100.0	55.2	10.9	20.4	13.4	100.0	46.8	12.9	23.9	16.4

		(5) 同和問題					(6) 日本に居住している外国人に関する問題				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	130	241	119	35	525	67	233	189	36
		100.0	24.8	45.9	22.7	6.7	100.0	12.8	44.4	36.0	6.9
	男性	360	136	159	55	10	360	82	159	107	12
		100.0	37.8	44.2	15.3	2.8	100.0	22.8	44.2	29.7	3.3
男性・女性と答えることに抵抗を感じる		6	2	3	-	1	6	-	2	3	1
		100.0	33.3	50.0	-	16.7	100.0	-	33.3	50.0	16.7
年齢別	10歳代	36	3	10	22	1	36	8	15	12	1
		100.0	8.3	27.8	61.1	2.8	100.0	22.2	41.7	33.3	2.8
	20歳代	65	16	25	23	1	65	17	28	18	2
		100.0	24.6	38.5	35.4	1.5	100.0	26.2	43.1	27.7	3.1
	30歳代	117	36	53	26	2	117	20	57	38	2
		100.0	30.8	45.3	22.2	1.7	100.0	17.1	48.7	32.5	1.7
	40歳代	147	51	67	25	4	147	28	65	50	4
		100.0	34.7	45.6	17.0	2.7	100.0	19.0	44.2	34.0	2.7
	50歳代	138	59	59	19	1	138	33	62	40	3
		100.0	42.8	42.8	13.8	0.7	100.0	23.9	44.9	29.0	2.2
	60歳代	194	56	101	25	12	194	25	89	71	9
		100.0	28.9	52.1	12.9	6.2	100.0	12.9	45.9	36.6	4.6
	70歳以上	201	48	89	36	28	201	19	79	73	30
		100.0	23.9	44.3	17.9	13.9	100.0	9.5	39.3	36.3	14.9
		全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女性	525	135	126	218	46	525	154	107	225	39
		100.0	25.7	24.0	41.5	8.8	100.0	29.3	20.4	42.9	7.4
	男性	360	110	129	102	19	360	122	110	112	16
		100.0	30.6	35.8	28.3	5.3	100.0	33.9	30.6	31.1	4.4
男性・女性と答えることに抵抗を感じる		6	1	2	3	-	6	1	2	3	-
		100.0	16.7	33.3	50.0	-	100.0	16.7	33.3	50.0	-
年齢別	10歳代	36	6	12	16	2	36	15	9	10	2
		100.0	16.7	33.3	44.4	5.6	100.0	41.7	25.0	27.8	5.6
	20歳代	65	15	12	35	3	65	34	7	20	4
		100.0	23.1	18.5	53.8	4.6	100.0	52.3	10.8	30.8	6.2
	30歳代	117	33	28	52	4	117	34	20	60	3
		100.0	28.2	23.9	44.4	3.4	100.0	29.1	17.1	51.3	2.6
	40歳代	147	32	51	57	7	147	40	45	56	6
		100.0	21.8	34.7	38.8	4.8	100.0	27.2	30.6	38.1	4.1
	50歳代	138	51	40	40	7	138	43	40	47	8
		100.0	37.0	29.0	29.0	5.1	100.0	31.2	29.0	34.1	5.8
	60歳代	194	62	53	68	11	194	64	44	80	6
		100.0	32.0	27.3	35.1	5.7	100.0	33.0	22.7	41.2	3.1
	70歳以上	201	48	62	57	34	201	48	54	70	29
		100.0	23.9	30.8	28.4	16.9	100.0	23.9	26.9	34.8	14.4

		(7)エイズ患者・HIV(エイズ・ウイルス)感染者に関する問題					(8)ハンセン病患者・回復者などに関する問題				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	120	281	96	28	525	84	244	170	27
		100.0	22.9	53.5	18.3	5.3	100.0	16.0	46.5	32.4	5.1
	男性	360	105	186	59	10	360	70	185	95	10
		100.0	29.2	51.7	16.4	2.8	100.0	19.4	51.4	26.4	2.8
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	3	1	1	1	6	1	2	2	1
		100.0	50.0	16.7	16.7	16.7	100.0	16.7	33.3	33.3	16.7
年齢別	10歳代	36	11	19	6	-	36	4	14	18	-
		100.0	30.6	52.8	16.7	-	100.0	11.1	38.9	50.0	-
	20歳代	65	21	37	5	2	65	5	30	28	2
		100.0	32.3	56.9	7.7	3.1	100.0	7.7	46.2	43.1	3.1
	30歳代	117	27	71	17	2	117	14	52	49	2
		100.0	23.1	60.7	14.5	1.7	100.0	12.0	44.4	41.9	1.7
	40歳代	147	41	77	27	2	147	28	73	44	2
		100.0	27.9	52.4	18.4	1.4	100.0	19.0	49.7	29.9	1.4
	50歳代	138	42	69	25	2	138	31	69	36	2
		100.0	30.4	50.0	18.1	1.4	100.0	22.5	50.0	26.1	1.4
	60歳代	194	49	99	36	10	194	37	97	52	8
		100.0	25.3	51.0	18.6	5.2	100.0	19.1	50.0	26.8	4.1
	70歳以上	201	38	96	44	23	201	37	98	42	24
		100.0	18.9	47.8	21.9	11.4	100.0	18.4	48.8	20.9	11.9
		全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女性	525	194	89	202	40	525	125	98	260	42
		100.0	37.0	17.0	38.5	7.6	100.0	23.8	18.7	49.5	8.0
	男性	360	124	112	108	16	360	92	104	141	23
		100.0	34.4	31.1	30.0	4.4	100.0	25.6	28.9	39.2	6.4
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	3	-	3	-	6	2	1	2	1
		100.0	50.0	-	50.0	-	100.0	33.3	16.7	33.3	16.7
年齢別	10歳代	36	16	13	5	2	36	6	11	17	2
		100.0	44.4	36.1	13.9	5.6	100.0	16.7	30.6	47.2	5.6
	20歳代	65	35	12	14	4	65	18	13	29	5
		100.0	53.8	18.5	21.5	6.2	100.0	27.7	20.0	44.6	7.7
	30歳代	117	47	22	44	4	117	31	22	60	4
		100.0	40.2	18.8	37.6	3.4	100.0	26.5	18.8	51.3	3.4
	40歳代	147	49	33	59	6	147	31	42	67	7
		100.0	33.3	22.4	40.1	4.1	100.0	21.1	28.6	45.6	4.8
	50歳代	138	51	35	45	7	138	33	37	58	10
		100.0	37.0	25.4	32.6	5.1	100.0	23.9	26.8	42.0	7.2
	60歳代	194	74	42	73	5	194	60	36	93	5
		100.0	38.1	21.6	37.6	2.6	100.0	30.9	18.6	47.9	2.6
	70歳以上	201	50	45	76	30	201	41	43	82	35
		100.0	24.9	22.4	37.8	14.9	100.0	20.4	21.4	40.8	17.4

		(9) 犯罪被害者などに関する問題					(10) 性同一性障害(心と体の性が一致しない人)に関する問題				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	65	271	153	36	525	114	287	93	31
		100.0	12.4	51.6	29.1	6.9	100.0	21.7	54.7	17.7	5.9
	男性	360	71	190	85	14	360	85	189	73	13
		100.0	19.7	52.8	23.6	3.9	100.0	23.6	52.5	20.3	3.6
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	-	4	1	1	6	-	3	1	2
		100.0	-	66.7	16.7	16.7	100.0	-	50.0	16.7	33.3
年齢別	10歳代	36	1	28	7	-	36	12	19	5	-
		100.0	2.8	77.8	19.4	-	100.0	33.3	52.8	13.9	-
	20歳代	65	10	33	19	3	65	23	34	6	2
		100.0	15.4	50.8	29.2	4.6	100.0	35.4	52.3	9.2	3.1
	30歳代	117	13	70	32	2	117	31	66	18	2
		100.0	11.1	59.8	27.4	1.7	100.0	26.5	56.4	15.4	1.7
	40歳代	147	32	80	32	3	147	47	76	21	3
		100.0	21.8	54.4	21.8	2.0	100.0	32.0	51.7	14.3	2.0
50歳代	138	31	71	33	3	138	35	76	24	3	
	100.0	22.5	51.4	23.9	2.2	100.0	25.4	55.1	17.4	2.2	
60歳代	194	29	100	55	10	194	31	113	41	9	
	100.0	14.9	51.5	28.4	5.2	100.0	16.0	58.2	21.1	4.6	
70歳以上	201	21	85	63	32	201	22	95	55	29	
	100.0	10.4	42.3	31.3	15.9	100.0	10.9	47.3	27.4	14.4	
		全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女性	525	222	51	212	40	525	159	120	205	41
		100.0	42.3	9.7	40.4	7.6	100.0	30.3	22.9	39.0	7.8
	男性	360	137	85	121	17	360	73	147	123	17
		100.0	38.1	23.6	33.6	4.7	100.0	20.3	40.8	34.2	4.7
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	3	-	2	1	6	1	3	1	1
		100.0	50.0	-	33.3	16.7	100.0	16.7	50.0	16.7	16.7
年齢別	10歳代	36	12	9	13	2	36	10	15	9	2
		100.0	33.3	25.0	36.1	5.6	100.0	27.8	41.7	25.0	5.6
	20歳代	65	25	14	23	3	65	29	14	18	4
		100.0	38.5	21.5	35.4	4.6	100.0	44.6	21.5	27.7	6.2
	30歳代	117	51	15	48	3	117	40	25	49	3
		100.0	43.6	12.8	41.0	2.6	100.0	34.2	21.4	41.9	2.6
	40歳代	147	69	18	53	7	147	50	40	52	5
		100.0	46.9	12.2	36.1	4.8	100.0	34.0	27.2	35.4	3.4
50歳代	138	63	23	44	8	138	46	41	44	7	
	100.0	45.7	16.7	31.9	5.8	100.0	33.3	29.7	31.9	5.1	
60歳代	194	77	23	86	8	194	41	68	78	7	
	100.0	39.7	11.9	44.3	4.1	100.0	21.1	35.1	40.2	3.6	
70歳以上	201	67	35	70	29	201	18	69	81	33	
	100.0	33.3	17.4	34.8	14.4	100.0	9.0	34.3	40.3	16.4	

		(11) インターネット(パソコン、スマートフォンなど)を悪用した 人権侵害の問題					(12) ホームレスの人に関する問題				
		全 体	内容まで知っ ている	聞いたことが あるが、内容 まで知らない	知らない	無回答	全 体	内容まで知っ ている	聞いたことが あるが、内容 まで知らない	知らない	無回答
性別	女 性	525	107	273	114	31	525	64	266	160	35
		100.0	20.4	52.0	21.7	5.9	100.0	12.2	50.7	30.5	6.7
	男 性	360	112	172	65	11	360	76	189	85	10
		100.0	31.1	47.8	18.1	3.1	100.0	21.1	52.5	23.6	2.8
	男性・女性と答える ことに抵抗を感じる	6	1	3	1	1	6	1	2	2	1
		100.0	16.7	50.0	16.7	16.7	100.0	16.7	33.3	33.3	16.7
年齢別	10歳代	36	14	18	3	1	36	8	19	9	-
		100.0	38.9	50.0	8.3	2.8	100.0	22.2	52.8	25.0	-
	20歳代	65	23	35	5	2	65	14	34	15	2
		100.0	35.4	53.8	7.7	3.1	100.0	21.5	52.3	23.1	3.1
	30歳代	117	36	56	23	2	117	11	64	40	2
		100.0	30.8	47.9	19.7	1.7	100.0	9.4	54.7	34.2	1.7
	40歳代	147	52	75	17	3	147	23	83	37	4
		100.0	35.4	51.0	11.6	2.0	100.0	15.6	56.5	25.2	2.7
	50歳代	138	40	71	25	2	138	34	65	37	2
		100.0	29.0	51.4	18.1	1.4	100.0	24.6	47.1	26.8	1.4
	60歳代	194	30	101	53	10	194	26	105	53	10
		100.0	15.5	52.1	27.3	5.2	100.0	13.4	54.1	27.3	5.2
	70歳以上	201	27	93	56	25	201	26	88	59	28
		100.0	13.4	46.3	27.9	12.4	100.0	12.9	43.8	29.4	13.9
		全 体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全 体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女 性	525	260	44	181	40	525	127	136	228	34
		100.0	49.5	8.4	34.5	7.6	100.0	24.2	25.9	43.4	6.5
	男 性	360	160	94	90	16	360	81	144	118	17
		100.0	44.4	26.1	25.0	4.4	100.0	22.5	40.0	32.8	4.7
	男性・女性と答える ことに抵抗を感じる	6	4	-	1	1	6	2	3	1	-
		100.0	66.7	-	16.7	16.7	100.0	33.3	50.0	16.7	-
年齢別	10歳代	36	21	7	6	2	36	9	15	10	2
		100.0	58.3	19.4	16.7	5.6	100.0	25.0	41.7	27.8	5.6
	20歳代	65	42	5	16	2	65	19	24	20	2
		100.0	64.6	7.7	24.6	3.1	100.0	29.2	36.9	30.8	3.1
	30歳代	117	64	14	35	4	117	34	30	50	3
		100.0	54.7	12.0	29.9	3.4	100.0	29.1	25.6	42.7	2.6
	40歳代	147	90	19	32	6	147	32	53	56	6
		100.0	61.2	12.9	21.8	4.1	100.0	21.8	36.1	38.1	4.1
	50歳代	138	67	25	38	8	138	38	44	48	8
		100.0	48.6	18.1	27.5	5.8	100.0	27.5	31.9	34.8	5.8
	60歳代	194	84	33	73	4	194	45	58	87	4
		100.0	43.3	17.0	37.6	2.1	100.0	23.2	29.9	44.8	2.1
	70歳以上	201	58	35	75	33	201	34	60	79	28
		100.0	28.9	17.4	37.3	16.4	100.0	16.9	29.9	39.3	13.9

		(13) 性的指向(異性愛・同性愛・両性愛)を理由とした人権侵害の問題					(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題				
		全 体	内容まで知っ ている	聞いたことが あるが、内容 まで知らない	知らない	無回答	全 体	内容まで知っ ている	聞いたことが あるが、内容 まで知らない	知らない	無回答
性別	女 性	525	75	264	148	38	525	162	262	67	34
		100.0	14.3	50.3	28.2	7.2	100.0	30.9	49.9	12.8	6.5
	男 性	360	60	195	95	10	360	141	175	32	12
		100.0	16.7	54.2	26.4	2.8	100.0	39.2	48.6	8.9	3.3
男性・女性と答える ことに抵抗を感じる		6	2	1	2	1	6	2	1	2	1
		100.0	33.3	16.7	33.3	16.7	100.0	33.3	16.7	33.3	16.7
年齢別	10歳代	36	7	20	9	-	36	15	15	6	-
		100.0	19.4	55.6	25.0	-	100.0	41.7	41.7	16.7	-
	20歳代	65	19	32	12	2	65	18	38	8	1
		100.0	29.2	49.2	18.5	3.1	100.0	27.7	58.5	12.3	1.5
	30歳代	117	23	61	31	2	117	31	70	14	2
		100.0	19.7	52.1	26.5	1.7	100.0	26.5	59.8	12.0	1.7
	40歳代	147	30	85	28	4	147	54	72	17	4
		100.0	20.4	57.8	19.0	2.7	100.0	36.7	49.0	11.6	2.7
	50歳代	138	26	76	33	3	138	55	61	19	3
		100.0	18.8	55.1	23.9	2.2	100.0	39.9	44.2	13.8	2.2
	60歳代	194	17	106	60	11	194	75	91	17	11
		100.0	8.8	54.6	30.9	5.7	100.0	38.7	46.9	8.8	5.7
	70歳以上	201	16	81	75	29	201	60	91	22	28
		100.0	8.0	40.3	37.3	14.4	100.0	29.9	45.3	10.9	13.9
		全 体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全 体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女 性	525	124	131	235	35	525	263	50	178	34
		100.0	23.6	25.0	44.8	6.7	100.0	50.1	9.5	33.9	6.5
	男 性	360	65	144	136	15	360	199	70	76	15
		100.0	18.1	40.0	37.8	4.2	100.0	55.3	19.4	21.1	4.2
男性・女性と答える ことに抵抗を感じる		6	1	2	3	-	6	2	-	4	-
		100.0	16.7	33.3	50.0	-	100.0	33.3	-	66.7	-
年齢別	10歳代	36	9	11	14	2	36	15	10	9	2
		100.0	25.0	30.6	38.9	5.6	100.0	41.7	27.8	25.0	5.6
	20歳代	65	26	16	21	2	65	30	12	20	3
		100.0	40.0	24.6	32.3	3.1	100.0	46.2	18.5	30.8	4.6
	30歳代	117	33	29	52	3	117	48	21	45	3
		100.0	28.2	24.8	44.4	2.6	100.0	41.0	17.9	38.5	2.6
	40歳代	147	39	47	56	5	147	70	22	50	5
		100.0	26.5	32.0	38.1	3.4	100.0	47.6	15.0	34.0	3.4
	50歳代	138	35	42	54	7	138	71	19	40	8
		100.0	25.4	30.4	39.1	5.1	100.0	51.4	13.8	29.0	5.8
	60歳代	194	31	63	95	5	194	131	15	44	4
		100.0	16.0	32.5	49.0	2.6	100.0	67.5	7.7	22.7	2.1
	70歳以上	201	18	71	84	28	201	101	22	52	26
		100.0	9.0	35.3	41.8	13.9	100.0	50.2	10.9	25.9	12.9

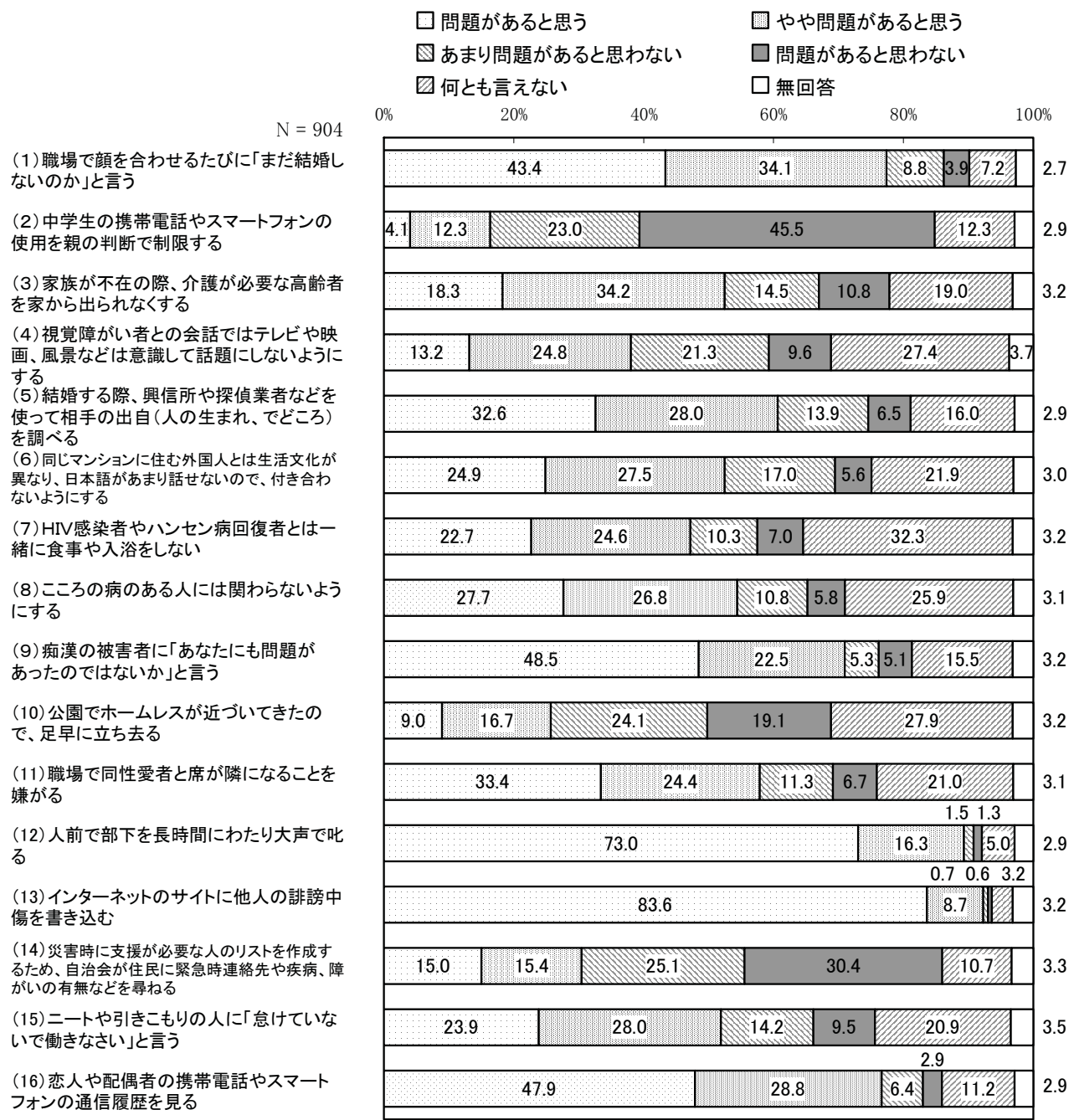
		(15) 刑を終えて出所した人に関する問題					(16) アイヌの人々に関する問題				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	49	247	192	37	525	39	186	264	36
		100.0	9.3	47.0	36.6	7.0	100.0	7.4	35.4	50.3	6.9
	男性	360	74	178	93	15	360	50	150	147	13
		100.0	20.6	49.4	25.8	4.2	100.0	13.9	41.7	40.8	3.6
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	-	3	2	1	6	-	2	3	1
		100.0	-	50.0	33.3	16.7	100.0	-	33.3	50.0	16.7
年齢別	10歳代	36	4	20	12	-	36	6	17	13	-
		100.0	11.1	55.6	33.3	-	100.0	16.7	47.2	36.1	-
	20歳代	65	9	32	21	3	65	10	22	31	2
		100.0	13.8	49.2	32.3	4.6	100.0	15.4	33.8	47.7	3.1
	30歳代	117	13	59	43	2	117	10	48	56	3
		100.0	11.1	50.4	36.8	1.7	100.0	8.5	41.0	47.9	2.6
	40歳代	147	25	76	43	3	147	15	61	69	2
		100.0	17.0	51.7	29.3	2.0	100.0	10.2	41.5	46.9	1.4
	50歳代	138	28	67	40	3	138	16	54	66	2
		100.0	20.3	48.6	29.0	2.2	100.0	11.6	39.1	47.8	1.4
	60歳代	194	20	108	54	12	194	18	73	91	12
		100.0	10.3	55.7	27.8	6.2	100.0	9.3	37.6	46.9	6.2
	70歳以上	201	25	69	75	32	201	15	64	91	31
		100.0	12.4	34.3	37.3	15.9	100.0	7.5	31.8	45.3	15.4
		全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女性	525	160	81	247	37	525	89	113	285	38
		100.0	30.5	15.4	47.0	7.0	100.0	17.0	21.5	54.3	7.2
	男性	360	115	112	117	16	360	79	122	140	19
		100.0	31.9	31.1	32.5	4.4	100.0	21.9	33.9	38.9	5.3
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	3	1	2	-	6	1	3	2	-
		100.0	50.0	16.7	33.3	-	100.0	16.7	50.0	33.3	-
年齢別	10歳代	36	10	12	12	2	36	8	12	14	2
		100.0	27.8	33.3	33.3	5.6	100.0	22.2	33.3	38.9	5.6
	20歳代	65	21	18	23	3	65	16	19	26	4
		100.0	32.3	27.7	35.4	4.6	100.0	24.6	29.2	40.0	6.2
	30歳代	117	48	22	44	3	117	21	30	62	4
		100.0	41.0	18.8	37.6	2.6	100.0	17.9	25.6	53.0	3.4
	40歳代	147	53	34	54	6	147	26	46	70	5
		100.0	36.1	23.1	36.7	4.1	100.0	17.7	31.3	47.6	3.4
	50歳代	138	48	28	55	7	138	27	46	57	8
		100.0	34.8	20.3	39.9	5.1	100.0	19.6	33.3	41.3	5.8
	60歳代	194	54	44	90	6	194	45	40	103	6
		100.0	27.8	22.7	46.4	3.1	100.0	23.2	20.6	53.1	3.1
	70歳以上	201	45	37	92	27	201	27	46	98	30
		100.0	22.4	18.4	45.8	13.4	100.0	13.4	22.9	48.8	14.9

		(17) 人身取引(性的搾取・強制労働などを目的とした人身取引)に関する問題					(18) 働く人の権利に関する問題				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	46	216	228	35	525	95	282	111	37
		100.0	8.8	41.1	43.4	6.7	100.0	18.1	53.7	21.1	7.0
	男性	360	56	166	127	11	360	107	171	68	14
		100.0	15.6	46.1	35.3	3.1	100.0	29.7	47.5	18.9	3.9
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	2	1	2	1	6	2	3	-	1
		100.0	33.3	16.7	33.3	16.7	100.0	33.3	50.0	-	16.7
年齢別	10歳代	36	4	24	8	-	36	9	17	10	-
		100.0	11.1	66.7	22.2	-	100.0	25.0	47.2	27.8	-
	20歳代	65	9	26	29	1	65	16	35	11	3
		100.0	13.8	40.0	44.6	1.5	100.0	24.6	53.8	16.9	4.6
	30歳代	117	11	60	44	2	117	23	66	26	2
		100.0	9.4	51.3	37.6	1.7	100.0	19.7	56.4	22.2	1.7
	40歳代	147	18	68	58	3	147	40	69	32	6
		100.0	12.2	46.3	39.5	2.0	100.0	27.2	46.9	21.8	4.1
	50歳代	138	23	59	53	3	138	39	72	24	3
		100.0	16.7	42.8	38.4	2.2	100.0	28.3	52.2	17.4	2.2
	60歳代	194	20	81	83	10	194	41	110	33	10
		100.0	10.3	41.8	42.8	5.2	100.0	21.1	56.7	17.0	5.2
	70歳以上	201	20	65	86	30	201	38	87	46	30
		100.0	10.0	32.3	42.8	14.9	100.0	18.9	43.3	22.9	14.9
		全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答	全体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女性	525	147	77	267	34	525	302	30	157	36
		100.0	28.0	14.7	50.9	6.5	100.0	57.5	5.7	29.9	6.9
	男性	360	108	98	137	17	360	199	62	84	15
		100.0	30.0	27.2	38.1	4.7	100.0	55.3	17.2	23.3	4.2
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	2	1	3	-	6	4	1	1	-
		100.0	33.3	16.7	50.0	-	100.0	66.7	16.7	16.7	-
年齢別	10歳代	36	13	12	9	2	36	19	6	9	2
		100.0	36.1	33.3	25.0	5.6	100.0	52.8	16.7	25.0	5.6
	20歳代	65	23	16	23	3	65	45	4	14	2
		100.0	35.4	24.6	35.4	4.6	100.0	69.2	6.2	21.5	3.1
	30歳代	117	47	18	49	3	117	78	7	29	3
		100.0	40.2	15.4	41.9	2.6	100.0	66.7	6.0	24.8	2.6
	40歳代	147	36	33	74	4	147	94	13	34	6
		100.0	24.5	22.4	50.3	2.7	100.0	63.9	8.8	23.1	4.1
	50歳代	138	50	28	53	7	138	82	12	37	7
		100.0	36.2	20.3	38.4	5.1	100.0	59.4	8.7	26.8	5.1
	60歳代	194	51	37	98	8	194	109	24	55	6
		100.0	26.3	19.1	50.5	4.1	100.0	56.2	12.4	28.4	3.1
	70歳以上	201	38	33	104	26	201	81	27	66	27
		100.0	18.9	16.4	51.7	12.9	100.0	40.3	13.4	32.8	13.4

		(19) 東日本大震災に伴う人権問題				
		全 体	内容まで知っ ている	聞いたことが あるが、内容 まで知らない	知らない	無回答
性別	女 性	525	56	228	207	34
		100.0	10.7	43.4	39.4	6.5
	男 性	360	73	163	112	12
		100.0	20.3	45.3	31.1	3.3
男性・女性と答える ことに抵抗を感じる		6	-	4	1	1
		100.0	-	66.7	16.7	16.7
年齢別	10歳代	36	7	16	13	-
		100.0	19.4	44.4	36.1	-
	20歳代	65	13	31	19	2
		100.0	20.0	47.7	29.2	3.1
	30歳代	117	13	57	45	2
		100.0	11.1	48.7	38.5	1.7
	40歳代	147	28	51	63	5
		100.0	19.0	34.7	42.9	3.4
	50歳代	138	25	61	49	3
		100.0	18.1	44.2	35.5	2.2
	60歳代	194	22	91	71	10
		100.0	11.3	46.9	36.6	5.2
	70歳以上	201	22	88	64	27
		100.0	10.9	43.8	31.8	13.4
		全 体	関心がある	関心がない	わからない	無回答
性別	女 性	525	245	34	208	38
		100.0	46.7	6.5	39.6	7.2
	男 性	360	168	52	125	15
		100.0	46.7	14.4	34.7	4.2
男性・女性と答える ことに抵抗を感じる		6	2	1	3	-
		100.0	33.3	16.7	50.0	-
年齢別	10歳代	36	19	6	9	2
		100.0	52.8	16.7	25.0	5.6
	20歳代	65	35	8	19	3
		100.0	53.8	12.3	29.2	4.6
	30歳代	117	64	11	39	3
		100.0	54.7	9.4	33.3	2.6
	40歳代	147	68	13	60	6
		100.0	46.3	8.8	40.8	4.1
	50歳代	138	58	14	59	7
		100.0	42.0	10.1	42.8	5.1
	60歳代	194	99	11	77	7
		100.0	51.0	5.7	39.7	3.6
	70歳以上	201	74	24	76	27
		100.0	36.8	11.9	37.8	13.4

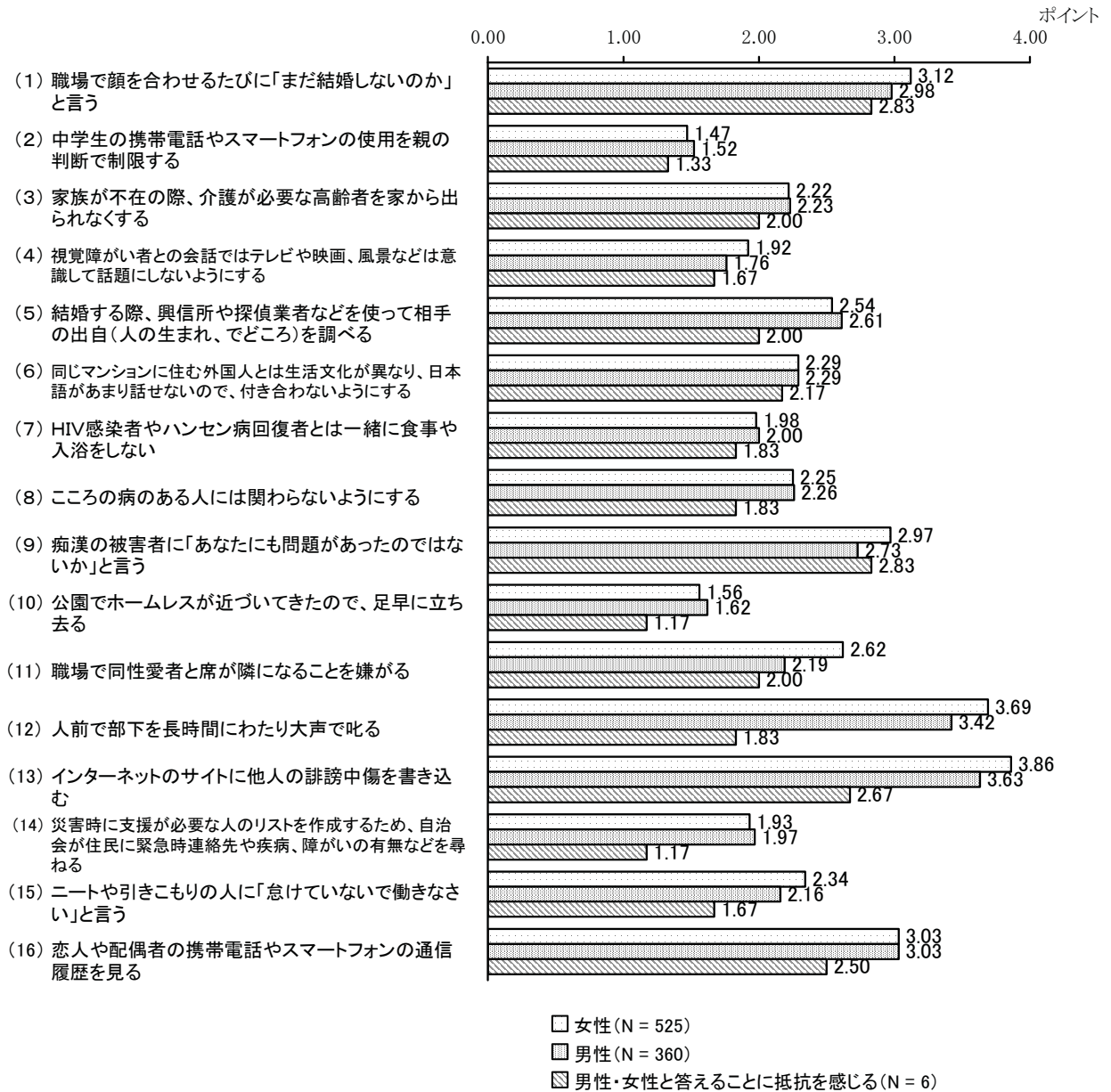
問7 あなたは、次のことがらについて、人権上問題があると思いますか。【(1)～(16)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

「問題があると思う」と「やや問題があると思う」をあわせた“問題があると思う”の割合が「(13) インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む」で最も高く、次いで「(12) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱る」、「(1) 職場で顔を合わせるたびに「まだ結婚しないのか」と言う」となっています。また、「あまり問題があると思わない」と「問題があると思わない」をあわせた“問題があると思わない”の割合が「(2) 中学生の携帯電話やスマートフォンの使用を親の判断で制限する」で最も高く、次いで「(14) 災害時に支援が必要な人のリストを作成するため、自治会が住民に緊急時連絡先や疾病、障がいの有無などを尋ねる」、「(10) 公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る」となっています。



【加重平均による性別比較】

加重平均による性別比較をすると、男性に比べ、女性で「(11) 職場で同性愛者と席が隣になることを嫌がる」の割合が高くなっています。

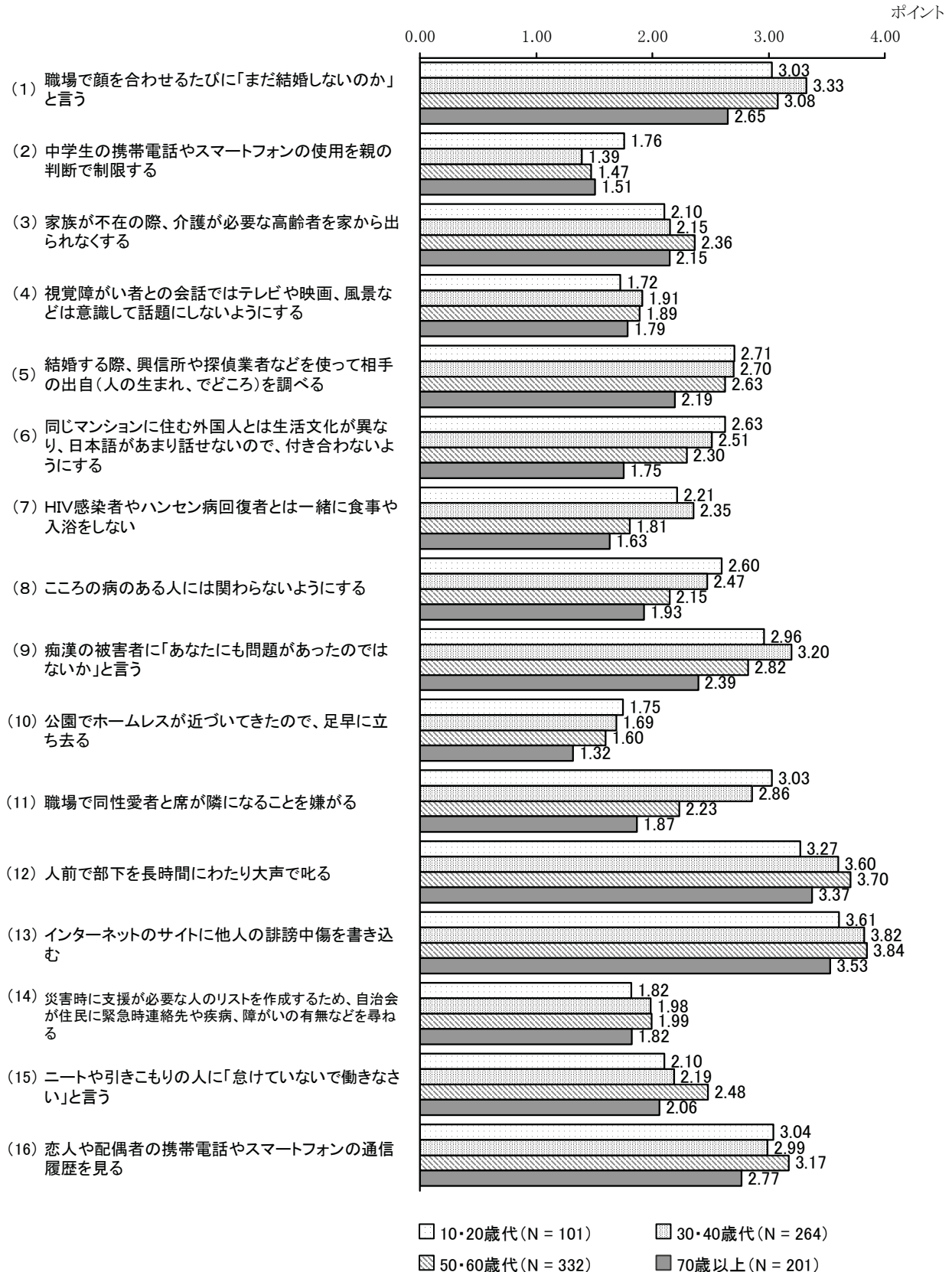


※加重平均の求め方

- ・「問題があると思う」＝4点・「やや問題があると思う」＝3点・「あまり問題があると思わない」＝2点・「問題があると思わない」＝1点・「何とも言えない」＝0点として、回答選択肢に重み付けをする。
- ・次に、上記の重み付けの点数に各選択肢の回答者数を乗じて各選択肢の得点を算出し、5つの選択肢の得点を合計することで、当該設問項目の総得点を求める。
- ・この総得点を当該設問項目の有効回答者数（当該設問でいずれの選択肢にも回答しなかった無回答者を除いた人数）で除することで求められる算術平均値を加重平均とする。

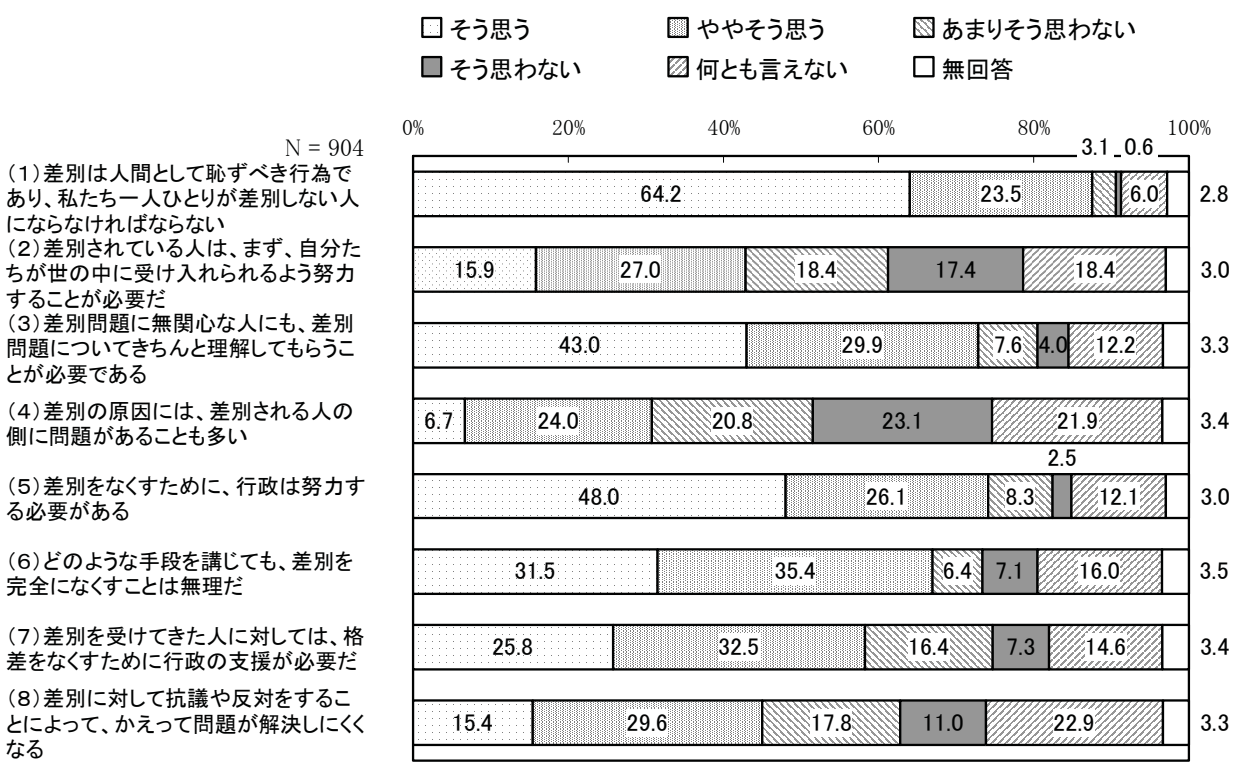
【加重平均による年齢別比較】

加重平均による年齢別比較をすると、年齢が低くなるにつれ「同じマンションに住む外国人とは生活文化が異なり、日本語があまり話せないので、付き合わないようにする」「こころの病のある人には関わらないようにする」で問題があるとおもう人の割合が高くなっています。



**問8 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。
【(1)～(8)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】**

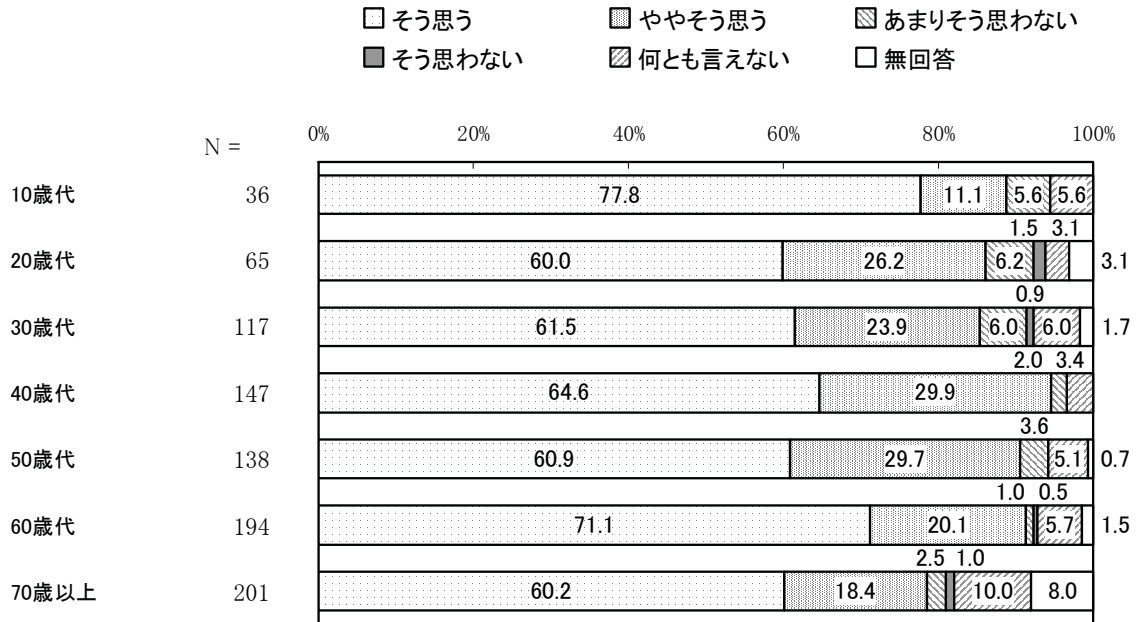
「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が「(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない」で最も高く、次いで「(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある」、「(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」となっています。また、「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が「(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い」で最も高く、次いで「(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ」、「(8) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる」となっています。



(1) 差別は人間として恥すべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならない
ならない

【年齢別】

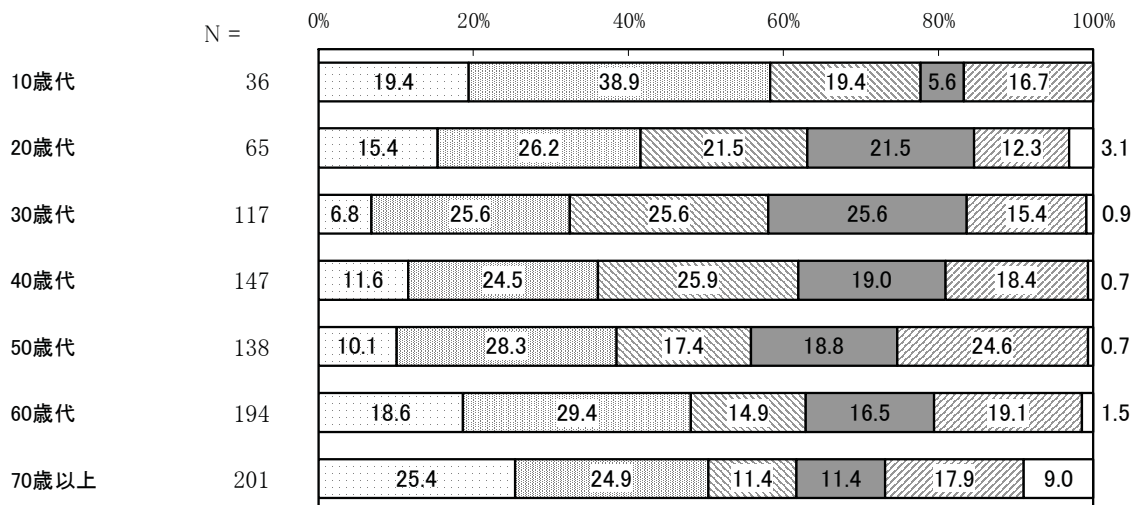
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ

【年齢別】

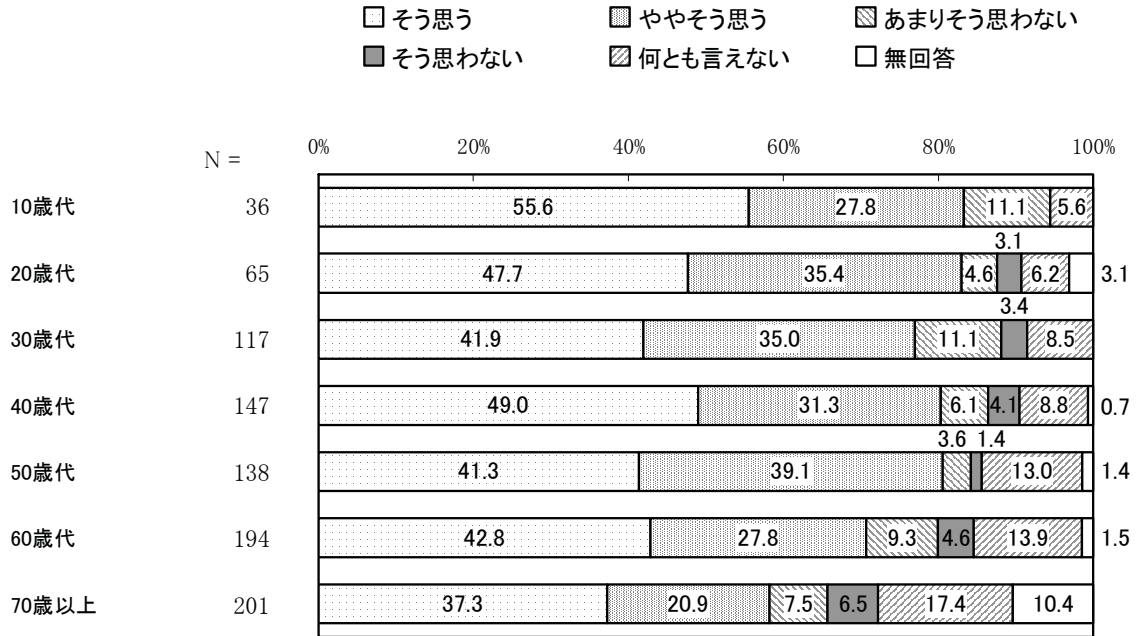
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。一方、30歳代では“そう思わない”の割合が高くなっています。



(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である

【年齢別】

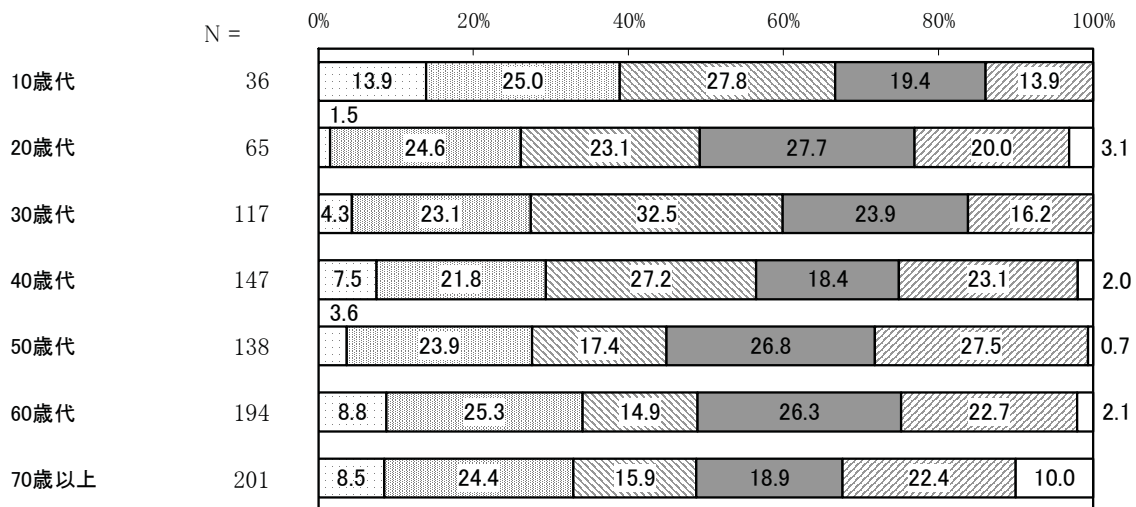
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い

【年齢別】

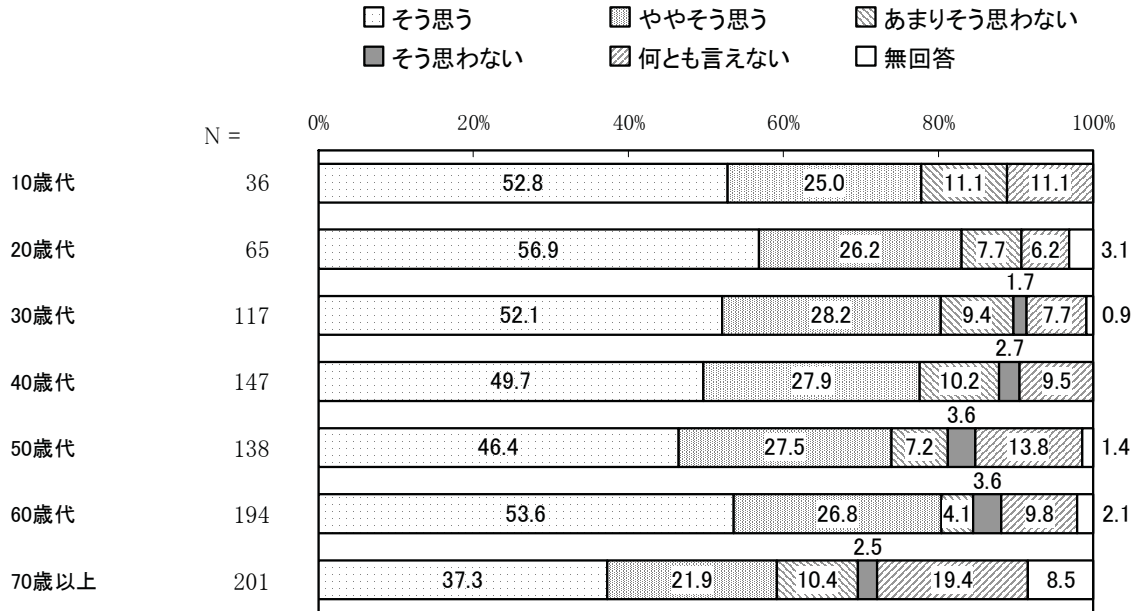
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。一方、30歳代では“そう思わない”の割合が高くなっています。



(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある

【年齢別】

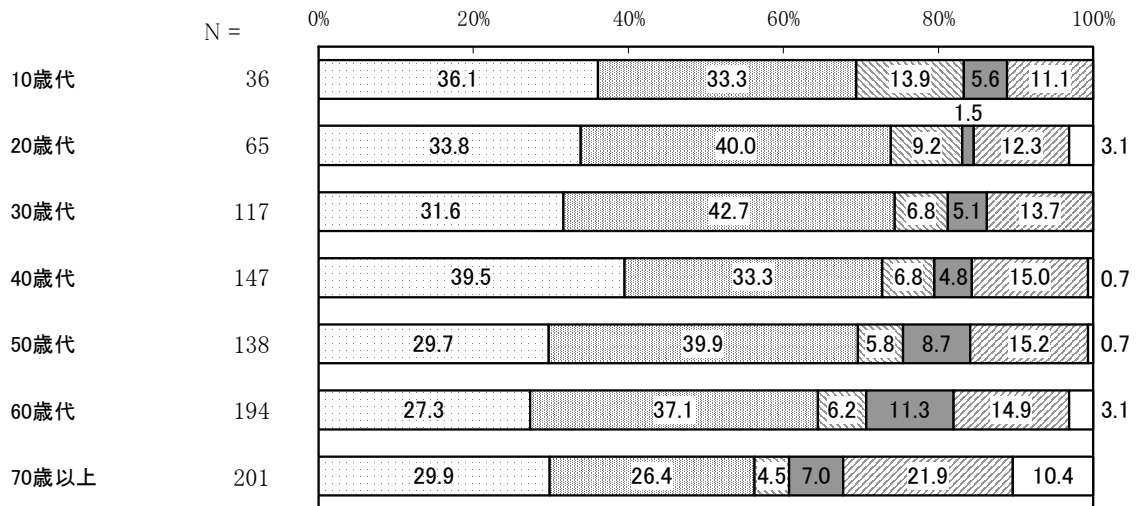
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ

【年齢別】

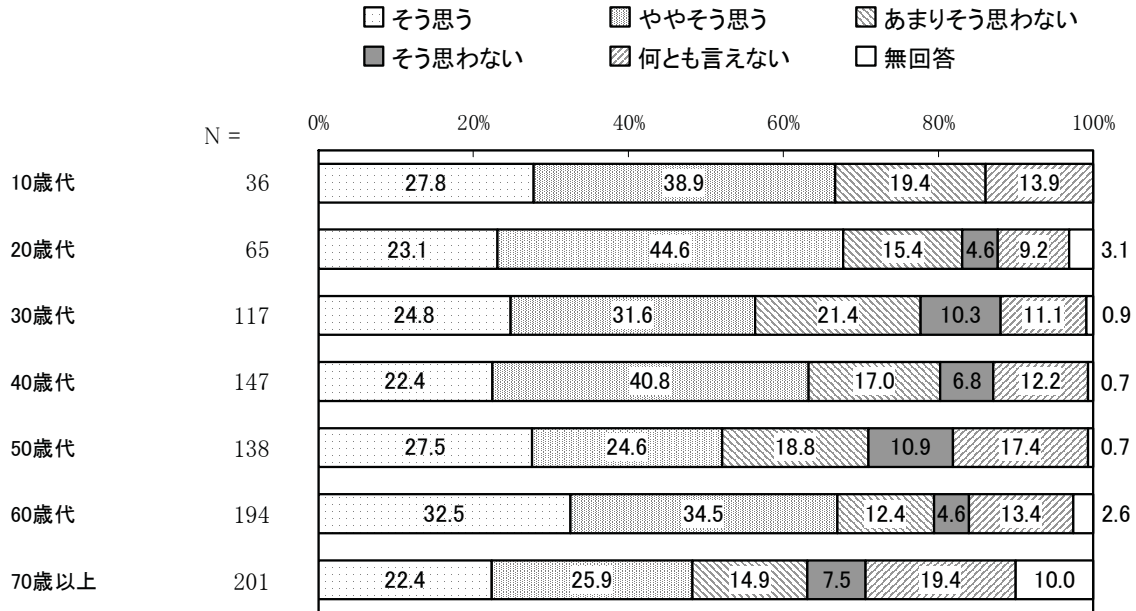
年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて“そう思う”の割合が低くなる傾向がみられます。



(7) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ

【年齢別】

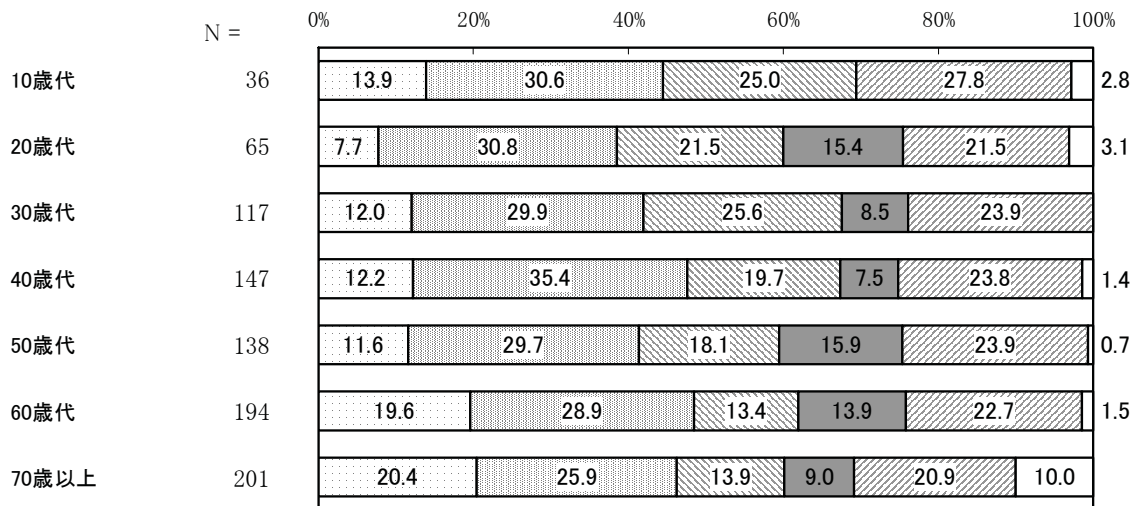
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



(8) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる

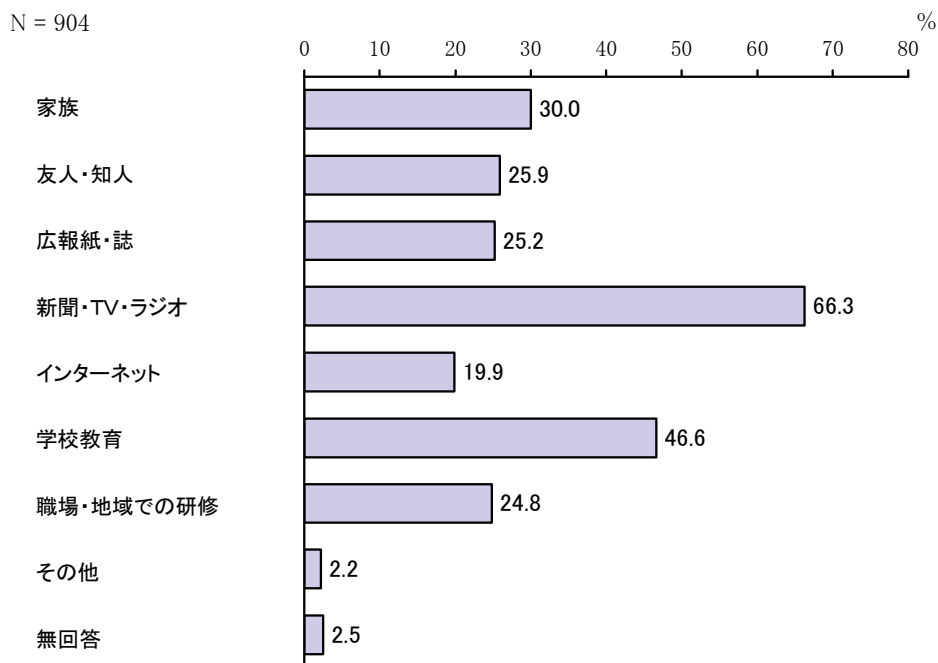
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で“そう思う”の割合が低くなっています。



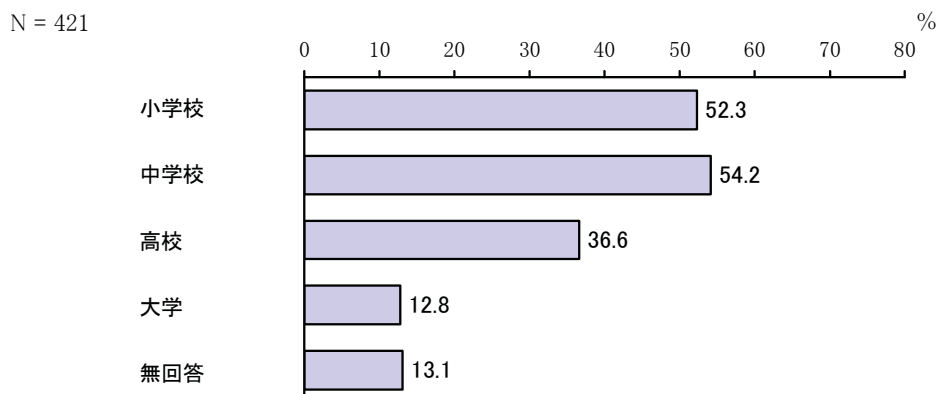
**問9 あなたは、人権問題についての情報や知識は主にどこで（何で）知りましたか。
【あてはまるものすべてに○】**

「新聞・TV・ラジオ」の割合が66.3%と最も高く、次いで「学校教育」の割合が46.6%、「家族」の割合が30.0%となっています。



問9で「学校教育」と答えた人

「中学校」の割合が54.2%と最も高く、次いで「小学校」の割合が52.3%、「高校」の割合が36.6%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「家族」の割合が高くなっています。一方、男性で「職場・地域での研修」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族	友人・知人	広報紙・誌	新聞・TV・ラジオ	インターネット	学校教育	職場・地域での研修	その他	無回答
女性	525	33.5	25.5	25.7	67.4	19.6	46.7	21.9	1.3	2.5
男性	360	25.8	27.2	25.6	65.3	20.8	46.9	29.7	3.6	1.9
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	16.7	33.3	—	50.0	16.7	66.7	33.3	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「インターネット」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

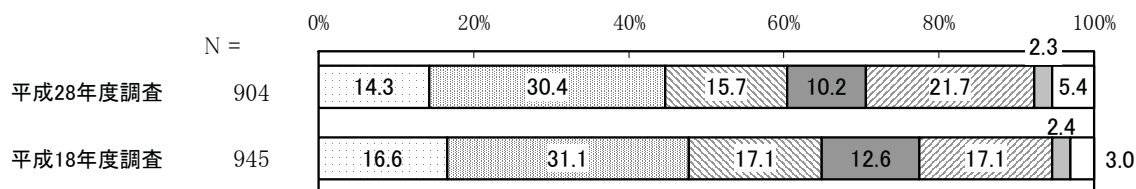
区分	有効回答数 (件)	家族	友人・知人	広報紙・誌	新聞・TV・ラジオ	インターネット	学校教育	職場・地域での研修	その他	無回答
10歳代	36	25.0	16.7	8.3	72.2	41.7	80.6	—	—	—
20歳代	65	33.8	16.9	13.8	67.7	40.0	73.8	21.5	—	1.5
30歳代	117	32.5	22.2	17.9	60.7	31.6	66.7	22.2	0.9	—
40歳代	147	32.0	23.1	26.5	70.7	33.3	61.9	31.3	6.8	0.7
50歳代	138	35.5	29.7	26.1	67.4	20.3	56.5	30.4	—	0.7
60歳代	194	29.4	33.0	32.0	64.9	7.2	32.5	28.9	2.1	2.1
70歳以上	201	24.4	25.9	28.9	66.2	5.0	16.4	19.4	2.5	7.0

問 10 学校や職場、ふだんの生活の中で、誰かが人を差別するような言動をとったとき、あなたはどのように対応しますか。【あてはまるもの1つに○】

「表向きは話を合わせつつ、差別はいけないことを伝える」の割合が30.4%と最も高く、次いで「今までそういう場面に出会ったことがない（見聞きしたことがない）」の割合が21.7%、「言動は問題だが、その人との人間関係が気まずくなると困るので、何も言わない」の割合が15.7%となっています。

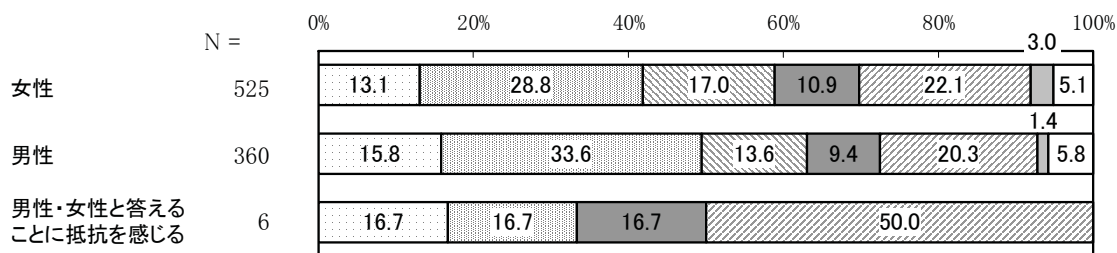
平成18年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- そのような言動は差別にあたるから、よくないと注意を促す
- 表向きは話を合わせつつ、差別はいけないことを伝える
- 言動は問題だが、その人との人間関係が気まずくなると困るので、何も言わない
- 言動は問題だが、世間ではよくあることなので、何も言わない
- 今までそういう場面に出会ったことがない（見聞きしたことがない）
- その他
- 無回答



【性別】

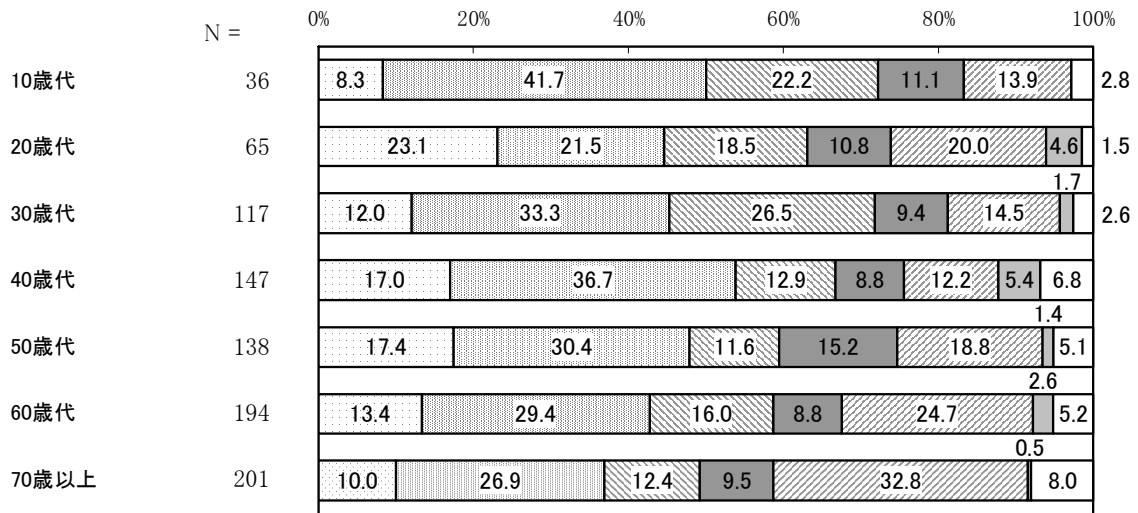
性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「表向きは話を合わせつつ、差別はいけないことを伝える」の割合が、70歳以上で「今までそういう場面に出会ったことがない(見聞きしたことがない)」の割合が高くなっています。

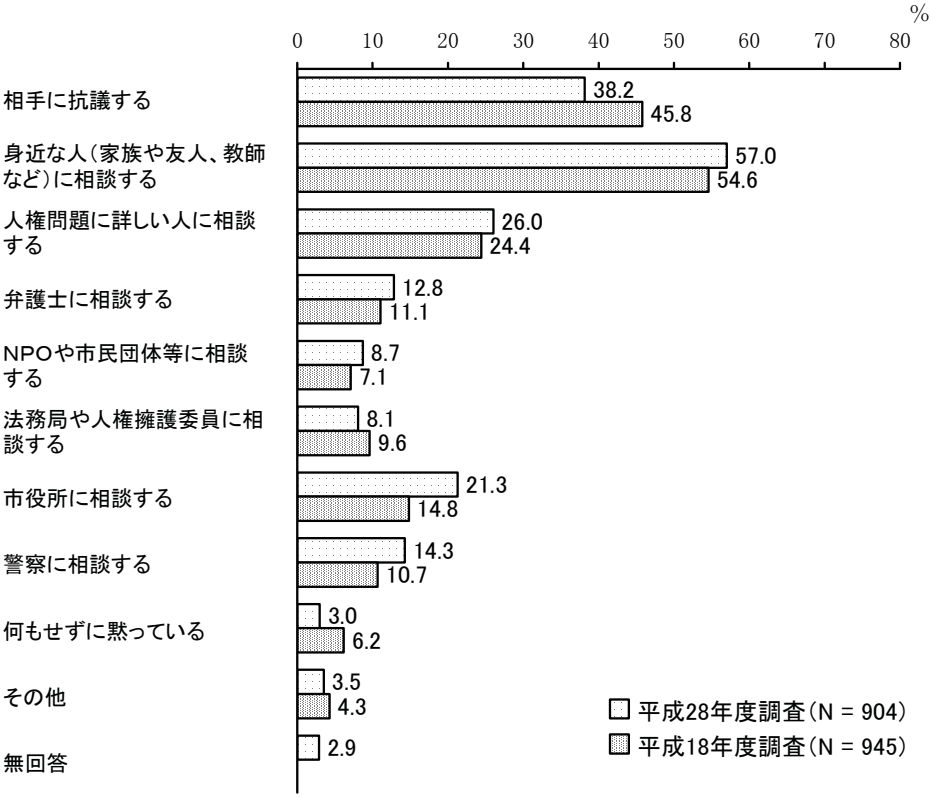
- そのような言動は差別にあたるから、よくないと注意を促す
- 表向きは話を合わせつつ、差別はいけないことを伝える
- 言動は問題だが、その人との人間関係が気まづくなると困るので、何も言わない
- 言動は問題だが、世間ではよくあることなので、何も言わない
- 今までそういう場面に出会ったことがない(見聞きしたことがない)
- その他
- 無回答



問 11 もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されるようなことがあったとき、あなたはどのように対応しますか。【あてはまるものすべてに○】

「身近な人（家族や友人、教師など）に相談する」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「相手に抗議する」の割合が 38.2%、「人権問題に詳しい人に相談する」の割合が 26.0%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「市役所に相談する」の割合が増加し、「相手に抗議する」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「身近な人（家族や友人、教師など）に相談する」の割合が高くなっています。一方、男性で「相手に抗議する」「法務局や人権擁護委員に相談する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	相手に抗議する	身近な人(家族や友人、教師など)に相談する	人権問題に詳しい人に相談する	弁護士に相談する	NPOや市民団体等に相談する	法務局や人権擁護委員に相談する	市役所に相談する	警察に相談する	何もせずに黙っている	その他	無回答
女性	525	33.0	65.7	26.9	12.0	9.5	4.6	20.4	14.3	3.0	2.9	2.3
男性	360	45.3	45.3	25.0	13.1	7.8	12.5	23.1	15.0	3.1	4.4	3.6
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	50.0	50.0	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「市役所に相談する」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

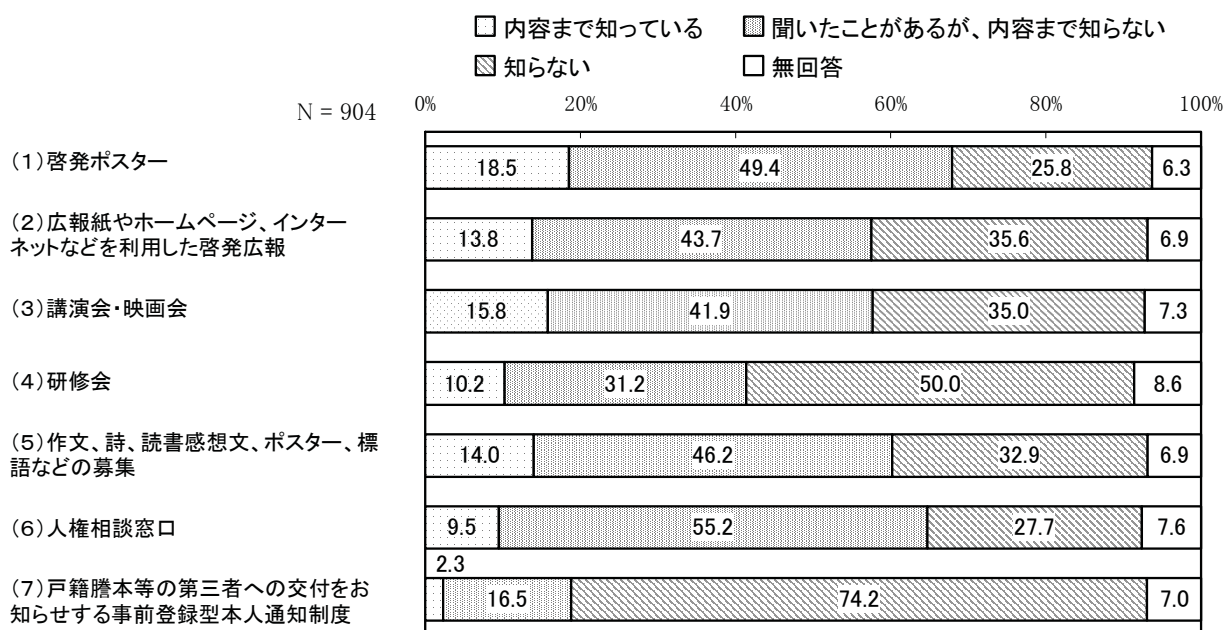
区分	有効回答数 (件)	相手に抗議する	身近な人 教師など) に相談する 家族や友人、	人権問題に詳しい人に 相談する	弁護士に相談する	NPOや市民団体に 相談する	法務局や人権擁護委員 に相談する	市役所に相談する	警察に相談する	何もせずに黙っている	その他	無回答
10歳代	36	44.4	69.4	13.9	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1	2.8	—	—
20歳代	65	50.8	69.2	16.9	9.2	3.1	4.6	9.2	13.8	4.6	1.5	1.5
30歳代	117	47.0	68.4	21.4	11.1	6.8	3.4	18.8	11.1	1.7	4.3	1.7
40歳代	147	44.9	66.0	29.9	17.0	10.9	7.5	17.0	13.6	—	6.1	2.0
50歳代	138	36.2	59.4	30.4	15.9	11.6	8.0	25.4	17.4	2.2	2.2	0.7
60歳代	194	34.0	51.0	28.4	10.8	9.8	10.8	25.3	13.4	4.1	3.1	3.1
70歳以上	201	28.4	41.8	26.4	12.9	8.0	10.4	26.9	16.4	5.0	4.0	6.0

3 人権問題に対する行政の取組について

問 12 あなたは、人権問題の解決に向けた次のような施策を知っていますか。また、効果があると思いますか。【(1)～(7)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

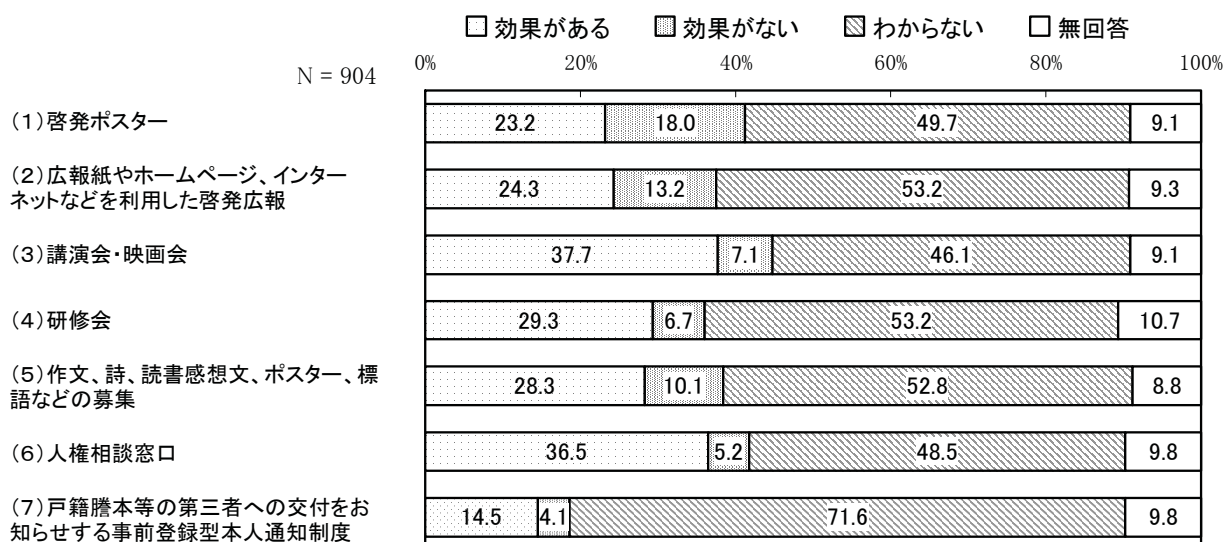
【認知度】

「内容まで知っている」の割合が「(1) 啓発ポスター」で最も高く、次いで「(3) 講演会・映画会」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」となっています。また、「知らない」の割合が「(7) 戸籍謄本等の第三者への交付をお知らせする事前登録型本人通知制度」で最も高く、次いで「(4) 研修会」、「(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報」となっています。



【効果】

「効果がある」の割合が「(3) 講演会・映画会」で最も高く、次いで「(6) 人権相談窓口」、「(4) 研修会」となっています。また、「効果がない」の割合が「(1) 啓発ポスター」で最も高く、次いで「(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」となっています。



【ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価】

7項目の質問項目について、「認知度」と「効果」を3つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化しました。

■ 認知度・効果の得点化の手順 ■

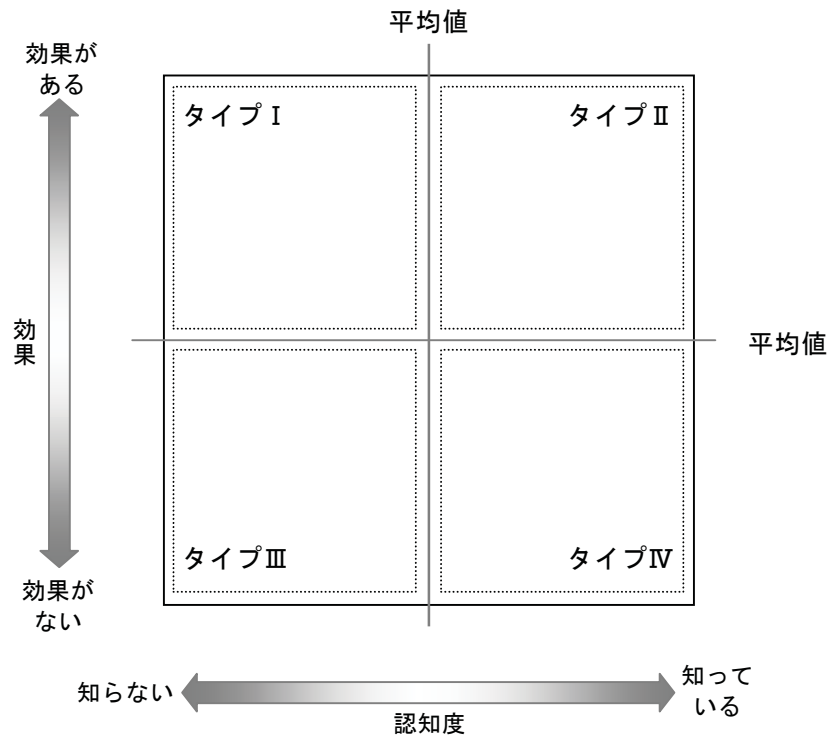
認知度		得点		効果		得点
内容まで知っている	→	1点		効果がある	→	1点
聞いたことがあるが、 内容まで知らない	→	0点		わからない	→	0点
知らない	→	△1点		効果がない	→	△1点

■ 得点の算出式 ■

$$\frac{(1点) \times \text{「内容まで知っている(効果がある)」の回答数} + (0点) \times \text{「聞いたことがあるが、内容まで知らない(わからない)」の回答数} + (\Delta 1点) \times \text{「知らない(効果がない)」の回答数}}{\text{無回答を除いた設問の回答総数}}$$

例えば、仮に全員が「内容まで知っている」を選んだ場合、その重要度の得点は 1.00 点になります。得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

各項目の認知度・効果得点の関係について、認知度と効果をそれぞれ縦軸と横軸にとり、認知度・効果得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の事業の方向性について分析しました。



◆タイプⅠ 認知度は低いが、効果は高い

◆タイプⅡ 認知度は高く、効果も高い

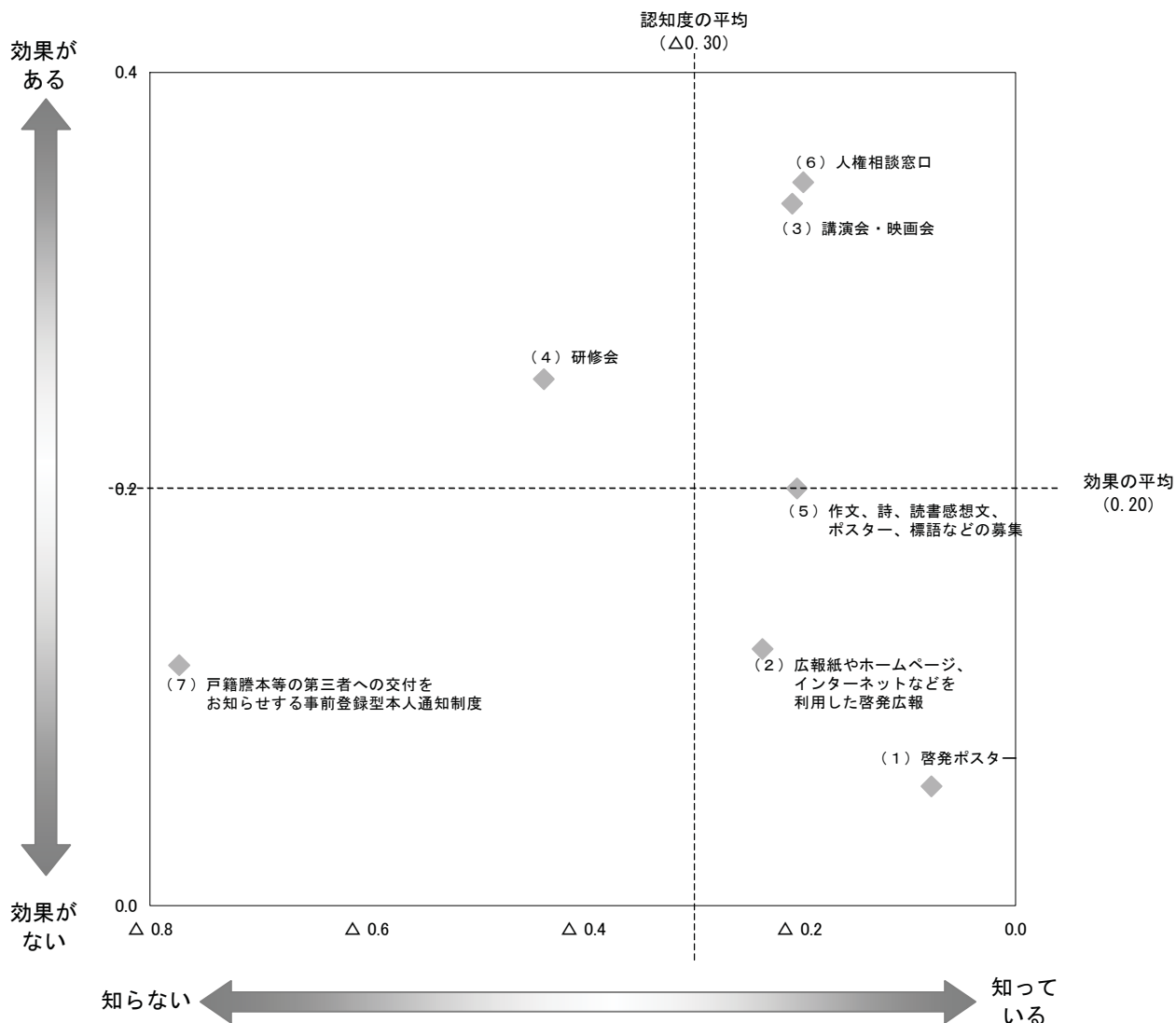
◆タイプⅢ 認知度は低く、効果も低い

◆タイプⅣ 認知度は高いが、効果は低い

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が $\Delta 0.08$ ポイントと最も高く、次いで、「(6) 人権相談窓口」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」が0.35ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(4) 研修会」が高くなっています。

また、認知度では、7項目中7項目が Δ （マイナス）となっています。

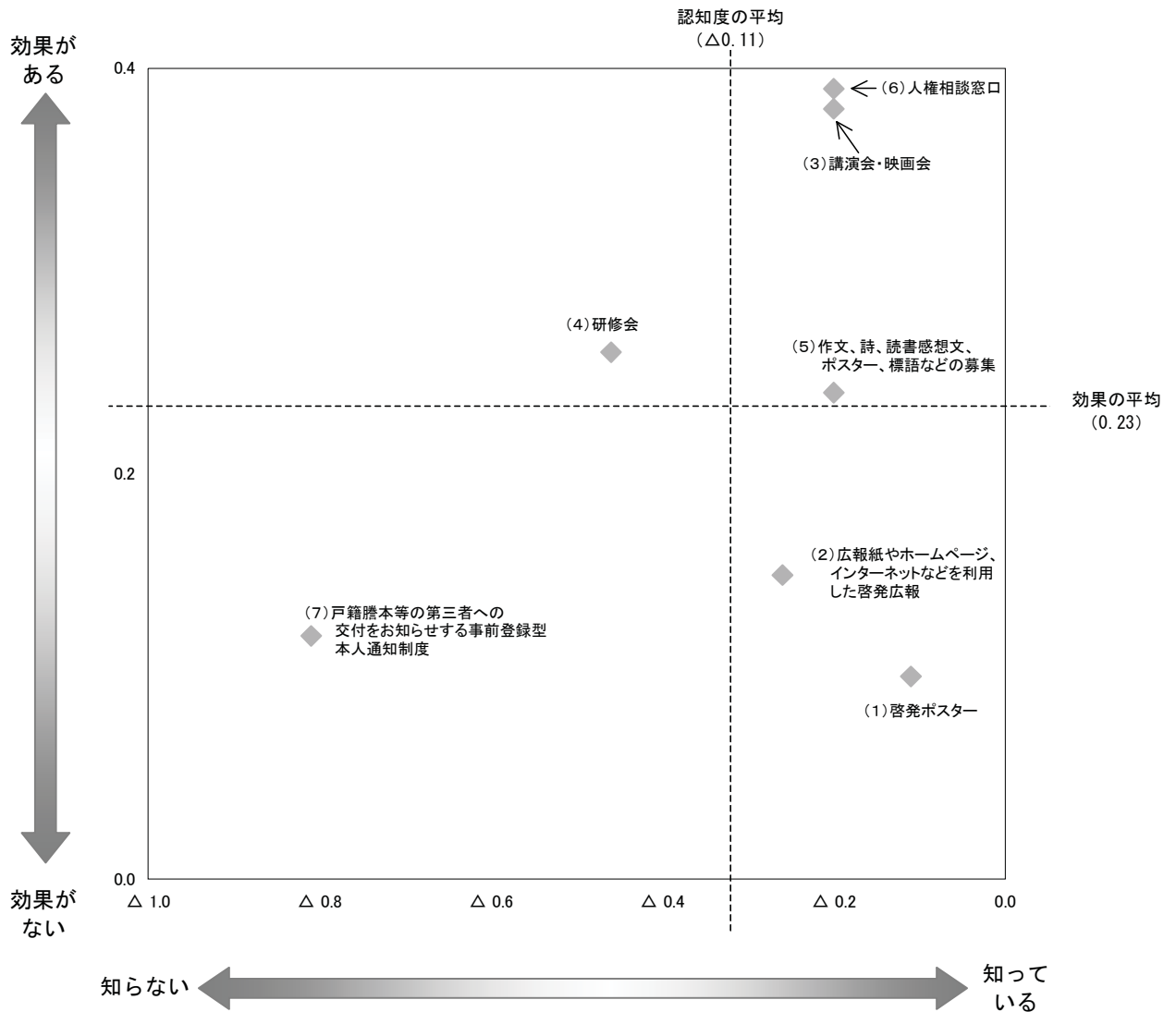


【女性】

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が $\Delta 0.11$ ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」が0.39ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(4) 研修会」が高くなっています。

また、認知度では、7項目中7項目が Δ （マイナス）となっています。

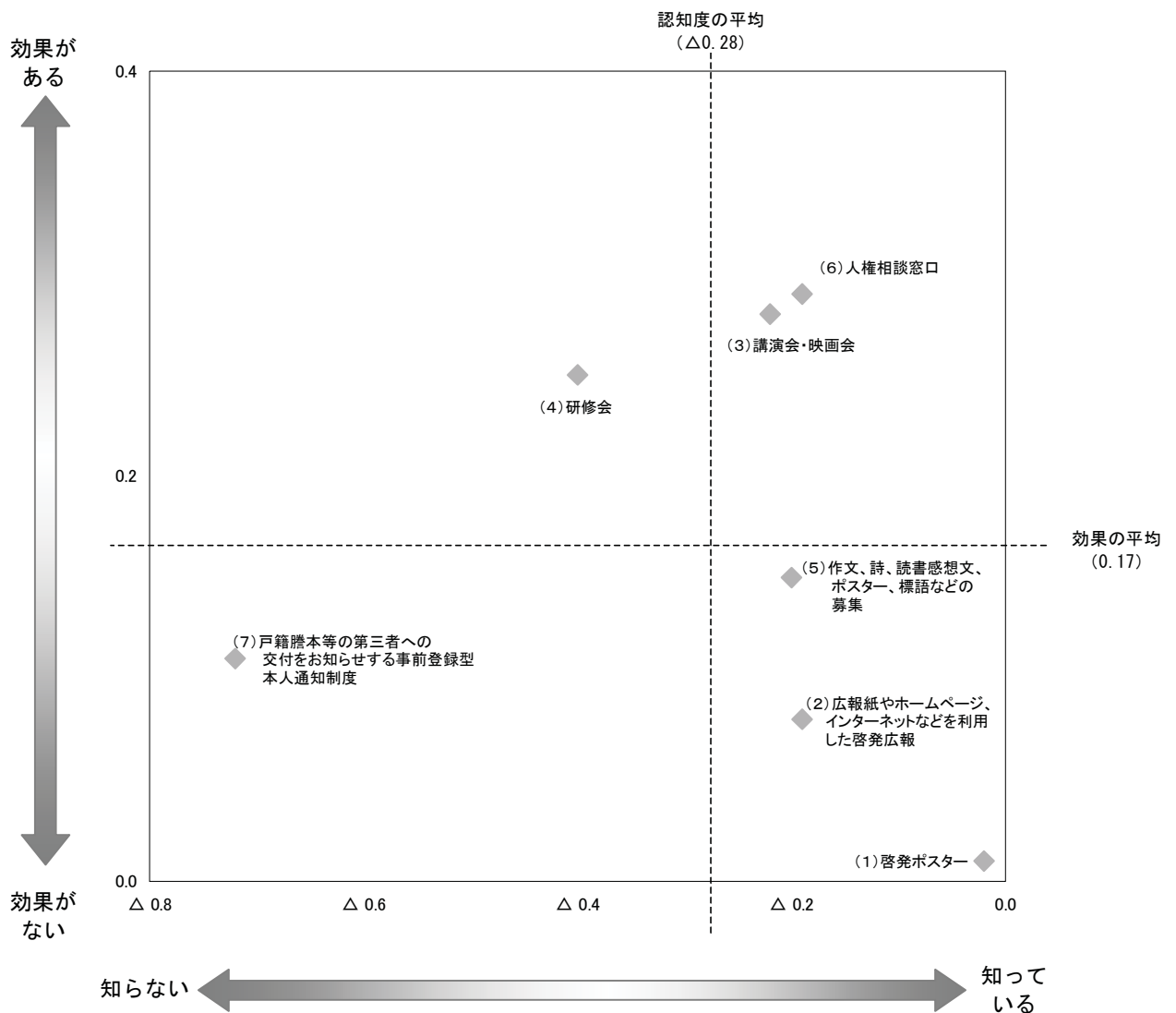


【男 性】

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が $\Delta 0.02$ ポイントと最も高く、次いで、「(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報」、「(6) 人権相談窓口」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」が0.29ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(4) 研修会」が高くなっています。

また、認知度では、7項目中7項目が Δ （マイナス）となっています。

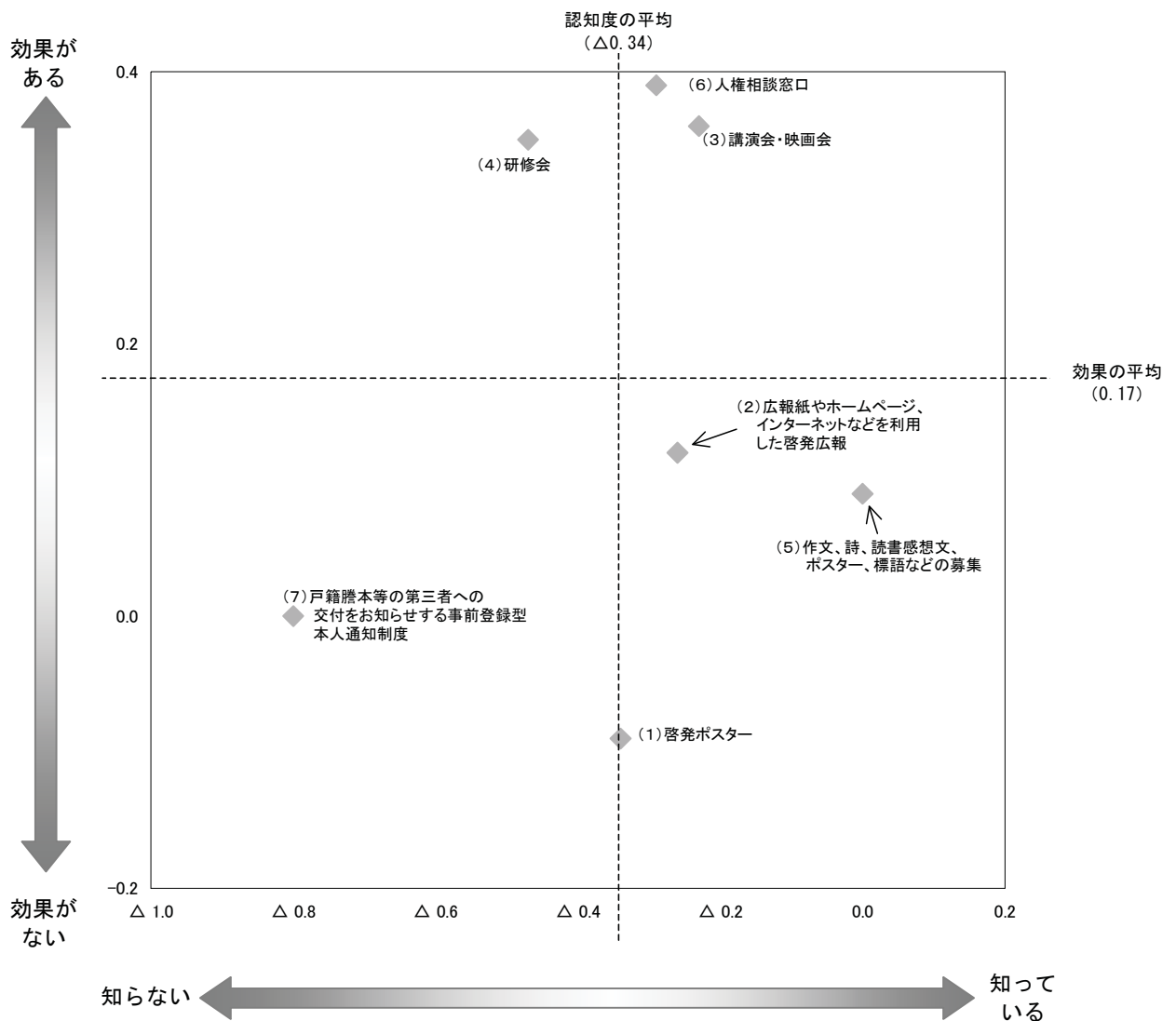


【10 歳代】

認知度については、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が 0.00 ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」が 0.39 ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(4) 研修会」が高くなっています。

また、認知度では、7 項目中 6 項目が△（マイナス）となっています。

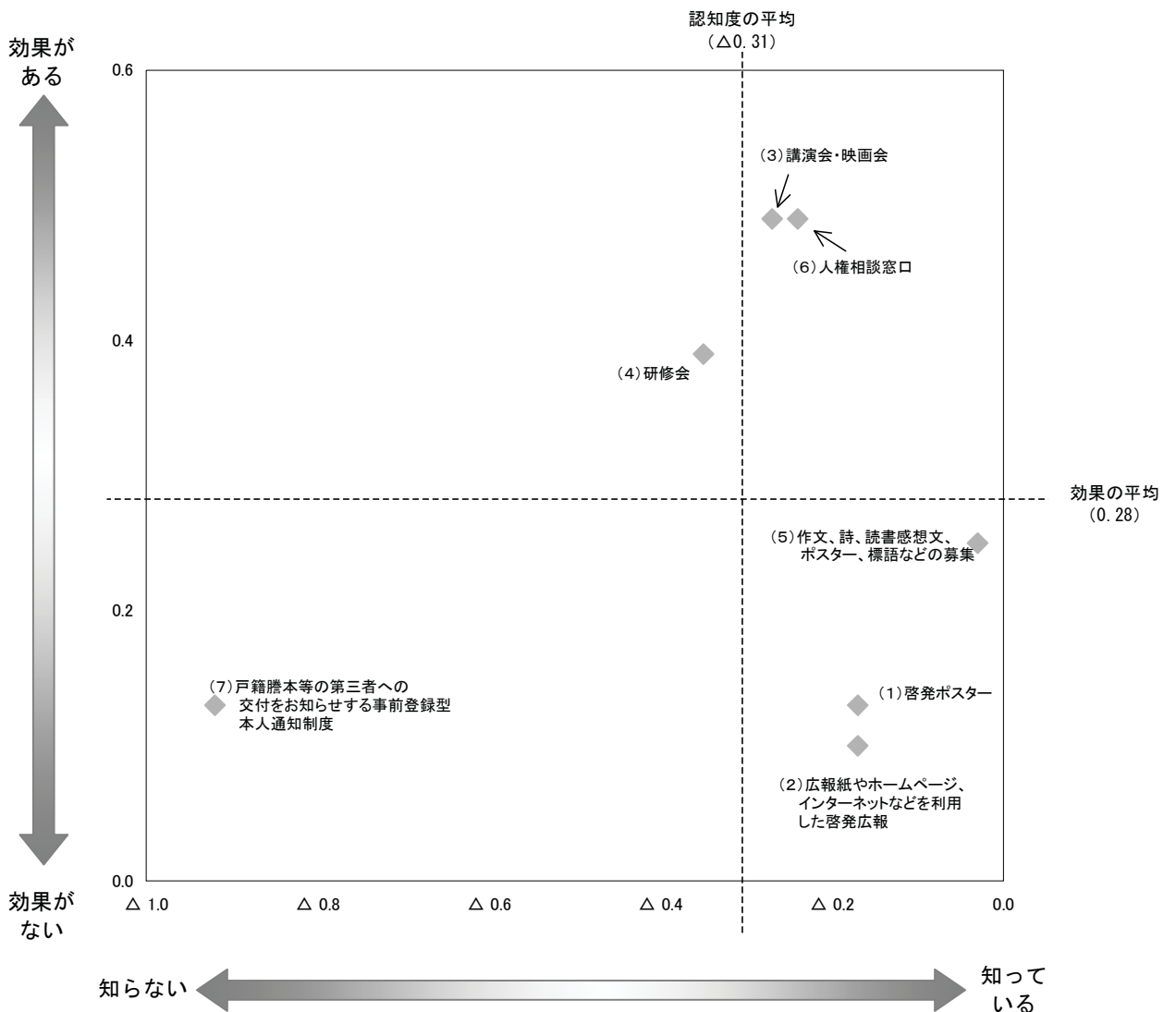


【20 歳代】

認知度については、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が $\Delta 0.03$ ポイントと最も高く、次いで、「(1) 啓発ポスター」、「(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」「(3) 講演会・映画会」が 0.49 ポイントと最も高く、次いで、「(4) 研修会」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が高くなっています。

また、認知度では、7項目中7項目が Δ （マイナス）となっています。

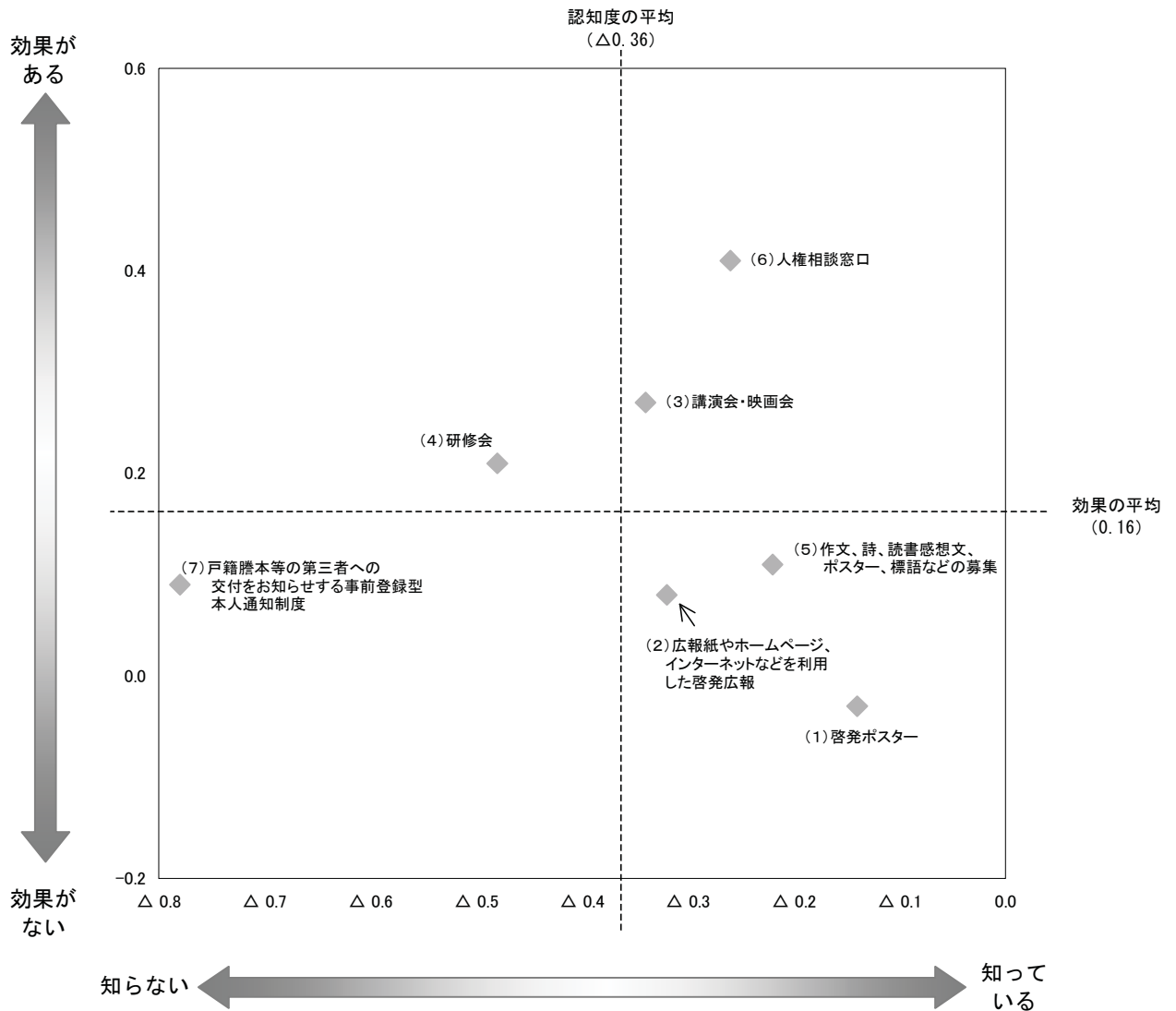


【30 歳代】

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が $\Delta 0.14$ ポイントと最も高く、次いで、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」、「(6) 人権相談窓口」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」が 0.41 ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(4) 研修会」が高くなっています。

また、認知度では、7項目中7項目が Δ （マイナス）となっています。

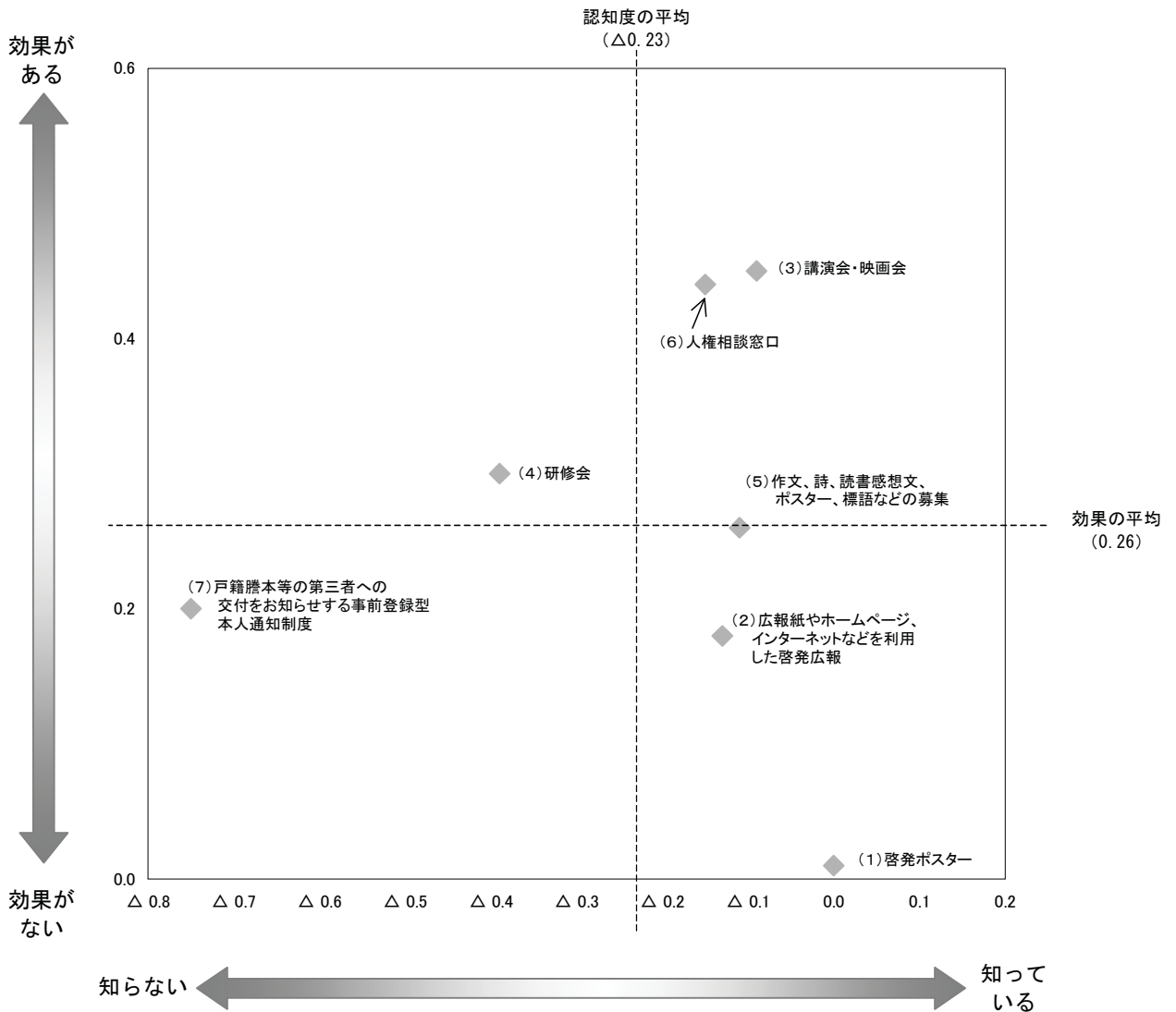


【40 歳代】

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が 0.00 ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が高くなっています。

効果については、「(3) 講演会・映画会」が 0.45 ポイントと最も高く、次いで、「(6) 人権相談窓口」、「(4) 研修会」が高くなっています。

また、認知度では、7 項目中 6 項目が△（マイナス）となっています。

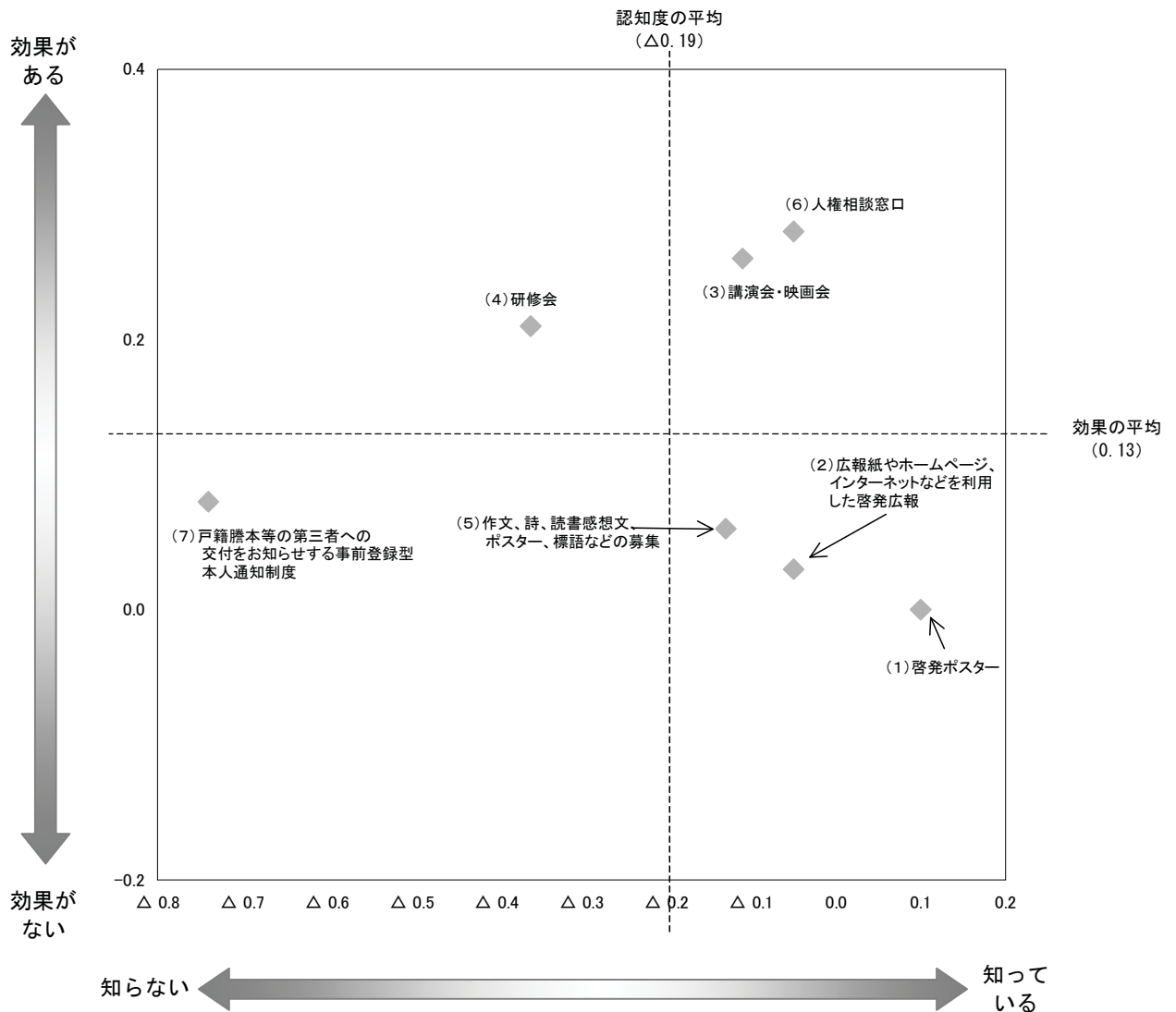


【50 歳代】

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が 0.10 ポイントと最も高く、次いで、「(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報」、「(6) 人権相談窓口」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」が 0.28 ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(4) 研修会」が高くなっています。

また、認知度では、7 項目中 6 項目が△（マイナス）となっています。

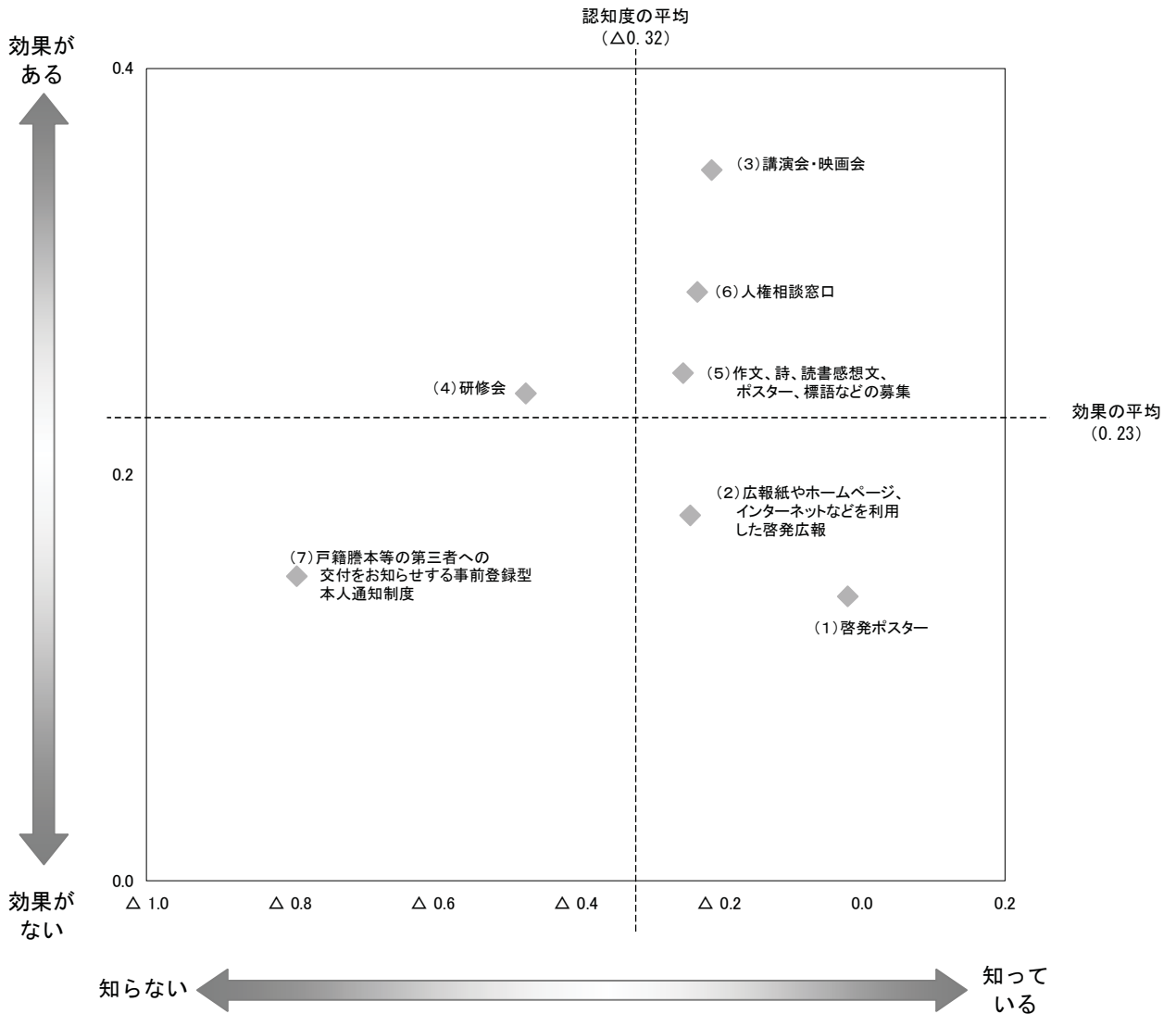


【60 歳代】

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が $\Delta 0.02$ ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(6) 人権相談窓口」が高くなっています。

効果については、「(3) 講演会・映画会」が 0.35 ポイントと最も高く、次いで、「(6) 人権相談窓口」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が高くなっています。

また、認知度では、7項目中7項目が Δ （マイナス）となっています。

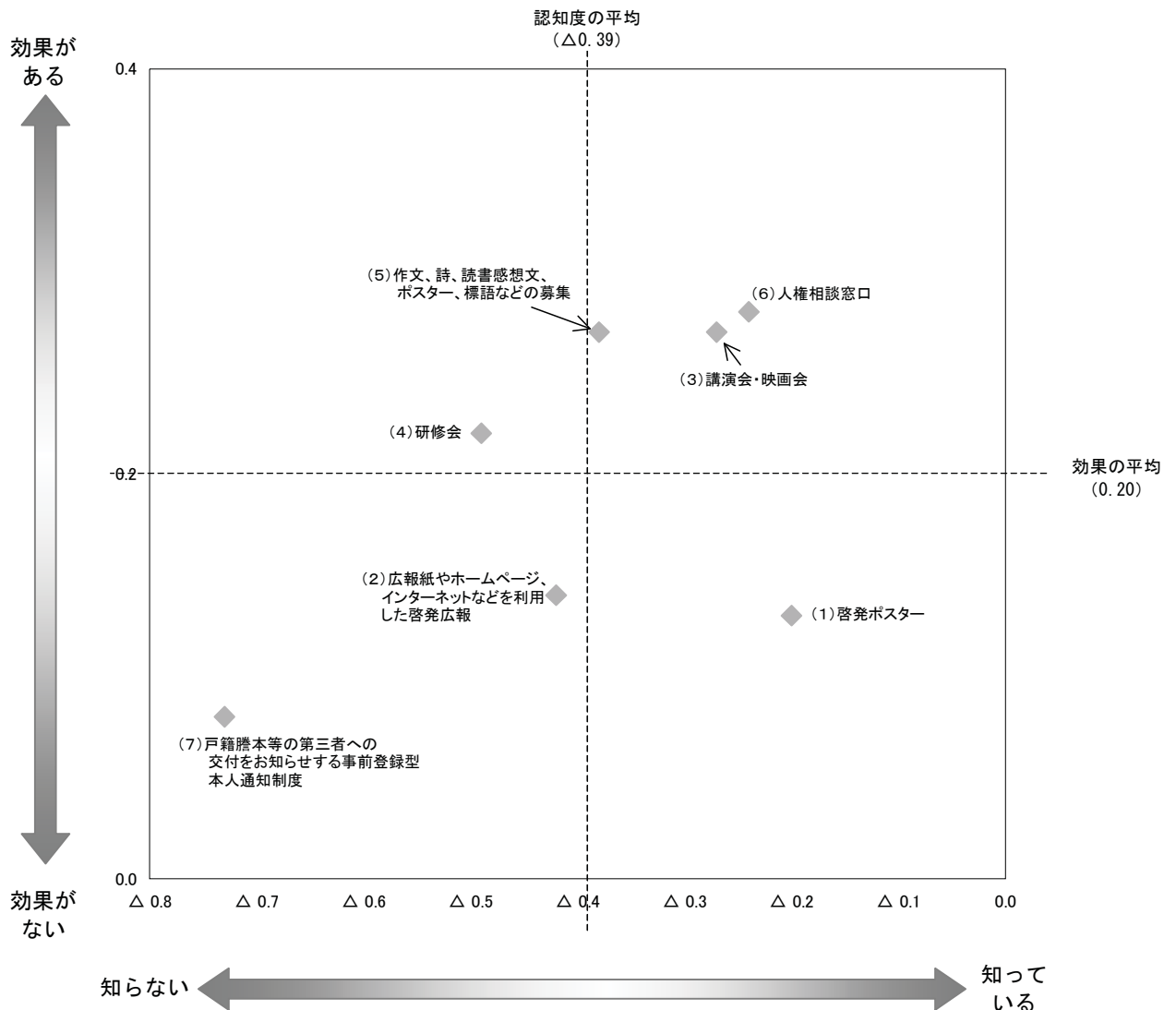


【70 歳以上】

認知度については、「(1) 啓発ポスター」が $\Delta 0.20$ ポイントと最も高く、次いで、「(6) 人権相談窓口」、「(3) 講演会・映画会」が高くなっています。

効果については、「(6) 人権相談窓口」が0.28ポイントと最も高く、次いで、「(3) 講演会・映画会」、「(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集」が高くなっています。

また、認知度では、7項目中7項目が Δ （マイナス）となっています。



【性別、年齢別集計表】

		(1) 啓発ポスター					(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	88	264	144	29	525	68	224	197	36
		100.0	16.8	50.3	27.4	5.5	100.0	13.0	42.7	37.5	6.9
	男性	360	78	177	85	20	360	56	165	120	19
		100.0	21.7	49.2	23.6	5.6	100.0	15.6	45.8	33.3	5.3
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	1	1	2	2	6	1	1	2	2
		100.0	16.7	16.7	33.3	33.3	100.0	16.7	16.7	33.3	33.3
年齢別	10歳代	36	3	17	15	1	36	4	18	13	1
		100.0	8.3	47.2	41.7	2.8	100.0	11.1	50.0	36.1	2.8
	20歳代	65	15	22	26	2	65	13	26	24	2
		100.0	23.1	33.8	40.0	3.1	100.0	20.0	40.0	36.9	3.1
	30歳代	117	18	63	34	2	117	11	55	48	3
		100.0	15.4	53.8	29.1	1.7	100.0	9.4	47.0	41.0	2.6
	40歳代	147	32	79	32	4	147	23	80	42	2
		100.0	21.8	53.7	21.8	2.7	100.0	15.6	54.4	28.6	1.4
	50歳代	138	33	80	20	5	138	30	67	37	4
		100.0	23.9	58.0	14.5	3.6	100.0	21.7	48.6	26.8	2.9
	60歳代	194	41	99	45	9	194	30	80	74	10
		100.0	21.1	51.0	23.2	4.6	100.0	15.5	41.2	38.1	5.2
	70歳以上	201	25	86	59	31	201	14	67	82	38
		100.0	12.4	42.8	29.4	15.4	100.0	7.0	33.3	40.8	18.9
		全体	効果がある	効果がない	わからない	無回答	全体	効果がある	効果がない	わからない	無回答
性別	女性	525	124	78	277	46	525	133	59	289	44
		100.0	23.6	14.9	52.8	8.8	100.0	25.3	11.2	55.0	8.4
	男性	360	83	81	165	31	360	85	58	183	34
		100.0	23.1	22.5	45.8	8.6	100.0	23.6	16.1	50.8	9.4
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	1	1	4	-	6	-	1	5	-
		100.0	16.7	16.7	66.7	-	100.0	-	16.7	83.3	-
年齢別	10歳代	36	5	8	20	3	36	10	6	17	3
		100.0	13.9	22.2	55.6	8.3	100.0	27.8	16.7	47.2	8.3
	20歳代	65	17	9	34	5	65	18	12	31	4
		100.0	26.2	13.8	52.3	7.7	100.0	27.7	18.5	47.7	6.2
	30歳代	117	26	29	58	4	117	31	22	61	3
		100.0	22.2	24.8	49.6	3.4	100.0	26.5	18.8	52.1	2.6
	40歳代	147	36	35	68	8	147	45	20	75	7
		100.0	24.5	23.8	46.3	5.4	100.0	30.6	13.6	51.0	4.8
	50歳代	138	33	33	66	6	138	31	27	73	7
		100.0	23.9	23.9	47.8	4.3	100.0	22.5	19.6	52.9	5.1
	60歳代	194	51	26	101	16	194	49	17	114	14
		100.0	26.3	13.4	52.1	8.2	100.0	25.3	8.8	58.8	7.2
	70歳以上	201	42	21	101	37	201	36	14	109	42
		100.0	20.9	10.4	50.2	18.4	100.0	17.9	7.0	54.2	20.9

		(3) 講演会・映画会					(4) 研修会				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	82	228	177	38	525	49	161	269	46
		100.0	15.6	43.4	33.7	7.2	100.0	9.3	30.7	51.2	8.8
	男性	360	59	147	133	21	360	42	118	176	24
		100.0	16.4	40.8	36.9	5.8	100.0	11.7	32.8	48.9	6.7
男性・女性と答えることに抵抗を感じる		6	-	2	2	2	6	-	1	3	2
		100.0	-	33.3	33.3	33.3	100.0	-	16.7	50.0	33.3
年齢別	10歳代	36	6	15	14	1	36	1	16	17	2
		100.0	16.7	41.7	38.9	2.8	100.0	2.8	44.4	47.2	5.6
	20歳代	65	9	28	26	2	65	10	20	32	3
		100.0	13.8	43.1	40.0	3.1	100.0	15.4	30.8	49.2	4.6
	30歳代	117	11	54	50	2	117	6	48	61	2
		100.0	9.4	46.2	42.7	1.7	100.0	5.1	41.0	52.1	1.7
	40歳代	147	30	71	43	3	147	18	51	74	4
		100.0	20.4	48.3	29.3	2.0	100.0	12.2	34.7	50.3	2.7
	50歳代	138	27	64	41	6	138	18	46	64	10
		100.0	19.6	46.4	29.7	4.3	100.0	13.0	33.3	46.4	7.2
	60歳代	194	35	74	74	11	194	23	48	107	16
		100.0	18.0	38.1	38.1	5.7	100.0	11.9	24.7	55.2	8.2
	70歳以上	201	23	73	66	39	201	15	53	95	38
		100.0	11.4	36.3	32.8	19.4	100.0	7.5	26.4	47.3	18.9
		全体	効果がある	効果がない	わからない	無回答	全体	効果がある	効果がない	わからない	無回答
性別	女性	525	211	30	239	45	525	153	30	289	53
		100.0	40.2	5.7	45.5	8.6	100.0	29.1	5.7	55.0	10.1
	男性	360	125	33	169	33	360	109	30	182	39
		100.0	34.7	9.2	46.9	9.2	100.0	30.3	8.3	50.6	10.8
男性・女性と答えることに抵抗を感じる		6	1	-	5	-	6	-	-	6	-
		100.0	16.7	-	83.3	-	100.0	-	-	100.0	-
年齢別	10歳代	36	15	3	15	3	36	13	2	16	5
		100.0	41.7	8.3	41.7	8.3	100.0	36.1	5.6	44.4	13.9
	20歳代	65	34	4	23	4	65	28	4	29	4
		100.0	52.3	6.2	35.4	6.2	100.0	43.1	6.2	44.6	6.2
	30歳代	117	42	11	60	4	117	34	11	67	5
		100.0	35.9	9.4	51.3	3.4	100.0	29.1	9.4	57.3	4.3
	40歳代	147	72	10	57	8	147	54	11	76	6
		100.0	49.0	6.8	38.8	5.4	100.0	36.7	7.5	51.7	4.1
	50歳代	138	48	15	66	9	138	40	13	73	12
		100.0	34.8	10.9	47.8	6.5	100.0	29.0	9.4	52.9	8.7
	60歳代	194	76	12	94	12	194	52	10	114	18
		100.0	39.2	6.2	48.5	6.2	100.0	26.8	5.2	58.8	9.3
	70歳以上	201	52	9	100	40	201	43	9	105	44
		100.0	25.9	4.5	49.8	19.9	100.0	21.4	4.5	52.2	21.9

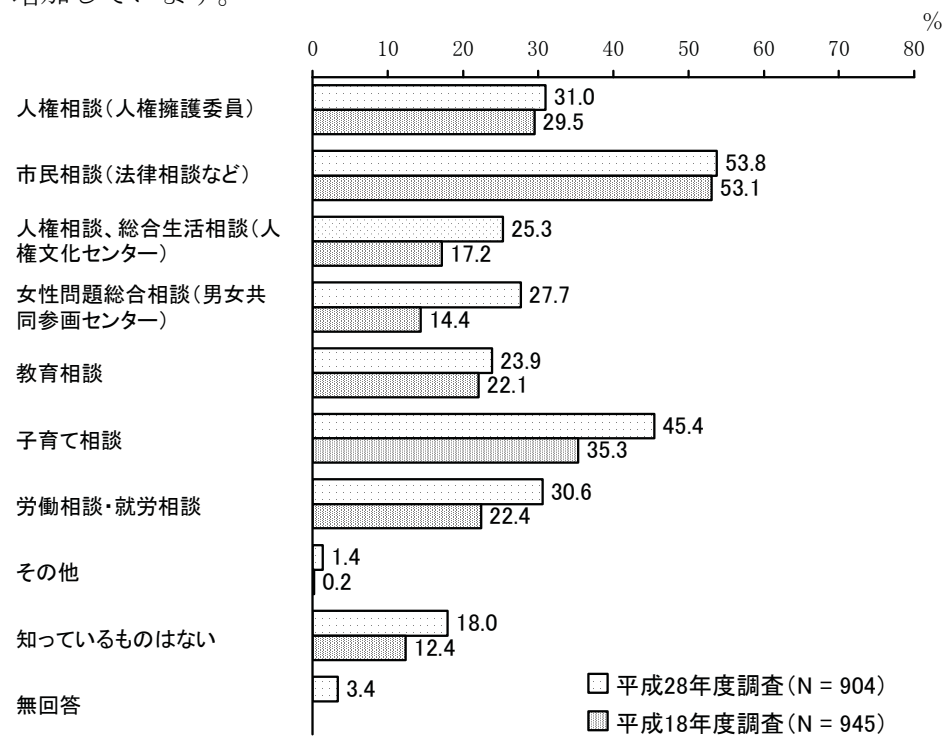
		(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集					(6) 人権相談窓口				
		全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答	全体	内容まで知っている	聞いたことがあるが、内容まで知らない	知らない	無回答
性別	女性	525	73	249	169	34	525	46	293	144	42
		100.0	13.9	47.4	32.2	6.5	100.0	8.8	55.8	27.4	8.0
	男性	360	53	165	122	20	360	40	197	103	20
		100.0	14.7	45.8	33.9	5.6	100.0	11.1	54.7	28.6	5.6
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	-	3	1	2	6	-	3	1	2
		100.0	-	50.0	16.7	33.3	100.0	-	50.0	16.7	33.3
年齢別	10歳代	36	9	17	9	1	36	5	15	15	1
		100.0	25.0	47.2	25.0	2.8	100.0	13.9	41.7	41.7	2.8
	20歳代	65	16	28	18	3	65	7	33	22	3
		100.0	24.6	43.1	27.7	4.6	100.0	10.8	50.8	33.8	4.6
	30歳代	117	12	66	37	2	117	11	63	41	2
		100.0	10.3	56.4	31.6	1.7	100.0	9.4	53.8	35.0	1.7
	40歳代	147	27	74	43	3	147	16	90	38	3
		100.0	18.4	50.3	29.3	2.0	100.0	10.9	61.2	25.9	2.0
	50歳代	138	23	70	40	5	138	19	88	26	5
		100.0	16.7	50.7	29.0	3.6	100.0	13.8	63.8	18.8	3.6
	60歳代	194	28	82	74	10	194	14	112	55	13
		100.0	14.4	42.3	38.1	5.2	100.0	7.2	57.7	28.4	6.7
	70歳以上	201	11	81	74	35	201	14	95	52	40
		100.0	5.5	40.3	36.8	17.4	100.0	7.0	47.3	25.9	19.9
		全体	効果がある	効果がない	わからない	無回答	全体	効果がある	効果がない	わからない	無回答
性別	女性	525	158	44	280	43	525	206	20	251	48
		100.0	30.1	8.4	53.3	8.2	100.0	39.2	3.8	47.8	9.1
	男性	360	95	46	188	31	360	120	27	179	34
		100.0	26.4	12.8	52.2	8.6	100.0	33.3	7.5	49.7	9.4
	男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	1	-	4	1	6	2	-	4	-
		100.0	16.7	-	66.7	16.7	100.0	33.3	-	66.7	-
年齢別	10歳代	36	8	5	20	3	36	16	3	14	3
		100.0	22.2	13.9	55.6	8.3	100.0	44.4	8.3	38.9	8.3
	20歳代	65	23	8	30	4	65	34	4	23	4
		100.0	35.4	12.3	46.2	6.2	100.0	52.3	6.2	35.4	6.2
	30歳代	117	33	20	61	3	117	53	7	53	4
		100.0	28.2	17.1	52.1	2.6	100.0	45.3	6.0	45.3	3.4
	40歳代	147	52	15	74	6	147	68	6	66	7
		100.0	35.4	10.2	50.3	4.1	100.0	46.3	4.1	44.9	4.8
	50歳代	138	29	21	80	8	138	46	10	73	9
		100.0	21.0	15.2	58.0	5.8	100.0	33.3	7.2	52.9	6.5
	60歳代	194	61	16	103	14	194	62	10	107	15
		100.0	31.4	8.2	53.1	7.2	100.0	32.0	5.2	55.2	7.7
	70歳以上	201	50	6	106	39	201	51	7	100	43
		100.0	24.9	3.0	52.7	19.4	100.0	25.4	3.5	49.8	21.4

		(7) 戸籍謄本等の第三者への交付をお知らせする 事前登録型本人通知制度				
		全 体	内容まで知っ ている	聞いたことが あるが、内容 まで知らない	知らない	無回答
性別	女 性	525	6	81	404	34
		100.0	1.1	15.4	77.0	6.5
	男 性	360	15	66	258	21
		100.0	4.2	18.3	71.7	5.8
	男性・女性と答える ことに抵抗を感じる	6	-	2	2	2
		100.0	-	33.3	33.3	33.3
年 齢 別	10歳代	36	1	5	29	1
		100.0	2.8	13.9	80.6	2.8
	20歳代	65	-	5	59	1
		100.0	-	7.7	90.8	1.5
	30歳代	117	2	21	91	3
		100.0	1.7	17.9	77.8	2.6
	40歳代	147	5	26	111	5
		100.0	3.4	17.7	75.5	3.4
50歳代	138	4	26	103	5	
	100.0	2.9	18.8	74.6	3.6	
60歳代	194	5	29	151	9	
	100.0	2.6	14.9	77.8	4.6	
70歳以上	201	4	37	124	36	
	100.0	2.0	18.4	61.7	17.9	
		全 体	効果がある	効果がない	わからない	無回答
性別	女 性	525	70	15	392	48
		100.0	13.3	2.9	74.7	9.1
	男 性	360	58	22	244	36
		100.0	16.1	6.1	67.8	10.0
	男性・女性と答える ことに抵抗を感じる	6	1	-	5	-
		100.0	16.7	-	83.3	-
年 齢 別	10歳代	36	2	2	29	3
		100.0	5.6	5.6	80.6	8.3
	20歳代	65	10	2	48	5
		100.0	15.4	3.1	73.8	7.7
	30歳代	117	18	8	87	4
		100.0	15.4	6.8	74.4	3.4
	40歳代	147	31	4	103	9
		100.0	21.1	2.7	70.1	6.1
50歳代	138	18	7	105	8	
	100.0	13.0	5.1	76.1	5.8	
60歳代	194	31	5	142	16	
	100.0	16.0	2.6	73.2	8.2	
70歳以上	201	21	9	130	41	
	100.0	10.4	4.5	64.7	20.4	

問 13 和泉市では、人権相談に関する相談窓口を設置していますが、あなたが知っているものはどれですか。【あてはまるものすべてに○】

「市民相談(法律相談など)」の割合が53.8%と最も高く、次いで「子育て相談」の割合が45.4%、「人権相談(人権擁護委員)」の割合が31.0%となっています。

平成18年度調査と比較すると、「人権相談、総合生活相談(人権文化センター)」「女性問題総合相談(男女共同参画センター)」「子育て相談」「労働相談・就労相談」「知っているものはない」の割合が増加しています。



【性別】

性別で見ると、他に比べ、女性で「市民相談(法律相談など)」「女性問題総合相談(男女共同参画センター)」「教育相談」「子育て相談」の割合が高くなっています。一方、男性で「知っているものはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	人権相談 大権擁護委員	市民相談 法律相談など	人権相談、 大権文化センター 総合生活相談	女性問題総合相談 男女共同参画センター	教育相談	子育て相談	労働相談・ 就労相談	その他	知っているものはない	無回答
女性	525	29.1	57.5	26.5	33.3	26.5	52.0	33.1	1.0	14.9	2.5
男性	360	33.9	48.9	23.9	20.0	21.1	37.2	28.6	1.9	22.2	4.4
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	50.0	50.0	33.3	50.0	16.7	33.3	-	-	16.7	16.7

【年齢別】

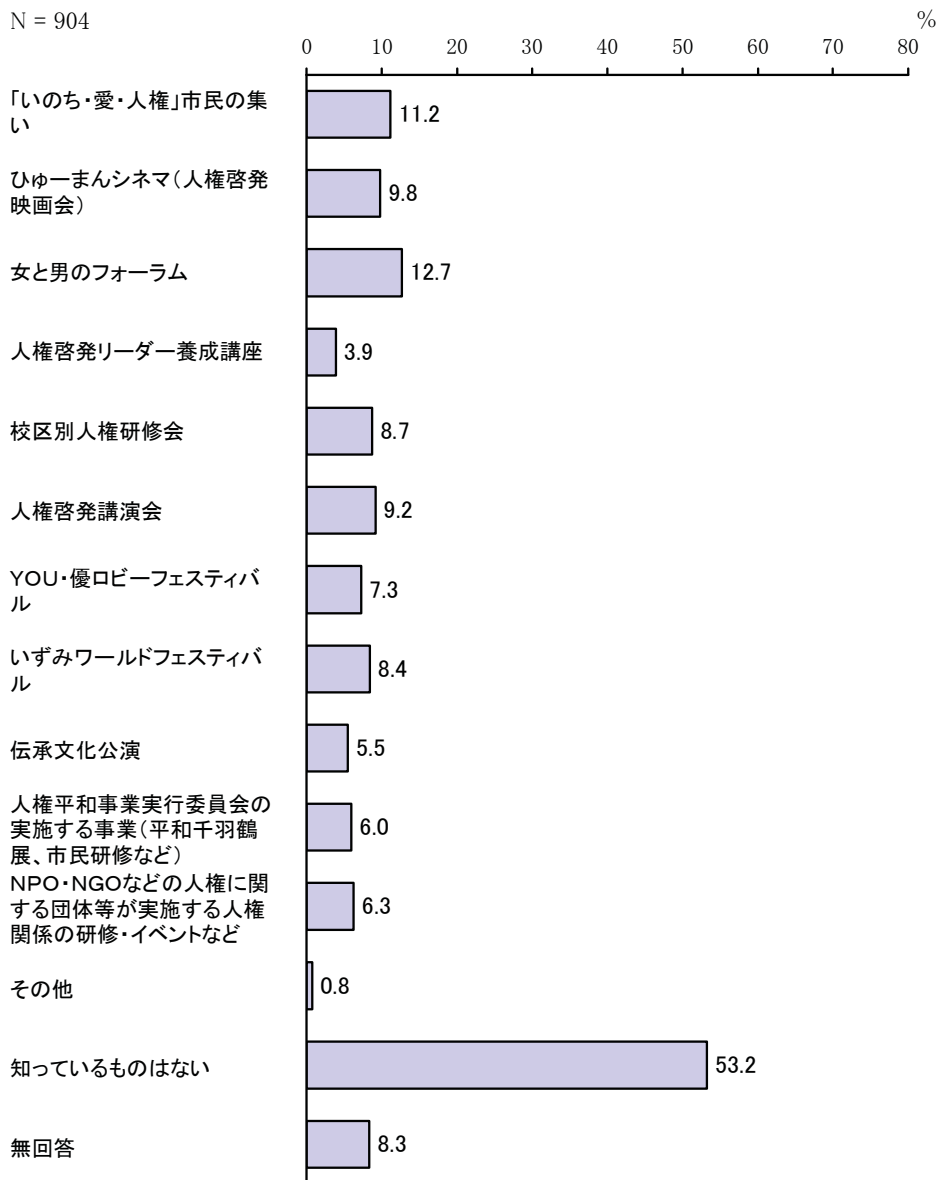
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「労働相談・就労相談」の割合が、60歳代で「人権相談（人権擁護委員）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	人権相談 (大権擁護委員)	市民相談 (法律相談など)	人権相談、総合生活相談 (大権文化センター)	女性問題総合相談 (同参画センター) 男女共	教育相談	子育て相談	労働相談・就労相談	その他	知っているものはない	無回答
10歳代	36	19.4	19.4	16.7	11.1	22.2	33.3	2.8	—	44.4	—
20歳代	65	23.1	36.9	13.8	32.3	21.5	50.8	38.5	1.5	26.2	1.5
30歳代	117	24.8	42.7	19.7	21.4	23.9	60.7	40.2	1.7	23.1	0.9
40歳代	147	32.7	53.1	29.3	34.7	27.2	51.7	31.3	1.4	13.6	3.4
50歳代	138	30.4	61.6	29.7	30.4	24.6	54.3	36.2	1.4	13.0	0.7
60歳代	194	43.3	60.8	31.4	28.4	25.3	39.2	29.4	1.0	13.9	3.6
70歳以上	201	27.4	60.2	22.4	25.9	21.4	32.3	25.4	2.0	18.4	7.5

問 14 和泉市内で実施されている人権問題の教育・啓発活動などについて、知っているものは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「知っているものはない」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「女と男のフォーラム」の割合が 12.7%、「いのち・愛・人権」市民の集いの割合が 11.2%となっています。



【性別】

性別で見ると、他に比べ、女性で「女と男のフォーラム」の割合が高くなっています。一方、男性で「知っているものはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	集い 「のち・愛・人権」市民の	映画会 ひゅーまんシネマ 大権啓発	女と男のフォーラム	人権啓発リーダー養成講座	校区別人権研修会	人権啓発講演会	YOU 優ロビーフェスティバル
女性	525	11.6	12.0	15.8	3.8	8.4	8.2	9.1
男性	360	10.3	7.2	8.6	3.9	9.2	10.6	4.7
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	16.7	—	16.7	16.7	—	16.7	16.7

区分	バル いずみワールドフェスティ	伝承文化公演	展、市民研修など 人権平和事業実行委員会の 実施する事業 平和千羽鶴	NPO・NGOなどの人権に 関する団体等が実施する人 権関係の研修 イベントなど	その他	知っているものはない	無回答
女性	9.9	6.3	7.4	6.5	0.6	50.3	9.0
男性	6.4	4.7	4.2	6.1	0.8	58.3	6.9
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	16.7	—	—	16.7	—	33.3	16.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「YOU・優ロビーフェスティバル」の割合が、70歳以上で「いのち・愛・人権」市民の集いの割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	集い 「いのち・愛・人権」市民の	映画会 ひゅーまんシネマ 大権啓発	女と男のフォーラム	人権啓発リーダー養成講座	校区别人権研修会	人権啓発講演会	YOU 優ロビーフェスティバル
10歳代	36	8.3	2.8	2.8	2.8	—	5.6	13.9
20歳代	65	13.8	1.5	4.6	—	3.1	3.1	1.5
30歳代	117	8.5	7.7	6.0	2.6	6.0	4.3	2.6
40歳代	147	10.9	10.2	15.6	4.8	9.5	8.2	12.9
50歳代	138	7.2	13.0	12.3	1.4	11.6	8.0	7.2
60歳代	194	11.3	10.8	14.4	4.1	7.7	12.4	8.2
70歳以上	201	15.4	11.9	17.9	7.0	11.9	12.9	6.0

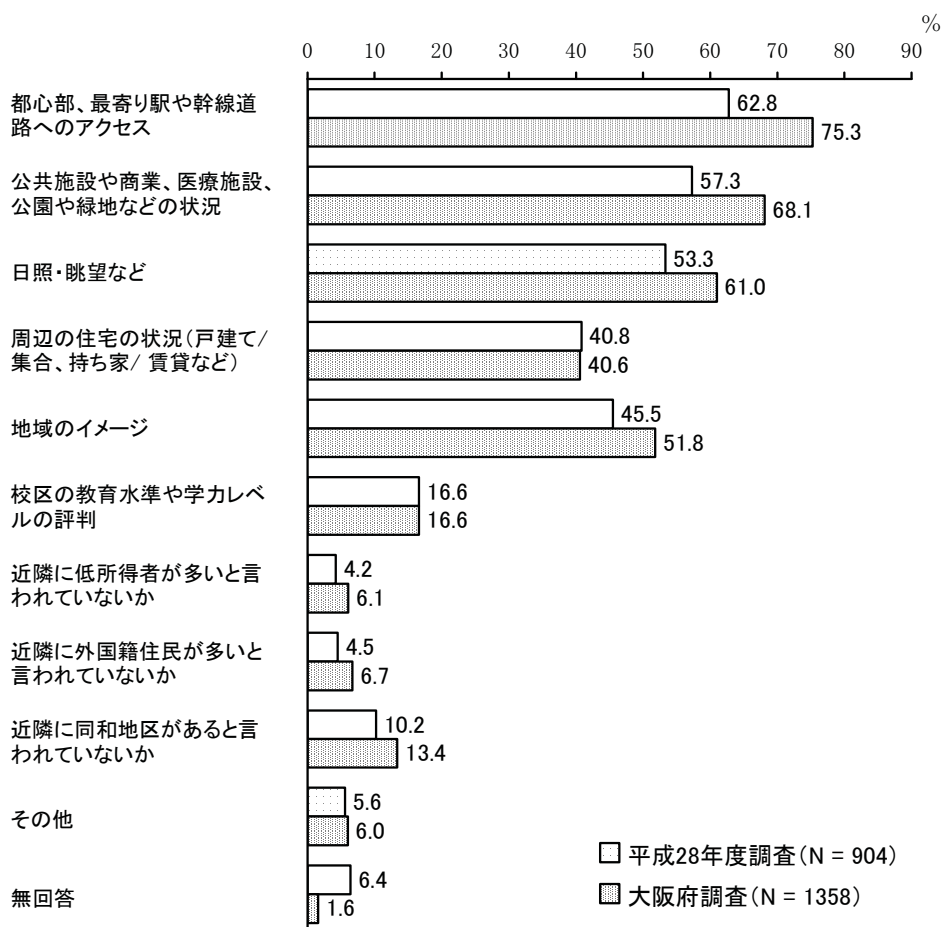
区分	バ い ず み ワ ー ル ド フ ェ ス テ ィ バ ル	伝承文化公演	人権平和事業実行委員会の実施する事業 平和千羽鶴展、市民研修など	NPO・NGOなどの人権に関する団体等が実施する人権関係の研修 イベントなど	その他	知っているものはない	無回答
10歳代	—	5.6	5.6	—	—	66.7	—
20歳代	6.2	1.5	7.7	10.8	—	64.6	1.5
30歳代	9.4	3.4	5.1	2.6	0.9	69.2	4.3
40歳代	11.6	5.4	5.4	7.5	—	52.4	6.1
50歳代	8.0	6.5	8.7	8.0	0.7	55.8	6.5
60歳代	9.3	5.2	5.7	7.7	1.5	46.4	10.8
70歳以上	7.5	8.0	5.0	5.0	1.0	43.3	14.4

4 住まいのことや就職、結婚についての意識や考え方について

問 15 あなたが家を買ったり借りたりする際に重視する(した)立地条件は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス」の割合が62.8%と最も高く、次いで「公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況」の割合が57.3%、「日照・眺望など」の割合が53.3%となっています。

大阪府調査と比較すると、大阪府調査に比べ「都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス」「公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況」「日照・眺望など」「地域のイメージ」の割合が低くなっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況」「日照・眺望など」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス	公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況	日照・眺望など	周辺の住宅の状況（戸建て／集合、持ち家／賃貸など）	地域のイメージ	校区の教育水準や学力レベルの評判	近隣に低所得者が多いと言われているか	近隣に外国籍住民が多いと言われているか	近隣に同和地区があると言われているか	その他	無回答
女性	525	62.5	61.0	57.1	42.1	46.3	17.0	3.4	3.8	9.1	4.6	6.5
男性	360	64.2	52.8	48.3	39.7	45.8	16.7	5.3	5.8	11.9	6.9	5.8
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	50.0	50.0	50.0	50.0	33.3	—	—	—	—	16.7	—

【年齢別】

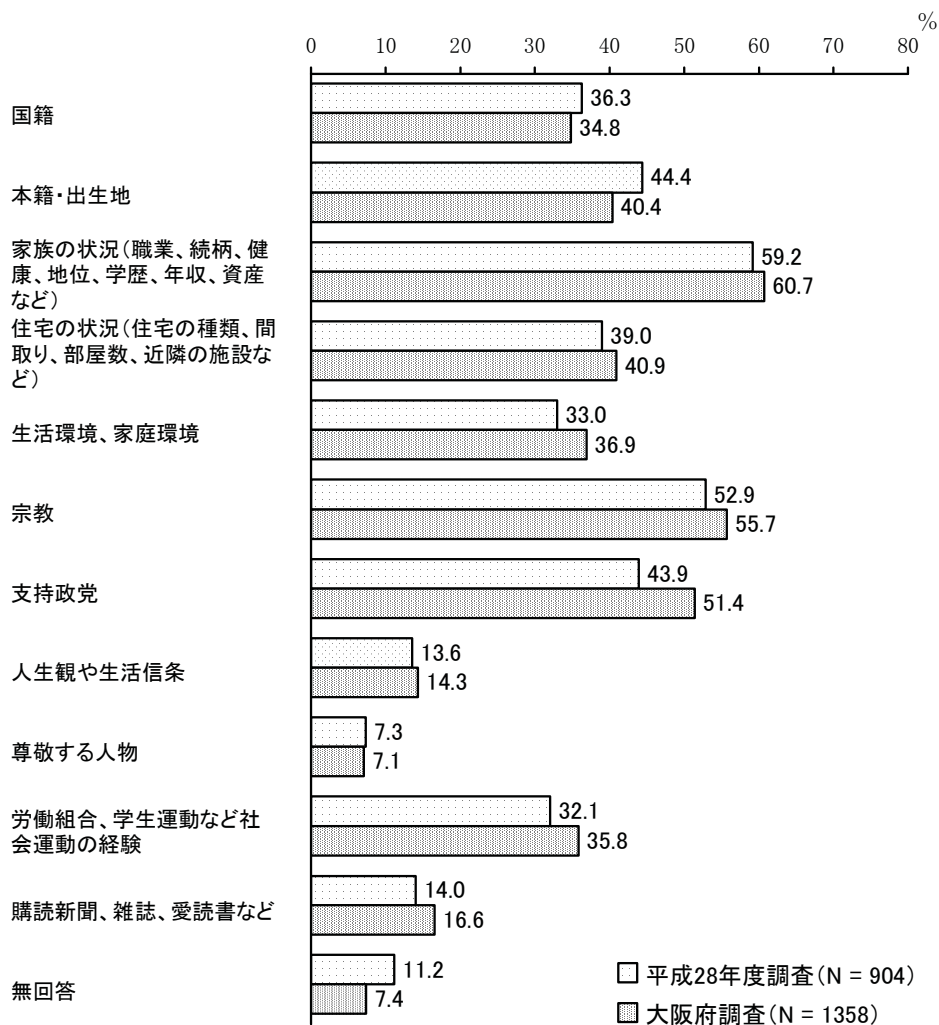
年齢別でみると、他に比べ、10歳代、50歳代で「公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況」の割合が、20歳代で「日照・眺望など」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス	公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況	日照・眺望など	周辺の住宅の状況（戸建て／集合、持ち家／賃貸など）	地域のイメージ	校区の教育水準や学力レベルの評判	近隣に低所得者が多いと言われているか	近隣に外国籍住民が多いと言われているか	近隣に同和地区があると言われているか	その他	無回答
10歳代	36	83.3	61.1	44.4	25.0	44.4	11.1	—	—	2.8	2.8	—
20歳代	65	80.0	58.5	60.0	43.1	58.5	20.0	7.7	3.1	13.8	3.1	3.1
30歳代	117	63.2	54.7	55.6	45.3	51.3	28.2	7.7	10.3	15.4	7.7	4.3
40歳代	147	66.7	57.1	57.1	44.9	49.0	20.4	3.4	5.4	12.2	7.5	3.4
50歳代	138	70.3	62.3	56.5	41.3	49.3	18.1	4.3	4.3	8.7	4.3	5.1
60歳代	194	61.9	56.2	52.1	39.7	39.2	12.4	3.6	4.1	8.8	6.7	7.2
70歳以上	201	47.3	55.7	47.8	38.3	40.3	10.0	3.0	2.5	8.0	4.5	11.9

問 16 採用面接における質問で、あなたが人権上問題があると思うことはどれですか。
【あてはまるものすべてに○】

「家族の状況（職業、続柄、健康、地位、学歴、年収、資産など）」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「宗教」の割合が 52.9%、「本籍・出生地」の割合が 44.4%となっています。
大阪府調査と比較すると、大阪府調査に比べ「支持政党」の割合が低くなっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「家族の状況（職業、続柄、健康、地位、学歴、年収、資産など）」「住宅の状況（住宅の種類、間取り、部屋数、近隣の施設など）」の割合が高くなっています。一方、男性で「国籍」「購読新聞、雑誌、愛読書など」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	国籍	本籍・出生地	家族の状況 地位、学歴、 年収、資産など	職業、続柄、健康、 続柄、健康、	住宅の状況 住宅の種類、間 取り、部屋数、 近隣の施設など	生活環境、 家庭環境	宗教	支持政党	人生観や生活信条	尊敬する人物	労働組合、 学生運動など社会運 動の経験	購読新聞、 雑誌、愛読書など	無回答
女性	525	34.1	43.6	61.7	42.3	32.2	51.4	43.6	12.8	6.7	32.2	12.0	12.8	
男性	360	39.4	45.6	56.4	35.0	34.2	55.6	45.0	14.4	8.3	32.5	17.5	8.9	
男性・女性と答える ことに抵抗を感じる	6	50.0	66.7	50.0	50.0	66.7	66.7	33.3	66.7	16.7	16.7	16.7	—	

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「人生観や生活信条」の割合が、20歳代で「生活環境、家庭環境」の割合が高くなっています。

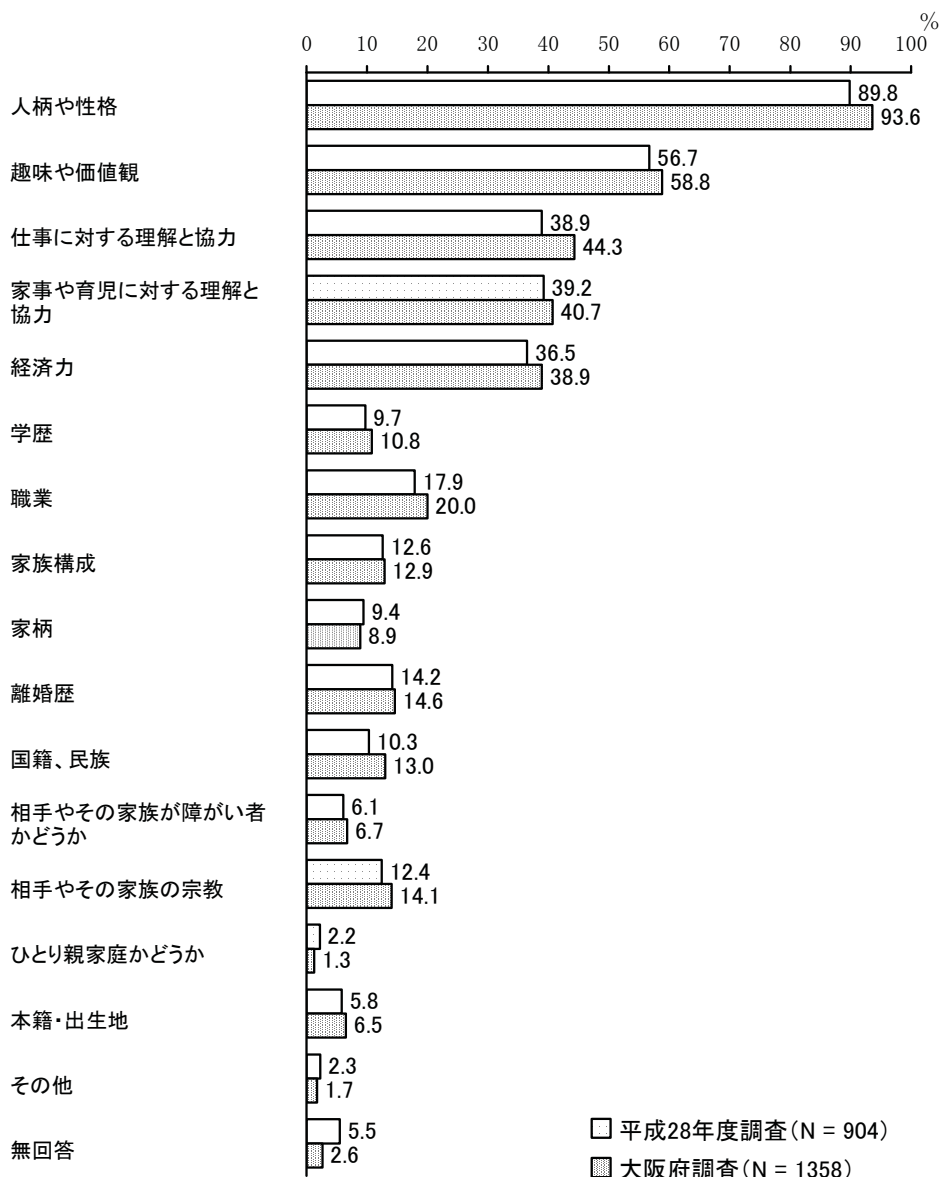
単位：％

区分	有効回答数 (件)	国籍	本籍・出生地	家族の状況 地位、学歴、 年収、資産など	職業、続柄、健康、 続柄、健康、	住宅の状況 住宅の種類、間 取り、部屋数、 近隣の施設など	生活環境、 家庭環境	宗教	支持政党	人生観や生活信条	尊敬する人物	労働組合、 学生運動など社会運 動の経験	購読新聞、 雑誌、愛読書など	無回答
10歳代	36	47.2	47.2	50.0	50.0	41.7	50.0	38.9	36.1	16.7	22.2	8.3	2.8	
20歳代	65	35.4	38.5	69.2	55.4	47.7	60.0	47.7	21.5	15.4	20.0	18.5	7.7	
30歳代	117	42.7	45.3	73.5	51.3	40.2	57.3	53.0	16.2	9.4	26.5	12.8	7.7	
40歳代	147	45.6	54.4	72.1	48.3	38.8	65.3	51.7	12.9	6.1	40.1	15.6	8.2	
50歳代	138	43.5	50.0	61.6	47.1	34.8	60.9	52.9	13.8	9.4	36.2	18.8	6.5	
60歳代	194	31.4	42.3	55.7	30.4	28.9	50.5	39.2	9.3	3.6	34.5	9.8	13.9	
70歳以上	201	24.4	36.3	42.3	21.9	21.4	37.8	31.8	10.4	5.0	30.8	14.4	17.9	

問17 あなたが結婚相手について重視する（した）ことはどんなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

「人柄や性格」の割合が89.8%と最も高く、次いで「趣味や価値観」の割合が56.7%、「家事や育児に対する理解と協力」の割合が39.2%となっています。

大阪府調査と比較すると、「仕事に対する理解と協力」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「家事や育児に対する理解と協力」「経済力」「職業」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	人柄や性格	趣味や価値観	仕事に対する理解と協力	家事や育児に対する理解と協力	経済力	学歴	職業	家族構成
女性	525	90.3	58.3	40.8	42.9	49.5	11.2	23.4	14.9
男性	360	89.7	55.8	37.2	35.0	18.3	8.1	10.8	10.0
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	83.3	50.0	33.3	33.3	16.7	—	—	—

区分	家柄	離婚歴	国籍、民族	相手やその家族が障がい者かどうか	宗教 相手やその家族の	ひとり親家庭かどうか	本籍・出生地	その他	無回答
女性	9.3	14.9	9.9	5.7	14.1	2.1	6.1	1.7	5.7
男性	10.0	13.9	10.8	6.9	9.7	2.5	5.6	3.1	5.0
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	—	—	—	—	16.7	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「家事や育児に対する理解と協力」の割合が、20歳代で「趣味や価値観」の割合が高くなっています。

単位：%

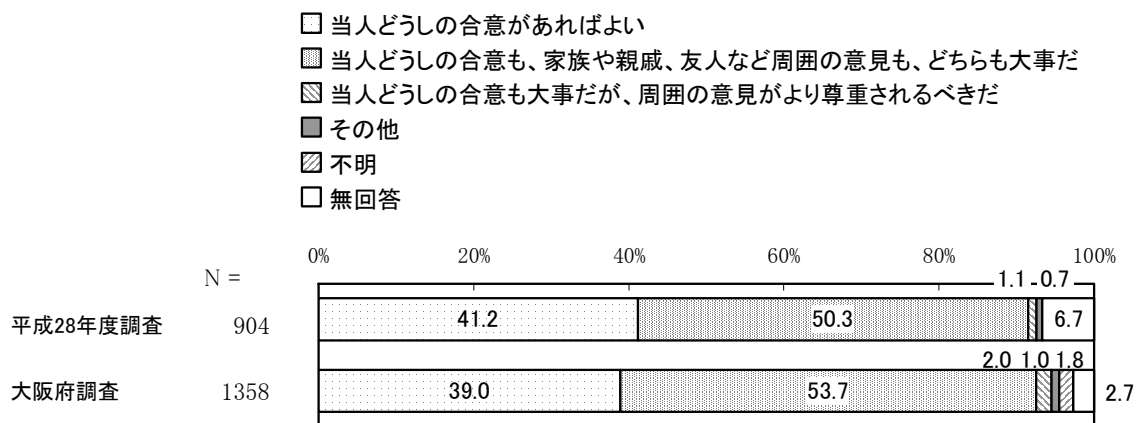
区分	有効回答数 (件)	人柄や性格	趣味や価値観	仕事に対する理解と協力	家事や育児に対する理解と協力	経済力	学歴	職業	家族構成
10歳代	36	88.9	69.4	61.1	80.6	38.9	16.7	27.8	8.3
20歳代	65	92.3	78.5	50.8	61.5	44.6	12.3	27.7	15.4
30歳代	117	94.9	68.4	41.9	50.4	38.5	9.4	19.7	13.7
40歳代	147	95.9	70.1	40.8	41.5	36.1	5.4	12.2	8.8
50歳代	138	95.7	67.4	43.5	40.6	42.0	13.8	20.3	13.0
60歳代	194	87.6	46.4	33.0	29.4	37.1	10.8	16.0	12.9
70歳以上	201	80.1	34.8	30.8	25.9	28.9	7.5	16.9	14.4

区分	家柄	離婚歴	国籍、民族	相手やその家族が障がい者かどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	本籍・出生地	その他	無回答
10歳代	16.7	11.1	—	8.3	16.7	—	2.8	5.6	—
20歳代	20.0	27.7	9.2	15.4	18.5	1.5	6.2	7.7	3.1
30歳代	8.5	15.4	10.3	4.3	17.1	2.6	5.1	2.6	3.4
40歳代	8.2	12.9	9.5	6.1	10.2	2.7	4.1	—	2.0
50歳代	8.7	17.4	13.8	5.1	14.5	3.6	7.2	0.7	3.6
60歳代	5.7	9.8	8.8	6.2	8.8	0.5	4.6	3.1	6.7
70歳以上	10.4	12.9	11.9	4.5	10.4	3.0	8.0	2.0	10.9

問 18 結婚について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。【いずれか1つに○】

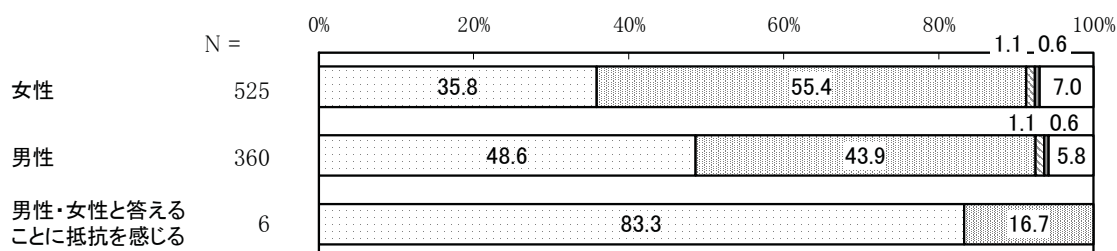
「当人どうしの合意も、家族や親戚、友人など周囲の意見も、どちらも大事だ」の割合が50.3%と最も高く、次いで「当人どうしの合意があればよい」の割合が41.2%となっています。

大阪府調査と比較すると、大きな差異はみられません。



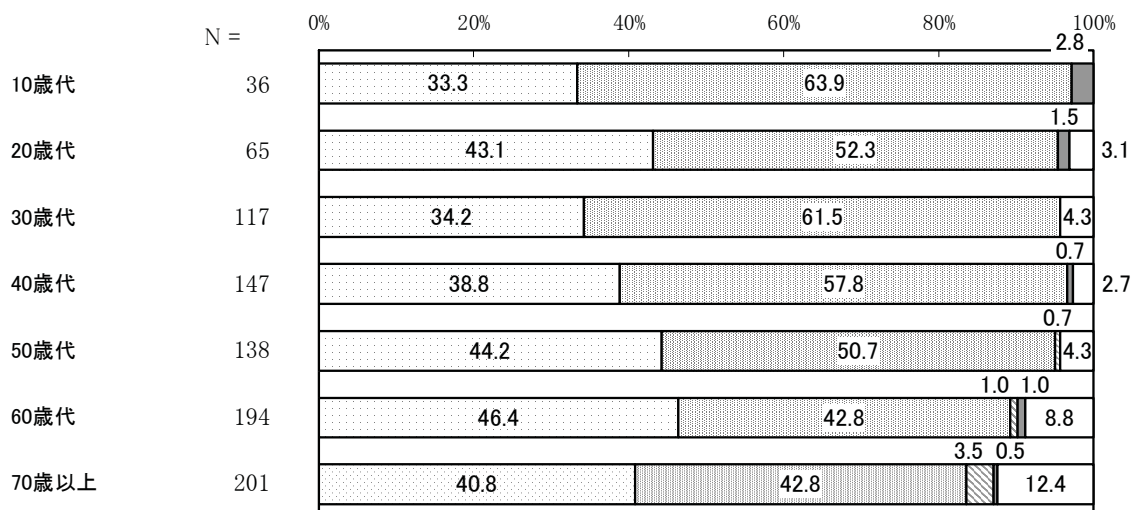
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「当人どうしの合意も、家族や親戚、友人など周囲の意見も、どちらも大事だ」の割合が高くなっています。一方、男性で「当人どうしの合意があればよい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代、30歳代で「当人どうしの合意も、家族や親戚、友人など周囲の意見も、どちらも大事だ」の割合が高くなっています。

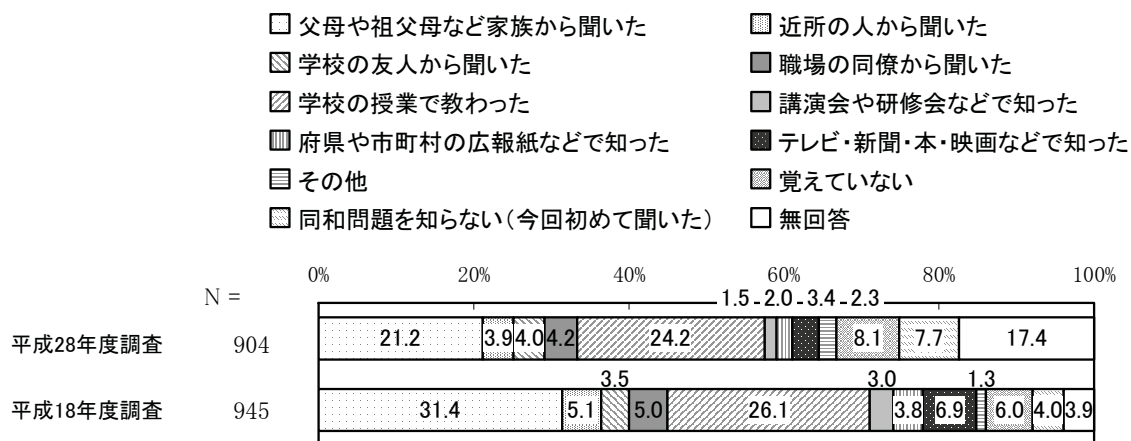


5 同和問題について

問 19 あなたが同和問題や同和地区があることを初めて知ったきっかけは何ですか。【あてはまるもの1つに○】

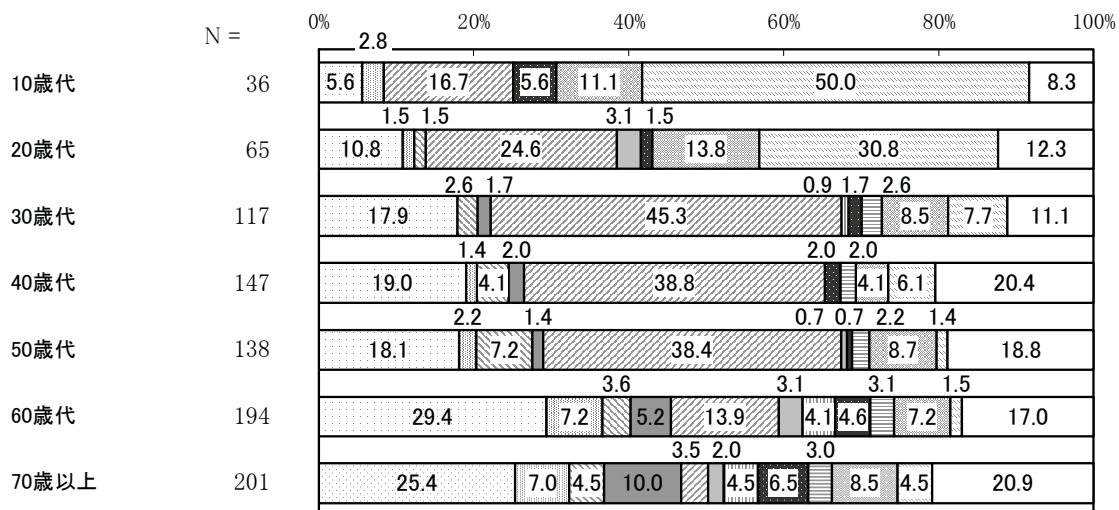
「学校の授業で教わった」の割合が24.2%と最も高く、次いで「父母や祖父母など家族から聞いた」の割合が21.2%となっています。

平成18年度調査と比較すると、「父母や祖父母など家族から聞いた」の割合が減少しています。



【年齢別】

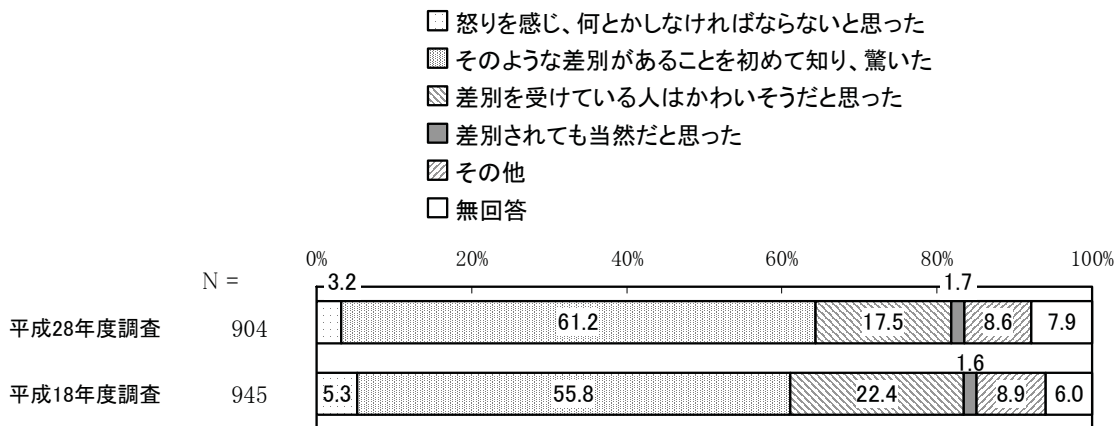
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「同和問題を知らない(今回初めて聞いた)」の割合が、30歳代で「学校の授業で教わった」の割合が高くなっています。



問 20 あなたが初めて同和問題のことを知ったとき、特にどのような印象を持ちましたか。【あてはまるもの1つに○】

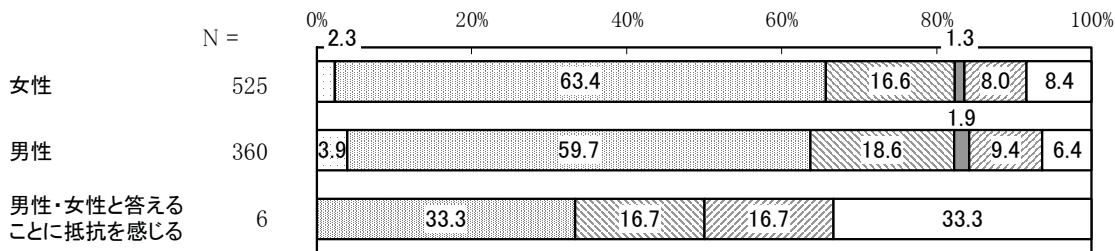
「そのような差別があることを初めて知り、驚いた」の割合が61.2%と最も高く、次いで「差別を受けている人はかわいそうだった」の割合が17.5%となっています。

平成18年度調査と比較すると、「そのような差別があることを初めて知り、驚いた」の割合が増加しています。



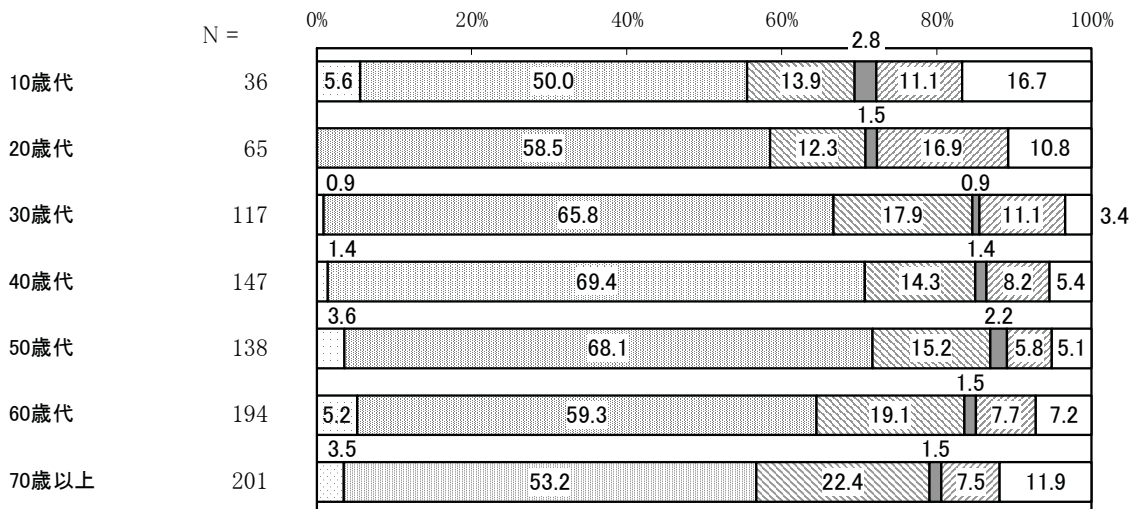
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

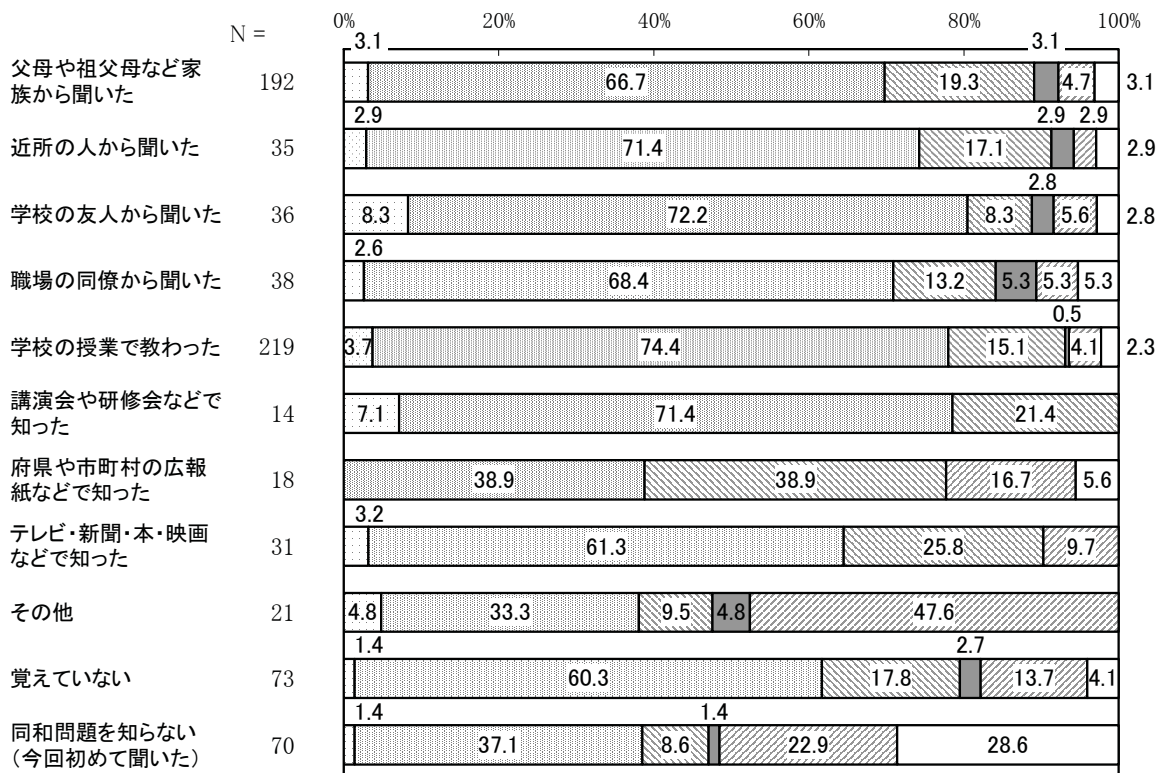
年齢別でみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「そのような差別があることを初めて知り、驚いた」の割合が高くなっています。



【同和問題や同和地区を知ったきっかけ別】

同和問題や同和地区を知ったきっかけ別でみると、他に比べ、近所の人から聞いた、学校の友人から聞いた、学校の授業で教わった、講演会や研修会などで知ったで「そのような差別があることを初めて知り、驚いた」の割合が、府県や市町村の広報紙などで知ったで「差別を受けている人はかわいそうだった」の割合が高くなっています。

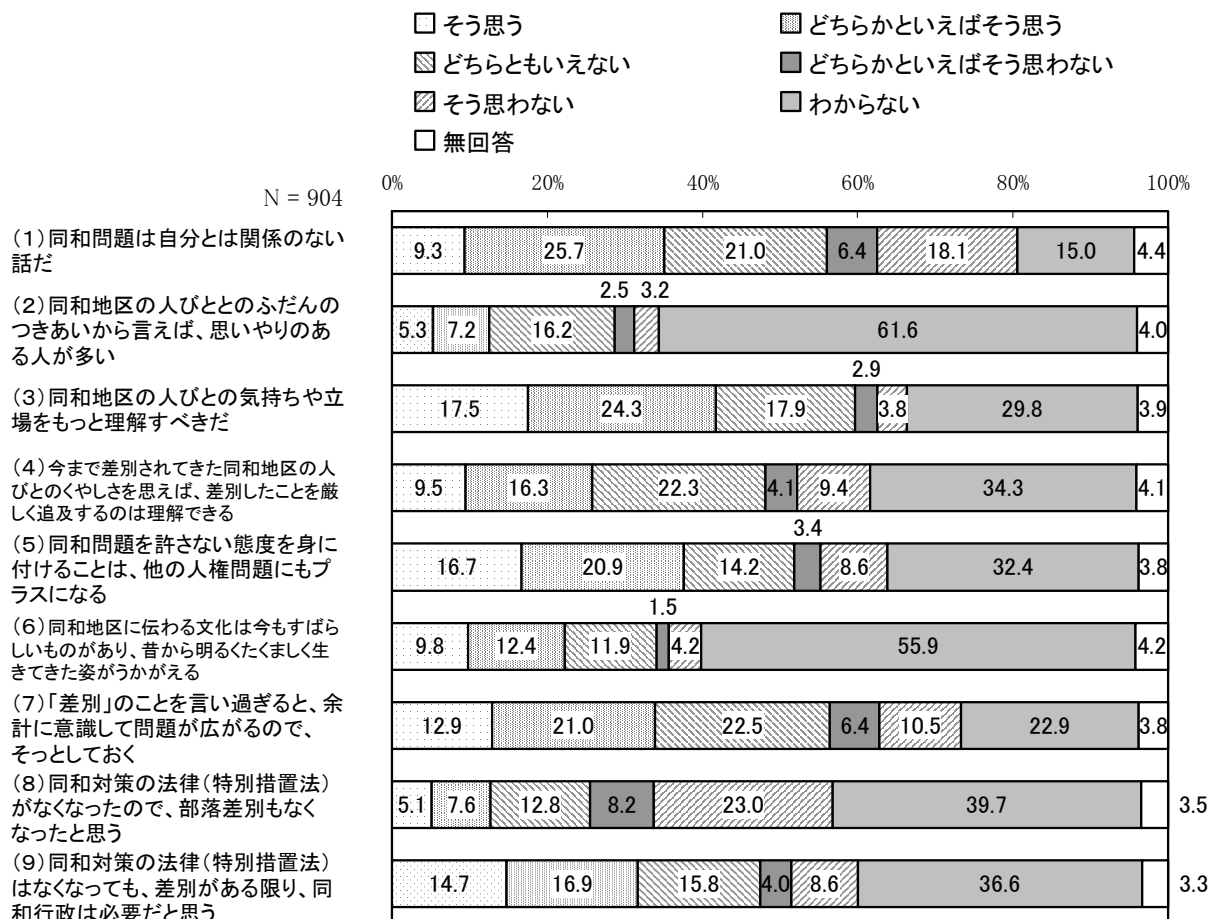
- 怒りを感じ、何とかしなければならなかった
- ▨ そのような差別があることを初めて知り、驚いた
- ▩ 差別を受けている人はかわいそうだった
- 差別されても当然だと思った
- ▧ その他
- 無回答



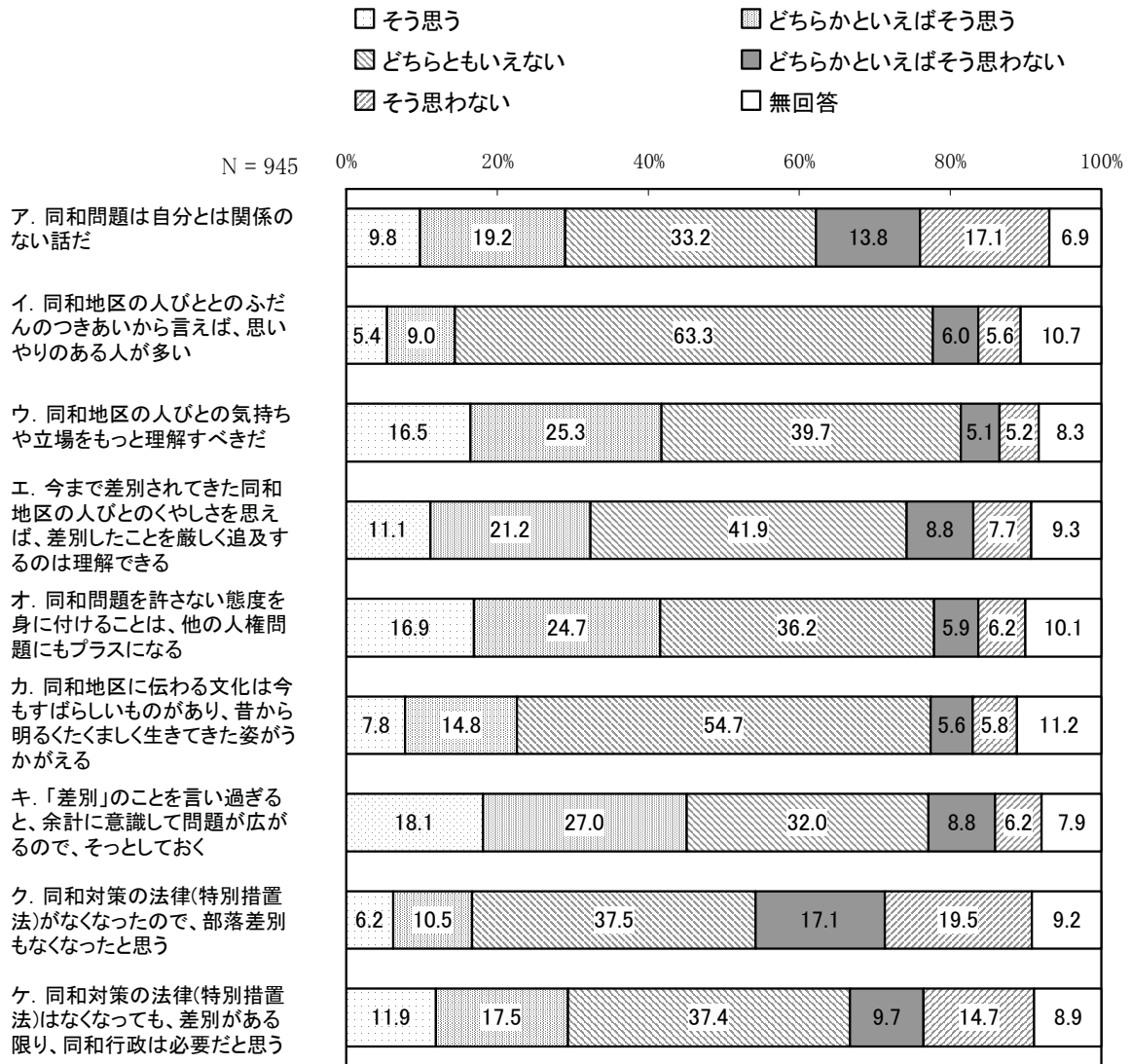
問 21 あなたは、次のような意見をどのように思いますか。【(1)～(9)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が「(3) 同和地区の人びとの気持ちや立場をもっと理解すべきだ」で最も高く、次いで「(5) 同和問題を許さない態度を身に付けることは、他の人権問題にもプラスになる」、「(1) 同和問題は自分とは関係のない話だ」となっています。また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が「(8) 同和対策の法律（特別措置法）がなくなったので、部落差別もなくなったと思う」で最も高く、次いで「(1) 同和問題は自分とは関係のない話だ」、「(7)「差別」のことを言い過ぎると、余計に意識して問題が広がるので、そっとしておく」となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、(1) 同和問題は自分とは関係のない話だで“そう思う”の割合が増加し、(4) 今まで差別されてきた同和地区の人びとのくやしさを思えば、差別したことを厳しく追及するのは理解できる、(7)「差別」のことを言い過ぎると、余計に意識して問題が広がるので、そっとしておくで“そう思う”の割合が減少しています。また、(1) 同和問題は自分とは関係のない話だ、(2) 同和地区の人びととのふだんのつきあいから言えば、思いやりのある人が多い、(6) 同和地区に伝わる文化は今もすばらしいものがあり、昔から明るくたくましく生きてきた姿がうかがえる、(8) 同和対策の法律（特別措置法）がなくなったので、部落差別もなくなったと思う、(9) 同和対策の法律（特別措置法）はなくなっても、差別がある限り、同和行政は必要だと思うで“そう思わない”の割合が減少しています。

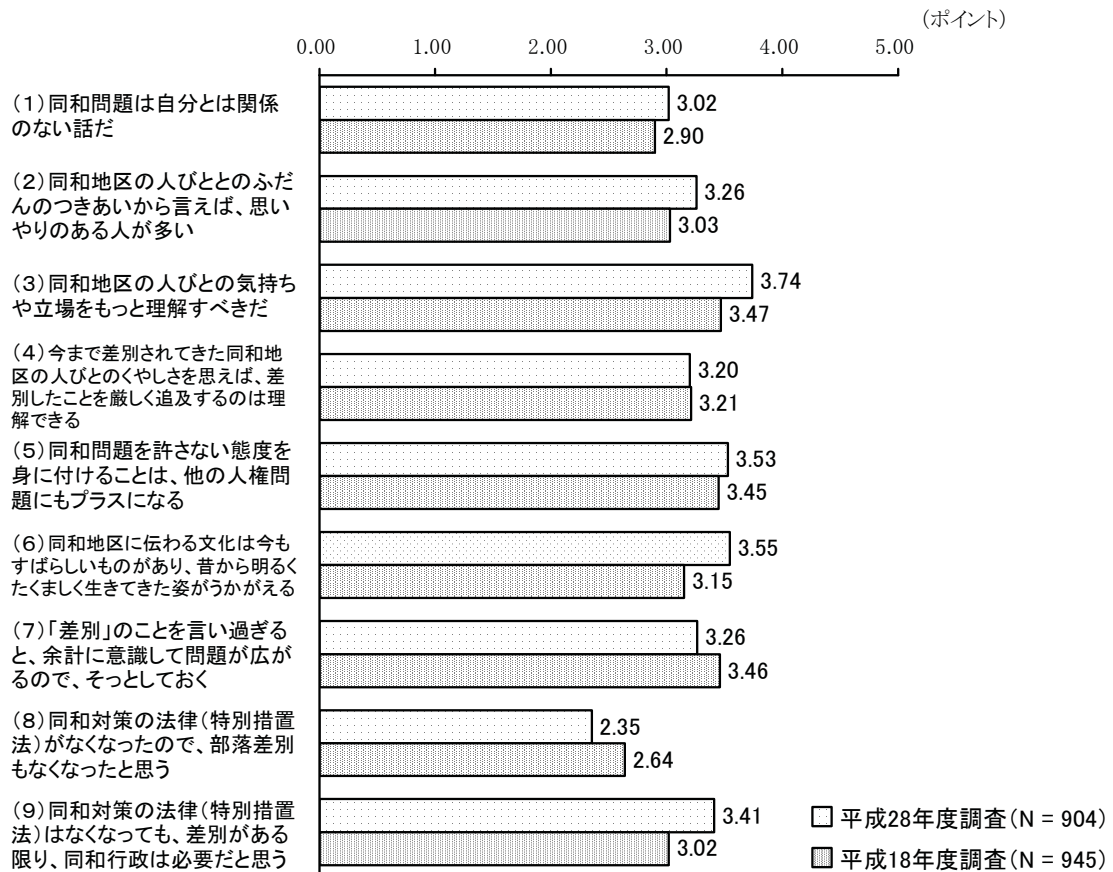


【平成 18 年度調査】



【加重平均による経年比較】

加重平均による経年比較をすると、最も増加したのは「(6) 同和地区に伝わる文化は今もすばらしいものがあり、昔から明るくたくましく生きてきた姿がうかがえる」で 0.40 ポイントの増加となっています。また、最も減少したのは「(8) 同和对策の法律（特別措置法）がなくなったので、部落差別もなくなったと思う」で 0.29 ポイントの減少となっています。



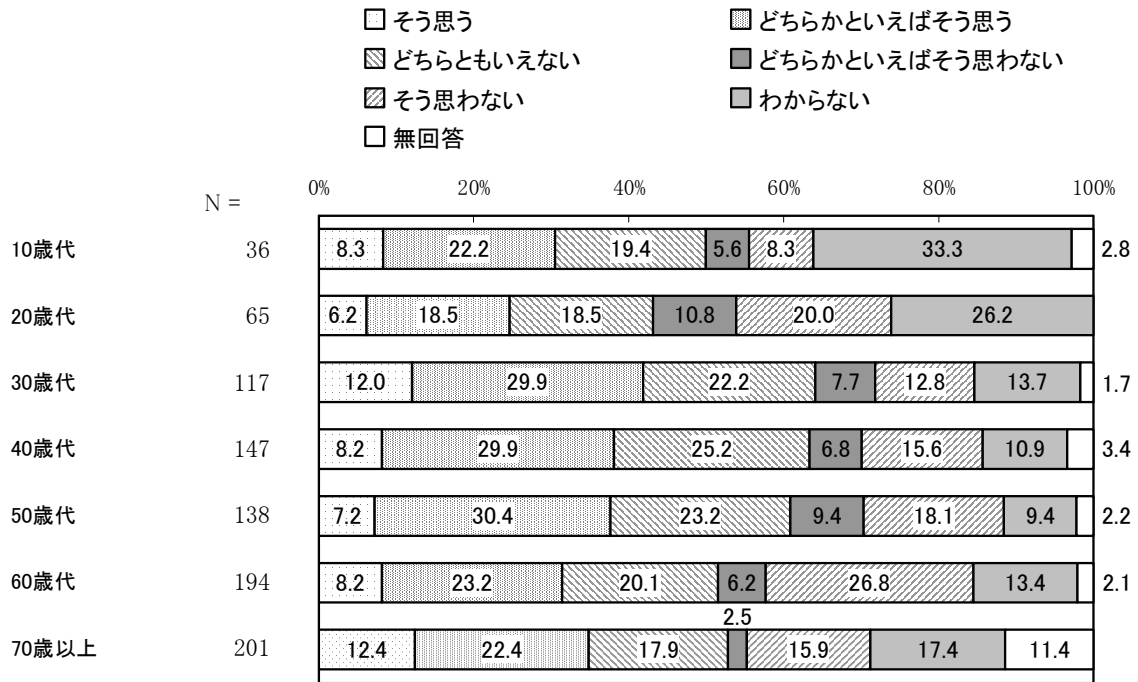
※加重平均の求め方

- ・「そう思う」＝5点・「どちらかといえばそう思う」＝4点・「どちらともいえない」＝3点・「どちらかといえばそう思わない」＝2点・「そう思わない」＝1点として、回答選択肢に重み付けをする。
- ・次に、上記の重み付けの点数に各選択肢の回答者数を乗じて各選択肢の得点を算出し、5つ選択肢の得点を合計することで、当該設問項目の総得点を求める。
- ・この総得点を当該設問項目の有効回答者数（当該設問で「わからない」またはいずれの選択肢にも回答しなかった無回答者を除いた人数）で除することで求められる算術平均値を加重平均とする。

(1) 同和問題は自分とは関係のない話だ

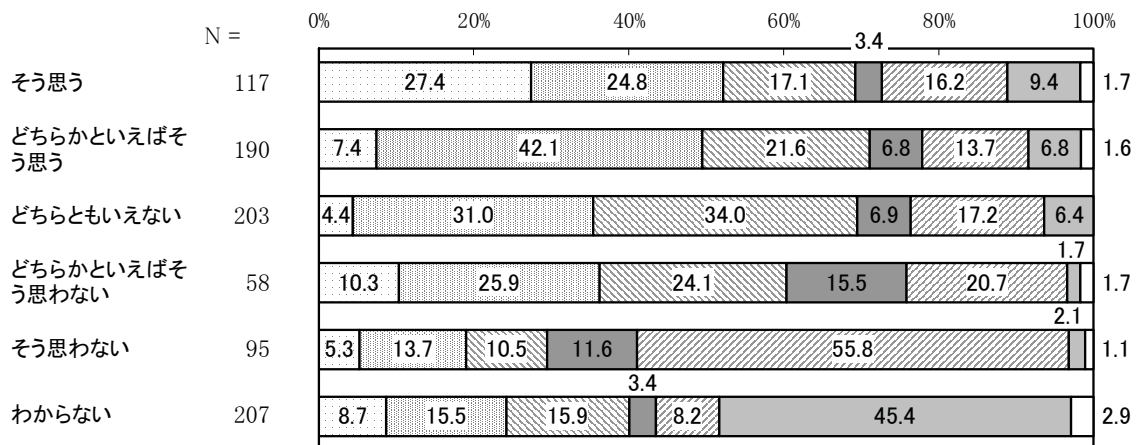
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



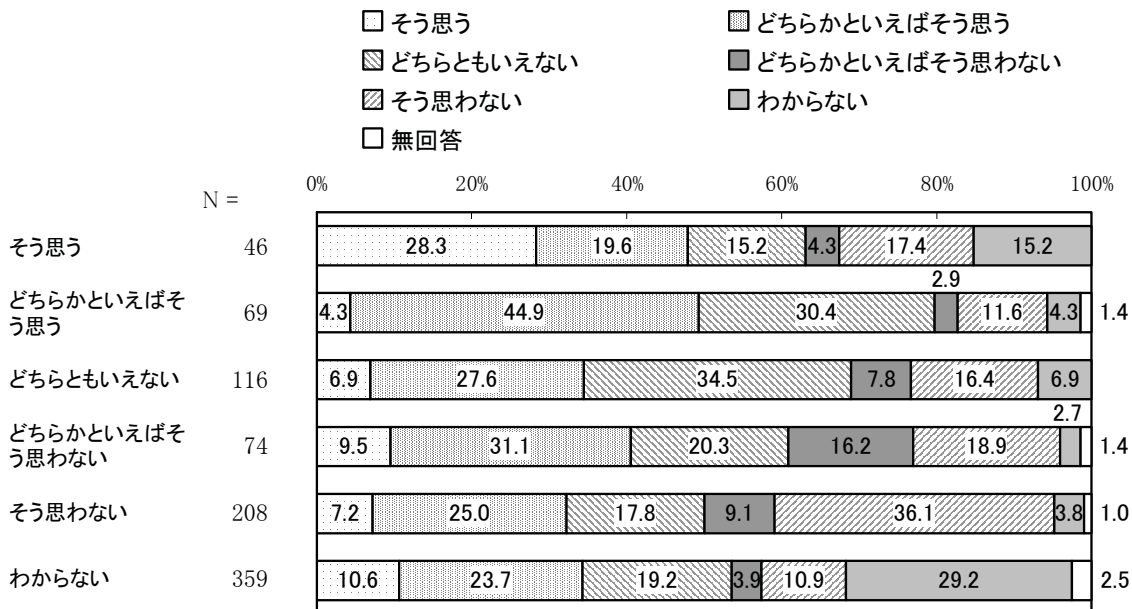
【差別を意識すると問題が広がると思うか別】

差別を意識すると問題が広がると思うか別でみると、他に比べ、そう思う、どちらかといえばそう思うで“そう思う”の割合が高くなっています。



【部落差別もなくなったと思うか別】

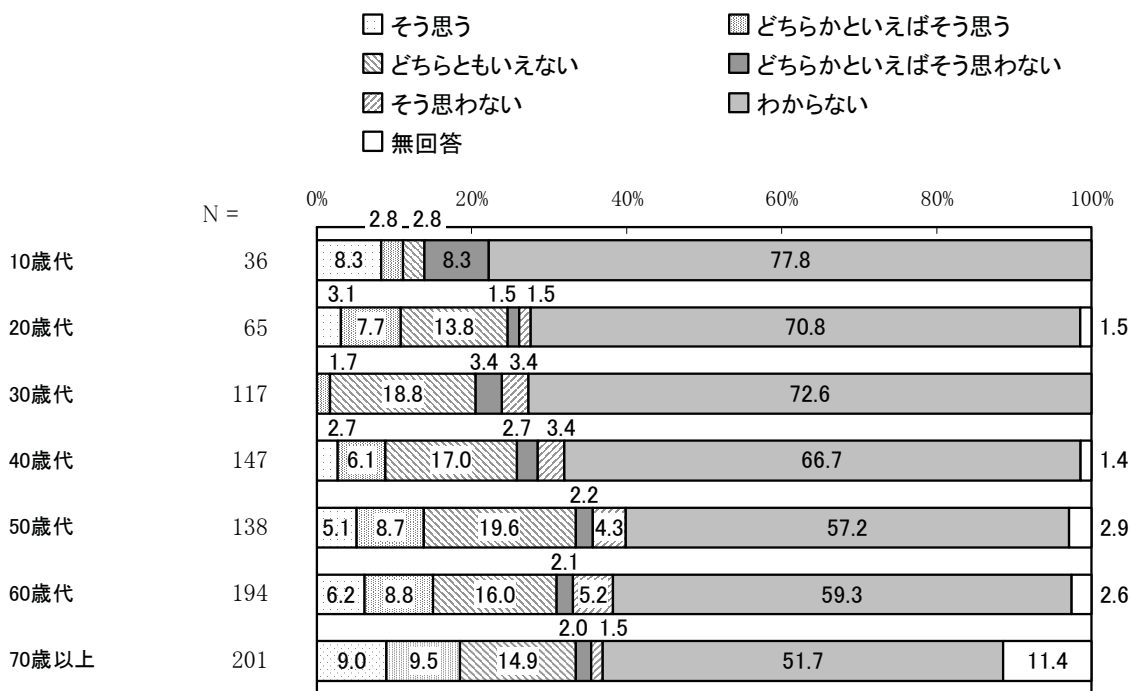
部落差別もなくなったと思うか別でみると、他に比べ、そう思う、どちらかといえばそう思うで“そう思う”の割合が高くなっています。



(2) 同和地区の人びととのふだんつきあいから言えば、思いやりのある人が多い

【年齢別】

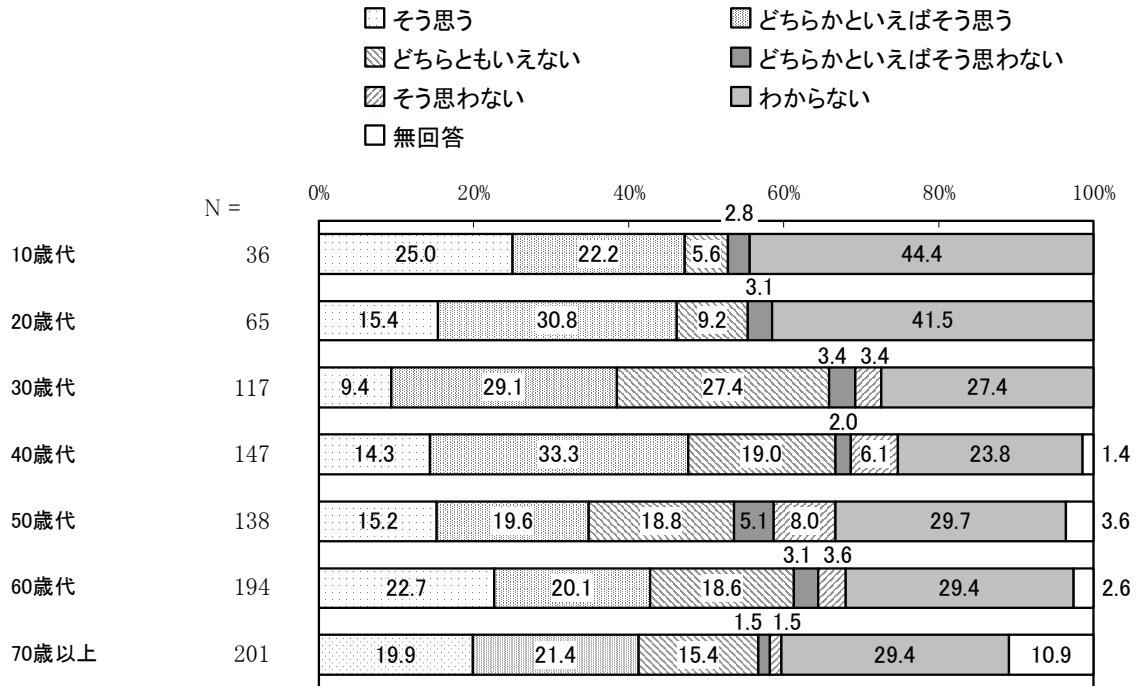
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が高くなっています。



(3) 同和地区の人びとの気持ちや立場をもっと理解すべきだ

【年齢別】

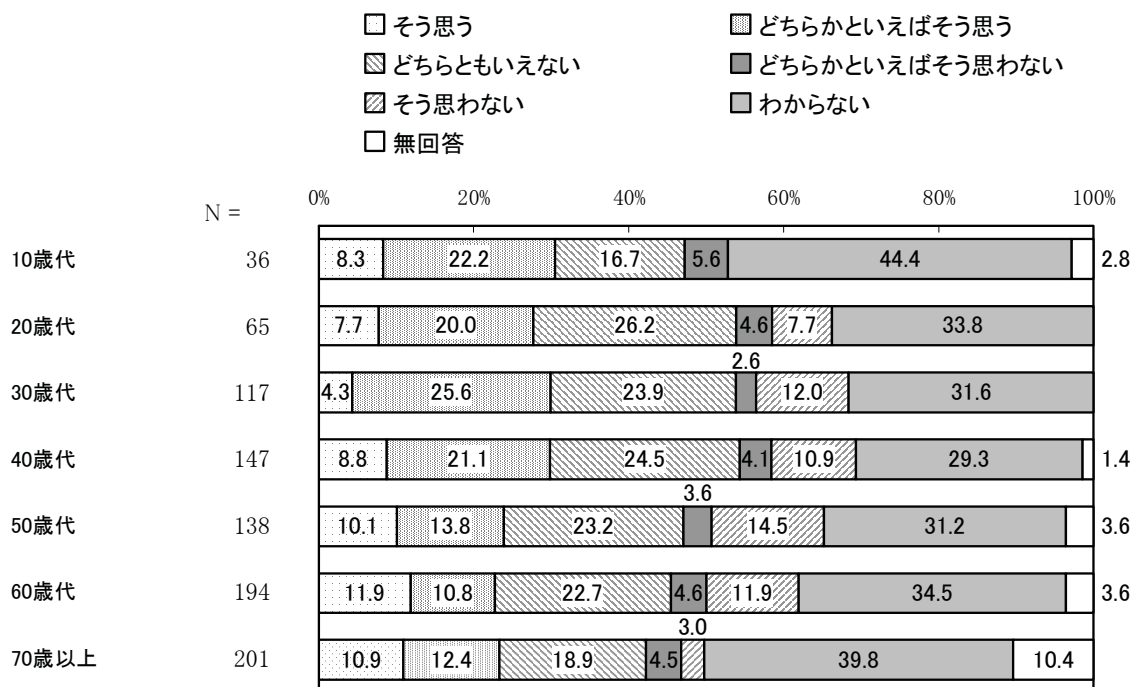
年齢別でみると、他に比べ、10歳代、20歳代、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



(4) 今まで差別されてきた同和地区の人びとのくやしさを思えば、差別したことを厳しく追及するのは理解できる

【年齢別】

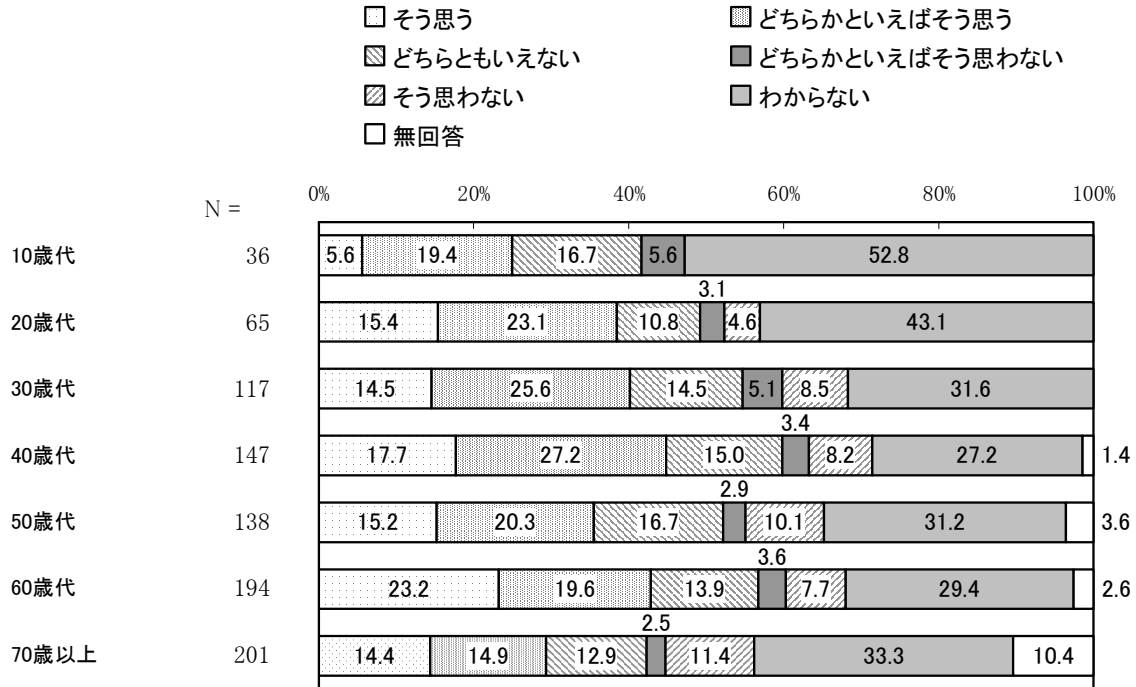
年齢別でみると、他に比べ、50歳代以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



(5) 同和問題を許さない態度を身に付けることは、他の人権問題にもプラスになる

【年齢別】

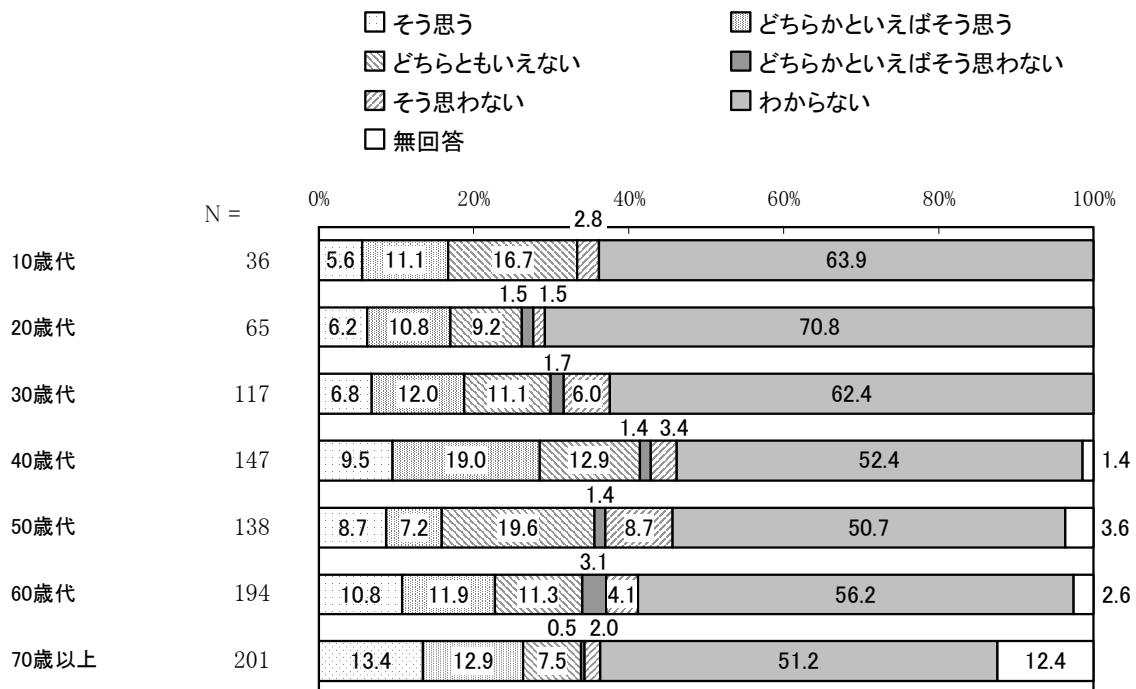
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



(6) 同和地区に伝わる文化は今もすばらしいものがあり、昔から明るくたくましく生きてきた姿がうかがえる

【年齢別】

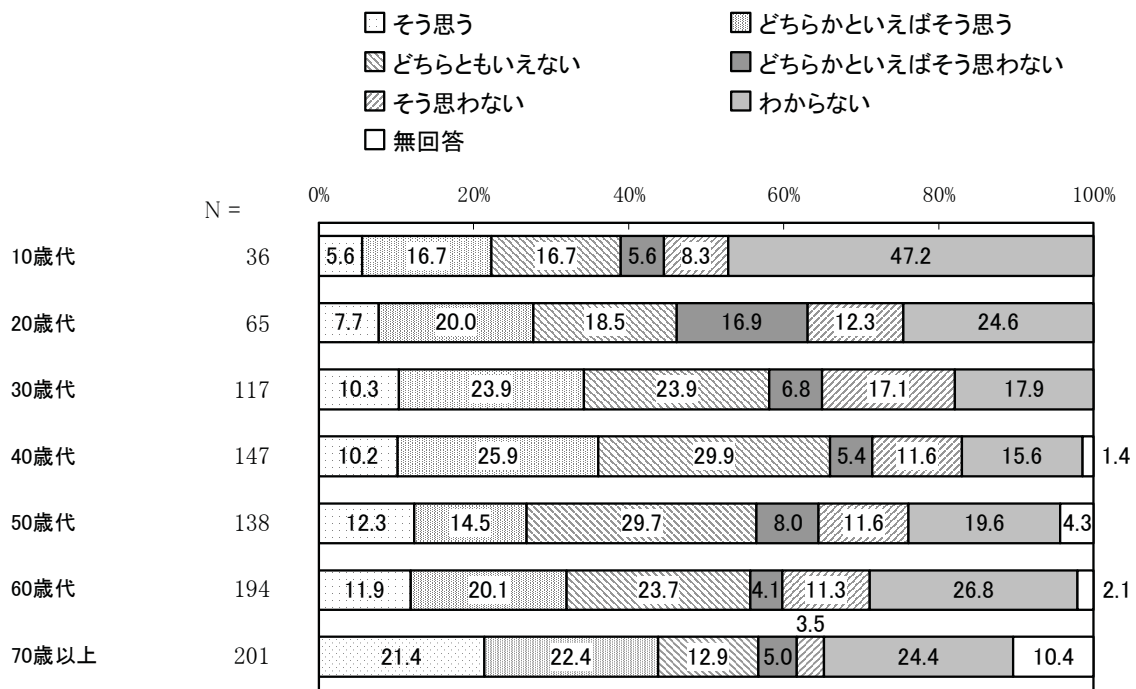
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



(7)「差別」のことを言い過ぎると、余計に意識して問題が広がるので、そっとしておく

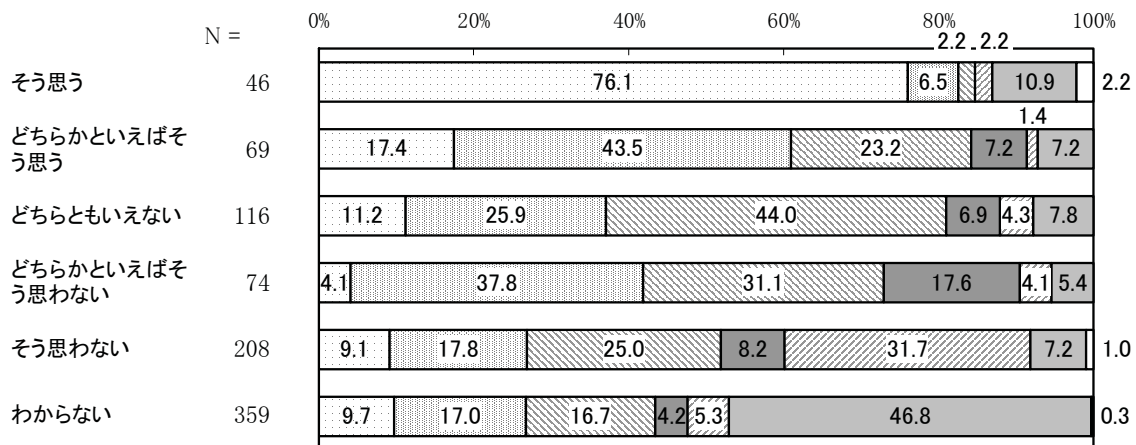
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が高くなっています。



【部落差別もなくなったと思うか別】

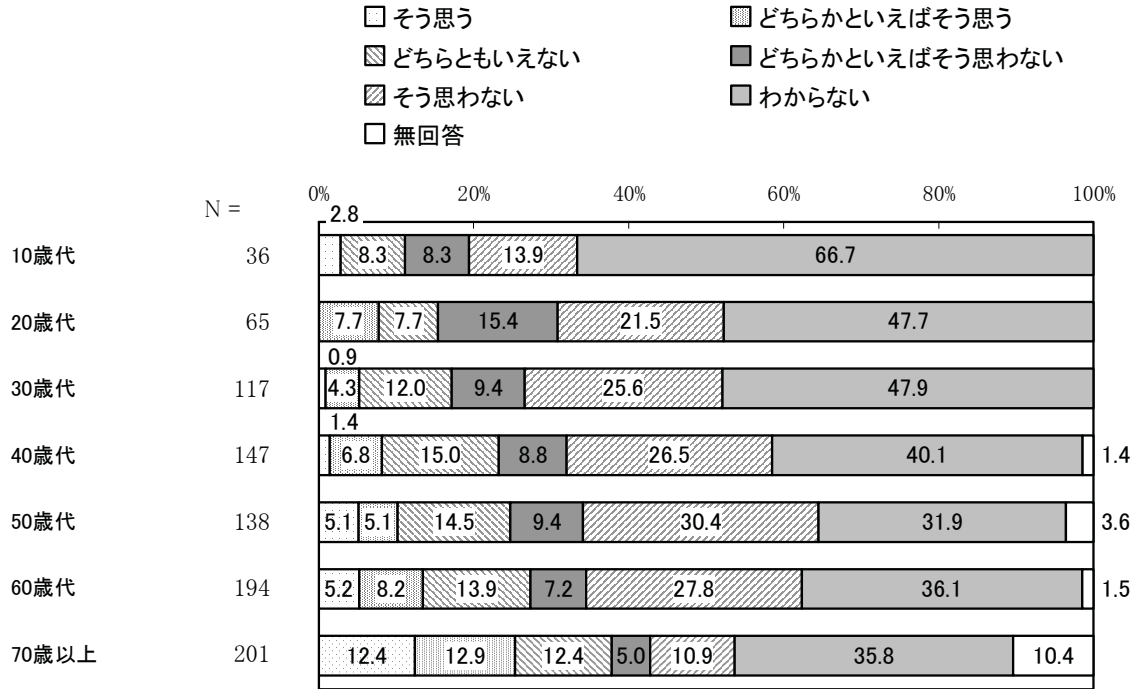
部落差別もなくなったと思うか別でみると、他に比べ、そう思うで“そう思う”の割合が高くなっています。



(8) 同和対策の法律（特別措置法）がなくなったので、部落差別もなくなったと思う

【年齢別】

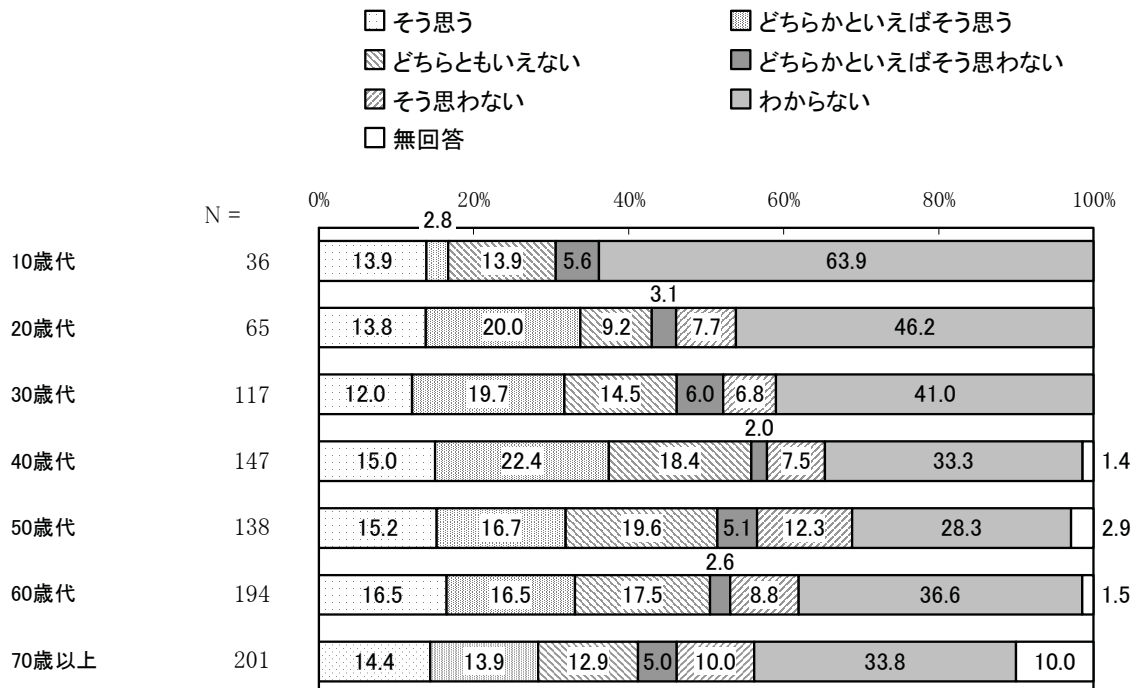
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



(9) 同和対策の法律（特別措置法）はなくなっても、差別がある限り、同和行政は必要だと思う

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。

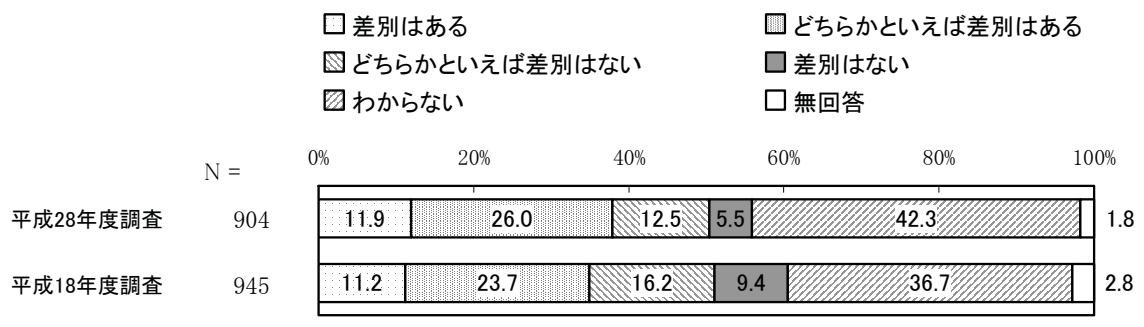


問 22 就職や結婚の場面において、あなたは、同和問題に関連する人権問題がどの程度あると思いますか。【(1)と(2)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

(1) 就職において

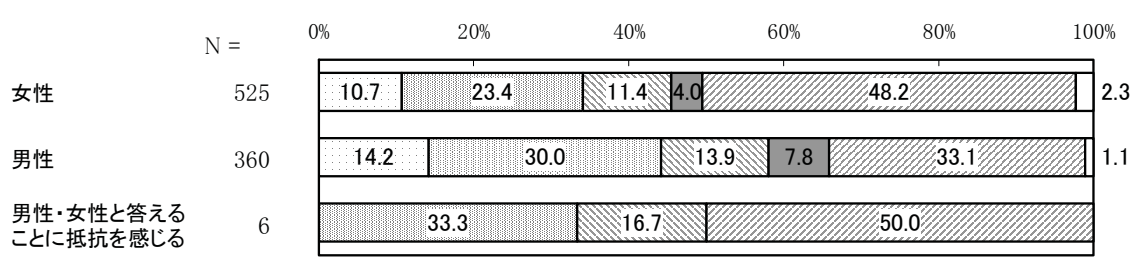
「差別はある」と「どちらかといえば差別はある」をあわせた“差別はある”の割合が37.9%、「わからない」の割合が42.3%、「どちらかといえば差別はない」と「差別はない」をあわせた“差別はない”の割合が18.0%となっています。

平成18年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



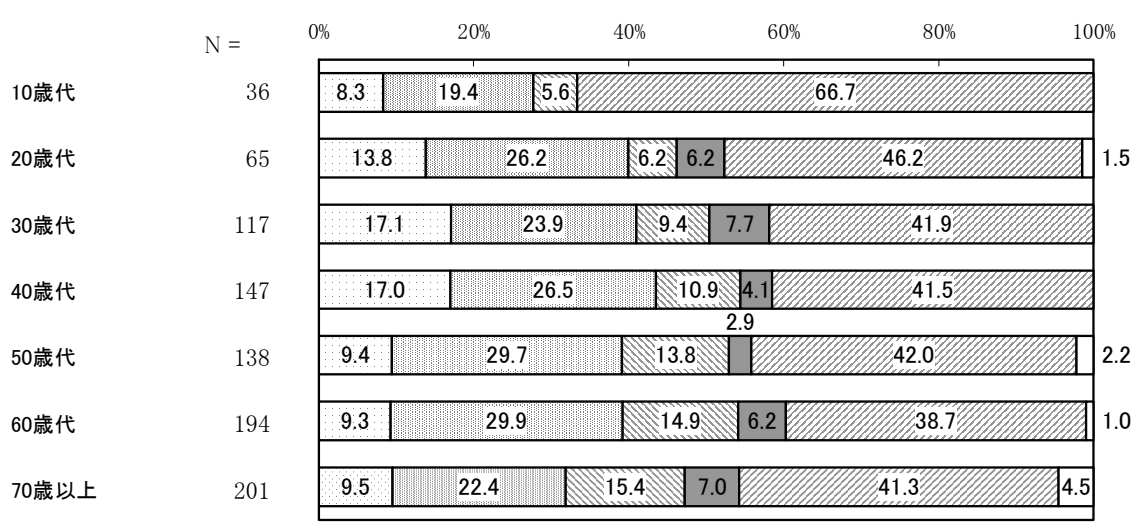
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、男性で“差別はある”の割合が高くなっています。



【年齢別】

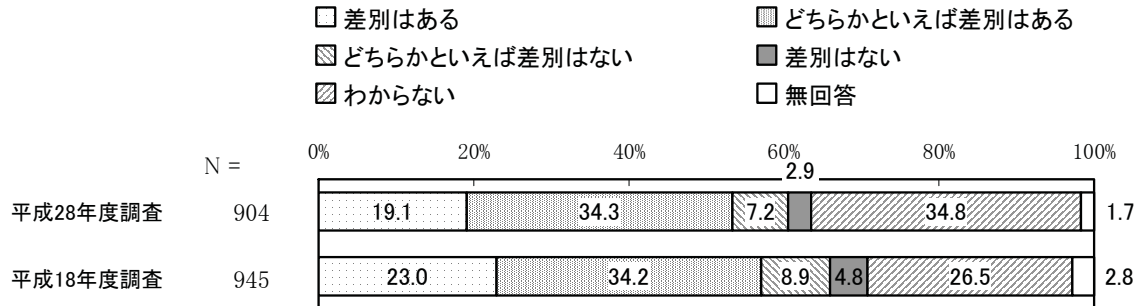
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で“差別はある”の割合が低くなっています。



(2) 結婚において

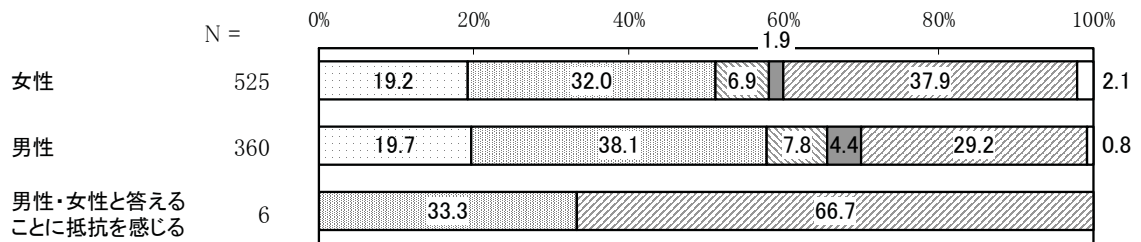
「差別はある」と「どちらかといえば差別はある」をあわせた“差別はある”の割合が 53.4%、「わからない」の割合が 34.8%、「どちらかといえば差別はない」と「差別はない」をあわせた“差別はない”の割合が 10.1%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



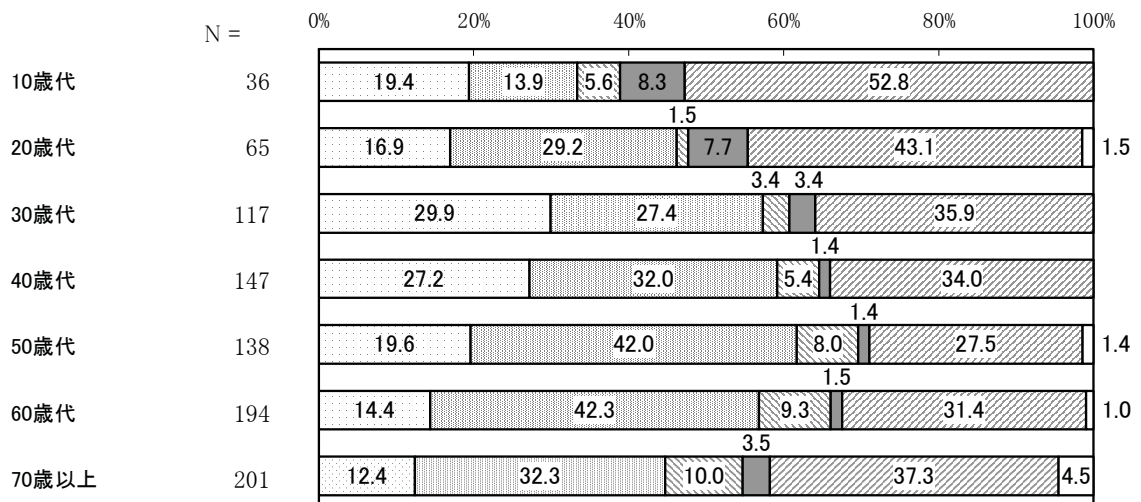
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、男性で“差別はある”の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で“差別はある”の割合が低くなっています。

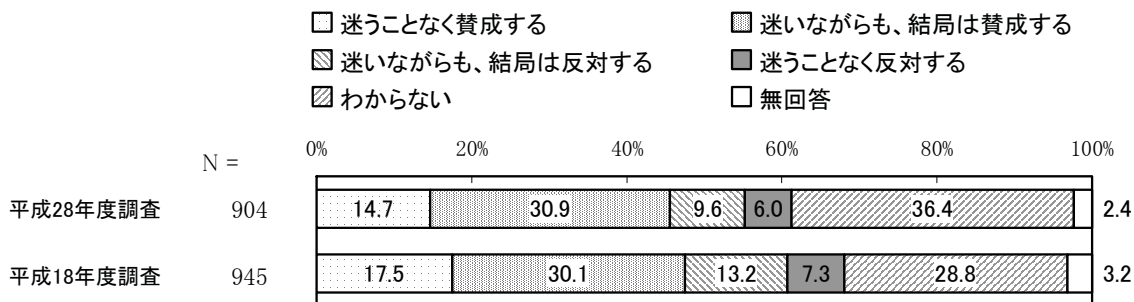


問 23 仮に、あなたの子ども（子どもがいない方は、いるものと仮定してください）が結婚しようとしている相手が同和地区の人だった場合、あなたは、親としてどのような態度をとりますか。また、あなたの親戚は、あなたやあなたの子どもに対してどのような態度をとると思いますか。
 【(1) と (2) それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

(1) あなたが親として子どもに対してとる態度

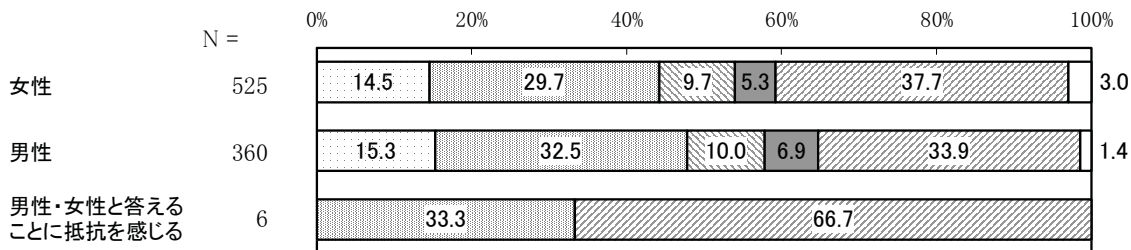
「迷うことなく賛成する」と「迷いながらも、結局は賛成する」をあわせた“賛成する”の割合が 45.6%、「わからない」の割合が 36.4%、「迷いながらも、結局は反対する」と「迷うことなく反対する」をあわせた“反対する”の割合が 15.6%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



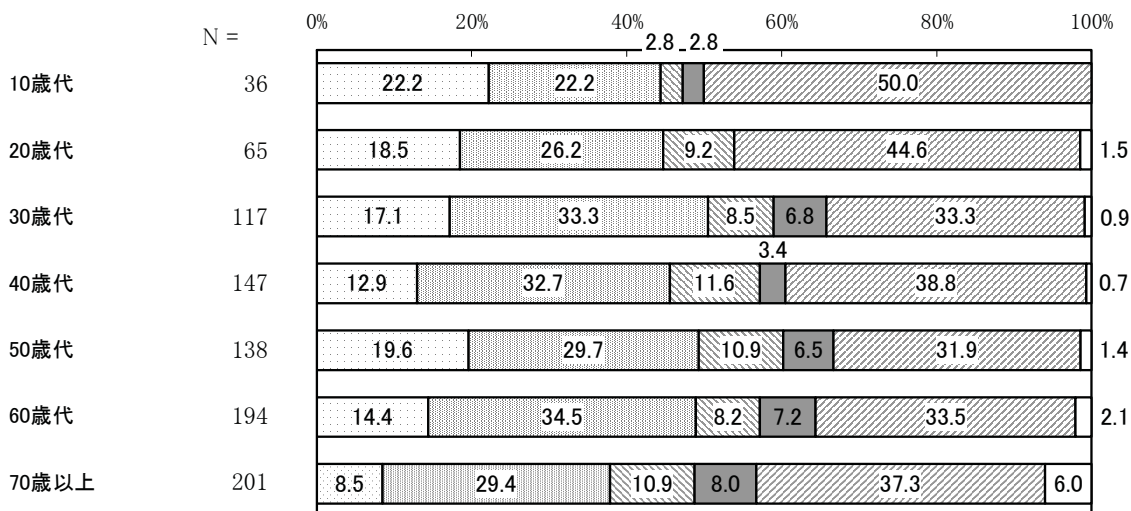
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

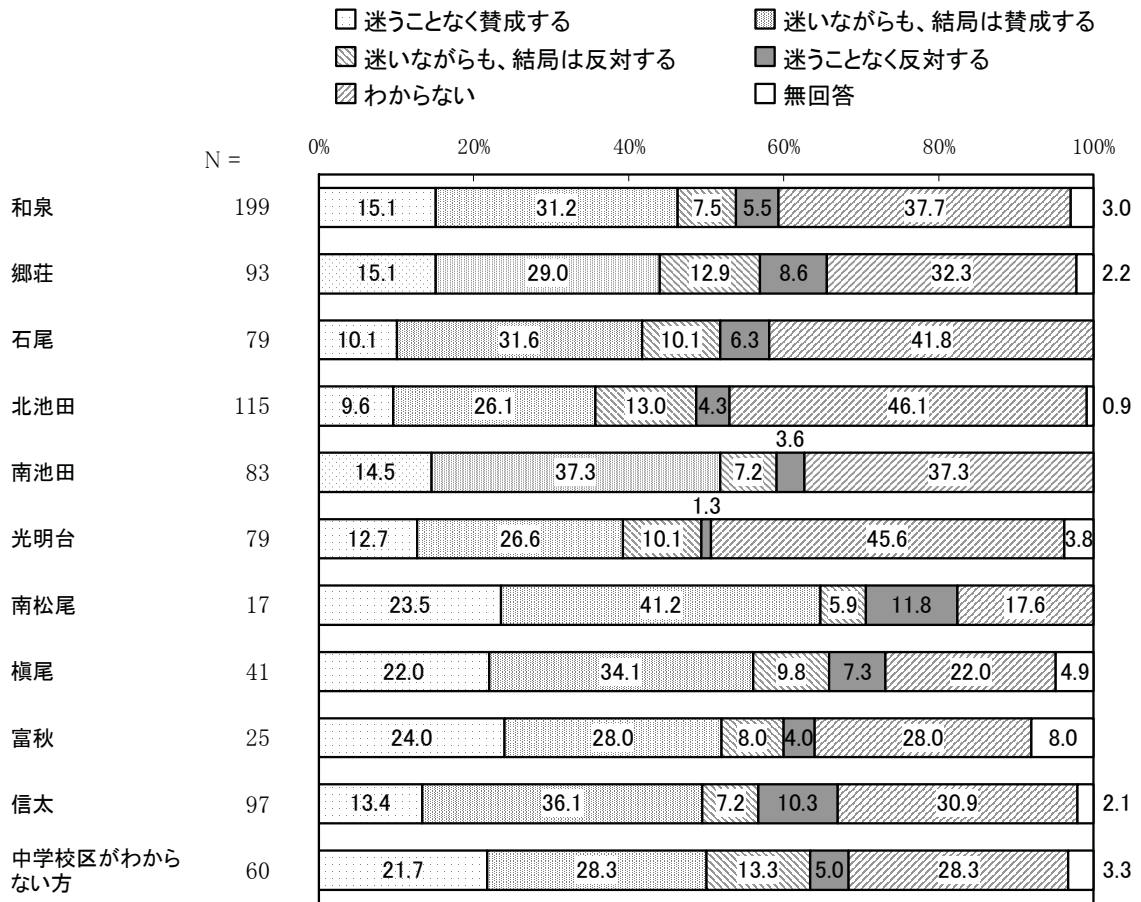


【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「迷うことなく賛成する」の割合が低くなっています。

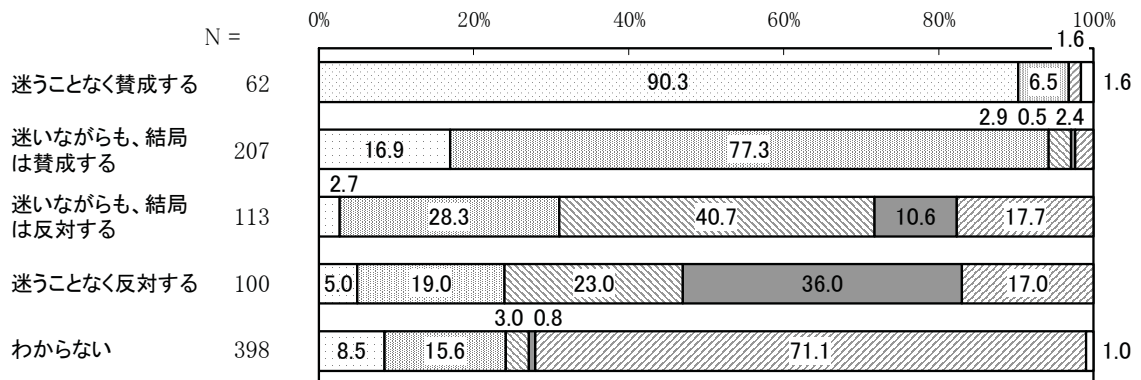


【地区別】



【親戚がとると思われる態度別】

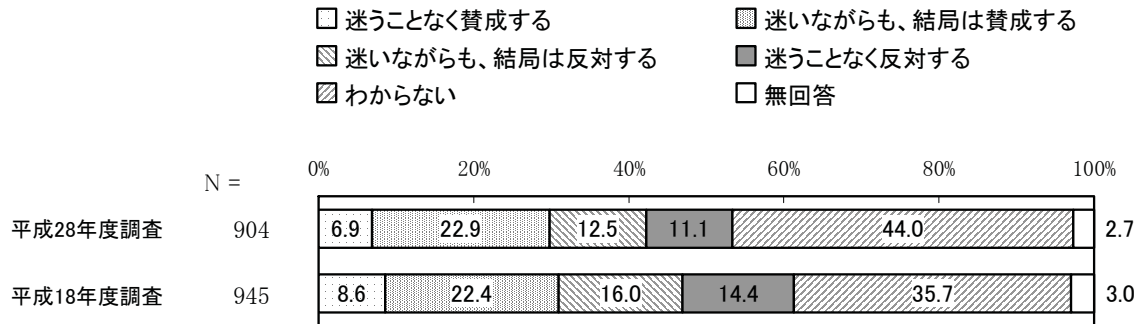
親戚がとると思われる態度別でみると、他に比べ、親戚が迷うことなく賛成するで親も「迷うことなく賛成する」の割合が高くなっています。また、親戚が迷うことなく反対するで親も「迷うことなく反対する」の割合が高くなっています。



(2) あなたの親戚があなたやあなたの子どもに対してとると思われる態度

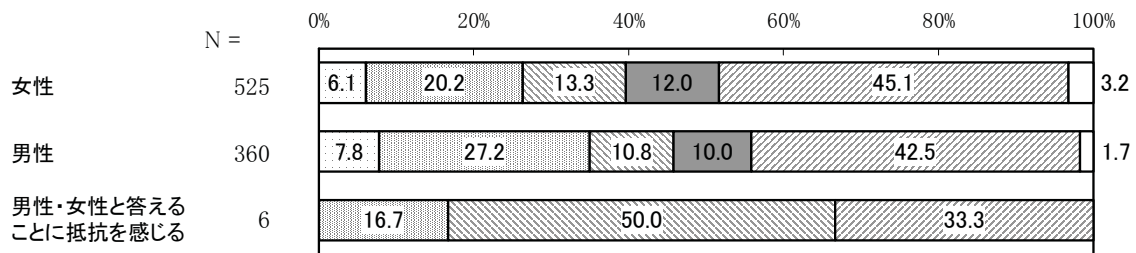
「迷うことなく賛成する」と「迷いながらも、結局は賛成する」をあわせた“賛成する”の割合が 29.8%、「わからない」の割合が 44.0%、「迷いながらも、結局は反対する」と「迷うことなく反対する」をあわせた“反対する”の割合が 23.6%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



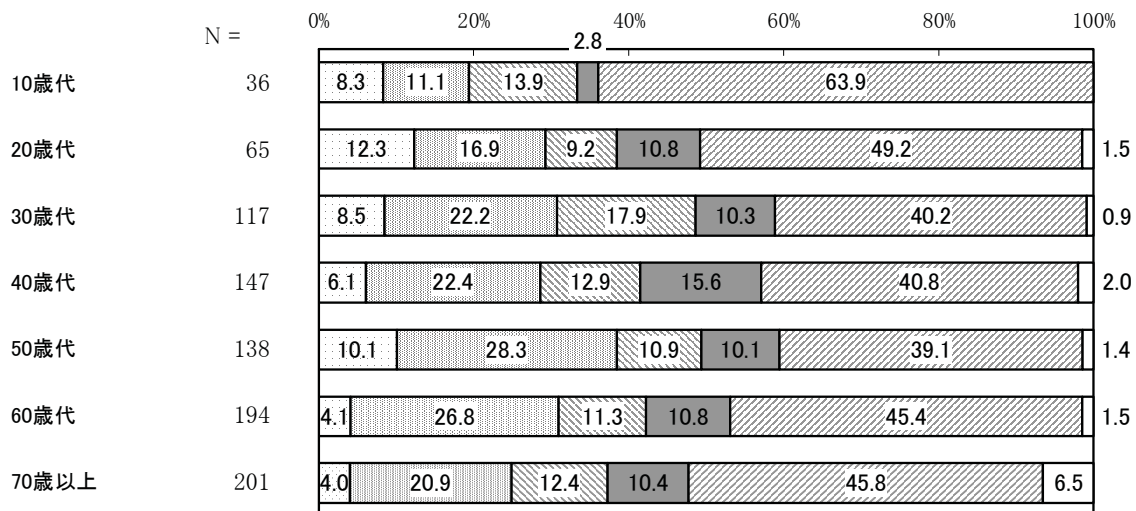
【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で“賛成する”の割合が高くなっています。



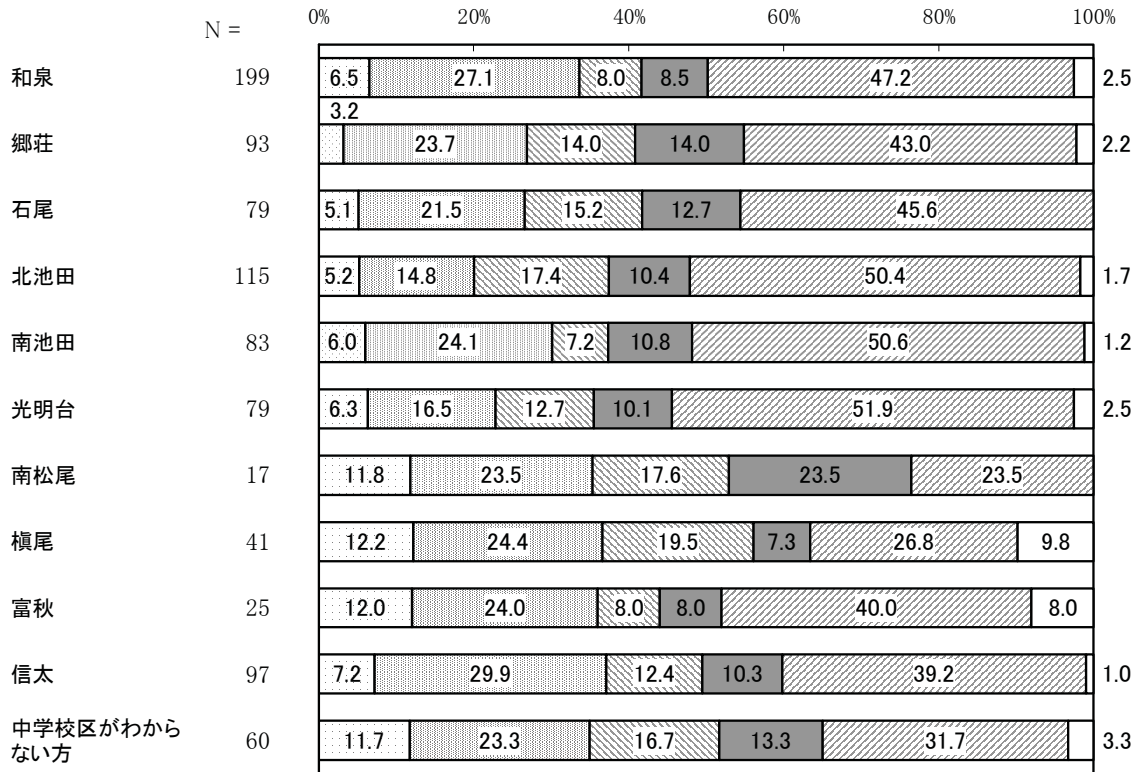
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で“賛成する”の割合が高くなっています。



【地区別】

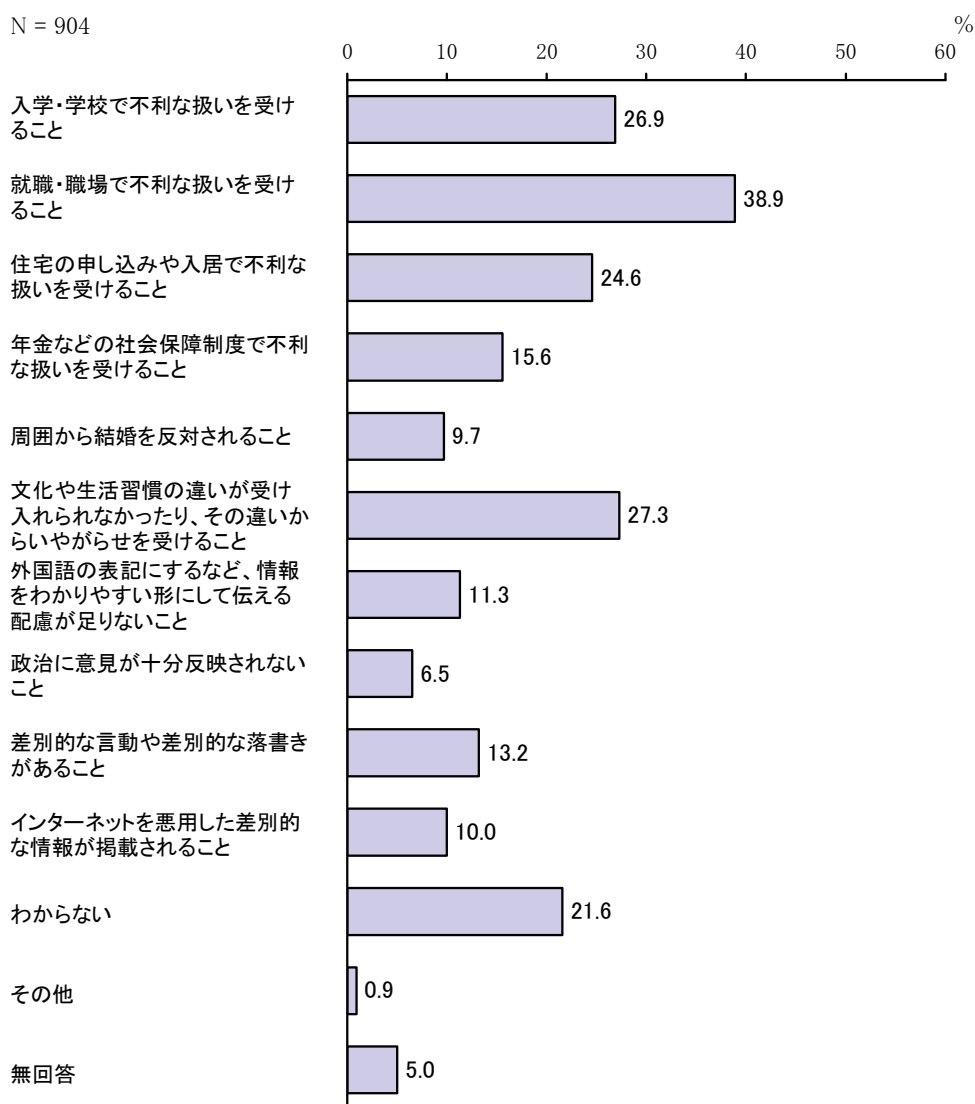
- 迷うことなく賛成する
- ▨ 迷いながらも、結局は賛成する
- ▩ 迷いながらも、結局は反対する
- 迷うことなく反対する
- ▧ わからない
- 無回答



6 様々な人権課題について

問 24 日本に居住している外国人に関することで、人権上、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるもの3つまで○】

「就職・職場で不利な扱いを受けること」の割合が38.9%と最も高く、次いで「文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること」の割合が27.3%、「入学・学校で不利な扱いを受けること」の割合が26.9%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「就職・職場で不利な扱いを受けること」「文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	入学・学校で不利な扱いを受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	住宅の申し込みや入居で不利な扱いを受けること	年金などの社会保障制度で不利な扱いを受けること	周囲から結婚を反対されること	文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること
女性	525	27.8	36.4	25.3	13.9	9.0	25.5
男性	360	26.4	43.9	24.4	18.3	11.1	30.6
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	16.7	33.3	—	—	—	33.3

区分	外国語の表記にするなど、情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	政治に意見が十分反映されないこと	差別的な言動や差別的な落書きがあること	インターネットを悪用した差別的な情報が掲載されること	わからない	その他	無回答
女性	11.8	5.7	13.1	10.3	23.6	1.0	5.5
男性	11.1	7.5	13.6	9.7	17.2	0.8	3.3
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	—	—	—	—	50.0	—	16.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること」の割合が、30歳代で「入学・学校で不利な扱いを受けること」の割合が高くなっています。

単位：%

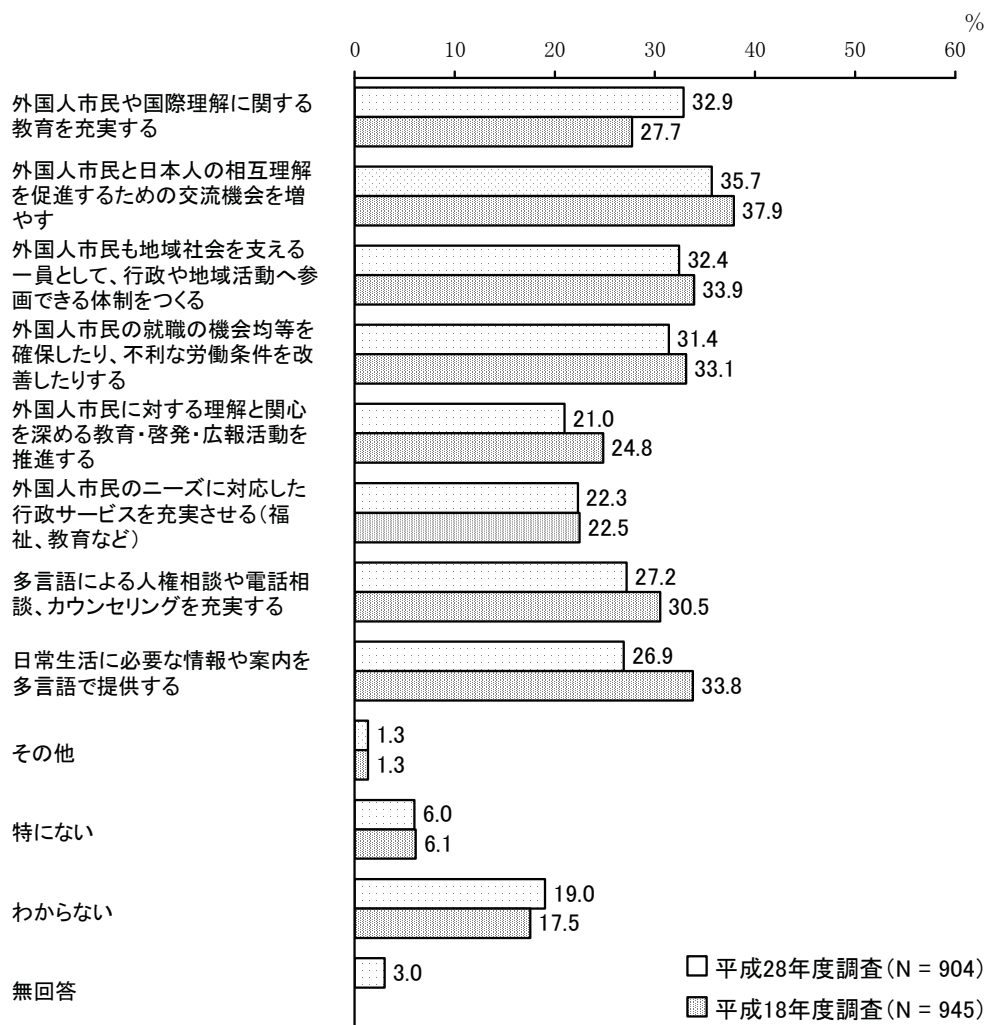
区分	有効回答数 (件)	入学・学校で不利な扱いを受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	住宅の申し込みや入居で不利な扱いを受けること	年金などの社会保障制度で不利な扱いを受けること	周囲から結婚を反対されること	文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること
10歳代	36	25.0	55.6	13.9	11.1	13.9	47.2
20歳代	65	33.8	46.2	26.2	15.4	9.2	41.5
30歳代	117	38.5	44.4	37.6	17.1	6.8	27.4
40歳代	147	29.9	42.9	32.0	18.4	7.5	30.6
50歳代	138	25.4	42.8	24.6	13.0	14.5	27.5
60歳代	194	23.2	39.2	20.1	17.0	10.3	25.3
70歳以上	201	20.9	25.4	17.4	13.9	8.5	19.4

区分	外国語の表記にするなど、情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	政治に意見が十分反映されないこと	差別的な言動や差別的な落書きがあること	インターネットを悪用した差別的な情報が掲載されること	わからない	その他	無回答
10歳代	5.6	8.3	22.2	11.1	13.9	—	2.8
20歳代	7.7	10.8	18.5	13.8	10.8	—	6.2
30歳代	10.3	6.0	15.4	8.5	13.7	0.9	2.6
40歳代	7.5	5.4	10.9	6.1	21.1	2.0	2.0
50歳代	13.8	8.7	13.8	9.4	19.6	1.4	2.9
60歳代	16.0	4.6	14.4	13.9	23.2	—	4.1
70歳以上	10.9	6.0	8.5	8.5	30.8	1.0	10.4

問 25 あなたは、外国人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに〇】

「外国人市民と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「外国人市民や国際理解に関する教育を充実する」の割合が 32.9%、「外国人市民も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」の割合が 32.4%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「外国人市民や国際理解に関する教育を充実する」の割合が増加し、「日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「多言語による人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する」「日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する」の割合が高くなっています。一方、男性で「外国人市民と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	外国人市民や国際理解に関する教育を充実する	外国人市民と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす	外国人市民も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参加できる体制をつくる	外国人市民の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする	外国人市民に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	外国人市民のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）
女性	525	33.1	33.5	32.0	30.5	20.4	21.9
男性	360	33.6	40.6	33.6	33.6	21.9	23.6
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	—	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7

区分	多言語による人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する	日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する	その他	特にない	わからない	無回答
女性	30.1	29.3	1.1	4.8	21.7	3.8
男性	23.1	23.9	1.7	7.5	13.9	1.4
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	50.0	33.3	—	16.7	33.3	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「外国人市民に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」の割合が、20歳代で「外国人市民のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）」の割合が高くなっています。

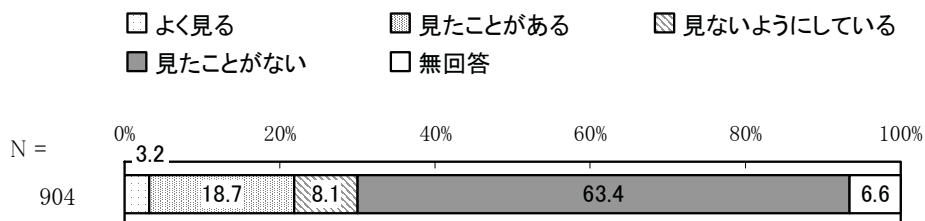
単位：％

区分	有効回答数 (件)	外国人市民や国際理解に関する教育を充実する	外国人市民と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす	外国人市民も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる	外国人市民の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする	外国人市民に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	外国人市民のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）
10歳代	36	36.1	58.3	36.1	38.9	33.3	22.2
20歳代	65	46.2	41.5	46.2	35.4	20.0	36.9
30歳代	117	42.7	38.5	31.6	32.5	23.1	27.4
40歳代	147	34.0	34.7	32.7	34.0	15.6	23.1
50歳代	138	30.4	37.7	30.4	31.9	27.5	20.3
60歳代	194	29.4	37.1	30.9	30.4	19.6	17.0
70歳以上	201	26.9	27.4	30.8	27.4	18.9	21.4

区分	多言語による人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する	日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する	その他	特になし	わからない	無回答
10歳代	19.4	16.7	—	—	13.9	—
20歳代	29.2	32.3	3.1	7.7	9.2	1.5
30歳代	29.1	23.9	2.6	4.3	16.2	—
40歳代	34.7	28.6	0.7	3.4	13.6	1.4
50歳代	31.9	34.1	2.9	5.8	21.7	2.2
60歳代	24.7	26.8	0.5	6.2	21.1	2.1
70歳以上	20.9	23.4	0.5	9.0	24.4	8.0

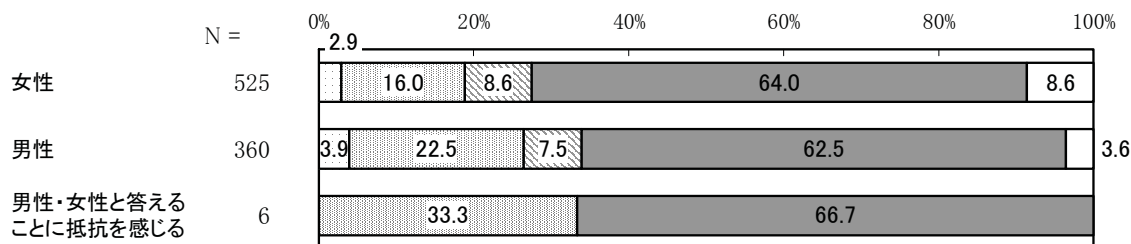
問 26 インターネット上で、差別的な表現や他人を誹謗中傷するなど、人権侵害と思われるような書き込みやホームページについて、お聞きします。あなたは、そのような内容のページを見たことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

「見たことがない」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「見たことがある」の割合が 18.7%となっています。



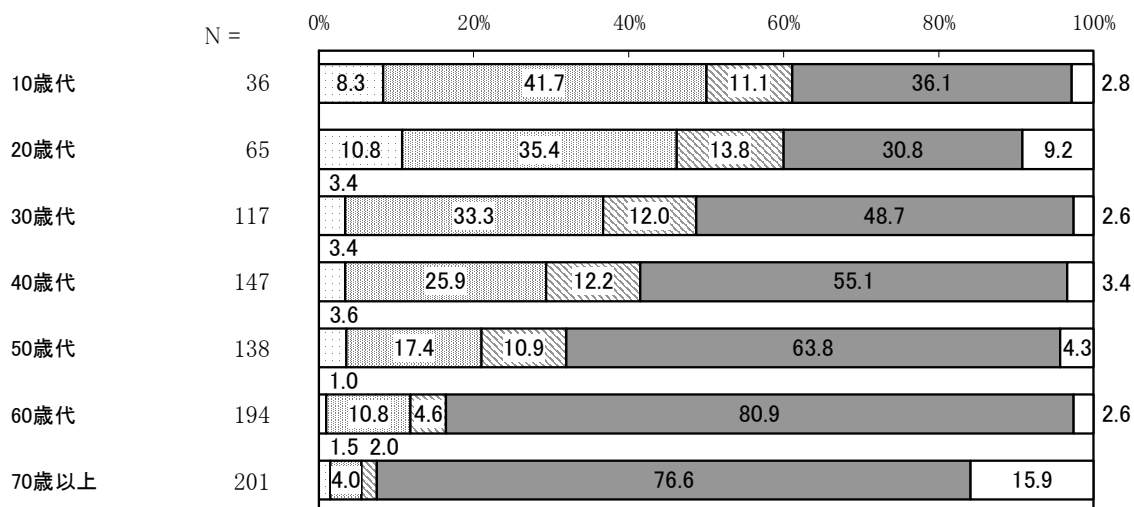
【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「見たことがある」の割合が高くなっています。



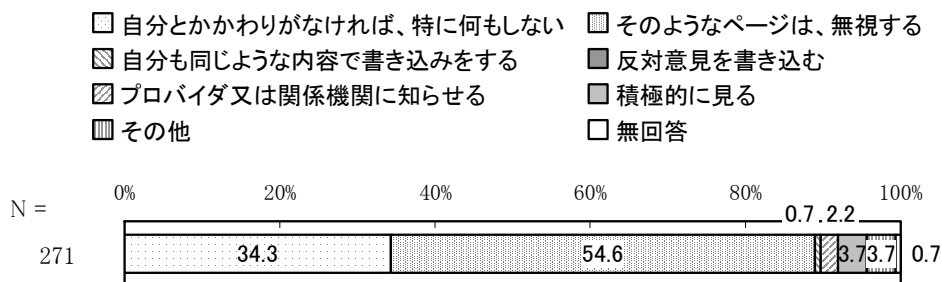
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「見たことがある」の割合が高くなっています。



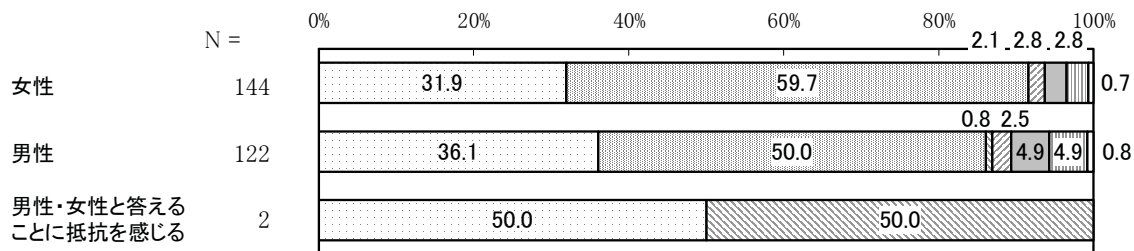
問 26-1 問26で「1. よく見る」「2. 見たことがある」「3. 見ないようにしている」と回答した方におうかがいします。そのようなページを見たとき、どのようにされますか。【あてはまるもの1つに○】

「そのようなページは、無視する」の割合が54.6%と最も高く、次いで「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」の割合が34.3%となっています。



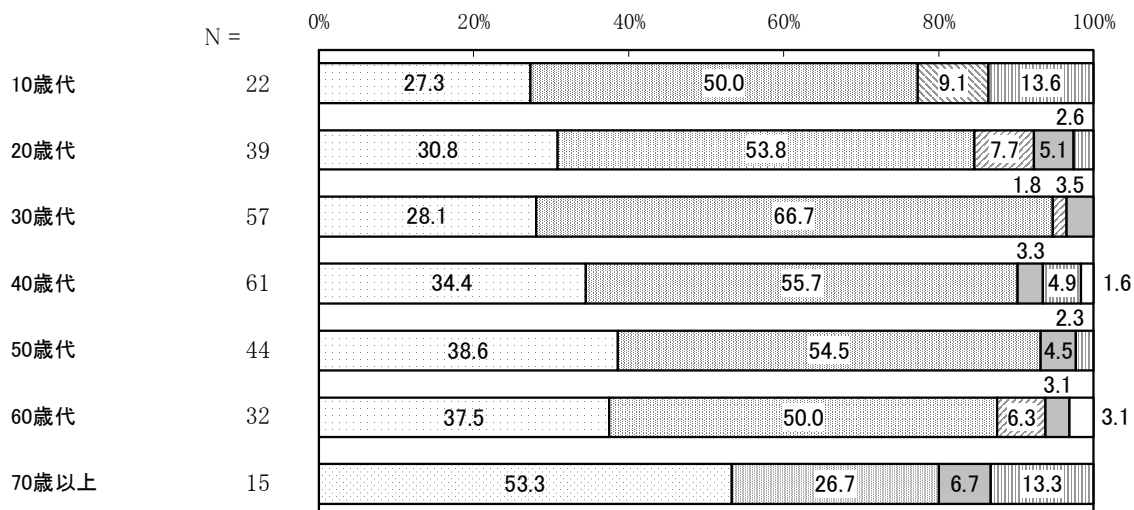
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「そのようなページは、無視する」の割合が高くなっています。



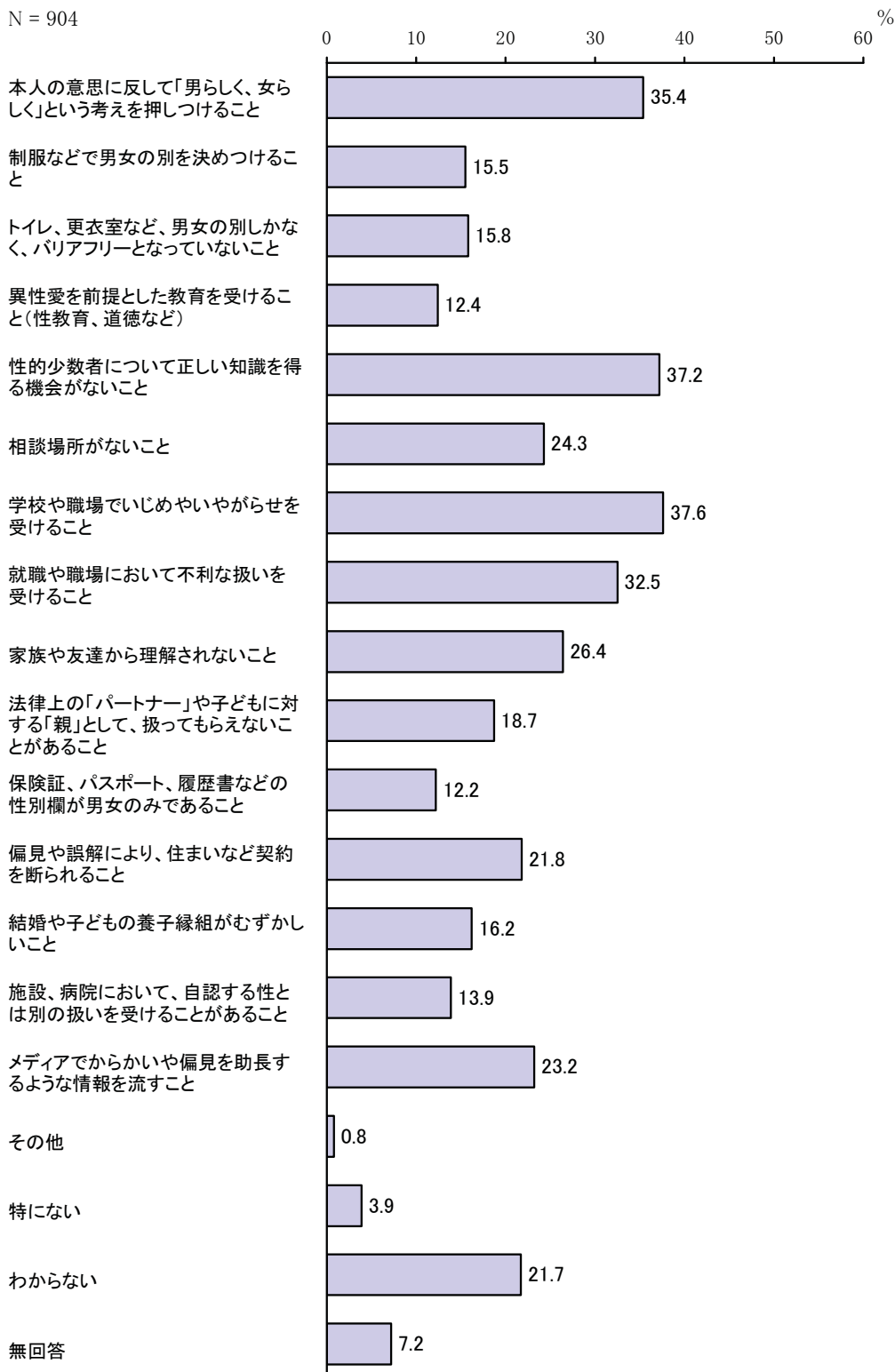
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「自分とかかわりがなければ、特に何もしない」の割合が高くなっています。



問 27 性的マイノリティ（少数者）の人々の人権についておたずねします。性的マイノリティ（少数者）の人々に関する人権のことで、あなたが特に課題だと思われるのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

「学校や職場でいじめやいやがらせを受けること」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「性的少数者について正しい知識を得る機会がないこと」の割合が 37.2%、「本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること」の割合が 35.4%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「施設、病院において、自認する性とは別の扱いを受けることがあること」「学校や職場でいじめやいやがらせを受けること」「法律上の「パートナー」や子どもに対する「親」として、扱ってもらえないことがあること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること	制服などで男女の別を決めつけること	トイレ、更衣室など、男女の別がなく、バリアフリーとなっていないこと	異性愛を前提とした教育を受けること(性教育、道徳など)	性的少数者について正しい知識を得る機会がないこと	相談場所がないこと	学校や職場でいじめやいやがらせを受けること	就職や職場において不利な扱いを受けること	家族や友達から理解されないこと
女性	525	38.9	19.0	17.9	14.7	38.3	27.4	41.7	36.4	27.8
男性	360	30.6	10.8	13.3	9.4	36.1	20.6	32.8	28.3	25.0
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	33.3	16.7	—	—	33.3	16.7	16.7	—	—

区分	法律上の「パートナー」や子どもに対する「親」として、扱ってもらえないことがあること	保険証、パスポート、履歴書などの性別欄が男女のみであること	偏見や誤解により、住まいなど契約を断られること	結婚や子どもの養子縁組がむずかしいこと	施設、病院において、自認する性とは別の扱いを受けることがあること	メディアでからかいや偏見を助長するような情報を流すこと	その他	特になし	わからない	無回答
女性	22.7	14.7	25.3	19.4	17.9	26.9	1.0	2.5	20.4	8.0
男性	13.3	8.9	16.9	11.9	8.6	18.9	0.6	6.1	21.9	6.1
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	16.7	16.7	16.7	—	—	—	—	—	33.3	16.7

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「家族や友達から理解されないこと」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

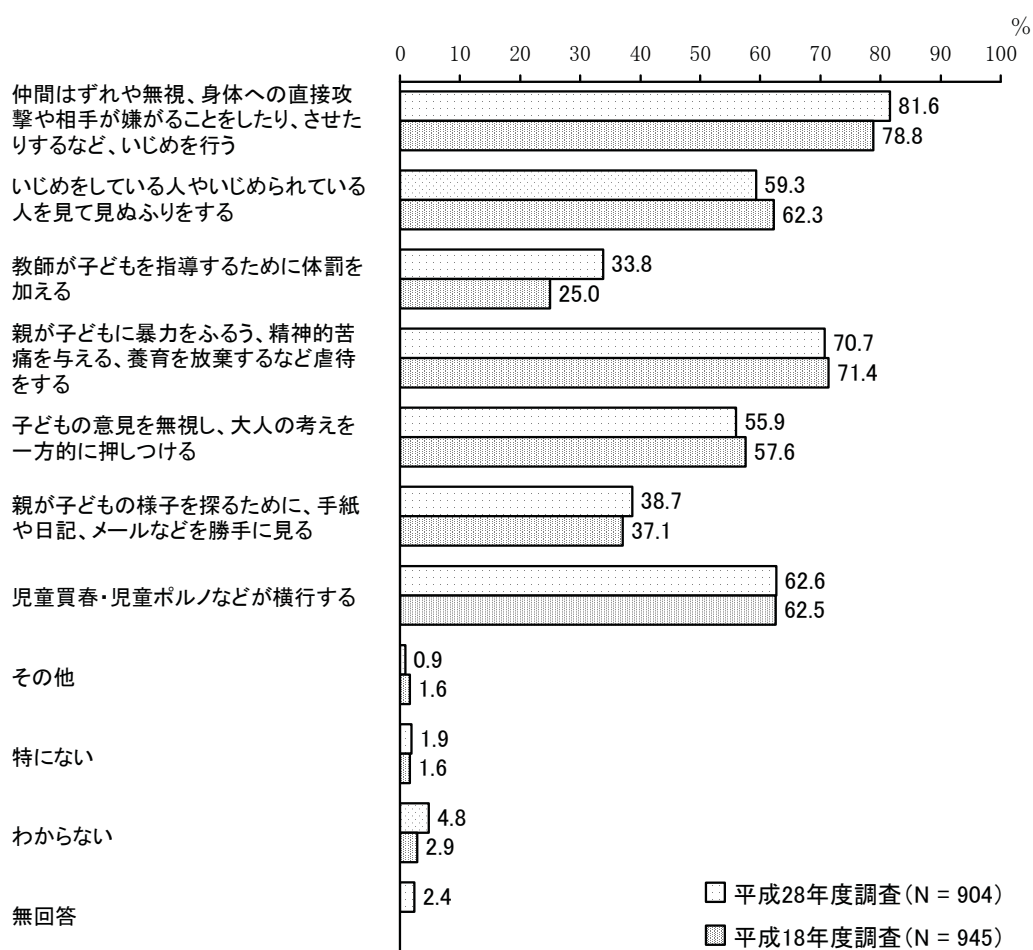
区分	有効回答数(件)	本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること	制服などで男女の別を決めつけること	トイレ、更衣室など、男女の別がなく、バリアフリーとなっていないこと	異性を前提とした教育を受けること、性教育、道徳など	性的少数者について正しい知識を得る機会がないこと	相談場所がないこと	学校や職場でいじめやいやがらせを受けること	就職や職場において不利な扱いを受けること	家族や友達から理解されないこと
10歳代	36	44.4	13.9	22.2	16.7	47.2	19.4	61.1	52.8	41.7
20歳代	65	55.4	23.1	15.4	18.5	40.0	26.2	61.5	56.9	40.0
30歳代	117	36.8	20.5	17.9	17.9	44.4	29.1	51.3	41.9	32.5
40歳代	147	53.1	23.1	21.1	12.9	42.2	33.3	49.7	37.4	32.7
50歳代	138	41.3	22.5	20.3	15.2	46.4	30.4	44.2	36.2	31.2
60歳代	194	26.3	6.2	11.9	6.7	35.1	23.2	25.8	24.2	19.6
70歳以上	201	18.9	9.5	10.9	9.5	22.9	12.9	16.4	18.4	14.9

区分	法律上の「パートナー」や子どもに対する「親」として、扱ってもらえないことがあること	保険証、パスポート、履歴書などの性別欄が男女のみであること	偏見や誤解により、住まいなど契約を断られること	結婚や子どもの養子縁組がむずかしいこと	施設、病院において、自認する性とは別の扱いを受けることがあること	メディアでからかいや偏見を助長するような情報を流すこと	その他	特にない	わからない	無回答
10歳代	30.6	8.3	19.4	22.2	5.6	41.7	—	—	16.7	2.8
20歳代	35.4	16.9	35.4	38.5	15.4	44.6	1.5	3.1	10.8	4.6
30歳代	26.5	16.2	35.9	26.5	17.1	35.9	—	1.7	11.1	3.4
40歳代	21.8	14.3	29.3	17.0	15.0	27.9	0.7	2.0	11.6	4.8
50歳代	25.4	15.2	22.5	18.8	21.0	23.2	2.2	3.6	17.4	8.0
60歳代	11.3	8.2	16.0	8.8	10.8	16.5	—	4.1	27.3	7.2
70歳以上	7.5	9.5	9.5	7.0	10.9	9.5	1.0	7.5	36.3	11.9

問 28 あなたは、子どもに関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行う」の割合が81.6%と最も高く、次いで「親が子どもに暴力をふるう、精神的苦痛を与える、養育を放棄するなど虐待をする」の割合が70.7%、「児童買春・児童ポルノなどが横行する」の割合が62.6%となっています。

平成18年度調査と比較すると、「教師が子どもを指導するために体罰を加える」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「教師が子どもを指導するために体罰を加える」「親が子どもに暴力をふるう、精神的苦痛を与える、養育を放棄するなど虐待をする」「児童買春・児童ポルノなどが横行する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行う	いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする	教師が子どもを指導するために体罰を加える	親が子どもに暴力をふるう、精神的苦痛を与える、養育を放棄するなど虐待をする	子どもの意見を無視し、大人の考えを一方的に押しつける
女性	525	82.5	61.5	37.7	73.9	57.3
男性	360	81.1	57.2	29.2	67.5	55.3
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	100.0	50.0	33.3	66.7	50.0

区分	親が子どもの様子を探るために、手紙や日記、メールなどを勝手に見る	児童買春・児童ポルノなどが横行する	その他	特になし	わからない	無回答
女性	38.9	66.7	1.1	1.3	5.0	3.2
男性	39.7	58.3	0.3	2.8	3.9	1.4
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	33.3	50.0	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「子どもの意見を無視し、大人の考えを一方的に押しつける」の割合が、30歳代で「児童買春・児童ポルノなどが横行する」の割合が高くなっています。

単位：%

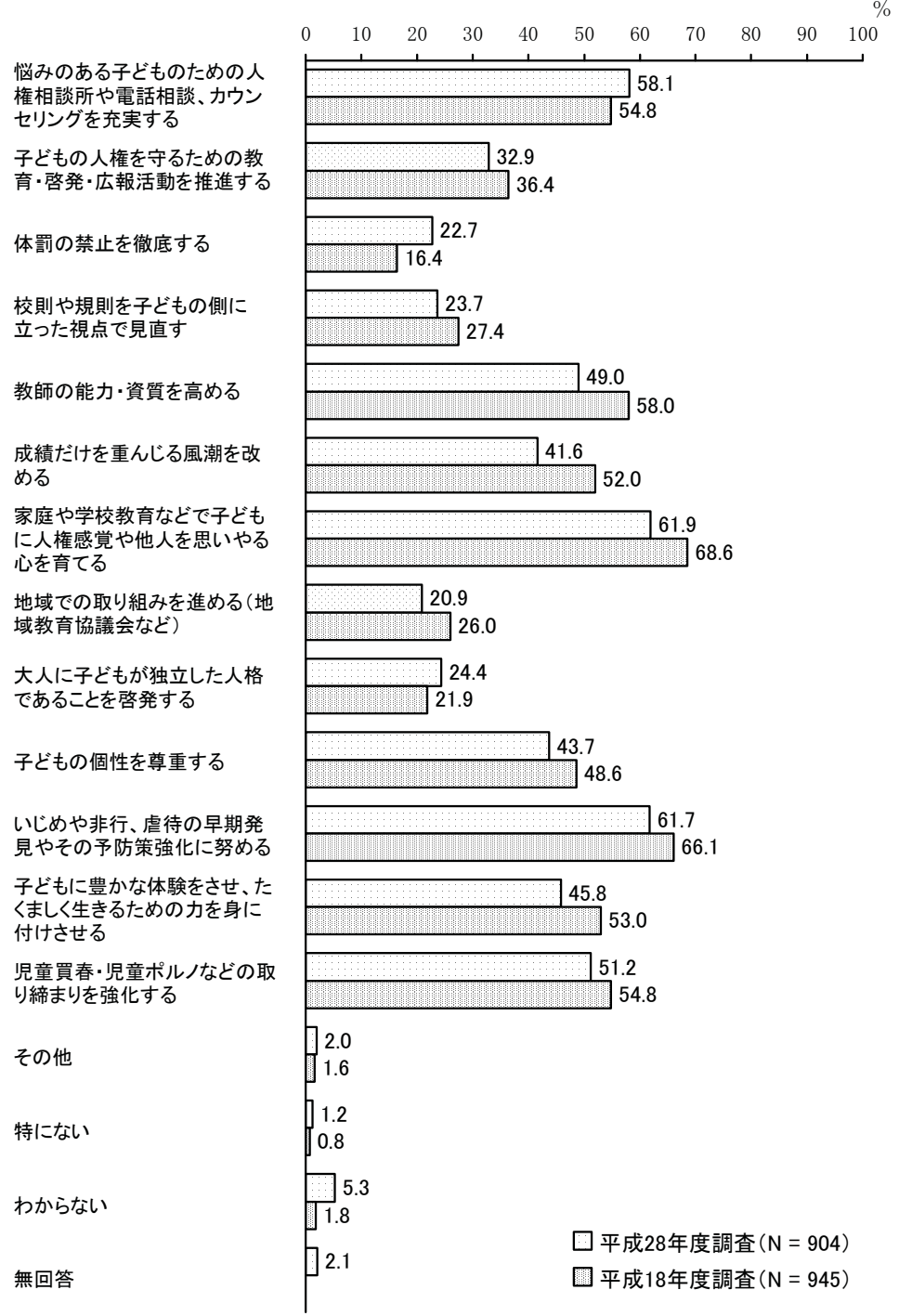
区分	有効回答数 (件)	仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行う	いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする	教師が子どもを指導するために体罰を加える	親が子どもに暴力をふるう、精神的苦痛を与える、養育を放棄するなど虐待をする	子どもの意見を無視し、大人の考えを一方向的に押しつける
10歳代	36	77.8	47.2	41.7	66.7	63.9
20歳代	65	84.6	60.0	35.4	84.6	72.3
30歳代	117	87.2	60.7	47.9	82.9	64.1
40歳代	147	89.1	66.0	31.3	78.2	61.9
50歳代	138	87.0	63.0	36.2	76.1	59.4
60歳代	194	84.0	64.4	30.9	69.1	53.6
70歳以上	201	67.7	48.8	27.9	53.2	41.3

区分	親が子どもの様子を探るために、手紙や日記、メールなどを勝手に見る	児童買春・児童ポルノなどが横行する	その他	特にない	わからない	無回答
10歳代	47.2	55.6	—	—	5.6	—
20歳代	56.9	66.2	1.5	—	3.1	1.5
30歳代	39.3	80.3	0.9	—	2.6	0.9
40歳代	44.9	74.1	1.4	0.7	4.8	—
50歳代	41.3	67.4	1.4	0.7	3.6	1.4
60歳代	38.7	58.2	0.5	1.5	3.1	2.1
70歳以上	25.9	46.3	—	6.0	9.0	6.5

問 29 あなたは、子どもの人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「家庭や学校教育などで子どもに人権感覚や他人を思いやる心を育てる」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「いじめや非行、虐待の早期発見やその予防策強化に努める」の割合が 61.7%、「悩みのある子どものための人権相談所や電話相談、カウンセリングを充実する」の割合が 58.1%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「体罰の禁止を徹底する」の割合が増加し、「教師の能力・資質を高める」「成績だけを重んじる風潮を改める」「家庭や学校教育などで子どもに人権感覚や他人を思いやる心を育てる」「地域での取り組みを進める（地域教育協議会など）」「子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「家庭や学校教育などで子どもに人権感覚や他人を思いやる心を育てる」「子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる」「児童買春・児童ポルノなどの取り締まりを強化する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	悩みのある子どものため の人権相談所や電話相談、 カウンセリングを充実する	子どもの人権を守るための 教育・啓発・広報活動を推 進する	体罰の禁止を徹底する	校則や規則を子どもの側に 立った視点で見直す	教師の能力・資質を高める	成績だけを重んじる風潮を 改める	家庭や学校教育などで子ど もに人権感覚や他人を思い やる心を育てる	地域での取り組みを進める (地域教育協議会など)
女性	525	61.3	32.6	24.6	25.0	49.5	42.5	67.6	22.3
男性	360	53.6	33.9	20.3	22.8	48.9	41.9	54.7	20.0
男性・女性と答える ことに抵抗を感じる	6	50.0	33.3	33.3	16.7	50.0	—	66.7	—

区分	大人に子どもが独立した人 格であることを啓発する	子どもの個性を尊重する	いじめや非行、虐待の早期 発見やその予防策強化に努 める	子どもに豊かな体験をさ せ、たくましく生きるため の力を身に付けさせる	児童買春・児童ポルノなど の取り締まりを強化する	その他	特にな い	わから ない	無回 答
女性	27.6	46.3	65.7	49.7	56.6	2.1	1.1	5.0	2.5
男性	20.3	41.7	57.8	41.1	45.0	1.9	1.4	5.3	1.4
男性・女性と答える ことに抵抗を感じる	33.3	—	50.0	33.3	50.0	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「子どもの個性を尊重する」の割合が高くなっています。

単位：%

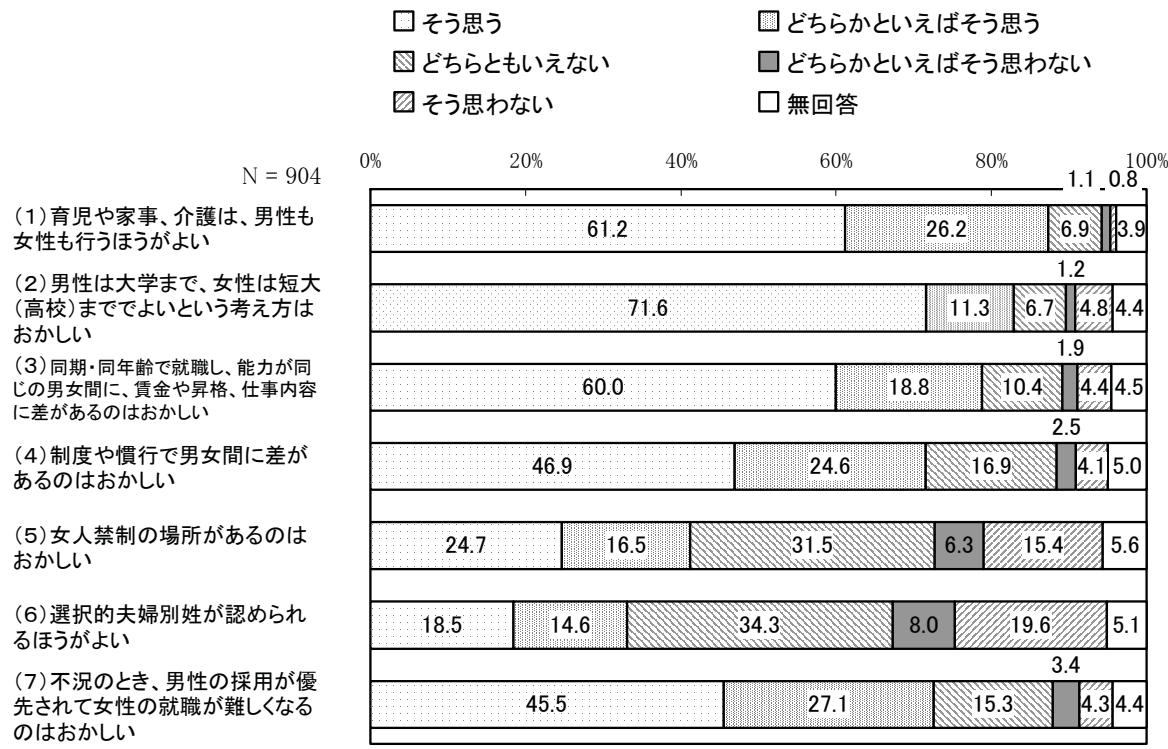
区分	有効回答数 (件)	悩みのある子ども の権利相談所や電話相談、 カウンセリングを充実する	子どもの権利を守るための 教育・啓発・広報活動を推 進する	体罰の禁止を徹底する	校則や規則を子どもの側に 立った視点で見直す	教師の能力・資質を高める	成績だけを重んじる風潮を 改める	家庭や学校教育などで子ど もに人権感覚や他人を思い やる心を育てる	地域での取り組みを進める (地域教育協議会など)
10歳代	36	44.4	30.6	33.3	38.9	30.6	44.4	50.0	11.1
20歳代	65	53.8	23.1	24.6	46.2	53.8	46.2	58.5	16.9
30歳代	117	54.7	32.5	27.4	22.2	47.9	40.2	70.9	26.5
40歳代	147	62.6	25.9	13.6	15.6	53.1	36.7	62.6	21.8
50歳代	138	58.7	35.5	25.4	21.7	57.2	44.2	64.5	28.3
60歳代	194	61.3	37.1	22.2	20.6	48.5	44.3	67.5	17.5
70歳以上	201	56.7	35.8	22.9	25.4	43.8	40.3	53.7	18.9

区分	大人に子どもが独立した人 格であることを啓発する	子どもの個性を尊重する	いじめや非行、虐待の早期 発見やその予防策強化に努 める	子どもに豊かな体験をさ せ、たくましく生きるため の力を身に付けさせる	児童買春・児童ポルノなど の取り締まりを強化する	その他	特にな い	わから ない	無回 答
10歳代	25.0	63.9	72.2	41.7	41.7	2.8	—	2.8	—
20歳代	29.2	60.0	67.7	61.5	50.8	1.5	—	6.2	1.5
30歳代	33.3	49.6	63.2	58.1	57.3	4.3	—	2.6	—
40歳代	22.4	43.5	60.5	48.3	54.4	2.7	1.4	5.4	—
50歳代	29.0	42.8	63.8	40.6	60.1	3.6	—	3.6	1.4
60歳代	22.2	39.7	66.0	42.8	51.5	1.0	1.0	4.6	1.5
70歳以上	18.9	36.8	54.2	39.8	42.3	—	3.5	9.0	6.0

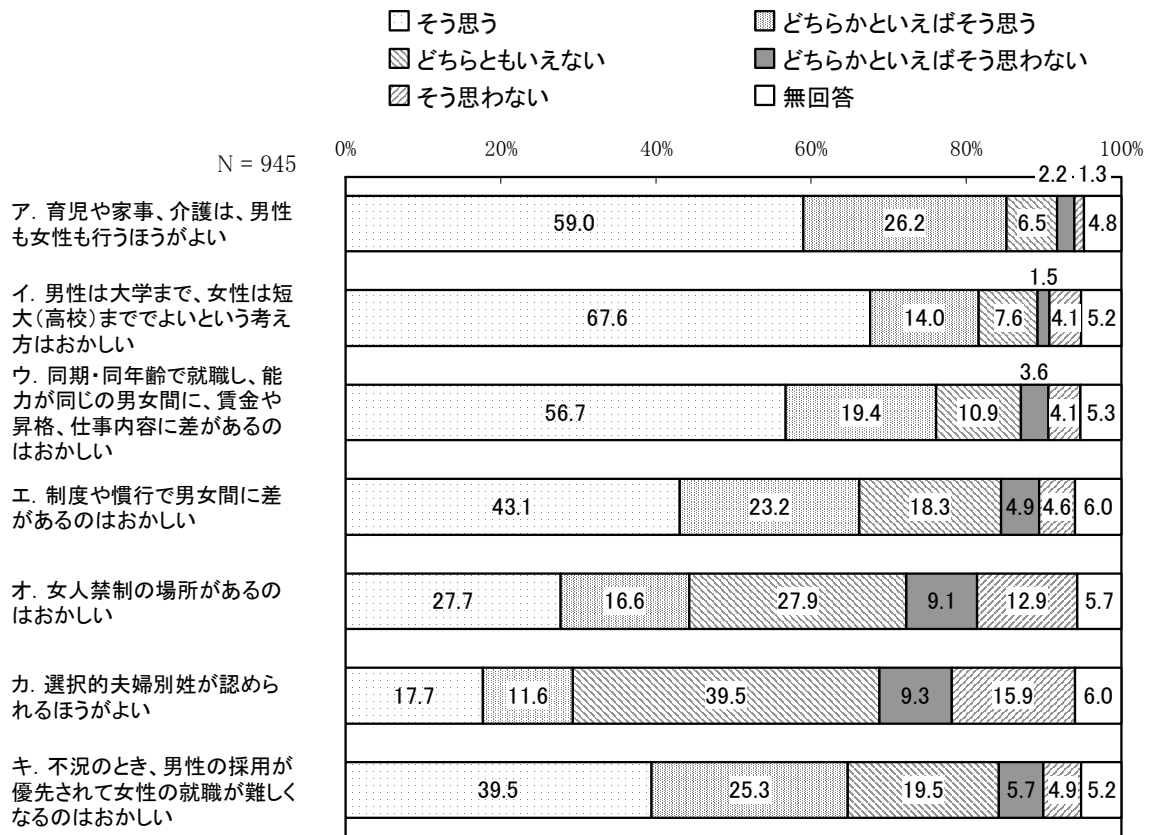
問 30 男女共同参画に関する事柄で、あなたは、次のような意見をどのように思いますか。【(1)～(7)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が「(1) 育児や家事、介護は、男性も女性も行うほうがよい」で最も高く、次いで「(2) 男性は大学まで、女性は短大（高校）まででよいという考え方はおかしい」、「(3) 同期・同年齢で就職し、能力が同じの男女間に、賃金や昇格、仕事内容に差があるのはおかしい」となっています。また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が「(6) 選択的夫婦別姓が認められるほうがよい」で最も高く、次いで「(5) 女人禁制の場所があるのはおかしい」、「(7) 不況のとき、男性の採用が優先されて女性の就職が難しくなるのはおかしい」となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、(4) 制度や慣行で男女間に差があるのはおかしい、(7) 不況のとき、男性の採用が優先されて女性の就職が難しくなるのはおかしいで“そう思う”の割合が増加しています。



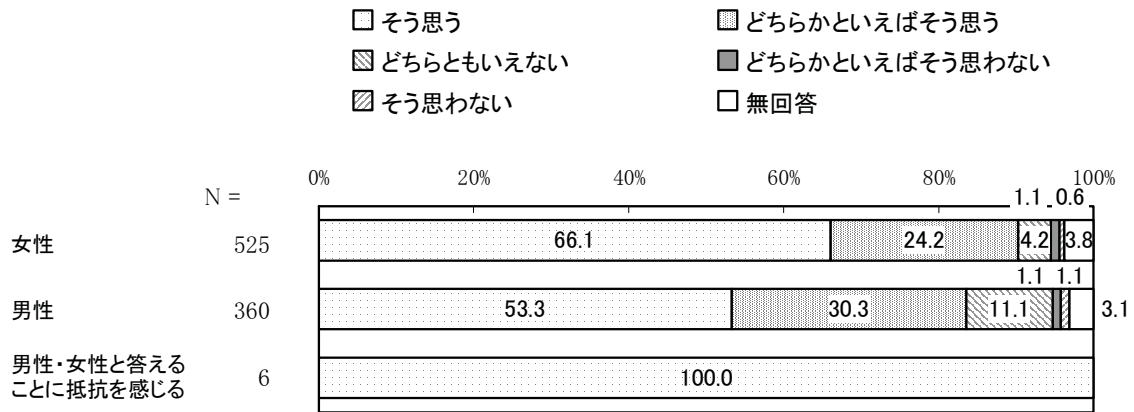
【平成 18 年度調査】



(1) 育児や家事、介護は、男性も女性も行うほうがよい

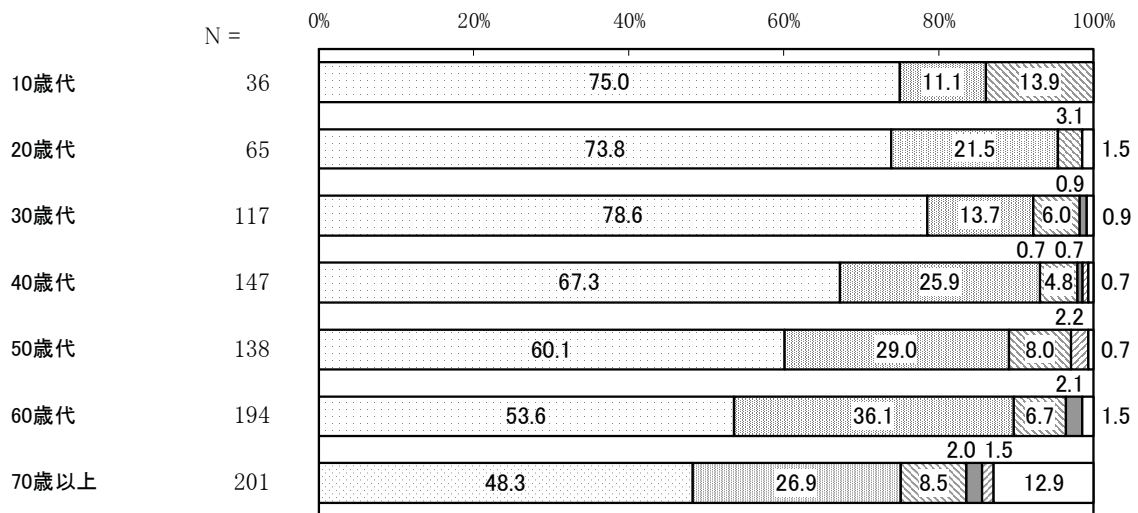
【性別】

性別で見ると、他に比べ、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。一方、男性で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

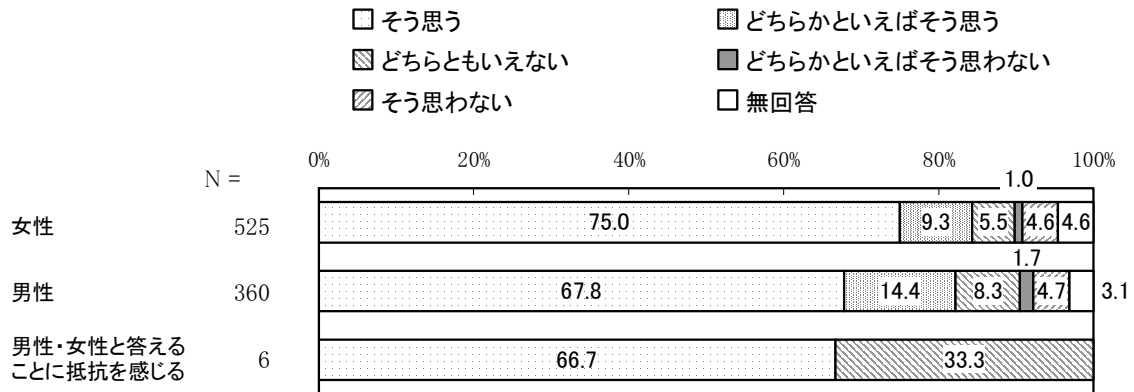
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



(2) 男性は大学まで、女性は短大（高校）まででよいという考え方はおかしい

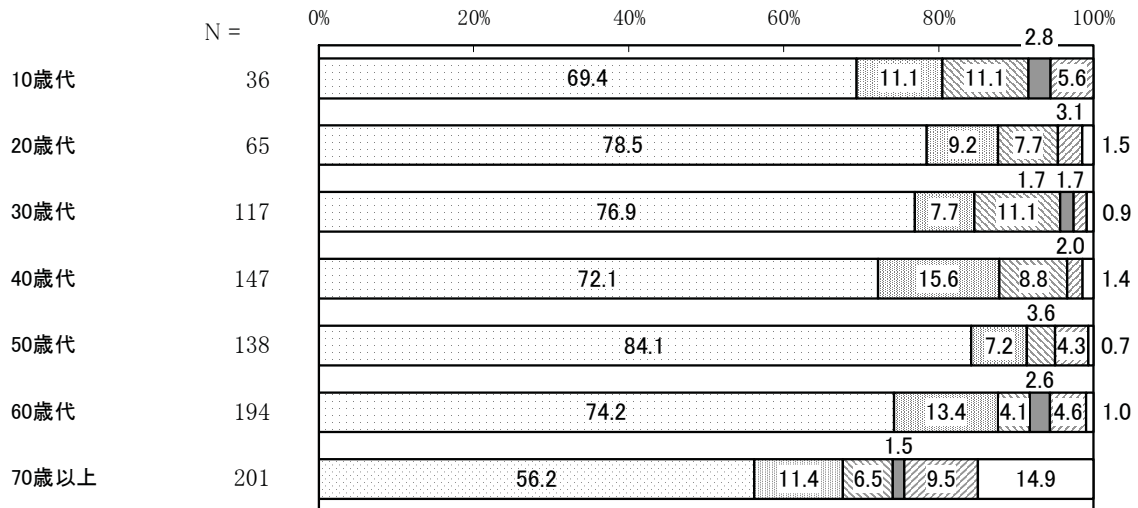
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

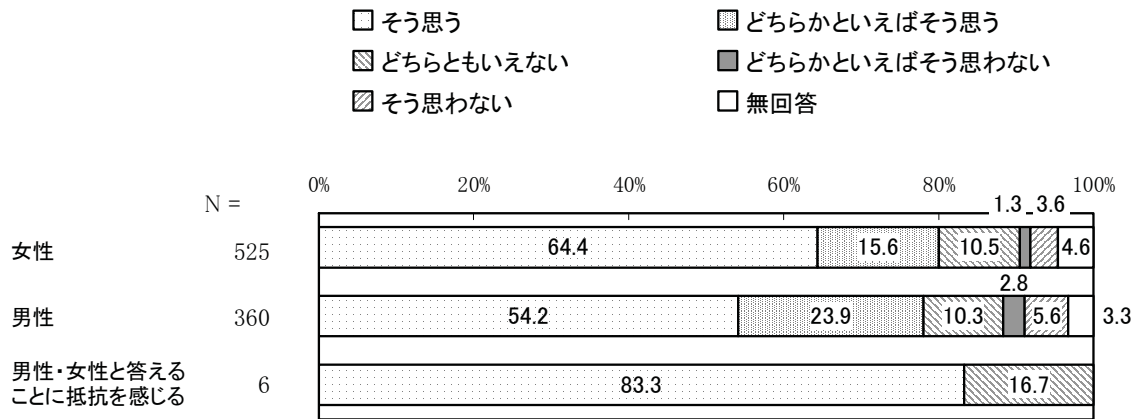
年齢別でみると、他に比べ、50歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



(3) 同期・同年齢で就職し、能力が同じの男女間に、賃金や昇格、仕事内容に差があるのはおかしい

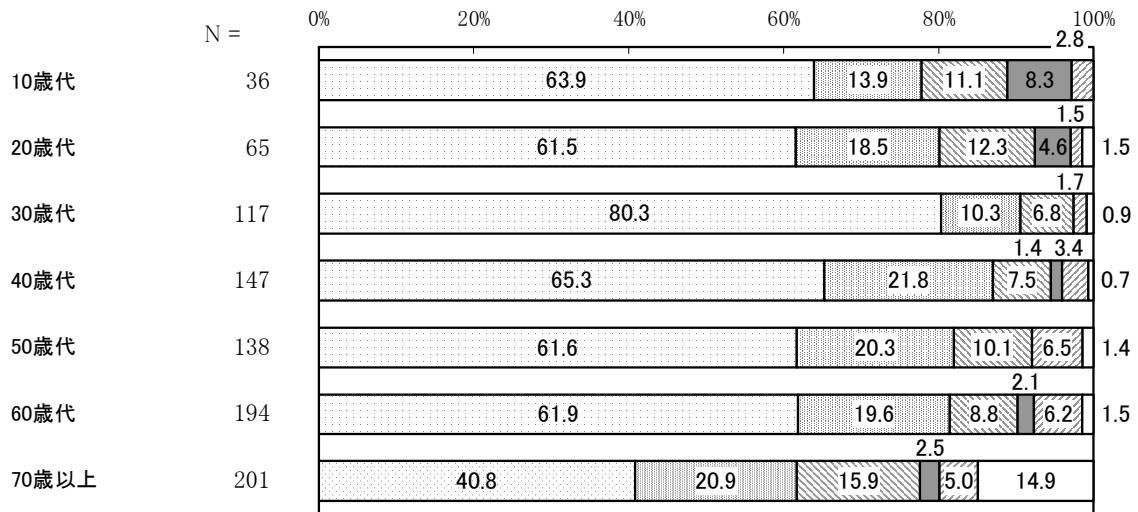
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

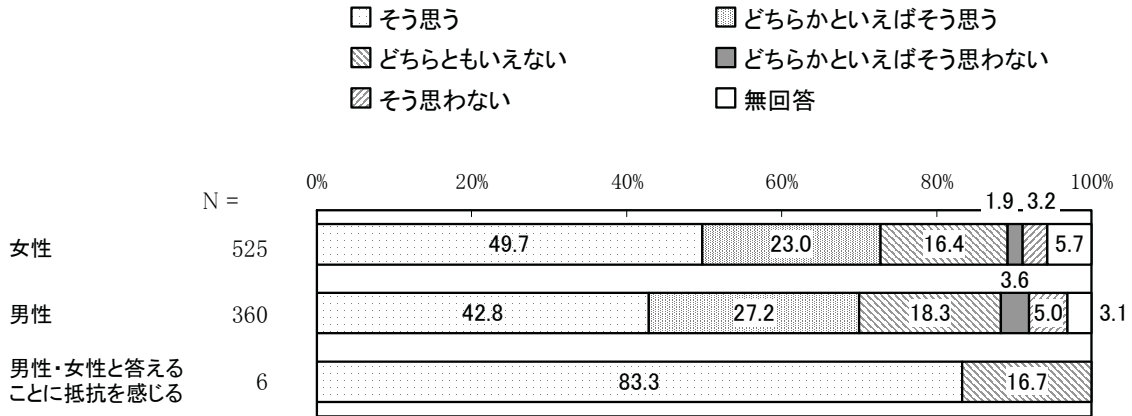
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



(4) 制度や慣行で男女間に差があるのはおかしい

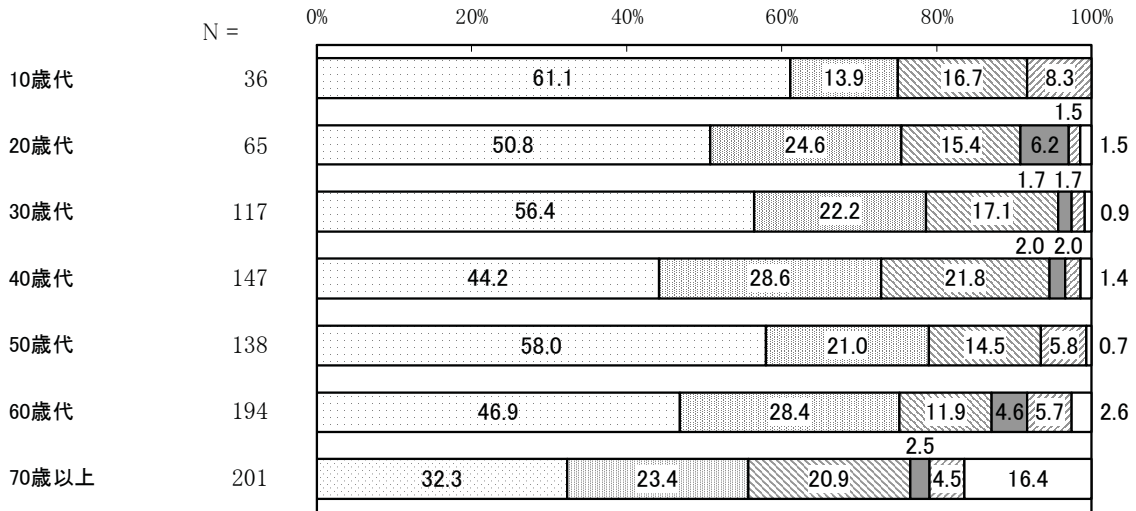
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

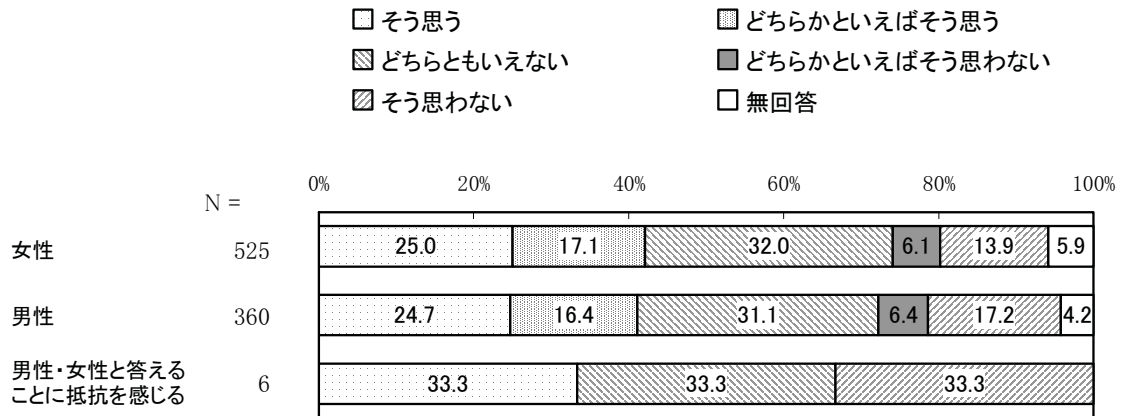
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



(5) 女人禁制の場所があるのはおかしい

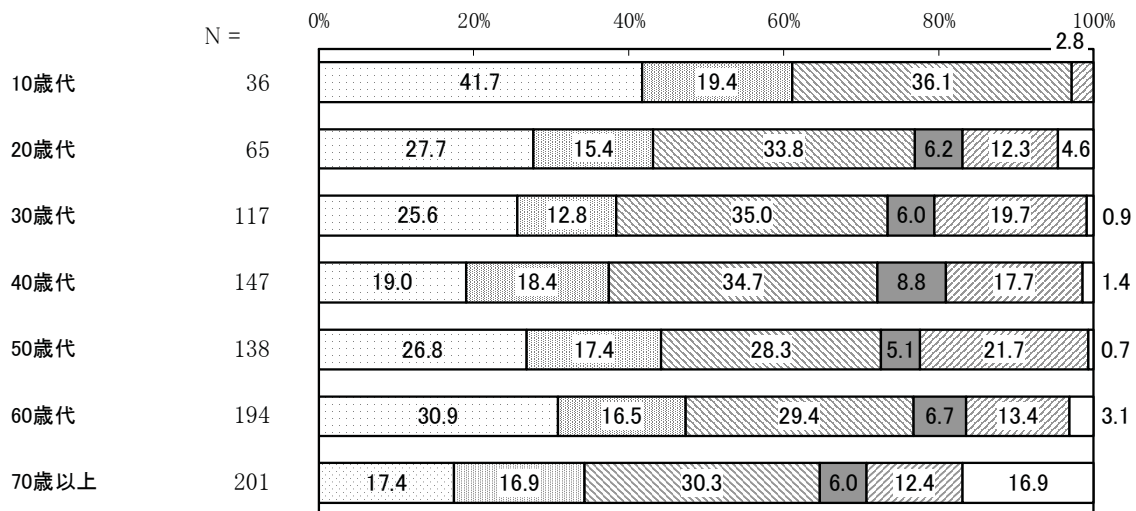
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

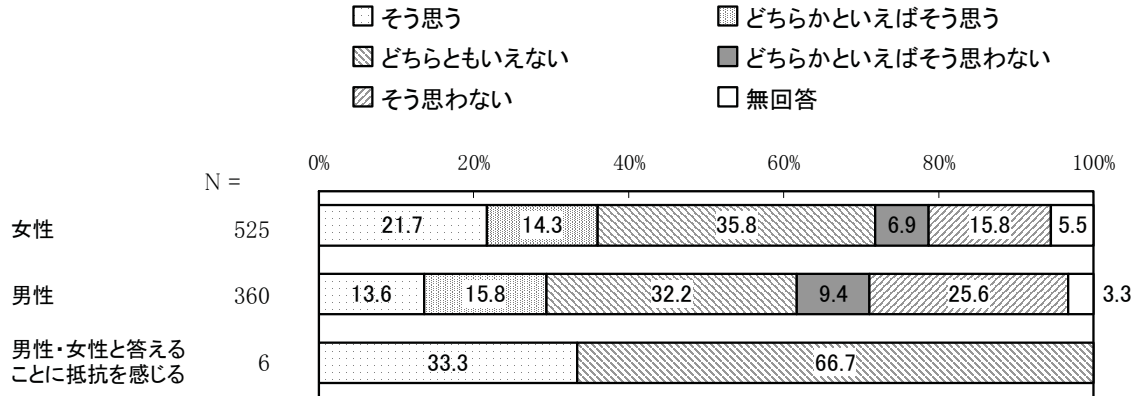
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



(6) 選択的夫婦別姓が認められるほうがよい

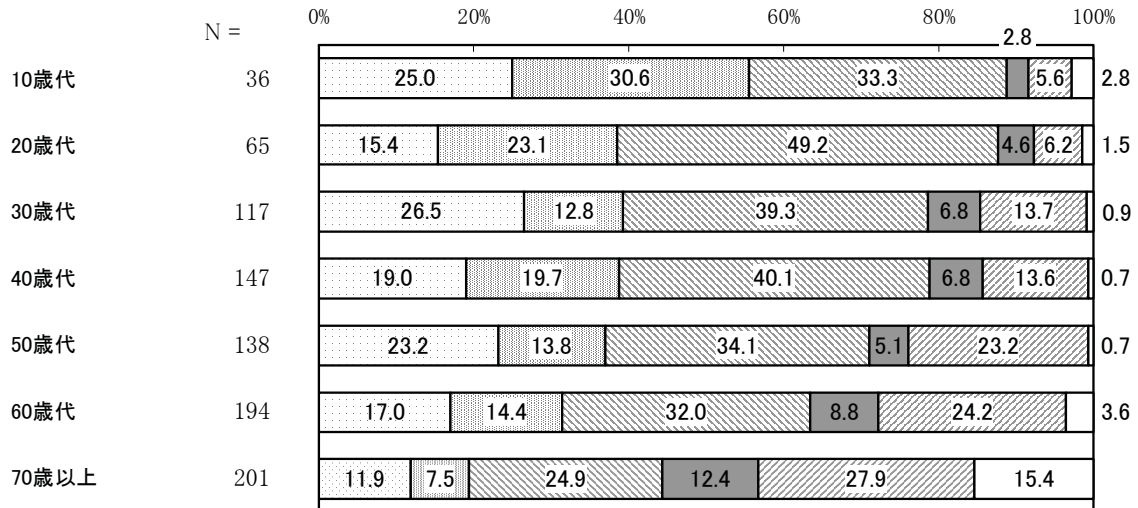
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。一方、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



【年齢別】

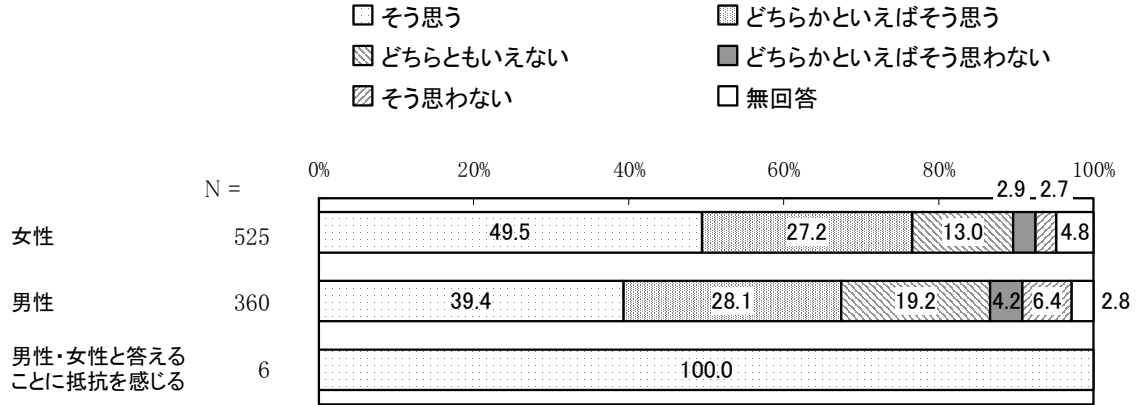
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。



(7) 不況のとき、男性の採用が優先されて女性の就職が難しくなるのはおかしい

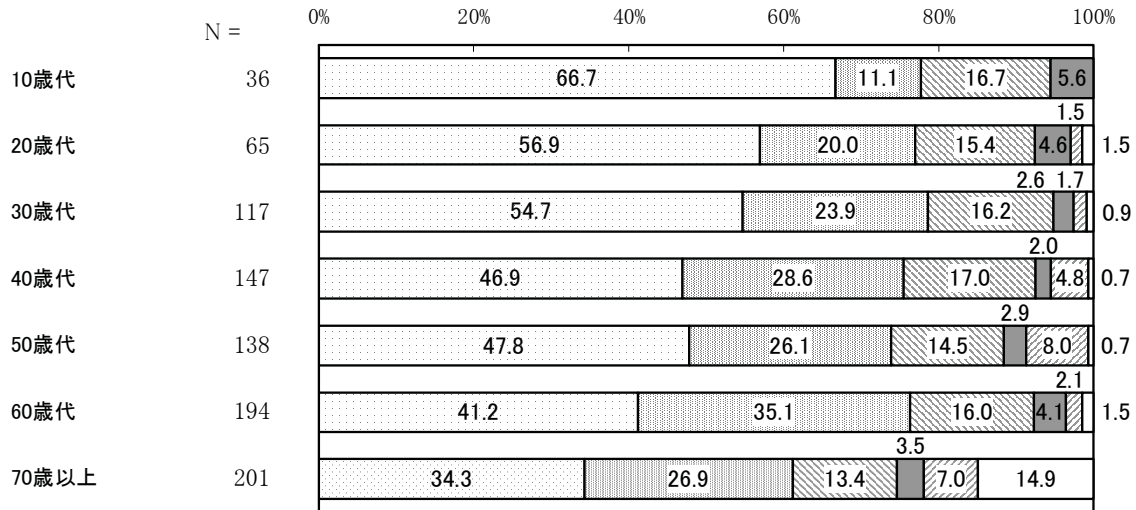
【性別】

性別で見ると、他に比べ、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。一方、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。



【年齢別】

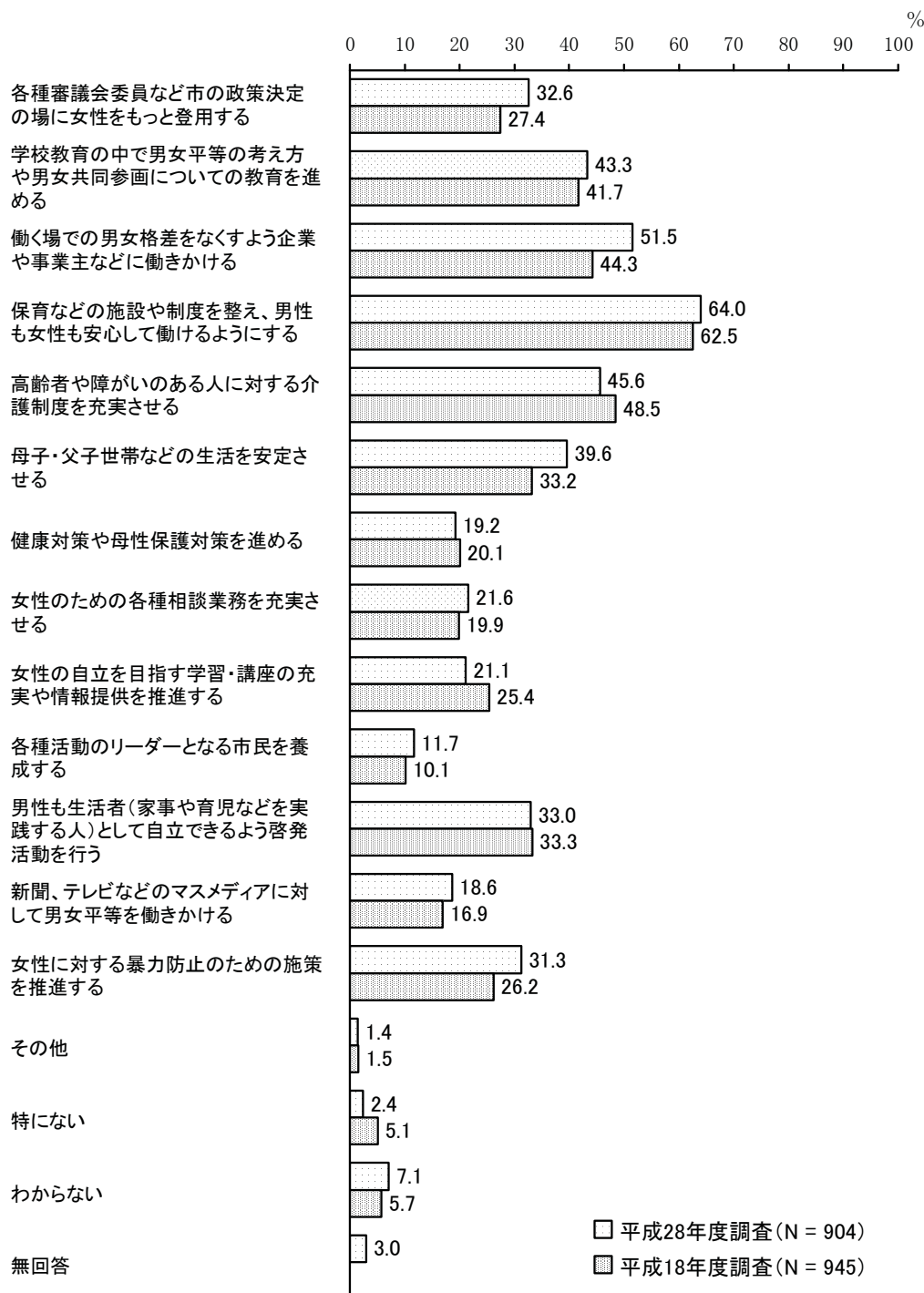
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が低くなっています。



問 31 あなたは、女性の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。
【あてはまるものすべてに○】

「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにする」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「働く場での男女格差をなくすよう企業や事業主などに働きかける」の割合が 51.5%、「高齢者や障がいのある人に対する介護制度を充実させる」の割合が 45.6%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「各種審議会委員など市の政策決定の場に女性をもっと登用する」「働く場での男女格差をなくすよう企業や事業主などに働きかける」「母子・父子世帯などの生活を安定させる」「女性に対する暴力防止のための施策を推進する」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにする」「高齢者や障がいのある人に対する介護制度を充実させる」「男性も生活者（家事や育児などを実践する人）として自立できるよう啓発活動を行う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	各種審議会委員など市の政策決定の場に女性をもっと登用する	学校教育の中で男女平等の考え方や男女共同参画についての教育を進める	働く場での男女格差をなくすよう企業や事業主などに働きかける	保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにする	高齢者や障がいのある人に対する介護制度を充実させる	母子父子世帯などの生活を安定させる	健康対策や母性保護対策を進める	女性のための各種相談業務を充実させる
女性	525	33.1	42.5	53.1	68.8	51.2	41.3	21.0	22.5
男性	360	32.8	45.0	50.6	58.1	38.3	38.1	16.9	21.1
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	16.7	50.0	50.0	83.3	50.0	33.3	33.3	16.7

区分	女性の自立を目指す学習講座の充実や情報提供を推進する	各種活動のリーダーとなる市民を養成する	男性も生活者（家事や育児などを実践する人）として自立できるよう啓発活動を行う	新聞、テレビなどのマスメディアに対して男女平等を働きかける	女性に対する暴力防止のための施策を推進する	その他	特になし	わからない	無回答
女性	22.1	10.5	38.3	19.8	35.2	1.1	2.1	5.5	4.2
男性	20.3	14.2	25.6	17.5	26.4	1.9	3.1	8.3	1.4
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	33.3	—	50.0	16.7	33.3	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「新聞、テレビなどのマスメディアに対して男女平等を働きかける」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

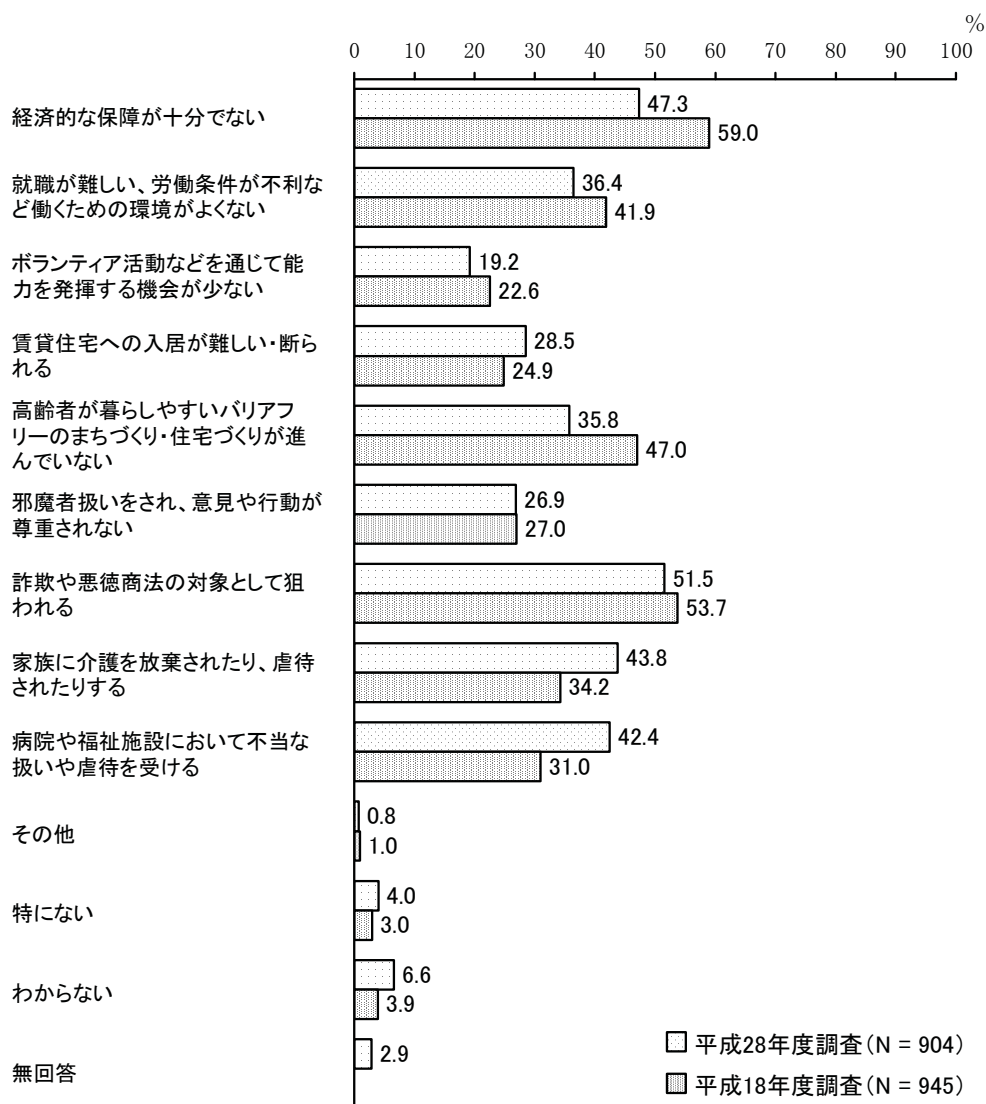
区分	有効回答数 (件)	各種審議会委員など市の政策決定の場に女性をもっと登用する	学校教育の中で男女平等の考え方や男女共同参画についての教育を進める	働く場での男女格差をなくすよう企業や事業主などに働きかける	保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにする	高齢者や障がいのある人に対する介護制度を充実させる	母子父子世帯などの生活を安定させる	健康対策や母性保護対策を進める	女性のための各種相談業務を充実させる
10歳代	36	25.0	50.0	58.3	58.3	27.8	33.3	11.1	25.0
20歳代	65	32.3	41.5	55.4	69.2	32.3	40.0	12.3	23.1
30歳代	117	31.6	53.0	59.8	76.9	38.5	43.6	26.5	28.2
40歳代	147	25.2	42.2	53.7	62.6	45.6	33.3	12.2	16.3
50歳代	138	40.6	44.2	55.8	67.4	54.3	42.0	23.9	23.2
60歳代	194	35.6	45.9	52.6	66.0	49.0	45.4	22.7	21.6
70歳以上	201	32.3	34.8	39.8	53.7	48.8	36.8	17.9	19.9

区分	女性の自立を目指す学習講座の充実や情報提供を推進する	各種活動のリーダーとなる市民を養成する	男性も生活者、家事や育児などを実践する人として自立できるよう啓発活動を行う	新聞、テレビなどのマスメディアに対して男女平等を働きかける	女性に対する暴力防止のための施策を推進する	その他	特になし	わからない	無回答
10歳代	22.2	19.4	36.1	30.6	33.3	—	—	13.9	—
20歳代	27.7	12.3	43.1	23.1	41.5	1.5	1.5	9.2	1.5
30歳代	17.9	8.5	43.6	19.7	35.9	2.6	2.6	2.6	0.9
40歳代	17.7	6.8	31.3	15.6	28.6	2.0	—	6.8	0.7
50歳代	21.0	10.9	29.0	19.6	28.3	2.9	3.6	5.8	1.4
60歳代	24.7	10.3	31.4	18.6	32.5	0.5	2.1	7.2	2.6
70歳以上	20.4	17.9	29.4	16.4	28.9	0.5	4.5	8.5	8.0

問 32 あなたは、高齢者に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「経済的な保障が十分でない」の割合が 47.3%、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」の割合が 43.8%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」の割合が増加し、「経済的な保障が十分でない」「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない」「高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が よくない	ボランティア活動などを通 じて能力を発揮する機会が 少ない	賃貸住宅への入居が難し い・断られる	高齢者が暮らしやすいバリ アフリーのまちづくり・住 宅づくりが進んでいない	邪魔者扱いをされ、意見や 行動が尊重されない
女性	525	48.0	37.5	20.6	29.5	36.4	28.2
男性	360	46.7	35.6	16.9	27.5	34.7	25.6
男性・女性と答えることに 抵抗を感じる	6	16.7	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3

区分	詐欺や悪徳商法の対象とし て狙われる	家族に介護を放棄されたり、 虐待されたりする	病院や福祉施設において不 当な扱いや虐待を受ける	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答
女性	55.2	46.1	48.0	1.1	3.0	5.9	4.0
男性	47.5	41.4	35.0	0.3	5.6	6.4	1.4
男性・女性と答えることに抵 抗を感じる	50.0	50.0	33.3	—	—	33.3	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」の割合が、50歳代で「経済的な保障が十分でない」の割合が高くなっています。

単位：%

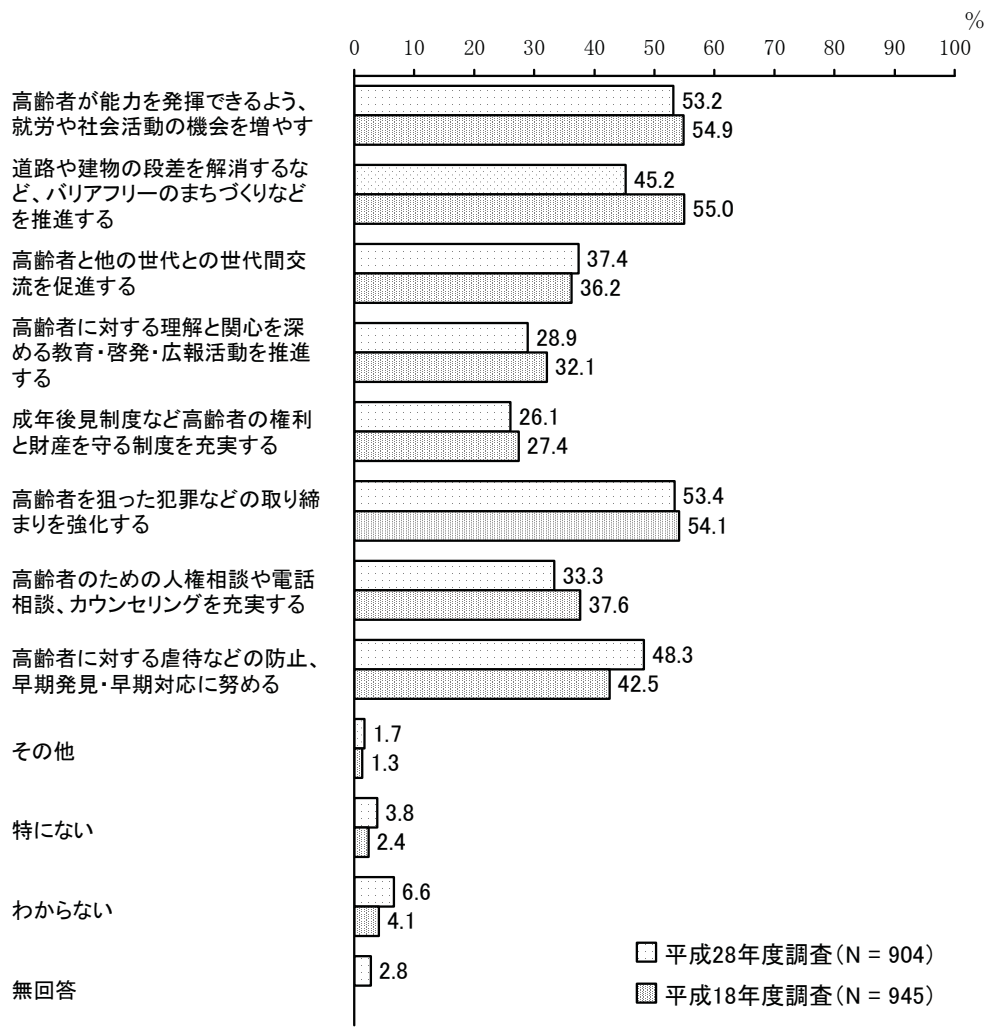
区分	有効回答数 (件)	経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が よくない	ボランティア活動などを通じて能力を発揮する機会が 少ない	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない
10歳代	36	30.6	25.0	16.7	27.8	41.7	33.3
20歳代	65	29.2	35.4	24.6	24.6	32.3	30.8
30歳代	117	46.2	39.3	21.4	35.0	41.9	32.5
40歳代	147	45.6	42.9	22.4	31.3	29.9	34.7
50歳代	138	60.9	44.2	18.8	37.0	49.3	29.7
60歳代	194	52.6	35.1	16.0	27.3	36.6	23.7
70歳以上	201	43.8	28.4	17.9	19.9	26.9	17.4

区分	詐欺や悪徳商法の対象として狙われる	家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする	病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	その他	特にない	わからない	無回答
10歳代	44.4	55.6	44.4	—	—	5.6	—
20歳代	61.5	56.9	56.9	—	6.2	7.7	1.5
30歳代	55.6	54.7	54.7	0.9	1.7	6.0	0.9
40歳代	64.6	51.7	49.0	1.4	0.7	6.1	1.4
50歳代	61.6	49.3	48.6	2.2	1.4	8.0	0.7
60歳代	46.9	39.7	38.7	0.5	4.1	6.7	1.0
70歳以上	36.3	26.4	24.9	—	9.5	6.0	9.0

問 33 あなたは、高齢者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに〇】

「高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」の割合が 53.2%、「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」の割合が 48.3%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」の割合が増加し、「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」「高齢者のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	高齢者が能力を発揮できる よう、就労や社会活動の機 会を増やす	道路や建物の段差を解消す るなど、バリアフリーのま ちづくりなどを推進する	高齢者和其他の世代との世代 間交流を促進する	高齢者に対する理解と関心 を深める教育・啓発・広報 活動を推進する	成年後見制度など高齢者の 権利と財産を守る制度を充 実する	高齢者を狙った犯罪などの 取り締まりを強化する
女性	525	55.6	49.1	38.3	30.3	27.8	54.7
男性	360	50.0	39.4	36.9	27.5	23.6	53.1
男性・女性と答えることに抵 抗を感じる	6	33.3	66.7	16.7	16.7	33.3	50.0

区分	高齢者のための人権相談や 電話相談、カウンセリング を充実する	高齢者に対する虐待などの 防止、早期発見・早期対応 に努める	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
女性	35.6	50.7	2.5	3.0	5.7	3.4
男性	30.3	45.8	0.6	5.0	6.4	1.9
男性・女性と答えることに抵 抗を感じる	50.0	50.0	—	—	33.3	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」の割合が、60歳代で「高齢者のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する」の割合が高くなっています。

単位：%

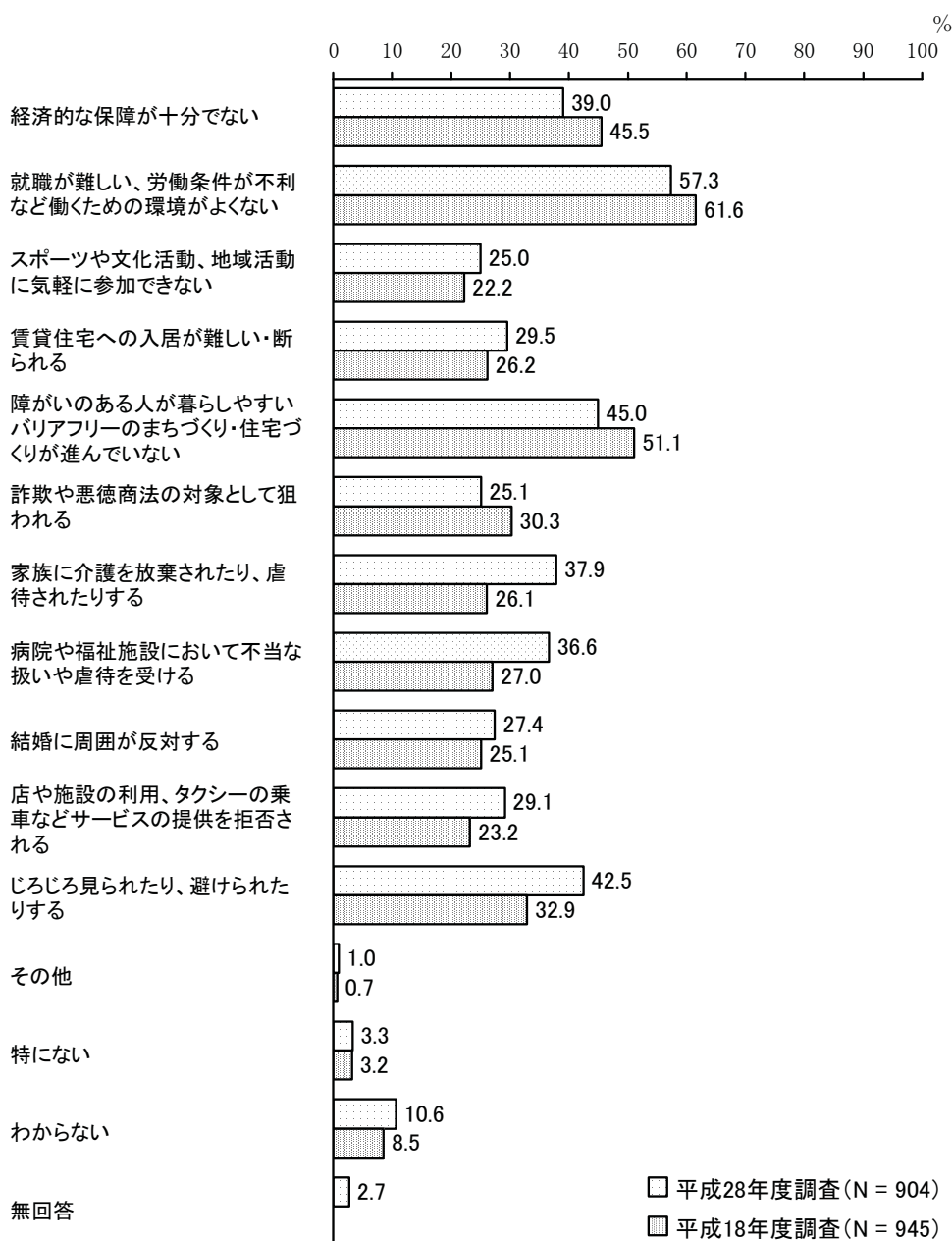
区分	有効回答数 (件)	高齢者が能力を発揮できる よう、就労や社会活動の機 会を増やす	道路や建物の段差を解消す るなど、バリアフリーのま ちづくりなどを推進する	高齢者との世代との世代 間交流を促進する	高齢者に対する理解と関心 を深める教育・啓発・広報 活動を推進する	成年後見制度など高齢者の 権利と財産を守る制度を充 実する	高齢者を狙った犯罪などの 取り締まりを強化する
10歳代	36	33.3	58.3	33.3	27.8	22.2	44.4
20歳代	65	46.2	46.2	38.5	20.0	16.9	60.0
30歳代	117	59.8	48.7	50.4	34.2	30.8	59.0
40歳代	147	60.5	42.2	44.2	23.8	28.6	53.7
50歳代	138	61.6	55.8	37.0	29.7	32.6	59.4
60歳代	194	55.2	44.3	31.4	29.9	24.7	52.6
70歳以上	201	42.3	35.8	31.8	31.3	22.4	46.8

区分	高齢者のための人権相談や 電話相談、カウンセリング を充実する	高齢者に対する虐待などの 防止、早期発見・早期対応 に努める	その他	特になし	わからない	無回答
10歳代	19.4	44.4	2.8	5.6	2.8	—
20歳代	33.8	56.9	1.5	6.2	9.2	1.5
30歳代	34.2	55.6	1.7	0.9	7.7	0.9
40歳代	32.0	54.4	3.4	1.4	5.4	1.4
50歳代	35.5	51.4	2.9	0.7	8.0	0.7
60歳代	39.2	46.9	0.5	3.1	6.2	1.5
70歳以上	29.4	37.3	0.5	9.0	6.5	8.0

問 34 あなたは、障がいのある人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」の割合が 45.0%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」の割合が 42.5%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」「店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される」「じろじろ見られたり、避けられたりする」の割合が増加し、「経済的な保障が十分でない」「障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」「結婚に周囲が反対する」「店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない	スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	障がいのある人が暮らしやすい バリアフリーのまちづくり・住 宅づくりが進んでいない	詐欺や悪徳商法の対象として狙 われる	家族に介護を放棄されたり、虐 待されたりする
女性	525	37.9	58.1	25.9	31.8	45.5	26.7	38.9
男性	360	41.4	56.9	24.4	26.7	44.2	23.3	37.5
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	16.7	66.7	—	33.3	50.0	16.7	33.3

区分	病院や福祉施設において不当な 扱いや虐待を受ける	結婚に周囲が反対する	店や施設の利用、タクシーの乗 車などサービスの提供を拒否さ れる	じろじろ見られたり、避けられ たりする	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答
女性	39.2	30.3	32.4	45.3	1.1	2.9	11.0	3.0
男性	33.3	24.2	24.7	39.7	0.8	4.2	9.2	1.9
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	50.0	16.7	33.3	16.7	—	—	16.7	—

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない」「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

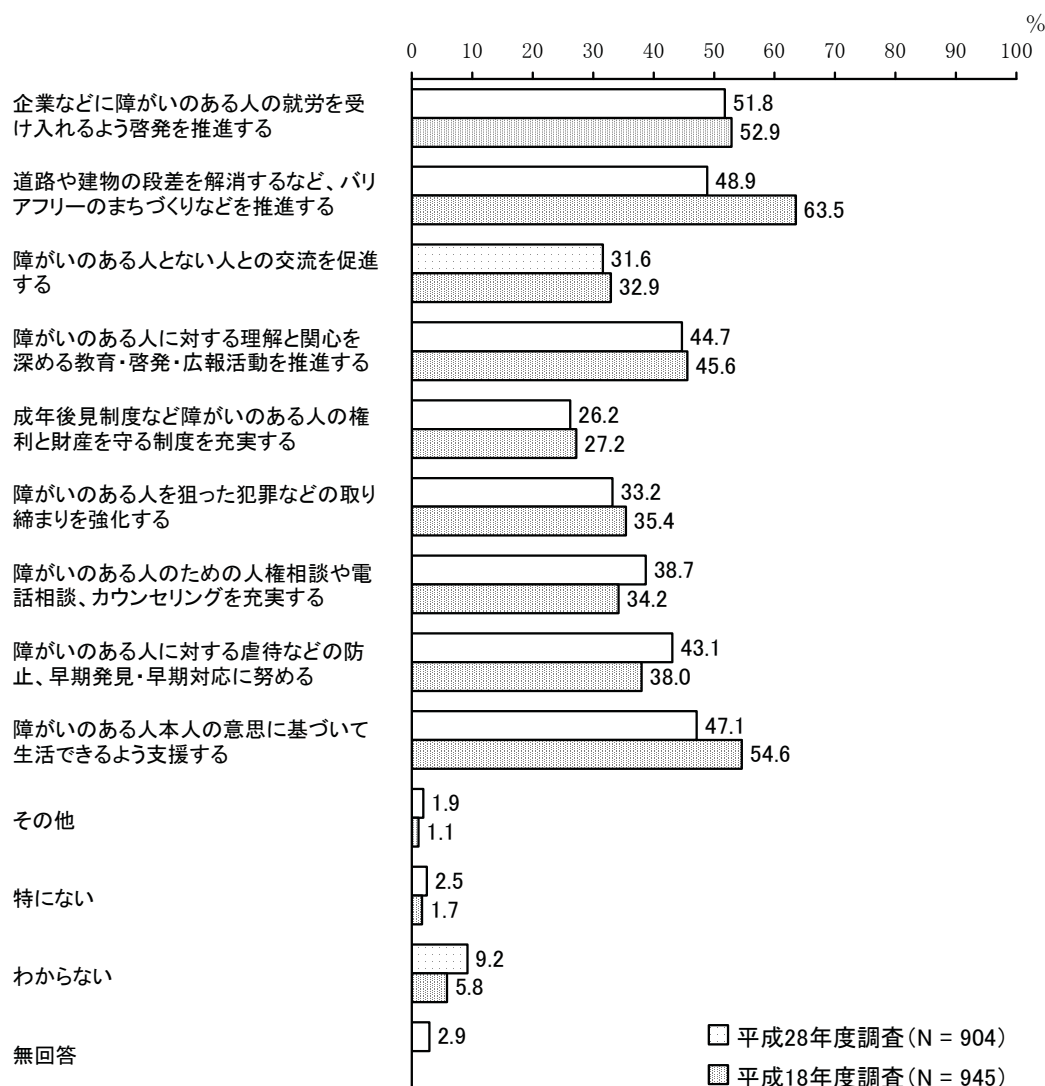
区分	有効回答数 (件)	経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない	スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	詐欺や悪徳商法の対象として狙われる	家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
10歳代	36	30.6	63.9	44.4	38.9	55.6	30.6	50.0
20歳代	65	33.8	63.1	33.8	23.1	47.7	23.1	47.7
30歳代	117	41.0	54.7	29.9	35.0	42.7	35.0	49.6
40歳代	147	44.2	66.7	31.3	40.1	38.8	29.9	46.3
50歳代	138	41.3	63.0	21.0	34.1	52.9	23.9	37.0
60歳代	194	41.8	57.2	21.1	25.8	49.0	21.6	34.0
70歳以上	201	32.8	46.3	17.9	19.9	38.8	19.9	24.9

区分	病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	結婚に周囲が反対する	店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される	じろじろ見られたり、避けられたりする	その他	特にない	わからない	無回答
10歳代	38.9	41.7	30.6	55.6	2.8	—	5.6	—
20歳代	46.2	46.2	38.5	58.5	4.6	4.6	9.2	1.5
30歳代	48.7	35.0	39.3	50.4	—	1.7	12.0	—
40歳代	49.7	31.3	34.7	51.0	1.4	2.0	8.2	1.4
50歳代	37.0	28.3	34.8	44.9	0.7	2.2	9.4	0.7
60歳代	34.5	21.6	24.2	40.2	0.5	1.0	12.4	2.6
70歳以上	18.9	17.4	17.4	25.4	0.5	8.5	11.9	7.0

問 35 あなたは、障がいのある人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「企業などに障がいのある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」の割合が 48.9%、「障がいのある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」の割合が 47.1%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「障がいのある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」の割合が増加し、「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」「障がいのある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「障がいのある人のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する」「障がいのある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」「障がいのある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	企業などに障がいのある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する	道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する	障がいのある人となし人との交流を促進する	障がいのある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	成年後見制度など障がいのある人の権利と財産を守る制度を充実する	障がいのある人を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
女性	525	53.9	51.2	34.5	46.1	28.0	34.3
男性	360	49.2	46.1	28.6	43.1	23.9	31.9
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	6	50.0	33.3	—	33.3	33.3	50.0

区分	障がいのある人への権利相談や電話相談、カウンセリングを充実する	障がいのある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める	障がいのある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する	その他	特になし	わからない	無回答
女性	42.9	46.3	53.9	2.1	1.7	8.0	3.4
男性	33.6	39.2	38.3	1.7	3.9	10.0	1.9
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	33.3	50.0	50.0	—	—	16.7	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」の割合が、30歳代で「障がいのある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」の割合が高くなっています。

単位：％

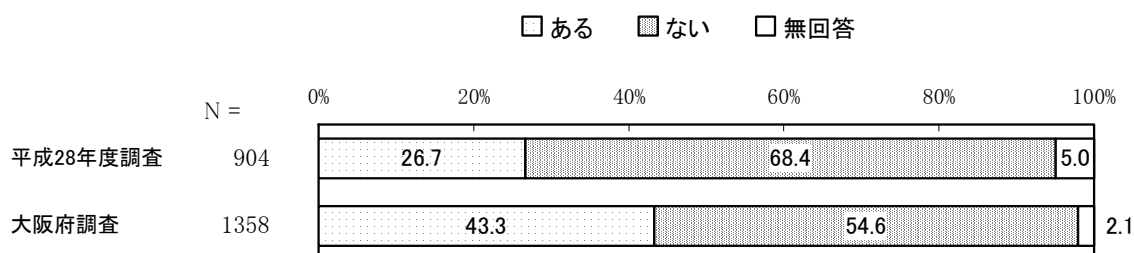
区分	有効回答数 (件)	企業などに障がいのある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する	道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する	障がいのある人となし人との交流を促進する	障がいのある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	成年後見制度など障がいのある人の権利と財産を守る制度を充実する	障がいのある人を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
10歳代	36	50.0	58.3	30.6	55.6	30.6	36.1
20歳代	65	36.9	41.5	35.4	44.6	20.0	27.7
30歳代	117	48.7	45.3	44.4	53.8	31.6	35.9
40歳代	147	58.5	44.9	38.8	45.6	25.9	34.7
50歳代	138	58.7	55.8	31.9	43.5	28.3	31.2
60歳代	194	55.7	53.6	23.7	44.3	26.8	32.0
70歳以上	201	45.8	45.3	25.9	38.3	23.4	34.8

区分	障がいのある人とのための権利相談や電話相談、カウンセリングを充実する	障がいのある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める	障がいのある人本人の意思に基づいて生活できるような支援する	その他	特になし	わからない	無回答
10歳代	38.9	44.4	55.6	—	2.8	2.8	2.8
20歳代	41.5	49.2	61.5	4.6	4.6	10.8	1.5
30歳代	37.6	52.1	52.1	4.3	1.7	10.3	—
40歳代	39.5	46.9	50.3	2.0	0.7	8.2	2.0
50歳代	40.6	45.7	43.5	2.9	2.9	11.6	0.7
60歳代	40.7	40.2	47.4	—	1.5	10.8	2.1
70歳以上	35.8	34.3	38.3	1.0	4.5	7.0	7.5

7 身の周りの人権侵害について

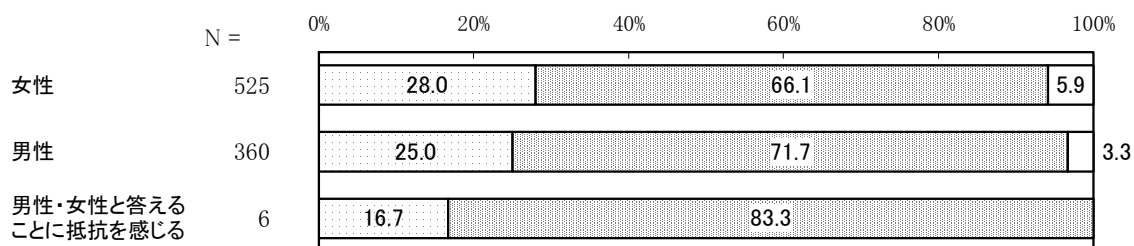
問 36 あなたは、最近5年間に人権上問題と思われる言動を身近で見聞きしたことがありますか。複数ある場合は、一番印象に残っているものについてお答えください。
【どちらかに○】

「ある」の割合が26.7%、「ない」の割合が68.4%となっています。
大阪府調査と比較すると、大阪府調査に比べ「ある」の割合が低くなっています。



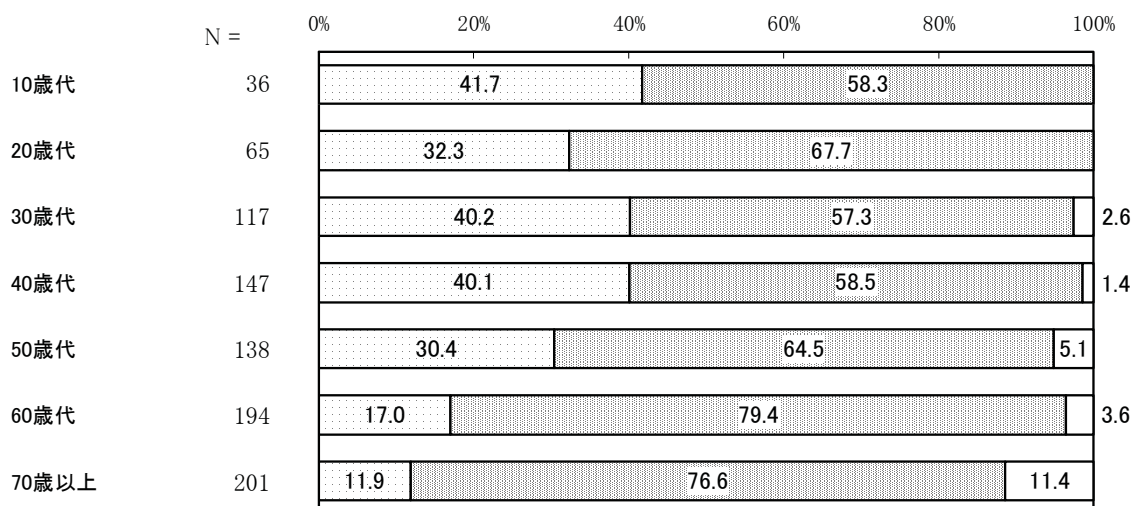
【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「ない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

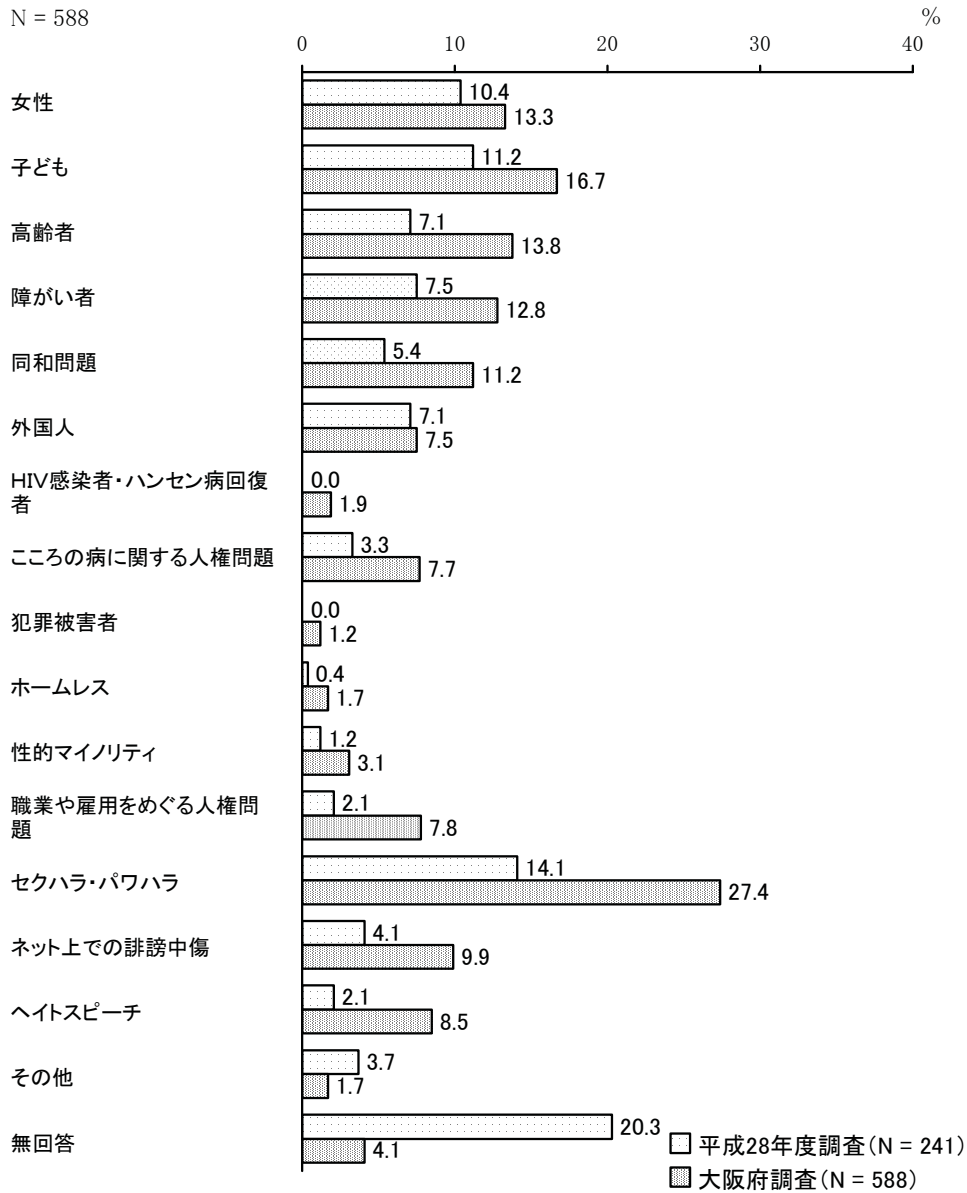
年齢別でみると、他に比べ、10歳代、30歳代、40歳代で「ある」の割合が高くなっています。



問 36-1 それはどのような人権問題に関するものでしたか。【あてはまるもの1つに○】

「セクハラ・パワハラ」の割合が14.1%と最も高く、次いで「子ども」の割合が11.2%、「女性」の割合が10.4%となっています。

大阪府調査との比較は、回答数が異なるため参考とします。

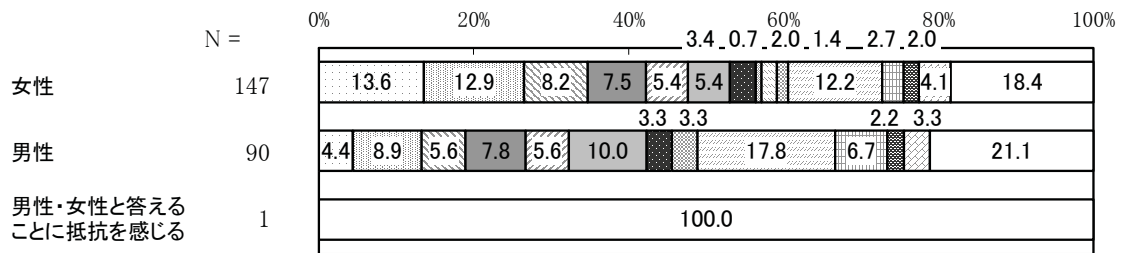


※和泉市調査は単数回答、大阪府調査は複数回答と回答数が異なります。

【性別】

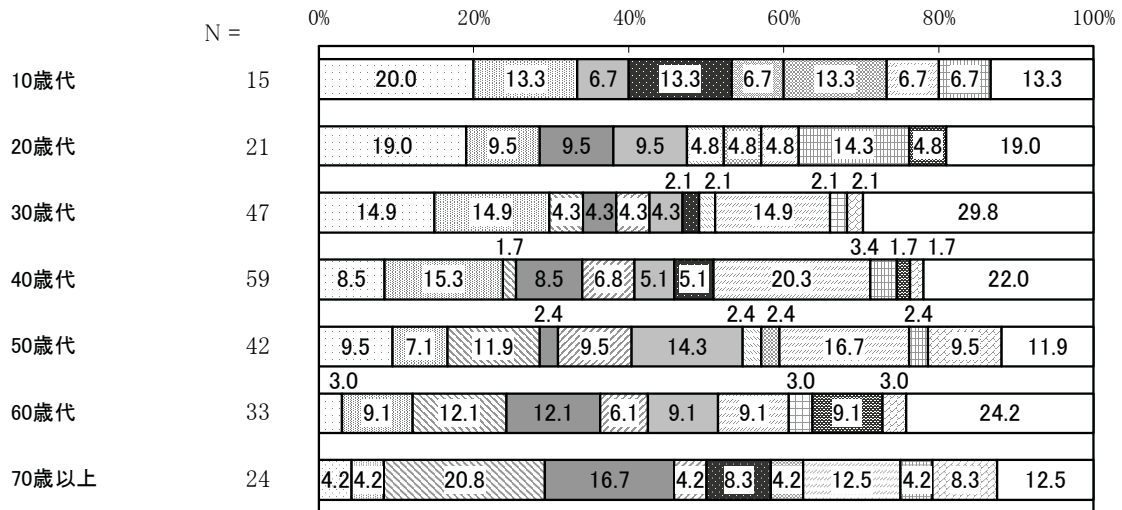
性別でみると、他に比べ、女性で「女性」の割合が高くなっています。一方、男性で「セクハラ・パワハラ」の割合が高くなっています。

- 女性
- 子ども
- ▨ 高齢者
- 障がい者
- ▨ 同和問題
- 外国人
- ▨ HIV感染者・ハンセン病回復者
- こころの病に関する人権問題
- ▨ 犯罪被害者
- ホームレス
- ▨ 性的マイノリティ
- 職業や雇用をめぐる人権問題
- ▨ セクハラ・パワハラ
- ▨ ネット上での誹謗中傷
- ヘイトスピーチ
- その他
- 無回答



【年齢別】

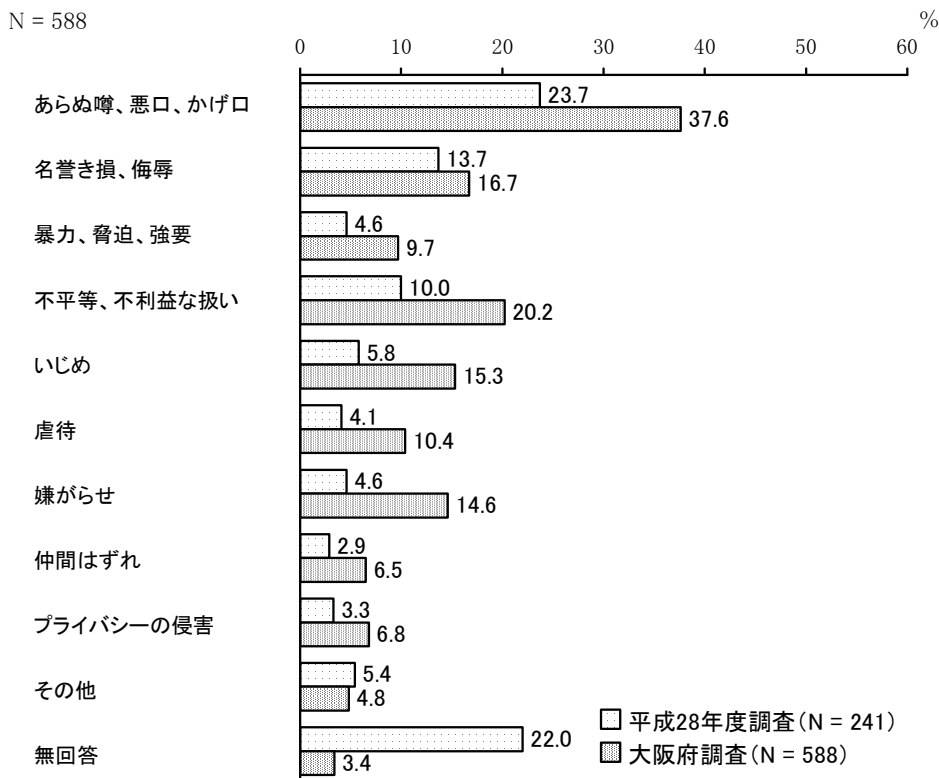
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「セクハラ・パワハラ」の割合が、70歳以上で「高齢者」の割合が高くなっています。



問 36-2 それはどのような内容でしたか。【あてはまるもの1つに○】

「あらぬ噂、悪口、かげ口」の割合が23.7%と最も高く、次いで「名誉き損、侮辱」の割合が13.7%、「不平等、不利益な扱い」の割合が10.0%となっています。

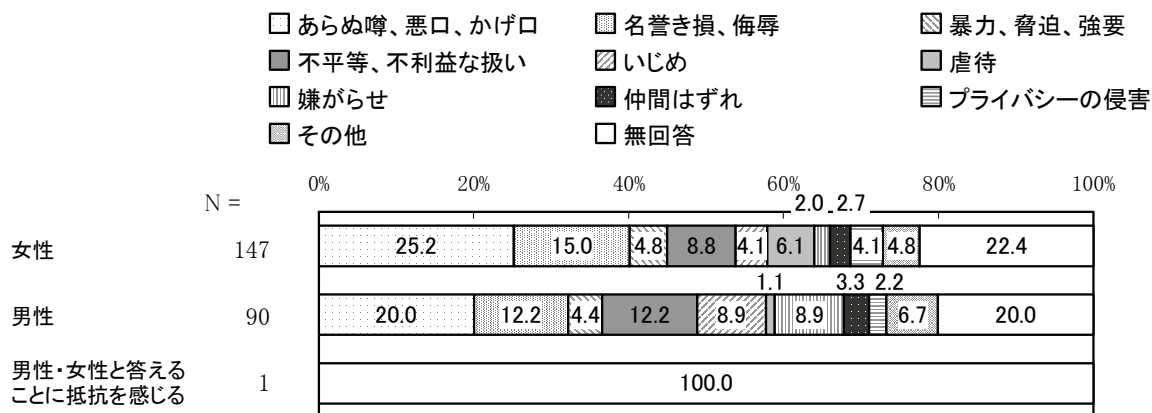
大阪府調査との比較は、回答数が異なるため参考とします。



※和泉市調査は単数回答、大阪府調査は複数回答と回答数が異なります。

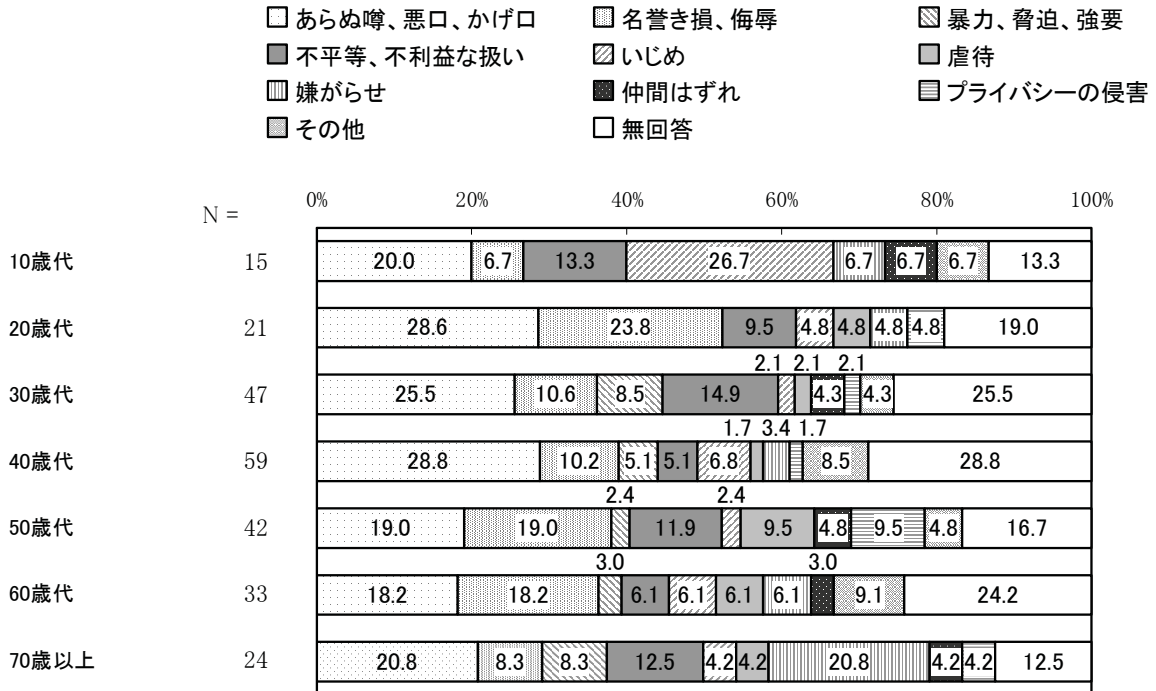
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「あらぬ噂、悪口、かげ口」の割合が高くなっています。一方、男性で「嫌がらせ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

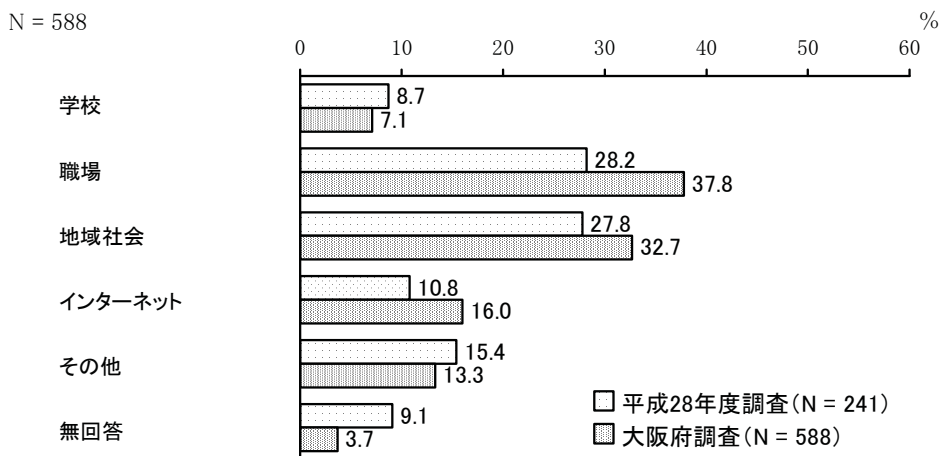
年齢別で見ると、他に比べ、10歳代で「いじめ」の割合が、20歳代、40歳代で「あらぬ噂、悪口、かげ口」の割合が高くなっています。



問 36-3 それはどこで見聞きしましたか。【あてはまるもの1つに○】

「職場」の割合が28.2%と最も高く、次いで「地域社会」の割合が27.8%、「インターネット」の割合が10.8%となっています。

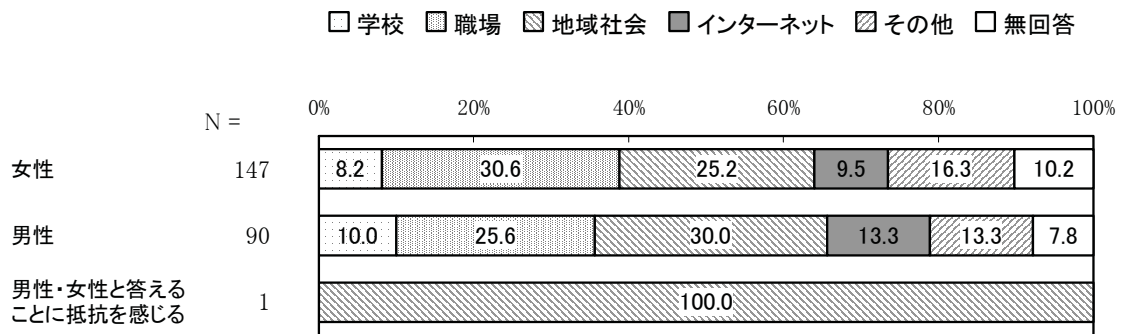
大阪府調査との比較は、回答数が異なるため参考とします。



※和泉市調査は単数回答、大阪府調査は複数回答と回答数が異なります。

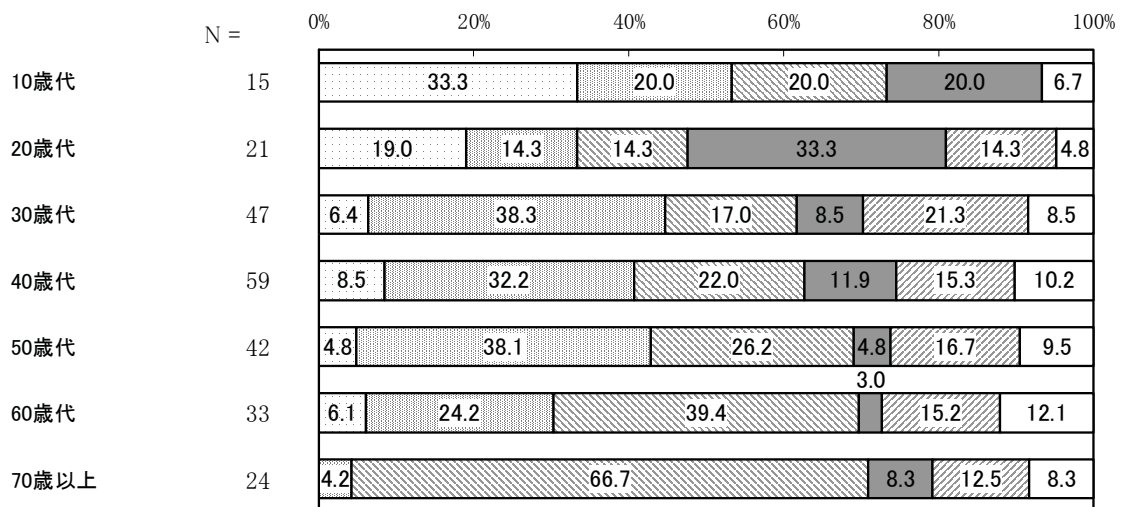
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



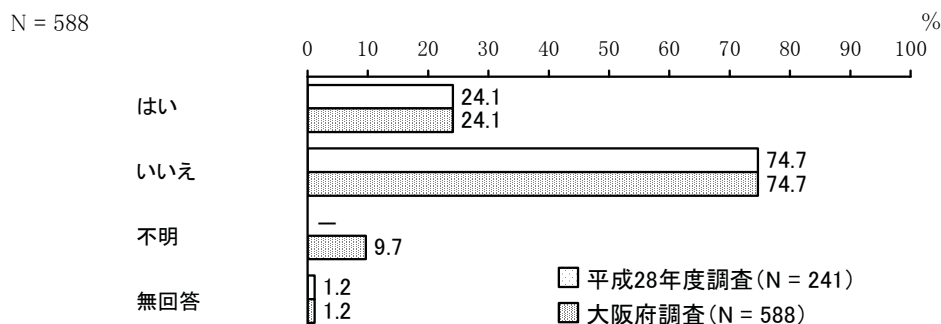
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「学校」の割合が、20歳代で「インターネット」の割合が高くなっています。



問 36-4 それはあなた自身に対するものでしたか。【どちらかに○】

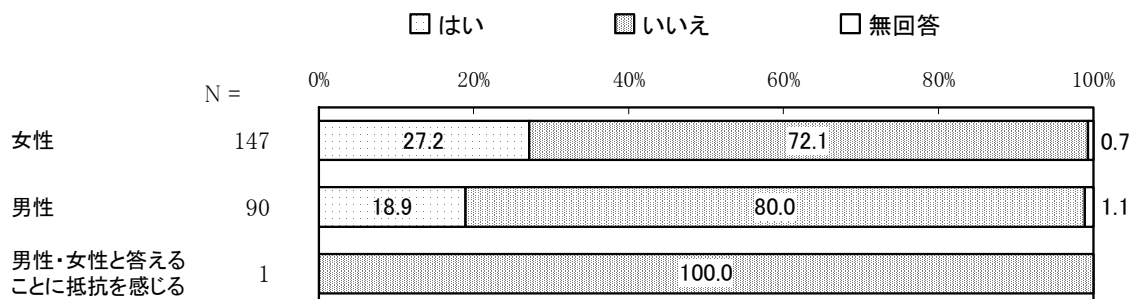
「はい」の割合が24.1%、「いいえ」の割合が74.7%となっています。
大阪府調査との比較は、回答数が異なるため参考とします。



※和泉市調査は単数回答、大阪府調査は複数回答と回答数が異なります。
また、和泉市調査に「不明」の選択肢はありません。

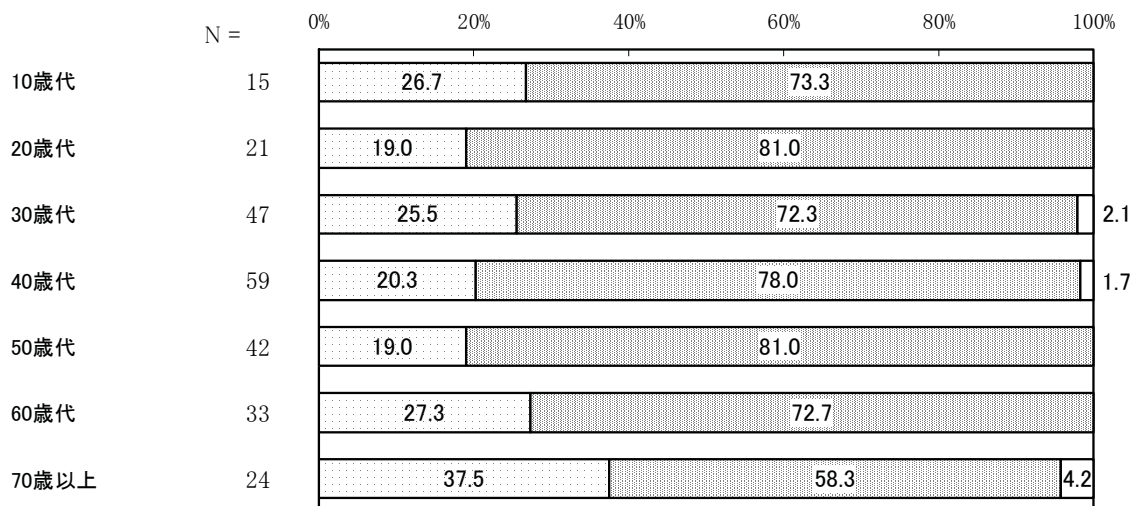
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。一方、男性で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

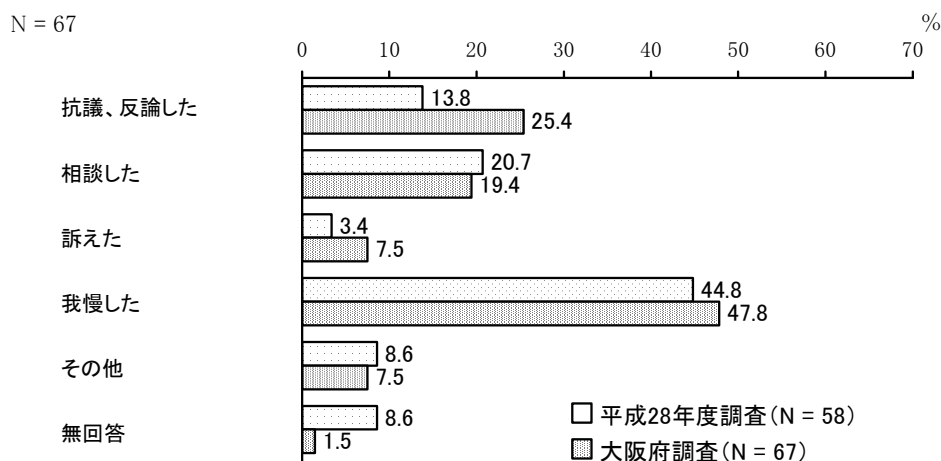
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



問 36-5a どう対応しましたか。【あてはまるもの1つに○】

「我慢した」の割合が44.8%と最も高く、次いで「相談した」の割合が20.7%、「抗議、反論した」の割合が13.8%となっています。

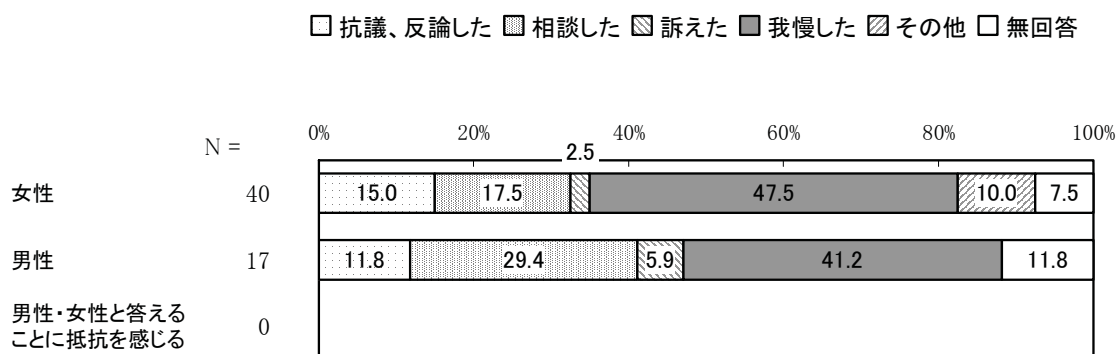
大阪府調査との比較は、回答数が異なるため参考とします。



※和泉市調査は単数回答、大阪府調査は複数回答と回答数が異なります。

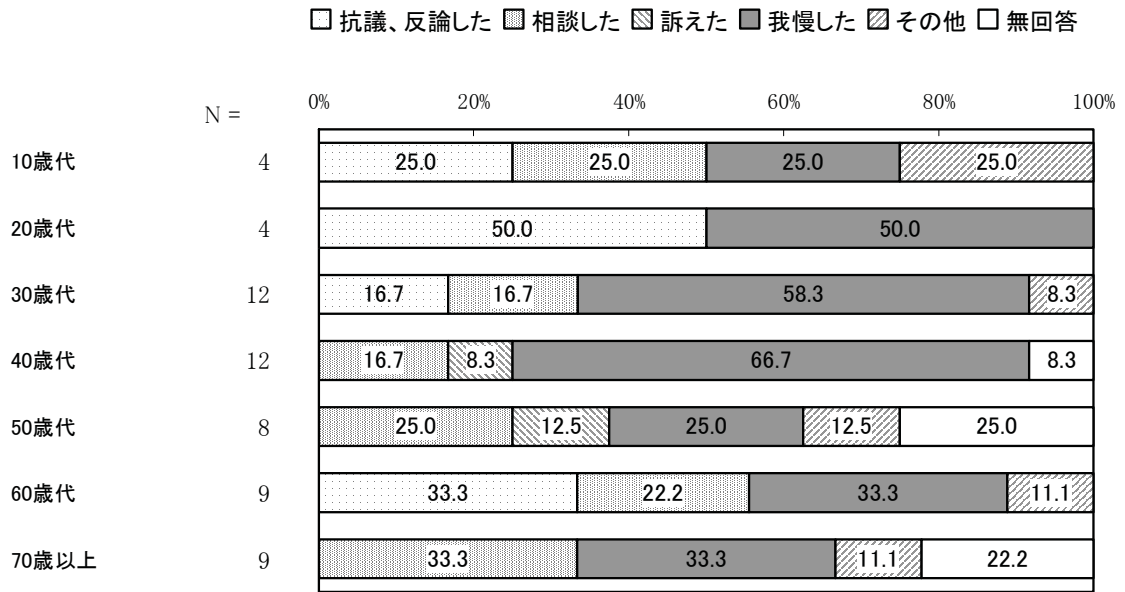
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「我慢した」の割合が高くなっています。一方、男性で「相談した」の割合が高くなっています。



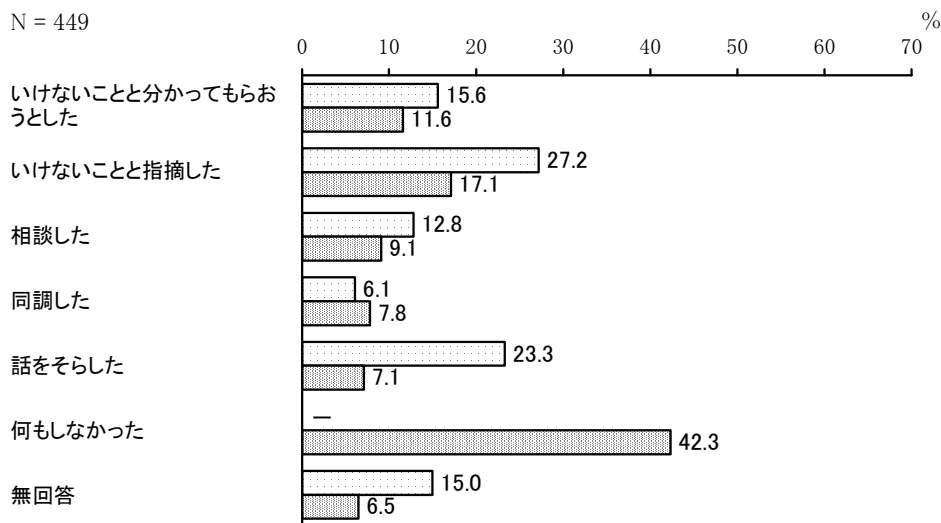
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「我慢した」の割合が高くなっています。



問 36-5b どう対応しましたか。【あてはまるもの1つに○】

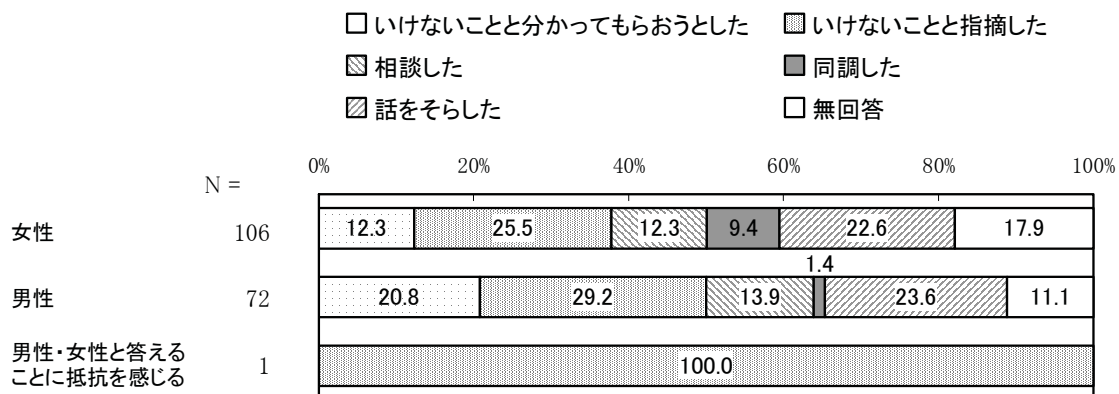
「いけないことと指摘した」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「話をそらした」の割合が 23.3%、「いけないことと分かってもらおうとした」の割合が 15.6%となっています。
大阪府調査との比較は、回答数が異なるため参考とします。



※和泉市調査は単数回答、大阪府調査は複数回答と回答数が異なります。
また、和泉市調査に「何もなかった」の選択肢はありません。

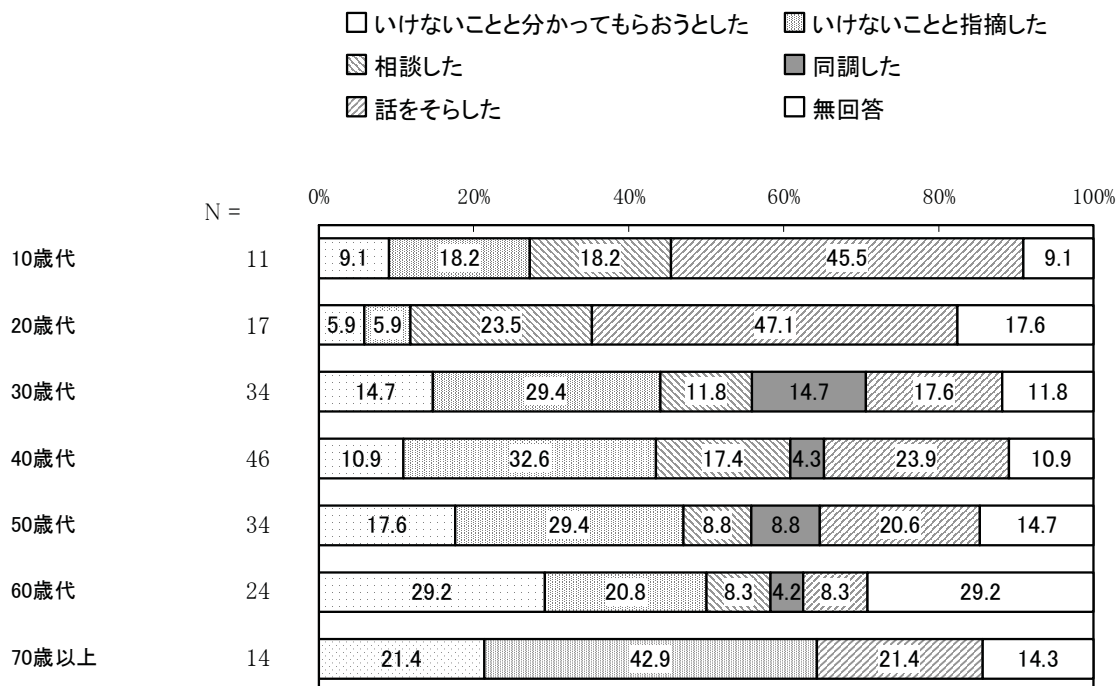
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「同調した」の割合が高くなっています。一方、男性で「いけないことと分かってもらおうとした」の割合が高くなっています。



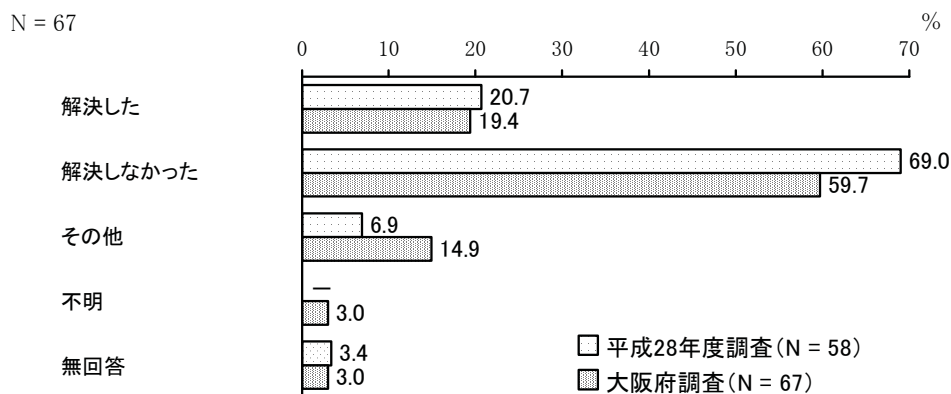
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「相談した」の割合が、60歳代で「いけないことと分かってもらおうとした」の割合が高くなっています。



問 36-6a 最終的に解決しましたか。【あてはまるもの1つに○】

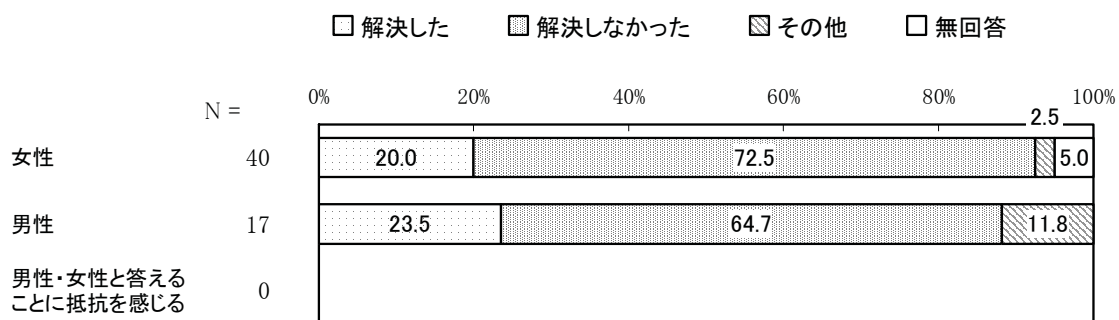
「解決しなかった」の割合が69.0%、「解決した」の割合が20.7%となっています。
大阪府調査と比較すると、大阪府に比べ「解決しなかった」の割合が高くなっています。



※和泉市調査には「不明」の選択肢はありません。

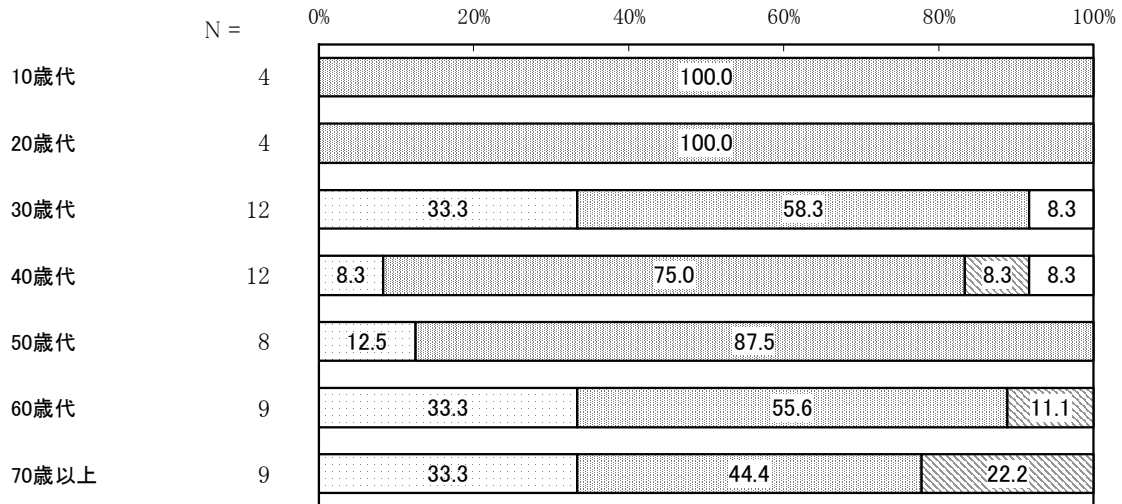
【性別】

性別で見ると、他に比べ、女性で「解決しなかった」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「解決しなかった」の割合が高くなっています。

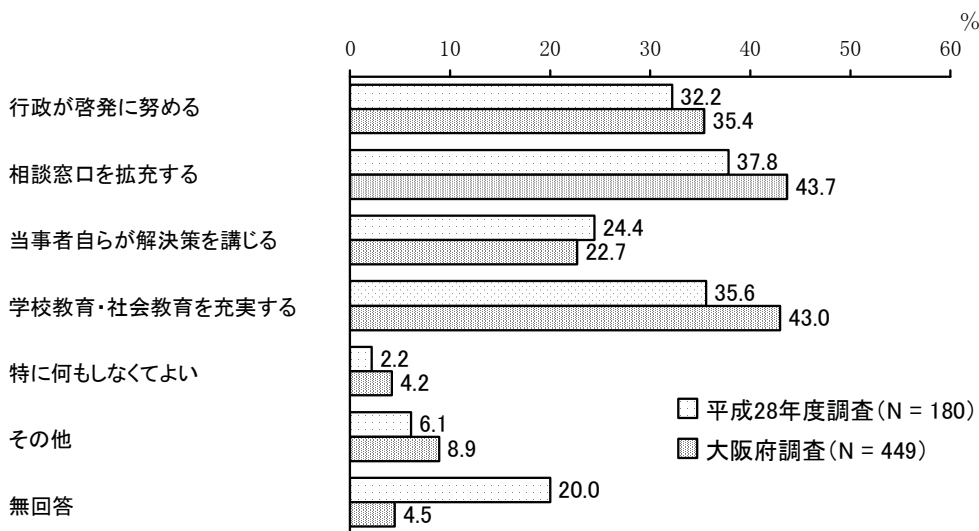


問 36-6b そのような問題（事案）についてどうしたらよいと考えますか。

【あてはまるものすべてに○】

「相談窓口を拡充する」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「学校教育・社会教育を充実する」の割合が 35.6%、「行政が啓発に努める」の割合が 32.2%となっています。

大阪府調査と比較すると、大阪府調査に比べ「相談窓口を拡充する」「学校教育・社会教育を充実する」の割合が低くなっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「相談窓口を拡充する」の割合が高くなっています。一方、男性で「行政が啓発に努める」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	行政が啓発に努める	相談窓口を拡充する	当事者自らが解決策を講じる	学校教育 社会教育を充実する	特に何もしなくてよい	その他	無回答
女性	106	28.3	41.5	25.5	34.9	1.9	5.7	21.7
男性	72	38.9	33.3	22.2	36.1	2.8	6.9	18.1
男性・女性と答えることに抵抗を感じる	1	—	—	—	100.0	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「行政が啓発に努める」「相談窓口を拡充する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	行政が啓発に努める	相談窓口を拡充する	当事者自らが解決策を講じる	学校教育 社会教育を充実する	特に何もしなくてよい	その他	無回答
10歳代	11	45.5	45.5	36.4	45.5	—	—	—
20歳代	17	47.1	47.1	23.5	41.2	—	—	11.8
30歳代	34	23.5	23.5	35.3	23.5	8.8	5.9	29.4
40歳代	46	28.3	45.7	28.3	47.8	—	6.5	15.2
50歳代	34	29.4	38.2	20.6	35.3	2.9	11.8	23.5
60歳代	24	37.5	33.3	12.5	33.3	—	4.2	25.0
70歳以上	14	35.7	35.7	7.1	14.3	—	7.1	21.4

問 37 最後に、あなたがふだん人権問題について考えていることや感じていることがありましたら、ご自由にお書きください。

人権問題に対する意見を記述により求めたところ、延べ 252 件の回答が寄せられた（1 人の回答者が複数のテーマの内容を記述している場合は、それぞれのテーマ・内容を 1 件の回答として分類し、集計した）。

本調査で設定した設問テーマに基づき回答内容を分類すると、大分類では「人権問題全般」に関する意見が 137 件で最も多く、以下、「同和問題」「人権政策 全般など行政における取り組みのあり方」に関する意見がともに 25 件などとなっている。

大分類	中分類	小分類	計
同和問題	教育・啓発・広報活動の充実	過剰な啓発活動は、同和問題をかえって助長する	4
	同和行政の現状に対する意見	同和行政の行きすぎ、逆差別を感じる	5
		同和問題は、解決できない、根深い問題である	2
		同和問題は、依然と多くあると感じる	2
		差別は、以前と比べ少なくなり、よいと思う	2
		同和行政はどの市町でも恵まれている	1
	同和行政の今後のあり方に対する意見	同和問題を解決し、住みやすい、やさしいまちにしてほしい	1
	同和問題に関する差別意識	被差別者側の威嚇的な言動が怖い	4
		若い人は、意識改革が進んでいるが、高齢の方は差別意識がある	2
		結婚問題がある	1
同和問題については、よくわからない		1	
計			25
女性の 人権・男女 共同参画	女性の人権尊重意識	家庭での男女差別がある	1
		女性差別の問題がある	1
	男女共同参画の推進	男女ともに活躍できる社会でありたい	1
		女性が働き続けられるよう、子育て支援を充実する	1
計			4
障がい者 の人権	障がいの理解、差別解消	地域社会において障がい者の人権に配慮した対応が必要である	3
		障がい者に対して思いやりがない	1
		周囲に障がいであることを知られてないために隠す	1
		障がいとなり、周囲から手助けもなく、外出機会が減った	1
	就労、社会参加	障がい者の雇用機会を増やし、働きやすい環境をつくる	2
		パラリンピックの障がいのある人を見て感動し、見習いたい	2
	自立支援	障がい者が社会で自立して生活できるよう支援がほしい	3
		知的障がいの子どもの自立が難しいと感じている	1
	その他	知的障がい者が作業所の帰りに寄れる学童保育のような場所があるとよい	1
		家族の介護の負担が大きい	1
		障がいがあることにコンプレックスを感じる	1
計			17

大分類	中分類	小分類	計
子どもの人権	いじめの問題	いじめがなくなしてほしい	4
		いじめ対策として、教師等への研修、早期発見、指導の充実を図ってほしい	2
		子どもに対して、相手を思いやる、心の育成が必要である	2
		子どもがいるので、これからいじめについて悩んでいくと思う	1
	虐待、育児放棄	子どもに対する虐待、育児放棄など親としての無責任さが目立つ	1
計			10
高齢者の人権	高齢化社会、高齢者への理解	高齢者社会への若い人の理解がほしい	1
		高齢者を大切に、人として優しく接するべきである	1
	高齢者の就労	高齢者の就労機会、働ける環境をつくってほしい	2
	高齢者の人権侵害	認知症高齢者の人権侵害がある	1
		家の中で見えない所での扱いが気の毒だなと思う人がいる。	1
	その他	親への介護にみあった遺産相続がないのは不平等である	1
高齢になっても健康づくりを行う		1	
計			8
その他の人権問題	インターネットによる誹謗中傷	インターネットによる誹謗中傷が問題である	2
	性的マイノリティの問題	LGBT、同性でも結婚できるとよい	2
		性的マイノリティの方も日常生活の中で一人の人間として扱われる事が大切だと思う	1
	外国人の人権	新しく来た外国人と従来から住んでいる外国人とでは人権の問題も違ってくると思う	1
	その他	在日特権の問題	1
冤罪事件の問題		1	
計			8
人権問題全般	教育・啓発・広報活動の充実	子どもの頃から人権問題について学べる機会を増やしていく事が重要である	4
		学校での人権教育の充実が必要である	3
		人権について学ぶ機会が必要	3
		家庭での教育が大切である	2
		学校教育、社会教育、行政、各種団体による継続的な啓発活動が大切である	1
		啓発ポスター等は役所の自己満足だと思う。	1
	雇用就労の場の人権	企業においては、パワハラの問題がある	1
		ブラック企業への対応をしてほしい	1
		パートに対しての保険等の制限が厳しく、賃金が少ない	1
	人権問題に対する意識	差別のない社会、心にゆとりのある、幸福に暮らせるまちであってほしい	26
		人権問題は地域社会において多々あり、難しい問題であり、差別をなくすことは難しい	14
		アンケートを通じて、人権問題について考える機会になった	11
		いつも弱者の立場に立って考えていくことが大切である	10

大分類	中分類	小分類	計
人権問題全般	人権問題に対する意識	周りに人権問題はなく、考えた事がない	10
		逆差別も多々あり、不公平感がある	5
		大人が人権問題に対して高い意識をもつことが大切である	5
		子どもへの人権教育はさらに助長する。大げさにしないことや若い人は関わらない方がよい	3
		ヘイトスピーチ、ネットなどでの差別的書き込みが目立つ	3
		差別はなくなった。もめることはない。	3
		高齢者は差別意識が強い	2
		マスコミ等において、差別やいじめを助長するような報道が多い	2
		他人の悪口やかげ口をあまり聞きたくない	2
		子ども同士のいじめ、子どもや老人への虐待のほうがか人権問題として身近に感じる	1
		在日（韓国、朝鮮、中国）の方々に問題	1
	人権問題の解決に向けた意見	全ての人々が助け合っていければよい	7
		一人一人が人権について理解し、行動していく	6
		最低限のルールを守っていれば、自然と人権も守られると思う	1
		日常生活のあいさつが大切である	1
		被害者側の自立が重要である	1
		身近な地域で取り組むことが必要である	1
		相談できる環境づくりを行う	1
		バリアフリー等に積極的に取り組む	1
	その他	行政・学校・家庭・地域社会が一体となって取り組む	1
政治的な取り組みが必要である		1	
計			137
人権政策全般など行政における取り組みのあり方	教育・啓発・広報活動の充実	学校教育の充実や子どもころからの福祉教育を充実する	9
		人権尊重の啓発や人権問題に対する取り組みの周知を図る	3
		全ての年代に対する教育が必要である	2
		他人を思いやる心を取り戻すための対策を行う	1
	人権政策の取り組み方に対する意見	出前講座など行政が積極的にさまざまな人権施策を進める	3
		人権に対する相談の場を充実する	2
		高齢者、障がい者、子ども達が、生活しやすい環境づくりを進める	1
		人権問題に対する教師の資質、医療関係者の資質が低下している	1
		高齢者の虐待に対する対策を強化してほしい	1
		職場の人権問題の条例化を進めてほしい	1
		行政は人権問題に過剰投資しすぎである	1
	計		

大分類	中分類	小分類	計
その他	行政に対する要望		5
	アンケートに対する意見		10
	その他		3
	計		18
総計			252

(注) 大分類「その他」は、本設問の趣旨に合致しない意見、調査自体に対する意見など

Ⅲ 調査結果のまとめ

1 回答者属性

回答者の性別（問1）をみると、「女性」の割合が58.1%、「男性」の割合が39.8%となっています。

また、回答者の年代（問2）をみると、「70歳以上」の割合が22.2%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が21.5%となっています。

回答者の本市の居住年数（問5）は「20年以上」の割合が64.8%と最も高くなっています。

2 差別や人権問題に対する考え方について

日本社会にある人権問題の中での認知度と関心度（問6）について、「内容まで知っている」の割合が「(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題」で最も高く、次いで「(5) 同和問題」となっています。

また、「関心がある」の割合が「(3) 高齢者に関する問題」で最も高く、次いで「(2) 子どもに関する問題」、「(18) 働く人の権利に関する問題」となっています。

認知度と関心度を関連させてみると、「(19) 東日本大震災に伴う人権問題」と「(9) 犯罪被害者に関する問題」で「関心がある」が「知らない」人権問題となっており、メディア等の報道により注目されているものの、内容の周知が必要な人権問題であることがわかります。

人権上問題があると思う問題（問7）は、「(13) インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む」や「(12) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱る」が特に問題があるとして回答されています。特に、インターネットについては、8割を超えて突出していることから、近年の情報化の進展に伴う影響が大きいことが伺われ、特に若年者をはじめとした人権教育・啓発を推進していく必要があります。

「差別」に対する考え方（問8）は、「そう思う」の割合が高いのが「(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たちは一人ひとりが差別しない人にならなければならない」（64.2%）、「(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある」（48.0%）、「(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」（43.0%）が高くなっており、差別を絶対許さない基本的な考えのもと、行政の積極的な啓発が必要であり、特に無関心層を対象とした周知・啓発が必要です。

人権問題についての情報や知識の入手先（問9）は、「新聞・TV・ラジオ」の割合が66.3%と最も高く、次いで「学校教育」の割合が46.6%となっています。年代別でみると、30歳代以下では「学校教育」、40歳代以上では「新聞・TV・ラジオ」の割合が高く、また、若い人ほど「インターネット」の割合が高くなっており、効果的な人権問題の情報提供にあたっては、年代別など対象者に応じた、さまざまな情報伝達媒体の活用が求められます。

また、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されるようなことがあった時に対応先（問11）

として、「身近な人（家族や友人、教師など）に相談する」が 57.0%と最も高くなっており、平成 18 年度調査と比べると、全体的に同様の傾向が示されているものの、「市役所へ相談する」が 6.5 ポイント高くなっています。一方「相手に抗議する」は 7.6 ポイント低くなっており、繊細な人権問題について、慎重な態度が伺えます。

3 住まいのことや就職、結婚についての意識や考え方について

家を買ったり借りたりする際に重視する（した）立地条件（問 15）は、「都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス」(62.8%)や「公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況」(57.3%)が高くなっており、「近隣に同和地区があると言われていないか」(10.2%)や「近隣に外国籍住民が多いと言われていないか」(4.5%)、「近隣に低所得者が多いと言われていないか」(4.2%)について 1 割前後で、大阪府調査と比べても大きな違いは見られません。

また、結婚相手について重視する（した）こと（問 17）は、「人柄や性格」(89.8%)が最も高く、「家柄」(9.4%)、「国籍、民族」(10.3%)、「相手やその家族の宗教」(12.4%)など、人権問題になりうる条件について重視している割合は低く、大阪府調査と同様の傾向となっています。

結婚についての考えに最も近いもの（問 18）は、「当人どうしの合意も、家族や親戚、友人など周囲の意見も、どちらも大事だ」(50.3%)が最も高くなっており、特に男性に比べ、女性では、その傾向が強くなっています。

しかしながら、採用面接において人権上問題があると思うこと（問 16）は、「家族の状況（職業、続柄、健康、地位、学歴、年収、資産など）」(59.2%)が最も高く、次いで「宗教」(52.9%)となっています。これは本市において特異なデータではなく、大阪府調査と比べても大きな違いは見られないものの、就職においては人権問題が影響していることが伺われます。

4 身の周りの人権侵害について

最近 5 年間に人権上問題と思われる言動を身近で見聞きしたことがあるか(問 36)について「ある」の割合が 26.7%、「ない」の割合が 68.4%となっており、大阪府調査と比べると、「ある」の割合が 16.6 ポイント低くなっています。

それはどのような人権問題であったか(問 36-1)については、「セクハラ・パワハラ」(14.1%)が最も高く、次いで「子ども」(11.2%)、「女性」(10.4%)となっています。

これらから、人権上の問題に遭遇している人は 4 人に 1 人となっており、特に「女性」や「子ども」に関する人権問題の割合が高くなっています。

5 同和問題について

同和問題や同和地区があることを初めて知ったきっかけ（問 19）は、「学校の授業で教わった」(24.2%)が最も高く、次いで「父母や祖父母など家族から聞いた」(21.2%)となっているものの、両選択肢ともに、平成 18 年度調査に比べ低くなっています。

また、初めて同和問題のことを知ったときの印象（問 20）は、「そのような差別があることを

初めて知り、驚いた」(61.2%)と最も高く、平成18年度調査に比べて高くなっています。

これらから、同和問題に関して以前よりも家族内で話題になることが少なくなっていることがうかがわれ、教育現場における人権教育の重要性が更に高まっています。

6 新たな人権課題について

日本に居住している外国人について、人権上問題があること(問24)は「就職・職場で不利な扱いを受けること」(38.9%)が突出して最も高くなっており、年齢別にみても、70歳以上を除き、高くなっています。また、10歳代で「文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること」(47.2%)の割合が、30歳代で「入学・学校で不利な扱いを受けること」(38.5%)の割合が高くなっています。入学、就職などの人生の重要な場面において問題視していることから、企業や学校などにおける人権尊重を前提した教育啓発をしていく必要があります。

インターネット上で、差別的な表現や他人を誹謗中傷するなど、人権侵害と思われるような書き込みやホームページについて、見たことがあるか(問26)は、“見たことがある”との回答が21.9%となっており、その対応(問26-1)として、「そのようなページは無視する」(54.6%)や「自分とかかわりがなければ、特になにもしない」(34.3%)が大半を占めているものの、5人に1人の割合でインターネット上での人権問題にかかわっている現状がわかります。

性的マイノリティ(少数者)の人々に関する人権のことで課題だと思うこと(問27)は「学校や職場でいじめやいやがらせを受けること」(37.6%)が最も高く、次いで「性的少数者について正しい知識を得る機会がないこと」(37.2%)、「本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること」(35.4%)となっており、学校や職場でのいじめが起きているという問題が浮き彫りになっている一方で、人権問題としての正しい理解がされていないという課題があります。

7 様々な人権課題について

子どもに関する事柄で問題があると思うこと(問28)は、「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行う」(81.6%)が最も高くなっており、平成18年度調査と比べると大きな変化は見られないものの、「教師が子どもを指導するために体罰を与える」(33.8%)が8.8ポイント増加しており、新たな問題がでてきています。これは年代別に見ても、30歳代で顕著に高くなっており、子育て親子世代からの回答が得られていることから着目すべき課題と考えられます。

女性の人権を守るために必要なこと(問31)は、「保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにする」(64.0%)と最も高くなっており、平成18年度調査と比べると大きな変化は見られないものの、「働く場での男女格差をなくすよう企業や事業主などに働きかけ

る」(51.5%)が7.2ポイント増加していることから、女性の働き方を支援する取組が注目されていることがわかります。

高齢者に関する事柄で問題があると思うこと(問32)は、「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」(51.5%)が最も高くなっています。「経済的な保障が十分でない」(47.3%)や「高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」(35.8%)が平成18年度調査と比べると減少しているものの、一方で「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」(43.8%)や「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」(42.4%)が増加しています。高齢者を取り巻くハード及びソフト支援策は一定の推進がされているものの、高齢者介護に関する人権を問題と考える人が増える傾向にあります。

障がいのある人に関する事柄で問題があると思うこと(問34)は、「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない」(57.3%)と最も高くなっています。「経済的な保障が十分でない」(39.0%)が平成18年度調査と比べると減少しているものの、一方で「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」(37.9%)や「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」(36.6%)が増加しています。障がいのある人の就労への対策が大きな課題であることがわかります。

8 人権問題に対する行政の取組について

人権問題の解決に向けて知っている施策(問12)は、「(1)啓発ポスター」が最も高くなっているものの、2割に満たない現状です。また、「効果がある」の割合が「(3)講演会・映画会」で最も高く、次いで「(6)人権相談窓口」となっています。

特に、「(3)講演会・映画会」と「(6)人権相談窓口」については、内容を知った上で、効果があると回答されていることから、人権問題に対する行政の取組として効果性が高いことがわかります。

和泉市で設置している相談窓口で知っている(問13)のは、「市民相談(法律相談など)」(53.8%)が最も高く、次いで「子育て相談」(45.4%)となっています。平成18年度調査と比べると、「人権相談、総合生活相談(人権文化センター)」(25.3%)、「女性問題総合相談(男女共同参画センター)」(27.7%)、「子育て相談」(45.4%)が10ポイント前後の増加を示しており、各種相談窓口の周知については一定の効果が見られています。

IV 使用した調査票

差別や人権問題に対する考え方についておたずねします。

問6 日本の社会には、人権にかかわるさまざまな問題があります。それぞれの内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。【あてはまるもの1つに○】

	A. 認知度		B. 関心度	
	内容まで知っている	知らない	関心がある	関心がない
(1) 女性に関する問題	1	3	1	2
(2) 子どもに関する問題	1	3	1	2
(3) 高齢者に関する問題	1	3	1	2
(4) 障がいのある人に関する問題	1	3	1	2
(5) 同和問題	1	3	1	2
(6) 日本に居住している外国人に関する問題	1	3	1	2
(7) エイズ患者・HIV（エイズ・ウイルス）感染者に関する問題	1	3	1	2
(8) ハンセン病患者・回復者などに関する問題	1	3	1	2
(9) 犯罪被害者などに関する問題	1	3	1	2
(10) 性同一性障害（心と体の性が一致しない人）に関する問題	1	3	1	2
(11) インターネット（パソコン、スマートフォンなど）を悪用した人権侵害の問題	1	3	1	2
(12) ホームレスの人に関する問題	1	3	1	2
(13) 性的指向（異性愛・同性愛）を理由とした人権侵害の問題	1	3	1	2
(14) 北朝鮮当局によって拉致された被害者に関する問題	1	3	1	2
(15) 刑を終えて出所した人に関する問題	1	3	1	2
(16) アイスの人々に関する問題	1	3	1	2
(17) 人身取引（性的搾取・強制労働などを目的とした人身取引）に関する問題	1	3	1	2
(18) 働く人の権利に関する問題	1	3	1	2
(19) 東日本大震災に伴う人権問題	1	3	1	2

問7 あなたは、次のことがらについて、人権上問題があると思いますか。【(1)～(16) それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

	1 問題があると思	2 やや問題があると思	3 あまり問題があると思	4 問題はないと思	5 何とも言えない
(1) 職場で顔を合わせるたびに「まだ結婚しないのか」と言う	1	2	3	4	5
(2) 中学生の携帯電話やスマートフォンの使用を親の判断で制限する	1	2	3	4	5
(3) 家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする	1	2	3	4	5
(4) 視聴障がい者との会話ではテレビや映画、風景などは意識して話題にしないようにする	1	2	3	4	5
(5) 結婚する際、興信所や探偵業者などを使って相手の出自（人の生まれ、でところ）を調べ	1	2	3	4	5
(6) 同じマンションに住む外国人とは生活文化が異なり、日本語があまり話せないで、付き合いにくいようにする	1	2	3	4	5
(7) HIV感染者やハンセン病回復者とは一緒に食事や入浴をしない	1	2	3	4	5
(8) こころの病のある人には関わらないようにする	1	2	3	4	5
(9) 痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言う	1	2	3	4	5
(10) 公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る	1	2	3	4	5
(11) 職場で同性愛者と席が隣になることを嫌がる	1	2	3	4	5
(12) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱る	1	2	3	4	5
(13) インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む	1	2	3	4	5
(14) 災害時に支援が必要な人のリストを作成するため、自治会が住民に緊急時連絡先や疾病、障がいの有無などを尋ねる	1	2	3	4	5
(15) ネットや引きこもりの人に「怠けていないで働きなさい」と言う	1	2	3	4	5
(16) 恋人や配偶者の携帯電話やスマートフォン通信履歴を見る	1	2	3	4	5

問 10 学校や職場、ふだんの生活の中で、誰かが人を差別するような言動をとったとき、あなたはどのように対応しますか。【あてはまるもの1つに○】

1. そのような言動は差別にあたるから、よくないと注意を促す
2. 表向きは語を合わせつつ、差別はいけないことを伝える
3. 言動は問題だが、その人との人間関係が気まずくなるので、何も言わない
4. 言動は問題だが、世間ではよくあることなので、何も言わない
5. 今まででそういう場面に会ったことがない（見聞きしたことがない）
6. その他（ ）

問 11 もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されるようなことがあったとき、あなたはどのように対応しますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 相手に抗議する
2. 身近な人（家族や友人、教師など）に相談する
3. 人権問題に詳しい人に相談する
4. 弁護士に相談する
5. NPOや市民団体に相談する
6. 法務局や人権擁護委員に相談する
7. 市役所に相談する
8. 警察に相談する
9. 何もせずに黙っている
10. その他（ ）

問 8 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。
【(1)～(8)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

	1	2	3	4	5
	1 とても思わない	2 やや思わない	3 あまり思わない	4 多少思わない	5 何とも思わない
(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない	1	2	3	4	5
(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	1	2	3	4	5
(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因には、差別される人の側の問題があることも多い	1	2	3	4	5
(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	1	2	3	4	5
(7) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ	1	2	3	4	5
(8) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5

問 9 あなたは、人権問題についての情報や知識は主にどこで（何で）知りましたか。

- 【あてはまるものすべてに○】
1. 家族
 2. 友人・知人
 3. 広報紙・誌
 4. 新聞・TV・ラジオ
 5. インターネット
 6. 学校教育 (①小学校 ②中学校 ③高校 ④大学 に○をつけてください)
 7. 職場・地域での研修
 8. その他 ()

人権問題に対する行政の取組についておたずねします。

問 12 あなたは、人権問題の解決に向けた次のような施策を知っていますか。また、効果があると思いますか。【(1)～(7) それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

	A. 認知度			B. 効果		
	知内 容まで 知っている	内 容は 知っている が、 知らない	知 ら な い	効 果 が あ る	効 果 が な い	わ か ら な い
(1) 啓発ポスター	1	2	3	1	2	3
(2) 広報紙やホームページ、インターネットなどを利用した啓発広報	1	2	3	1	2	3
(3) 講演会・映画会	1	2	3	1	2	3
(4) 研修会	1	2	3	1	2	3
(5) 作文、詩、読書感想文、ポスター、標語などの募集	1	2	3	1	2	3
(6) 人権相談窓口	1	2	3	1	2	3
(7) 戸籍謄本等の第三者への交付をお知らせする事前登録型本人通知制度	1	2	3	1	2	3

問 13 和泉市では、人権相談に関する相談窓口を設置していますが、あなたが知っているものはどれですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 人権相談（人権擁護委員）
2. 市民相談（法律相談など）
3. 人権相談、総合生活相談（人権文化センター）
4. 女性問題総合相談（男女共同参画センター）
5. 教育相談
6. 子育て相談
7. 労働相談・就労相談
8. その他（ ）
9. 知っているものはない

問 14 和泉市内で実施されている人権問題の教育・啓発活動などについて、知っているものは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 「いのち・愛・人権」市民の集い
2. ひゅーまんシンネマ（人権啓発映画会）
3. 女と男のフォーラム
4. 人権啓発リーダー養成講座
5. 校区別人権研修会
6. 人権啓発講演会
7. YOU・優ロボーブエスティブアル
8. いずみワールドフエスティブアル
9. 伝承文化公演
10. 人権平和事業実行委員会の実施する事業（平和千羽鶴展、市民研修など）
11. NPO・NGOなどの人権に関する団体等が実施する人権関係の研修・イベントなど
12. その他（ ）
13. 知っているものはない

人生には重要な出来事がいくつかありますが、ここでは、住まいのことや就職、結婚についての意識や考え方についておたずねします。

問 15 あなたが家を買ったり借りたりする際に重視する（した）立地条件は何か。

【あてはまるものすべてに○】

1. 都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス
2. 公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況
3. 日照・眺望など
4. 周辺の住宅の状況（戸建て/集合、持ち家/賃貸など）
5. 地域のイメージ
6. 校区の教育水準や学力レベルの評判
7. 近隣に低所得者が多いと言われていないか
8. 近隣に外国籍住民が多いと言われていないか
9. 近隣に同和地区があると言われていないか
10. その他（ ）

問16 採用面接における質問で、あなたが人権上問題があると思うことはどれですか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 国籍
2. 本籍・出生地
3. 家族の状況（職業、健康、続柄、地位、学歴、年収、資産など）
4. 住宅の状況（住宅の種類、間取り、部屋数、近隣の施設など）
5. 生活環境、家庭環境
6. 宗教
7. 支持政党
8. 人生観や生活信条
9. 尊敬する人物
10. 労働組合、学生運動など社会運動の経験
11. 購読新聞、雑誌、愛読書など

問17 あなたが結婚相手について重視する（した）ことはどんなことですか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 人柄や性格
2. 趣味や価値観
3. 仕事に対する理解と協力
4. 家事や育児に対する理解と協力
5. 経済力
6. 学歴
7. 職業
8. 家族構成
9. 家柄
10. 離婚歴
11. 国籍、民族
12. 相手やその家族が障がい者かどうか
13. 相手やその家族の宗教
14. ひとり親家庭かどうか
15. 本籍・出生地
16. その他（ ）

問18 結婚について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。【いずれか1つに○】

1. 当人どうしの合意があればよい
2. 当人どうしの合意も、家族や親戚、友人など周囲の意見も、どちらも大事だ
3. 当人どうしの合意も大事だが、周囲の意見がより尊重されるべきだ
4. その他（ ）

同和問題についておたずねします。

問19 あなたが同和問題や同和地区があることを初めて知ったきっかけは何ですか。
【あてはまるもの1つに○】

1. 父母や祖父など家族から聞いた
2. 近所の人から聞いた
3. 学校の友人から聞いた
4. 職場の同僚から聞いた
5. 学校の授業で教わった
6. 講演会や研修会などで知った
7. 府県や市町村の広報紙などで知った
8. テレビ・新聞・本・映画などで知った
9. その他（ ）
10. 覚えていない
11. 同和問題を知らない（今回初めて聞いた）

問20 あなたが初めて同和問題のことを知ったとき、特にとどのような印象を持ちましたか。
【あてはまるもの1つに○】

1. 怒りを感じ、何とかしなければならぬと思った
2. そのような差別があることを初めて知り、驚いた
3. 差別を受けている人はかわいそうだと思う
4. 差別されても当然だと思った
5. その他（ ）

問21 あなたは、次のような意見をどのように思いますか。

【(1)～(9) それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

	1	2	3	4	5	6
	1 そう思う	2 どちらかといえば思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば思わない	5 そう思わない	6 わからない
(1) 同和問題は自分とは関係のない話だ	1	2	3	4	5	6
(2) 同和地区の人びとのふだんのつきあいかから言えば、思いやりのある人が多い	1	2	3	4	5	6
(3) 同和地区の人びとの気持ちや立場をもっと理解すべきだ	1	2	3	4	5	6
(4) 今まで差別されてきた同和地区の人びとのくやしさを言えば、差別したことを厳しく追及するのは理解できる	1	2	3	4	5	6
(5) 同和問題を許さない態度を身に付けることは、他の人権問題にもプラスになる	1	2	3	4	5	6
(6) 同和地区に伝わる文化は今もずばらしいものがあり、昔から明るくたくましく生きてきた姿がうかがえる	1	2	3	4	5	6
(7) 「差別」のことを言い過ぎると、余計に意識して問題が広がるので、そっとしておく	1	2	3	4	5	6
(8) 同和対策の法律(特別措置法)がなくなつたので、部落差別もなくなつたと思う	1	2	3	4	5	6
(9) 同和対策の法律(特別措置法)はなくなつても、差別がある限り、同和行政は必要だと思う	1	2	3	4	5	6

問22 就職や結婚の場において、あなたは、同和問題に関連する人権問題がどの程度あると思いますか。【(1)と(2) それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

(1) 就職において

1. 差別はある	2. どちらかといえば差別はある
3. どちらかといえば差別はない	4. 差別はない
5. わからない	

(2) 結婚において

1. 差別はある	2. どちらかといえば差別はある
3. どちらかといえば差別はない	4. 差別はない
5. わからない	

問23 仮に、あなたの子ども(子どもがいない方は、いるものと仮定してください)が結婚しようとしている相手が同和地区の人だった場合、あなたは、親としてどのような態度をとりますか。また、あなたの親戚は、あなたやあなたの子どもに対してどのような態度をとると思いますか。

【(1)と(2) それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

(1) あなたが親として子どもに対してとる態度

1. 迷うことなく賛成する	2. 迷いながらも、結局は賛成する
3. 迷いながらも、結局は反対する	4. 迷うことなく反対する
5. わからない	

(2) あなたの親戚があなたやあなたの子どもに対してとると思われる態度

1. 迷うことなく賛成する	2. 迷いながらも、結局は賛成する
3. 迷いながらも、結局は反対する	4. 迷うことなく反対する
5. わからない	

様々な人権課題についておたずねします。

問24 日本に居住している外国人に関することで、人権上、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるもの3つまで○】

1. 入学・学校で不利な扱いを受けること
2. 就職・職場で不利な扱いを受けること
3. 住宅の申し込みや入居で不利な扱いを受けること
4. 年金などの社会保障制度で不利な扱いを受けること
5. 周囲から結婚を反対されること
6. 文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること
7. 外国語の表記にするなど、情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと
8. 政治に意見が十分反映されないこと
9. 差別的な言動や差別的な落書きがあること
10. インターネットを悪用した差別的な情報が掲載されること
11. わからない
12. その他 ()

問25 あなたは、外国人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 外国人市民や国際理解に関する教育を充実する
2. 外国人市民と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす
3. 外国人市民も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる
4. 外国人市民の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする
5. 外国人市民の理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
6. 外国人市民のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）
7. 多言語による人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する
8. 日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

問26 インターネット上で、差別的な表現や他人を誹謗中傷するなど、人権侵害と思われるような書き込みやホームページについて、お聞きします。あなたは、そのような内容のページを見たことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

1. よく見る
 2. 見たことがある
 3. 見ないようになっている
 4. 見たことがない
- ↑
↑
↑
- 問26-1へ進んでください
問27へ進んでください

問26-1 問26で「1. よく見る」「2. 見たことがある」「3. 見ないようになっている」と回答した方におかがいします。

そのようなページを見たとき、どのようにされますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 自分とかかわりがなければ、特に何もしない
2. そのようなページは、無視する
3. 自分も同じような内容で書き込みをする
4. 反対意見を書き込む
5. プロバイダ又は関係機関に知らせる
6. 積極的に見る
7. その他 (具体的な)

問27 性的マイノリティ（少数者）の人々の人権についておたずねします。性的マイノリティ（少数者）の人々に関する人権のことで、あなたが特に課題だと思われるのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

※性的マイノリティ：性的マイノリティ（少数者）とは、LGBTと書かれるトランスジェンダー（女性同性愛者）、バイ（男性同性愛者）、ハイゼクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（性同一性障害など）と体の性が一致しない人）などの性的少数者の人々のことです。

1. 本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること
2. 制服などで男女の別を決めつけること
3. トイレ、更衣室など、男女の別がなく、バリアフリーとなっていないこと
4. 異性愛を前提とした教育を受けること（性教育、道徳など）
5. 性的少数者について正しい知識を得る機会がないこと
6. 相談場所がないこと
7. 学校や職場でいじめやいやがらせを受けること
8. 就職や職場において不利な扱いを受けること
9. 家族や友達から理解されないこと
10. 法律上の「パートナー」や子どもに対する「親」として、扱ってもらえないことがあること
11. 保険証、パスポート、履歴書などの性別欄が男女のみであること
12. 偏見や誤解により、住まいなど契約を断られること
13. 結婚や子どもの養子縁組がむずかしいこと
14. 施設、病院において、自認する性とは別の扱いを受けることがあること
15. メディアでからかいや偏見を助長するような情報を流すこと
16. その他 (具体的に)
17. 特にない
18. わからない

問 28 あなたは、子どもに関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行う
2. いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする
3. 教師が子どもを指導するために体罰を加える
4. 親が子どもに暴力をふるう、精神的苦痛を与える、養育を放棄するなど虐待をする
5. 子どもの意見を無視し、大人の考えを一方的に押しつける
6. 親が子どもの様子を探るために、手紙や日記、メールなどを勝手に見る
7. 児童買春・児童ポルノなどが横行する
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問 29 あなたは、子どもの人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 悩みのある子どもたちのための人権相談所や電話相談、カウンセリングを充実する
2. 子どもの人権を守るための教育・啓発・広報活動を推進する
3. 体罰の禁止を徹底する
4. 校則や規則を子どもの側に立った視点で見直す
5. 教師の能力・資質を高める
6. 成績だけを重んじる風潮を改める
7. 家庭や学校教育などで子どもにも人権感覚や他人を思いやる心を育てる
8. 地域での取り組みを進める（地域教育協議会など）
9. 大人に子どもが独立した人格であることを啓発する
10. 子どもの個性を尊重する
11. いじめや非行、虐待の早期発見やその予防策強化に努める
12. 子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる
13. 児童買春・児童ポルノなどの取り締まりを強化する
14. その他 ()
15. 特にない
16. わからない

問 30 男女共同参画に関する事柄で、あなたは、次のような意見をどのように思いますか。【(1)～(7) それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

	1	2	3	4	5
	そう思う	どちらかと思う	どちらともいえない	どちらかと思わない	そう思わない
(1) 育児や家事、介護は、男性も女性も行うほうがよい	1	2	3	4	5
(2) 男性は大学まで、女性は短大（高校）まででよいという考え方はおかしい	1	2	3	4	5
(3) 同期・同年齢で就職し、能力が同じの男女間に、賃金や昇格、仕事内容に差があるのはおかしい	1	2	3	4	5
(4) 制度や慣行で男女間に差があるのはおかしい	1	2	3	4	5
(5) 女人禁制の場所があるのはおかしい	1	2	3	4	5
(6) 選択的夫婦別姓が認められるほうがよい	1	2	3	4	5
(7) 不況のとき、男性の採用が優先されて女性の就職が難しくなるのはおかしい	1	2	3	4	5

問 31 あなたは、女性の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 各種審議会委員など市の政策決定の場に女性をもっと登用する
2. 学校教育の中で男女平等の考え方や男女共同参画についての教育を進める
3. 働く場での男女格差をなくすよう企業や事業主などに働きかける
4. 保育などの施設や制度を整え、男性も女性も安心して働けるようにする
5. 高齢者や障がいのある人に対する介護制度を充実させる
6. 母子・父子世帯などの生活を安定させる
7. 健康対策や母性保護対策を進める
8. 女性のための各種相談業務を充実させる
9. 女性の自立を目指す学習・講座の充実や情報提供を推進する
10. 各種活動のリーダーとなる市民を養成する
11. 男性も生活者（家事や育児などを実践する人）として自立できるよう啓発活動を行う
12. 新聞、テレビなどのマスメディアに対して男女平等を働きかける
13. 女性に対する暴力防止のための施策を推進する
14. その他 ()
15. 特にない
16. わからない

問 32 あなたは、高齢者に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 経済的な保障が十分でない
2. 就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない
3. ボランティア活動などを通じて能力を発揮する機会が少ない
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. 高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない
6. 犯罪者扱いをされ、意見や行動が尊重されない
7. 詐欺や悪徳商法の対象として狙われる
8. 家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
9. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

問 33 あなたは、高齢者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす
2. 道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する
3. 高齢者と他の世代との世代間交流を促進する
4. 高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
5. 成年後見制度など高齢者の権利と財産を守る制度を充実する
6. 高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
7. 高齢者のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する
8. 高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

問 34 あなたは、障がいのある人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 経済的な保障が十分でない
2. 就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない
3. スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. 障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない
6. 詐欺や悪徳商法の対象として狙われる
7. 家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
8. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける
9. 結婚に周囲が反対する
10. 店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される
11. じろじろ見られたり、避けられたりする
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

問 35 あなたは、障がいのある人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 企業などに障がいのある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する
2. 道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する
3. 障がいのある人とならない人との交流を促進する
4. 障がいのある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
5. 成年後見制度など障がいのある人の権利と財産を守る制度を充実する
6. 障がいのある人を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
7. 障がいのある人のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する
8. 障がいのある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める
9. 障がいのある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

身の周りの人権侵害についておたずねします。

問 36 あなたは、最近5年間に人権上問題と思われる言動を身近で見聞きしたことがありますか。
複数ある場合は、一番印象に残っているものについてお答えください。【どちらかに○】

1. ある 2. ない 問 37 へ進んでください

問 36-1 それはどのような人権問題に関するものでしたか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. 女性
- 2. 子ども
- 3. 高齢者
- 4. 障がい者
- 5. 同和問題
- 6. 外国人
- 7. HIV感染者・ハンセン病回復者
- 8. ころの病に関する人権問題
- 9. 犯罪被害者
- 10. ホームレス
- 11. 性的マイノリティ
- 12. 職業や雇用をめぐる人権問題
- 13. セクハラ・パワハラ
- 14. ネット上での誹謗中傷
- 15. ヘイトスピーチ
- 16. その他 ()

問 36-2 それはどのような内容でしたか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. あらゆる噂、悪口、かげ口
- 2. 名誉き損、侮辱
- 3. 暴力、脅迫、強要
- 4. 不平等、不利益な扱い
- 5. いじめ
- 6. 虐待
- 7. 嫌がらせ
- 8. 仲間はずれ
- 9. プライバシーの侵害
- 10. その他 ()

問 36-3 それはどこで見聞きしましたか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. 学校
- 2. 職場
- 3. 地域社会
- 4. インターネット
- 5. その他 ()

問 36-4 それはあなた自身に対するものでしたか。【どちらかに○】

1. はい 2. いいえ
問 36-5a へ進んでください

問 36-5b へ進んでください

問 36-5a どう対応しましたか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. 抗議、反論した
- 2. 相談した (どこに、誰に) ()
- 3. 訴えた (どこに) ()
- 4. 我慢した
- 5. その他 ()

問 36-5a 最終的に解決しましたか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. 解決した
- 2. 解決しなかった
- 3. その他 ()

問 36-5b どう対応しましたか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. いけないことと分かってもらおうとした
- 2. いけないことと指摘した
- 3. 相談した (どこに、誰に) ()
- 4. 同調した
- 5. 話をそらした

問 36-6b そのような問題 (事案) についてどうしたらよいと考えますか。

【あてはまるものすべてに○】

- 1. 行政が啓発に努める
- 2. 相談窓口を拡充する
- 3. 当事者自らが解決策を講じる
- 4. 学校教育・社会教育を充実する
- 5. 特になし
- 6. その他 ()

問 37 最後に、あなたがだんだん人権問題について考えていることや感じていることがありますら、ご自由にお書きください。

これで調査は終わります。お忙しいところ、ご協力いただきまして、
ありがとうございます。

和泉市人権問題に関する市民アンケート調査
調査結果報告書
平成 29 年 3 月

発行／和泉市 総務部 人権・男女参画室
〒594-8501

大阪府和泉市府中町二丁目 7 番 5 号
TEL 番号：0 7 2 5 - 9 9 - 8 1 1 5
FAX 番号：0 7 2 5 - 4 5 - 3 1 2 8

